

瑞穂町
選挙に関する町民意識調査
報告書

平成26年3月
瑞穂町選挙管理委員会

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 調査結果の詳細	5
1. 回答者の属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 町内移動の際の交通手段	8
(4) 職業	8
(5) 通勤・通学先	9
(6) 居住地区	9
2. 瑞穂町での生活	10
(1) 居住年数	10
(2) 定住意向と転出意向	12
(3) 町への愛着度	14
(4) 地域活動への参加状況	16
(5) 生活の満足度	18
3. 政治や町政への参加	20
(1) 政治への関心度	20
(2) 政治に関心がない理由	26
(3) 今の政治への満足度	28
(4) 自身の考えや要望の政治への反映度	34
(5) 町議会議員が行う演説会等への参加状況	40
(6) 町政に意見や要望をする際の伝達手段	42
4. 選挙に関する意識	45
(1) 選挙投票状況	45
(2) 各種選挙への関心順	47
(3) その選挙に最も関心がある理由	50
(4) 各種選挙結果の政治への影響度	52
(5) 選挙についての考え	59
(6) 町の投票率が低い原因	68
5. 最近の選挙（20歳以上の方のみ）	70
(1) 今年7月の参議院議員選挙の投票	70
(2) 投票状況	73
(3) 投票に行くことを決めた時期	75

(4) 候補者への投票理由	77
(5) 投票に行かないと決めた時期	79
(6) 投票に行かなかった理由	81
6. 投票所	84
(1) 最寄りの投票所までの徒歩時間	84
(2) 投票所への交通手段	86
(3) 最寄りの投票所について	89
7. 選挙の啓発	108
(1) 7月の参議院議員選挙での町の啓発活動で見たり聞いたりしたもの	108
(2) 選挙権年齢引き下げの賛否	110
(3) 年齢引き下げが必要だと思う選挙	112
(4) 関心の持てない選挙の投票所に向かわせるためのきっかけ	113
(5) 選挙への関心や投票率を向上させるために必要なこと	115
8. 自由記述	118
第3章 調査票	127

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

瑞穂町では、明るい選挙の実現と投票率向上のため努力を重ねているが、本町の投票率は都の自治体の中でも低位にある。このため、本年度執行された参議院議員通常選挙における町民の投票行動と住民意識、政治意識、選挙意識及び選挙啓発の関連を調査することにより、今後の選挙の執行・管理及び選挙啓発事業の参考とするため、アンケート調査を実施した。

2. 調査方法と回収状況

調査対象：町内在住の18歳以上の男女個人

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成25年12月2日（月）～12月16日（月）

<回収状況>

発送数	回収数	回収率
2,000件	920件	46.0%

3. 調査項目

- (1) 瑞穂町での生活について基本属性
- (2) 政治や町政への参加について
- (3) 選挙に関する意識について
- (4) 直近の選挙について
- (5) 投票所について
- (6) 選挙の啓発について
- (7) 自由回答
- (8) 回答者属性

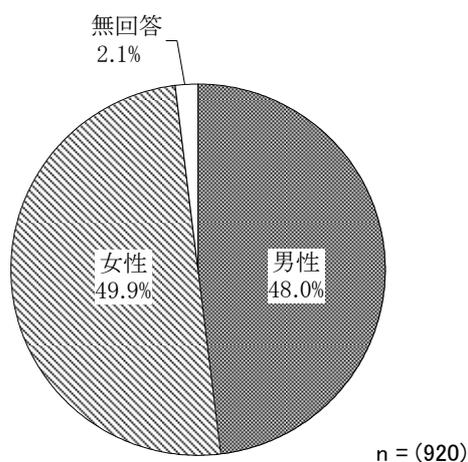
4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足しあわせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第2章 調査結果の詳細

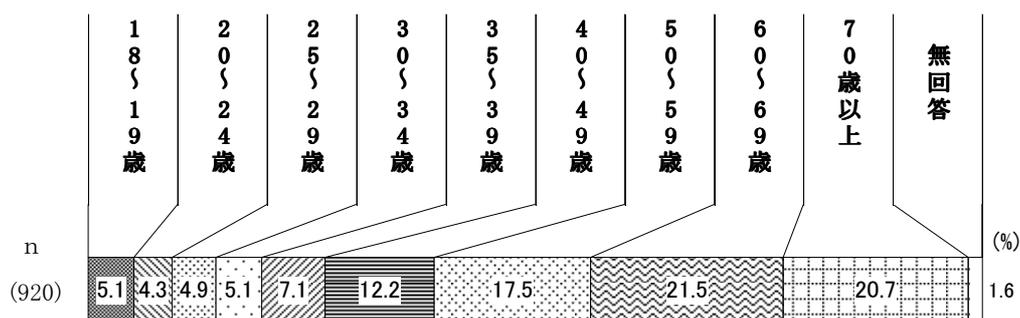
1. 回答者の属性

(1) 性別



性別は、「男性」が48.0%、「女性」が49.9%となっている。

(2) 年齢



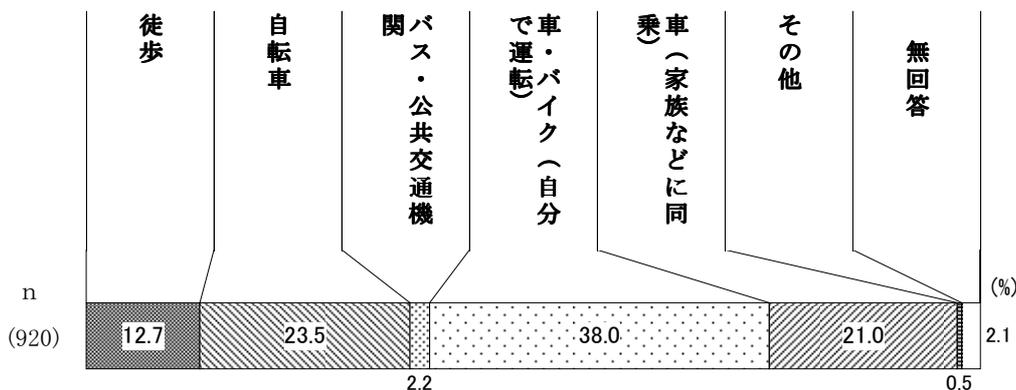
年齢は、「60～69歳」が21.5%、「70歳以上」が20.7%で60歳以上が42.2%を占める。また、「40～49歳」(12.2%)、「50～59歳」(17.5%)が1割台となっている。

なお、以降の本文中では、

- ・「18～19歳」を20歳未満、
- ・「20～24歳」を20代前半、
- ・「25～29歳」を20代後半、
- ・「30～34歳」を30代前半、
- ・「35～39歳」を30代後半、
- ・40～49歳を40代、
- ・50～59歳を50代、
- ・60～69歳を60代

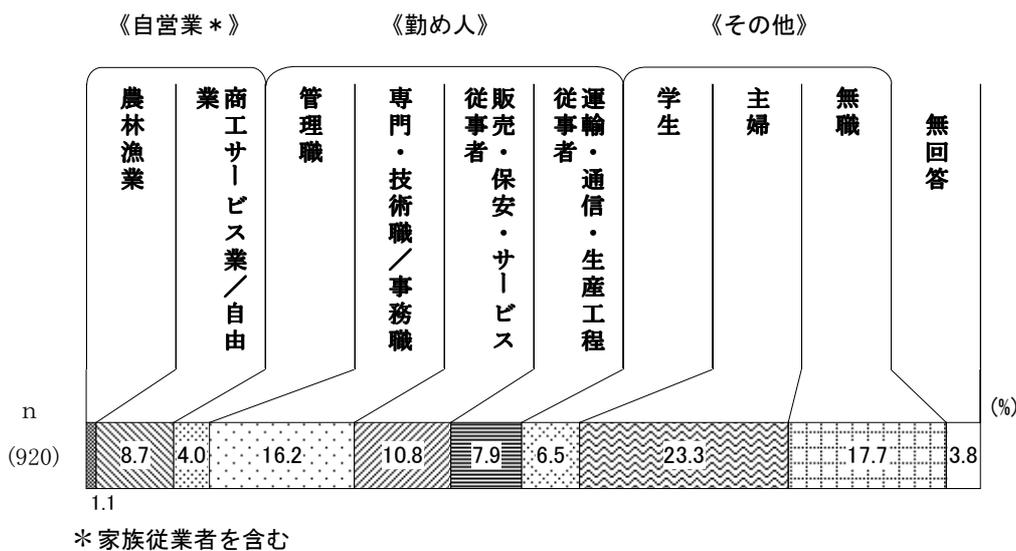
と略した表示で統一する。

(3) 町内移動の際の交通手段



町内移動の交通手段は、「車・バイク（自分で運転）」が38.0%で最も多く、以下、「自転車」(23.5%)、「車（家族などに同乗）」(21.0%) が2割台で続いている。

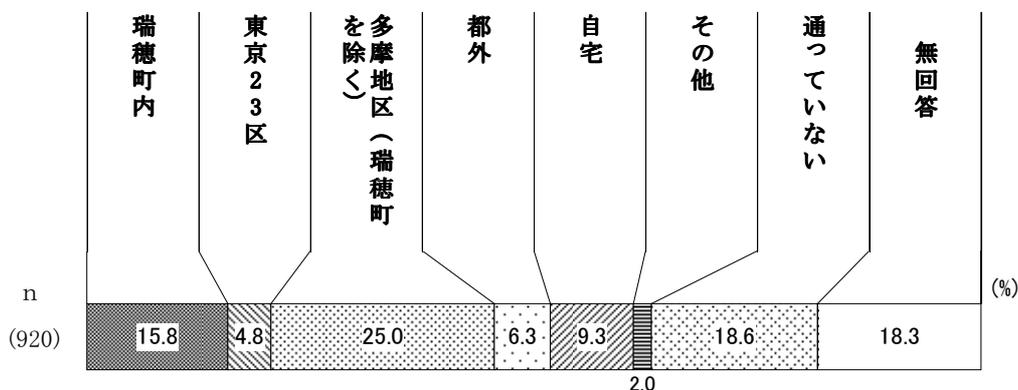
(4) 職業



職業は、有業者では「専門・技術職／事務職」(16.2%)、「販売・保安・サービス従事者」(10.8%) が1割台となっている。有業者以外では、「主婦」が23.3%、「無職」が17.7%となっている。

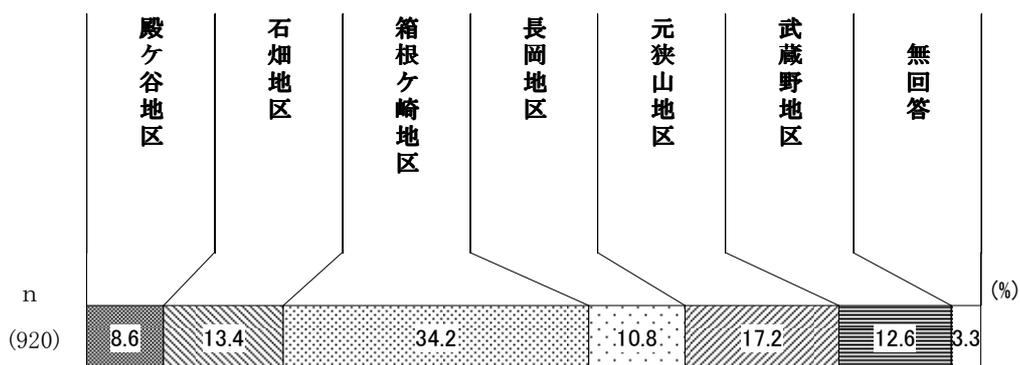
なお、本編の図で職業別を軸にみる際には、上部の《 》の3区分でみる。

(5) 通勤・通学先



通勤先は、「多摩地区（瑞穂町を除く）」が25.0%、「瑞穂町内」が15.8%となっている。また、「通っていない」は18.6%となっている。

(6) 居住地区



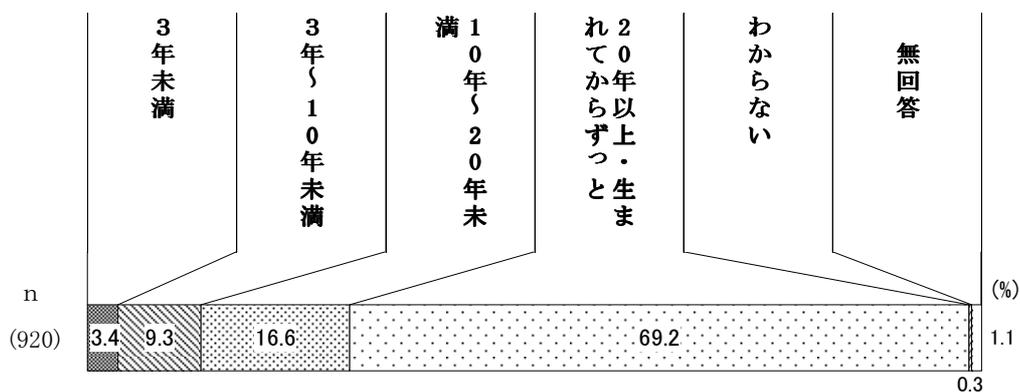
居住地区は、「箱根ヶ崎地区」が34.2%となっており、その他は「殿ヶ谷地区」以外で1割台となっている。

2. 瑞穂町での生活

(1) 居住年数

問1 あなたは、瑞穂町に何年ぐらいお住いですか。(〇は1つ)

(全ての方がお答えください)

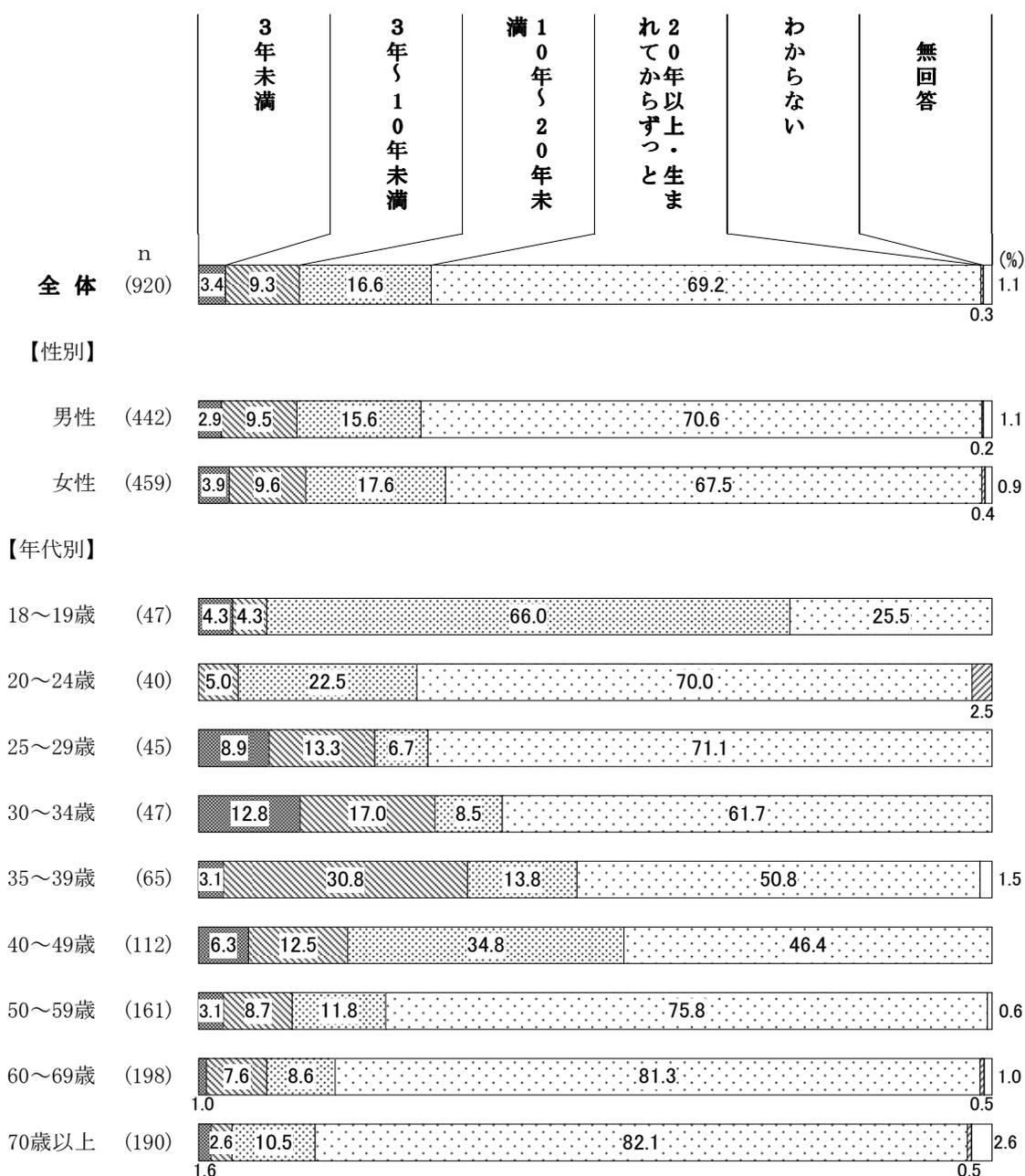


居住年数は、「20年以上・生まれてからずっと」が69.2%を占め、居住年数が短いほど少なくなる。

性別では、特に大きな違いはみられない。

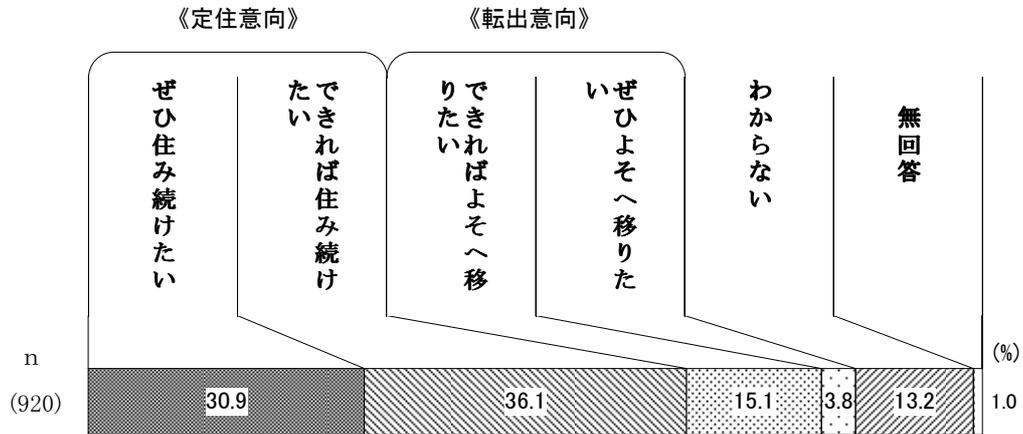
年代別にみると、20歳未満では「10年～20年未満」が66.0%を占める。「20年以上・生まれてからずっと」は60代（81.3%）、70歳以上（82.1%）で8割台を占めており、20代前半（70.0%）および後半（71.1%）、50代（75.8%）でも7割台と多くなっている。また、「3年～10年未満」は30代後半で30.8%と他の年代より多くなっている。

性別、年代別



(2) 定住意向と転出意向

問2 あなたは、現在お住まいの地域に、今後もずっと住みたいと思いますか。それとも引っ越したいと思いますか。(○は1つ) (全ての方)

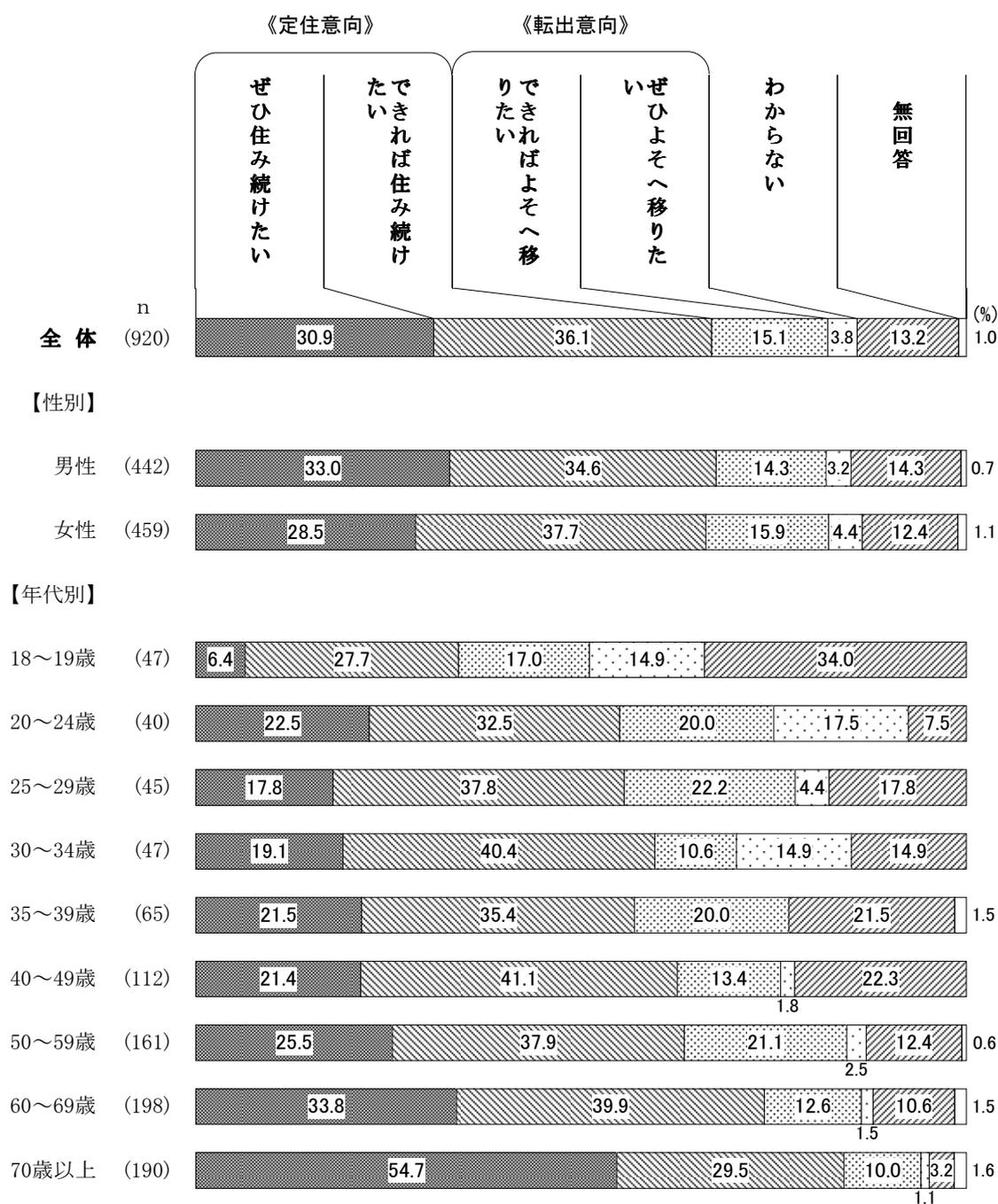


市内への定住意向は、「ぜひ住み続けたい」が30.9%、「できれば住み続けたい」が36.1%とどちらも3割台となっており、両者をあわせた《定住意向》は67.0%となっている。一方、「ぜひよそへ移りたい」(3.8%)と「できればよそへ移りたい」(15.1%)をあわせた《転出意向》は18.9%となっている。

性別にみても、大きな違いはみられない。

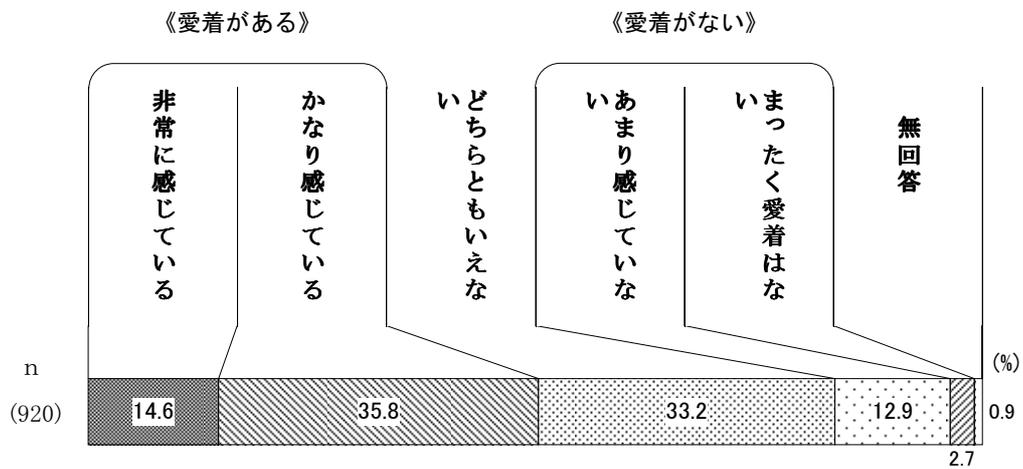
年代別にみると、《定住意向》は年代が上がるほど多くなる傾向がみられ、20代以上の年代では5割以上、60代以上では7割以上を占めている。一方、《転出意向》は20歳未満（31.9%）と20代前半（37.5%）で3割台と他の年代より多くなっている。

性別、年代別



(3) 町への愛着度

問3 あなたは、この瑞穂町にどの程度“愛着”を感じていますか。(〇は1つ)(全ての方)

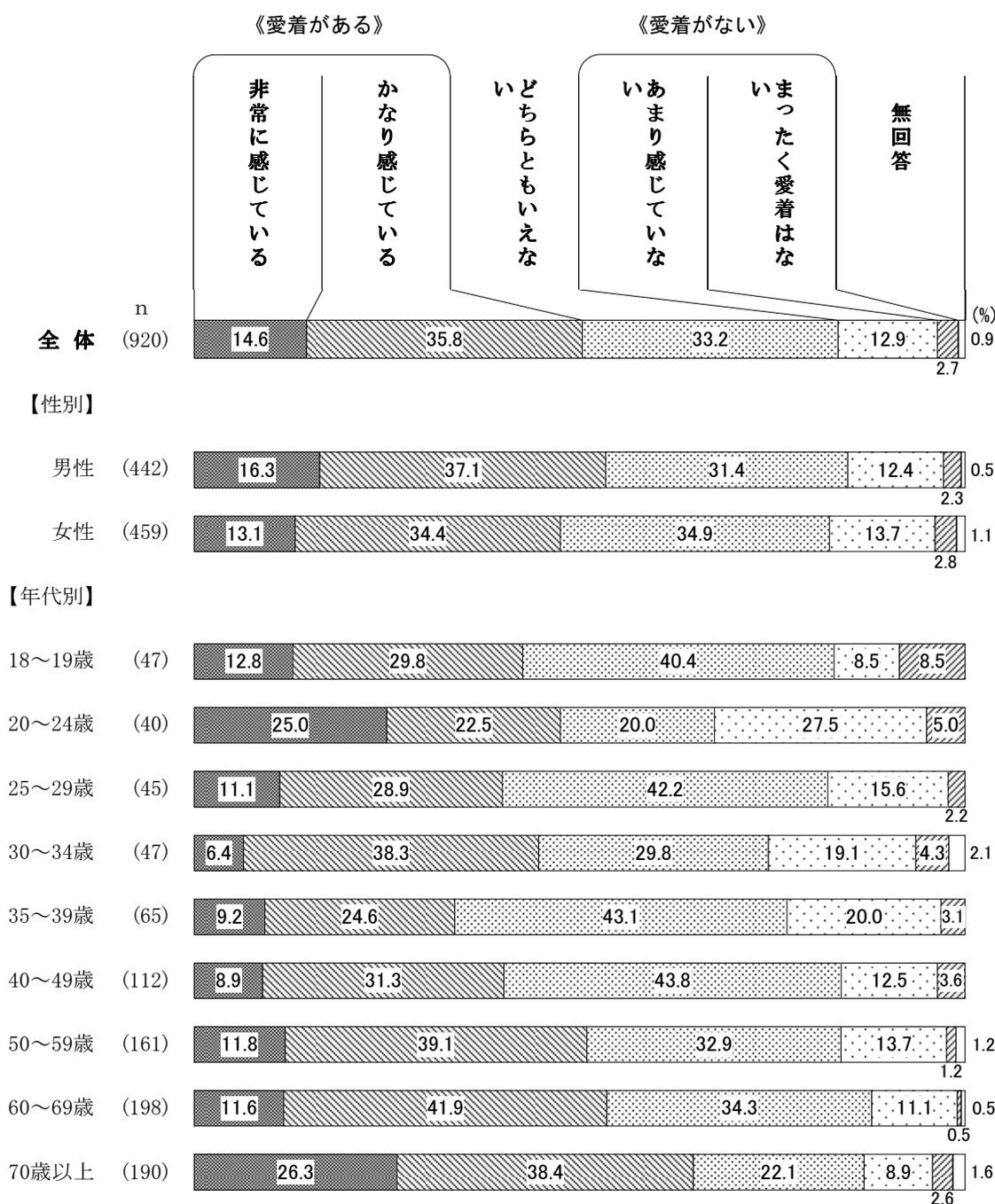


瑞穂町に愛着を「非常に感じている」は14.6%、「かなり感じている」は35.8%で、両者をあわせた《愛着がある》は50.4%となっている。一方、《愛着がない》(「まったく愛着はない」と「あまり感じている」の合計)は15.6%となっている。

性別にみると、《愛着がある》（男性：53.4%、女性：47.5%）は男性でより多くなっている。

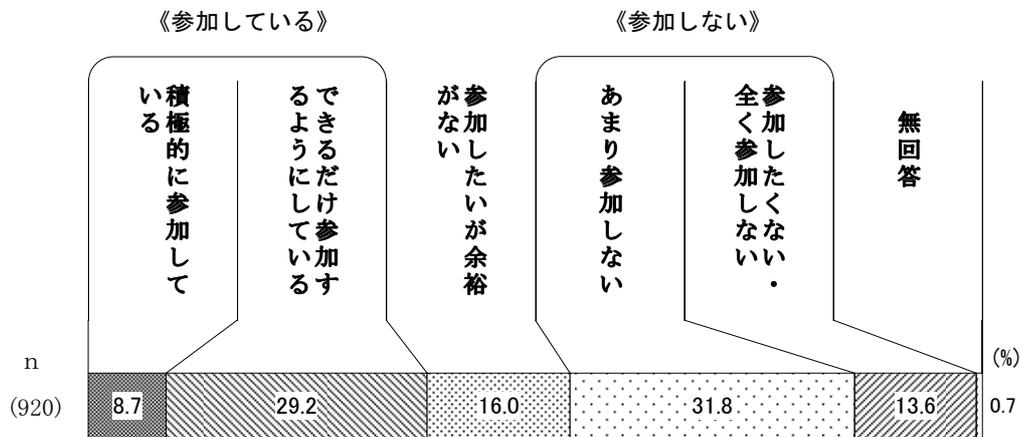
年代別にみると、《愛着がある》は40代以下では3割から4割台だが、50代以上で半数を超え、70歳以上では64.7%と多くなっている。一方、《愛着がない》は20代前半で32.5%と他の年代より多くなっている。

性別、年代別



(4) 地域活動への参加状況

問4 あなたは、町が主催する行事や町内会の行事など地域の活動に積極的に参加する方ですか、それともしない方ですか。(○は1つ)(全ての方)

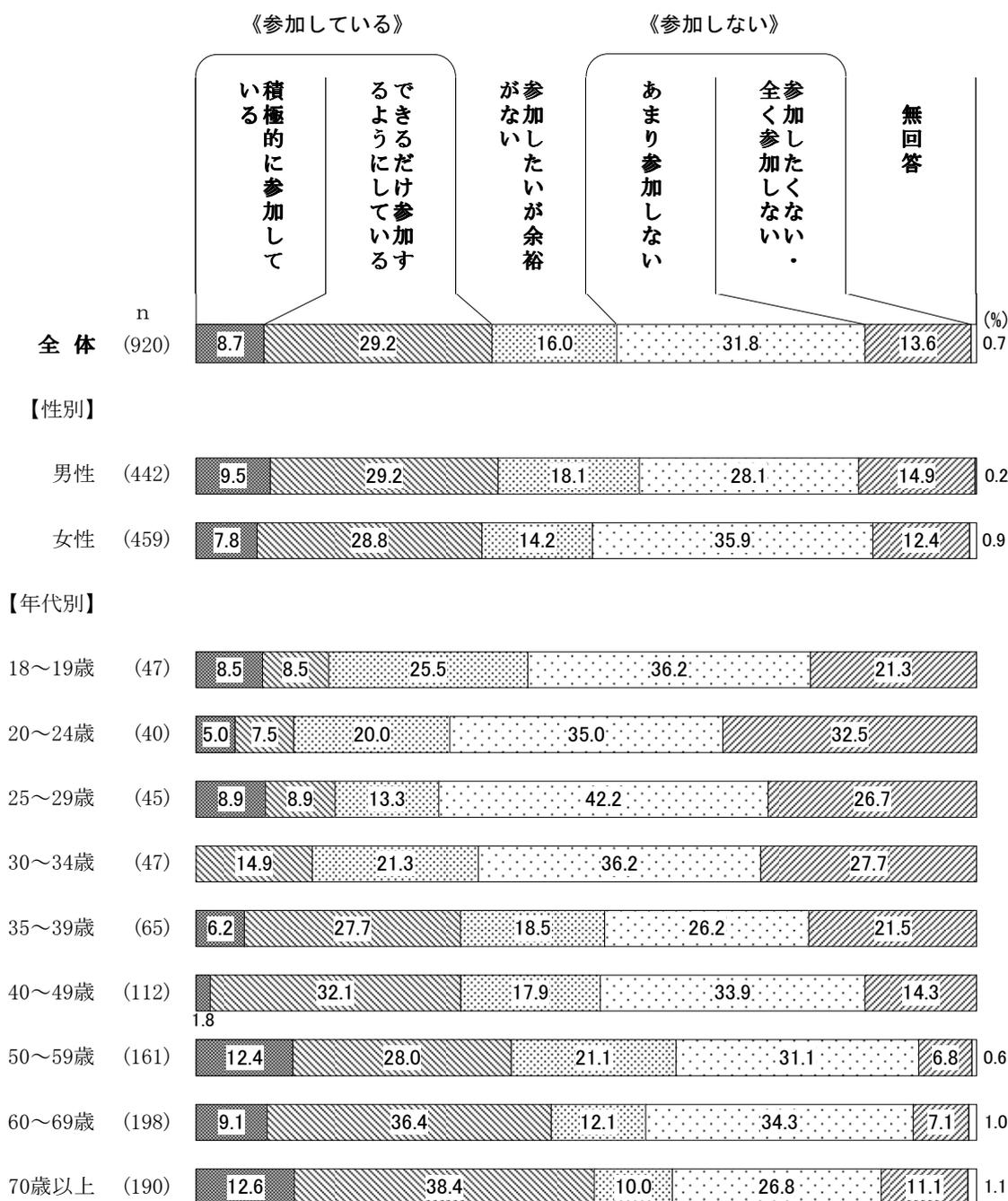


町が主催する行事や町内会の行事など地域の活動に、「積極的に参加している」は8.7%にとどまるが、「できるだけ参加するようにしている」は29.2%となっており、両者をあわせた《参加している》は37.9%となっている。一方、「参加したくない・全く参加しない」は13.6%、「あまり参加しない」は31.8%で、両者をあわせた《参加しない》は45.4%となっており、《参加している》を7.5ポイント上回っている。

性別にみると、《参加しない》（男性：43.0%、女性：48.3%）は女性でやや多い。

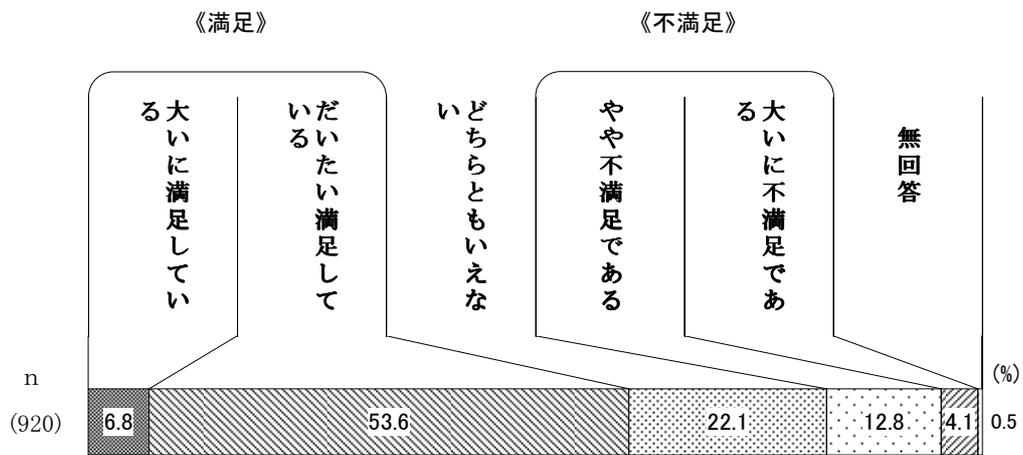
年代別にみると、《参加している》は30代前半までは1割台と少ないが、以降は年代が上がるほど多くなり、70歳以上で51.0%となっている。一方、《参加しない》は、40代までは《参加している》を上回っており、特に20代前半（67.5%）および後半（68.9%）、30代前半（63.9%）で6割台、20歳未満で57.5%と多くなっている。

性別、年代別



(5) 生活の満足度

問5 あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。(○は1つ)(全ての方)

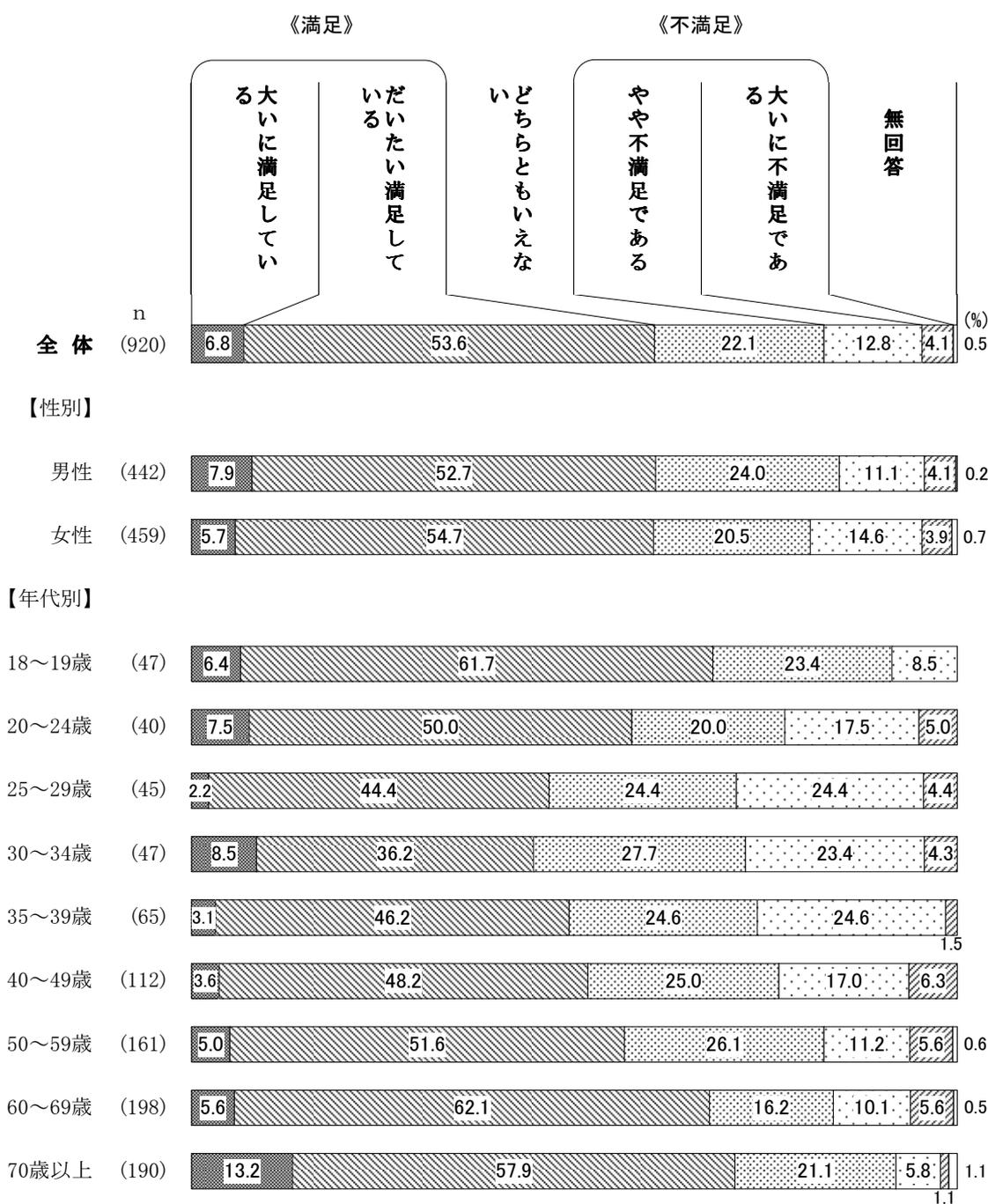


現在の生活の満足度は、「大いに満足している」は6.8%と少ないが、「だいたい満足している」が53.6%を占めており、両者をあわせた《満足》は60.4%となっている。一方、《不満足》（「大いに不満足である」と「やや不満足である」の合計）は16.9%となっている。

性別にみても、大きな違いはみられない。

年代別にみると、《満足》は70歳以上が71.1%、20歳未満（68.1%）と60代（67.7%）が6割台となっている。《不満足》は20代前半から40代まで2割台と比較的多くなっている。

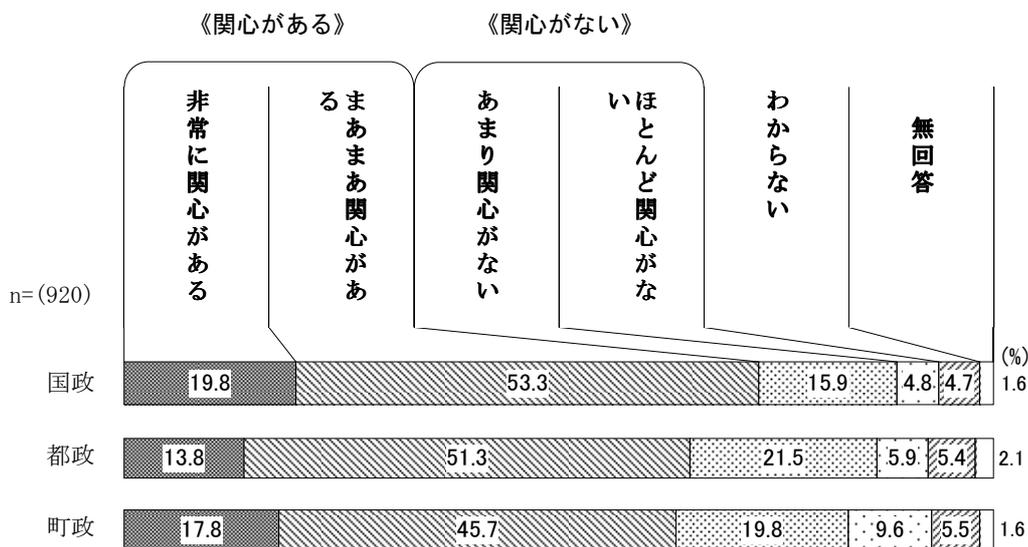
性別、年代別



3. 政治や町政への参加

(1) 政治への関心度

問6 あなたは、日頃から政治に関心をお持ちですか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。(〇はそれぞれ1つ) (全ての方)



日頃から政治への関心について聞いたところ、国政では「非常に興味がある」が19.8%、「まあまあ興味がある」が53.3%で両者をあわせた《関心がある》は73.1%となっている。同様に《関心がある》は都政で65.1%、町政で63.5%となっている。国政では7割を超えるが、都政、町政では65%前後となっている。

各項目間での分析をわかりやすくするために、下記のように5段階の評価に点数を与え、政治への関心度を高・中・低の3段階に区分した。

「非常に興味がある」の回答数×5点 「まあまあ興味がある」の回答数×4点 「あまり関心がない」の回答数×3点 「ほとんど関心がない」の回答数×2点 「わからない」の回答数×1点	}	国政、都政、町政それぞれの合計
--	---	-----------------

上記のように得点化し、合計得点によって

- 「関心 高」(15点～13点)
- 「関心 中」(12点～10点)
- 「関心 低」(9点以下)

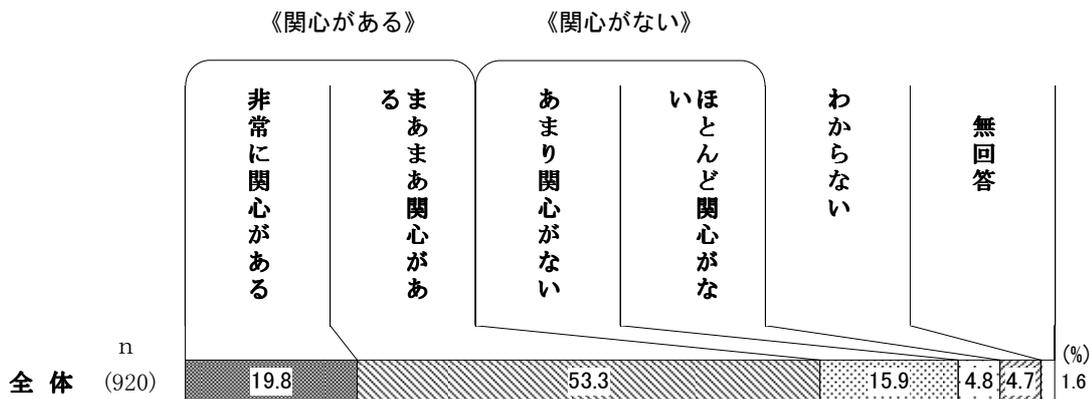
と区分した。

例) 国政で「わからない」(1点)、都政で「あまり関心がない」(3点)、町政で「まあまあ興味がある」(4点)と選んだ方の合計は1点+3点+4点で合計8点となり、「関心度 低」に分類される。

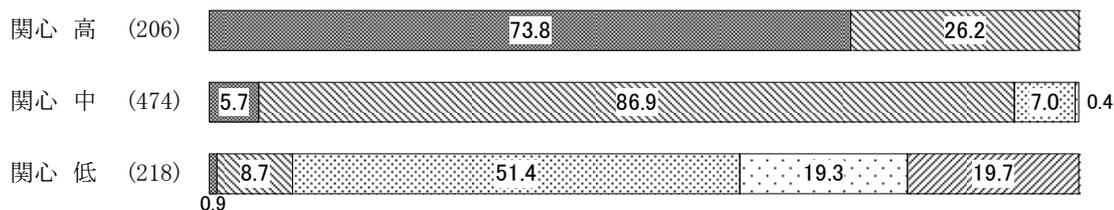
前述の手法によると、“関心 高”は国政、都政、町政いずれも「非常に興味がある」が多く、“関心中”では「まあまあ興味がある」、「関心 低」では「あまり興味がない」が多くなり、各レベルの関心度を適切に反映していることが確認できる。

政治への関心度別

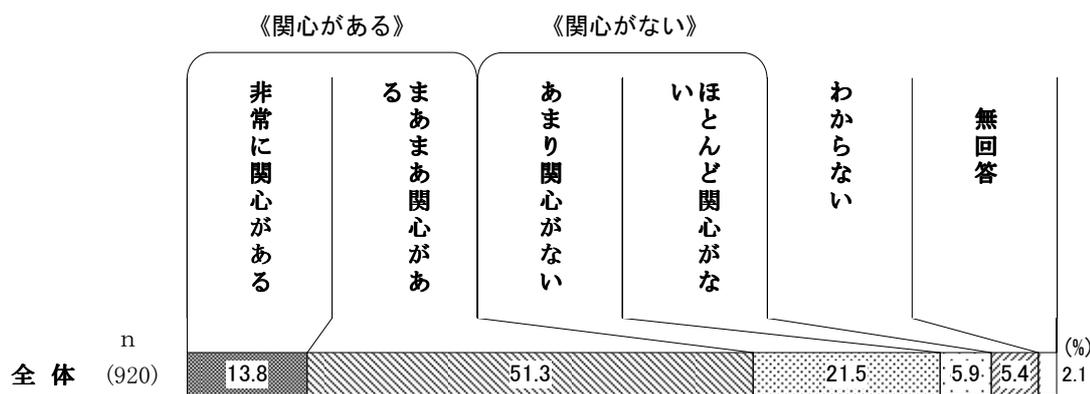
国政



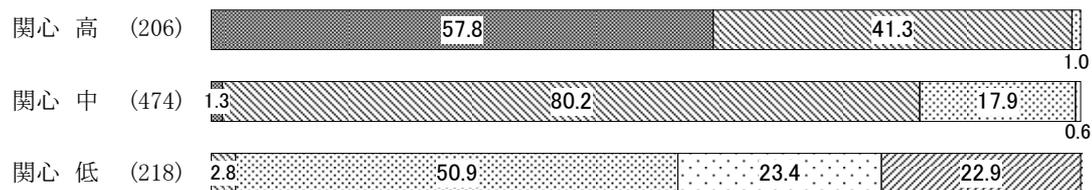
【政治への関心度別】



都政

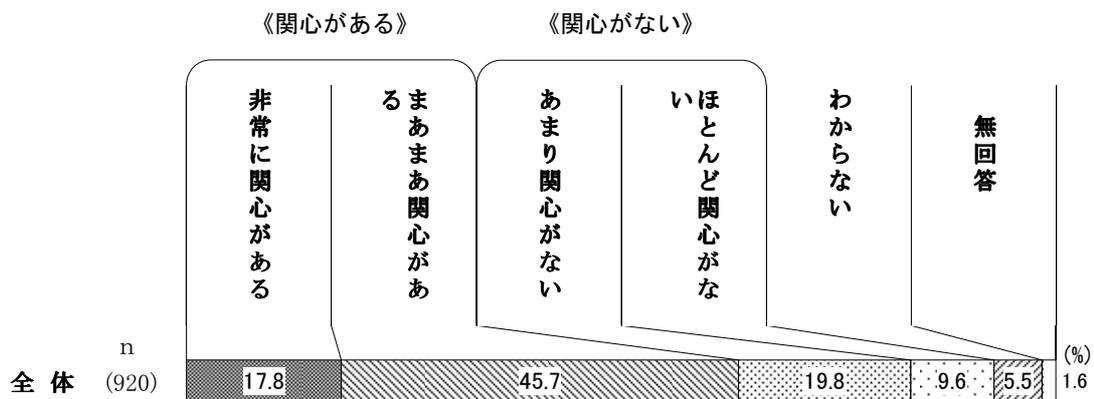


【政治への関心度別】

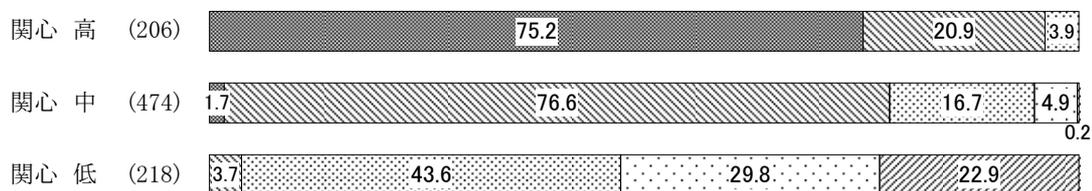


第2章 調査結果の詳細

町政



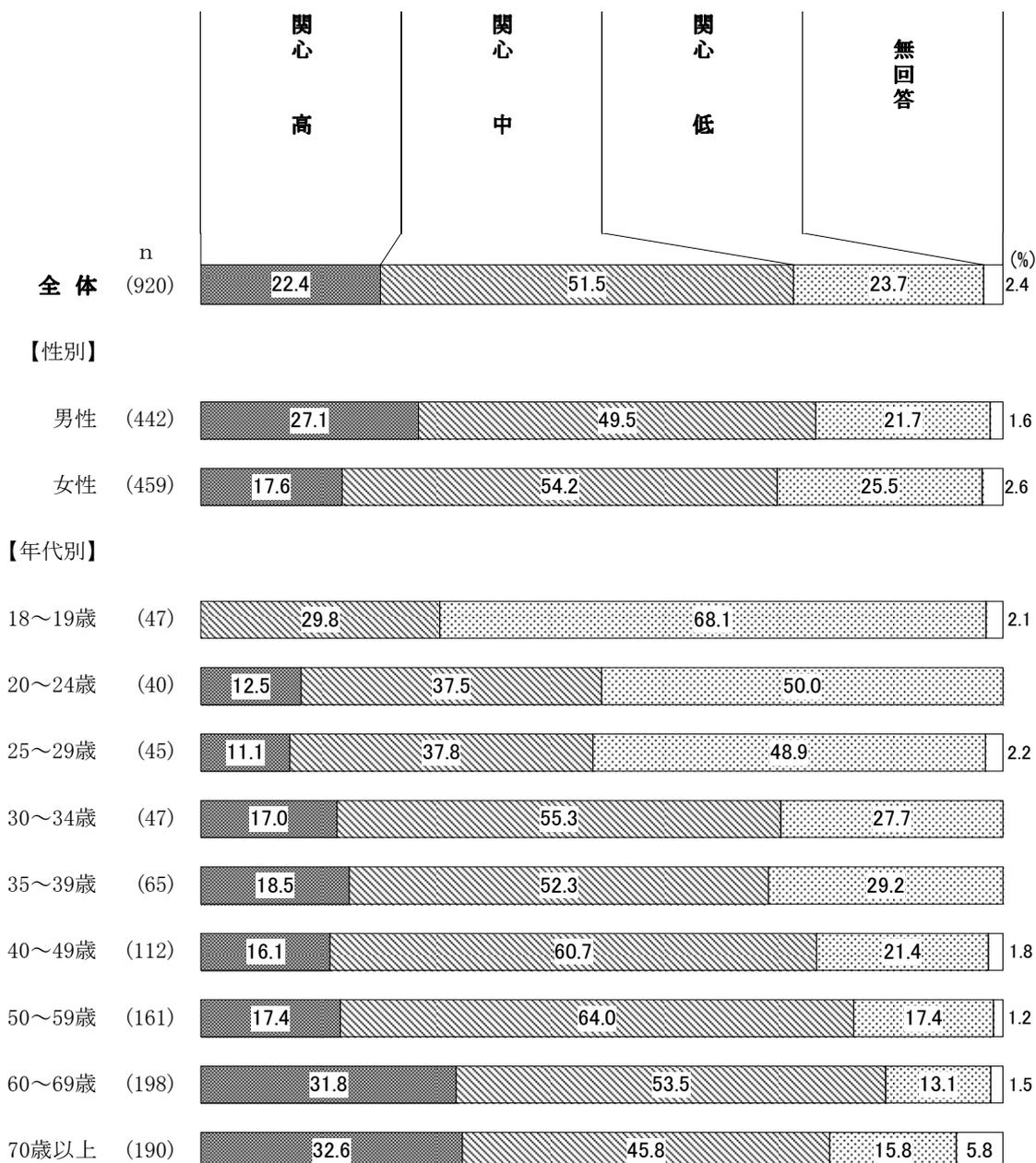
【政治への関心度別】



性別に関心度をみると、「関心 高」（男性：27.1%、女性：17.6%）は男性でより多く、「関心 中」（男性：49.5%、女性：54.2%）と「関心 低」（男性：21.7%、女性：25.5%）は女性でより多い。

年代別に関心度をみると、20代までは「関心 低」が最も多く、特に20歳未満では68.1%と7割近くに達している。30代以上は“「関心 中」が多くなっている。「関心 高」が比較的多くなるのは60代以上（3割台）である。全体的に関心度は年代が上がるほど高くなる傾向を示している。

性別、年代別

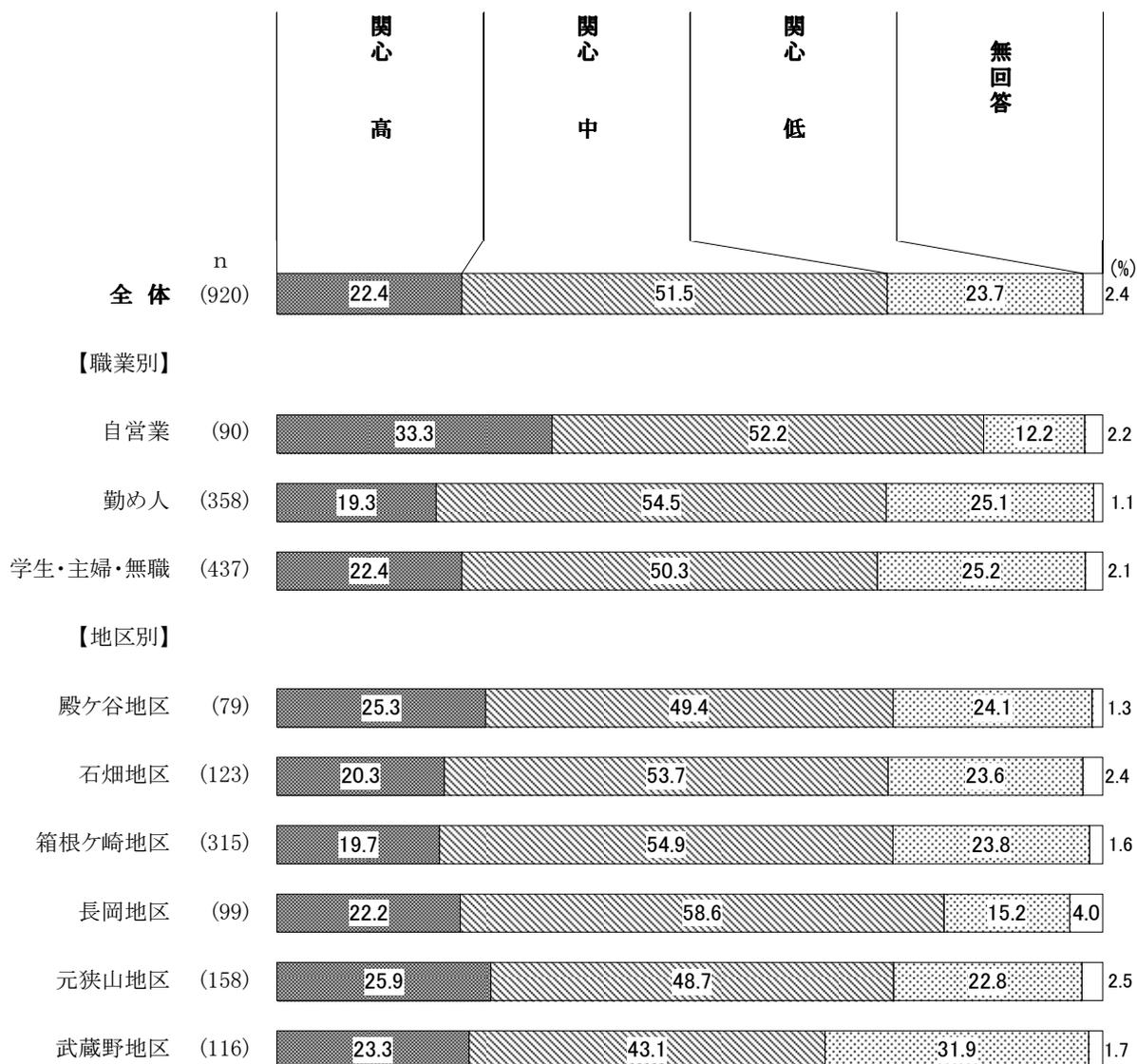


第2章 調査結果の詳細

職業（3区分）別に関心度をみると、いずれも「関心中」が5割台が多い。自営業では「関心高」が33.3%で3人に1人と比較的多くなっている。

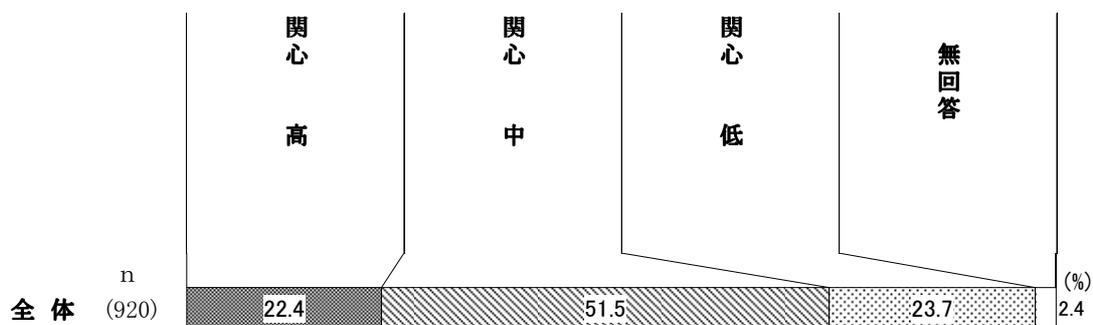
地区別に関心度をみると、いずれの地区も「関心中」が4割から5割を占めて多くなっている。「関心高」は殿ヶ谷地区（25.3%）と元狭山地区（25.9%）が2割台半ばと他の地区よりやや多い。「関心低」は武蔵野地区で31.9%と他の地区より多くなっている。

職業、地区別

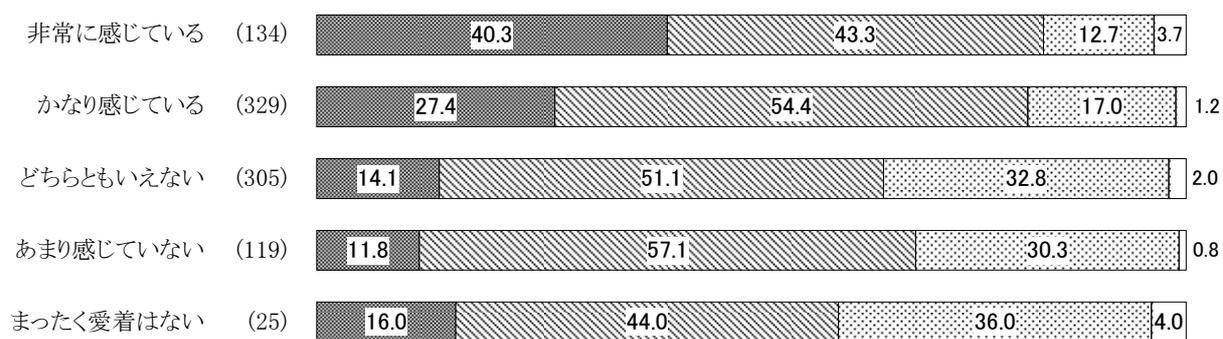


町への愛着度別に関心度をみると、“非常に感じている”は「関心 高」で40.3%と多く、“かなり感じている”でも27.4%となっている。一方、“どちらともいえない”や“あまり感じていない”、“まったく愛着はない”では「関心 低」が3割台となっており、町への愛着を感じている層ほど政治への関心も高いという傾向がみられる。

町への愛着度別

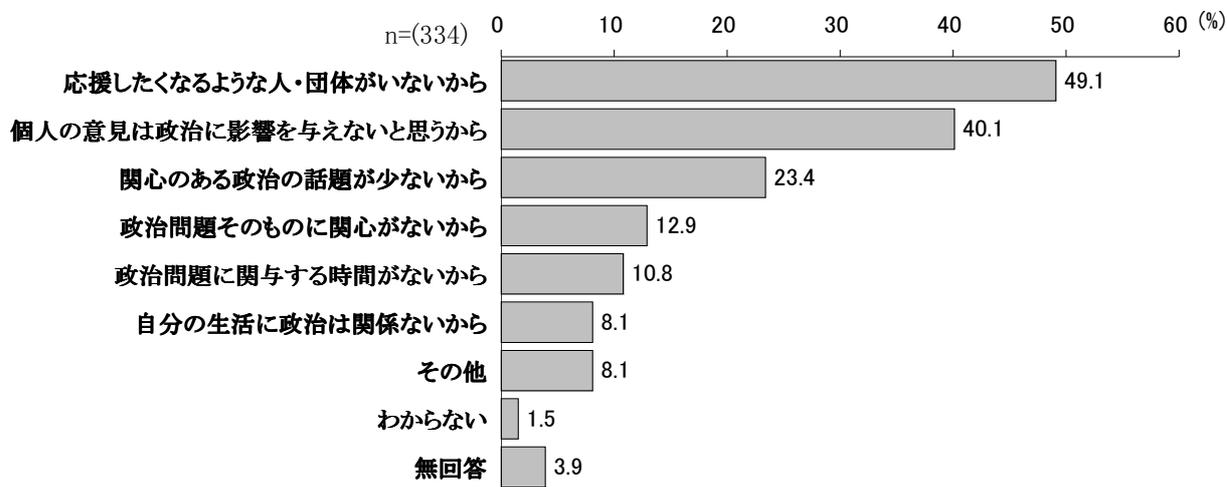


【町への愛着度別】



(2) 政治に関心がない理由

【問6で「あまり関心がない」または「ほとんど関心がない」とお答えの方に】
 問6-1 政治に関心がないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

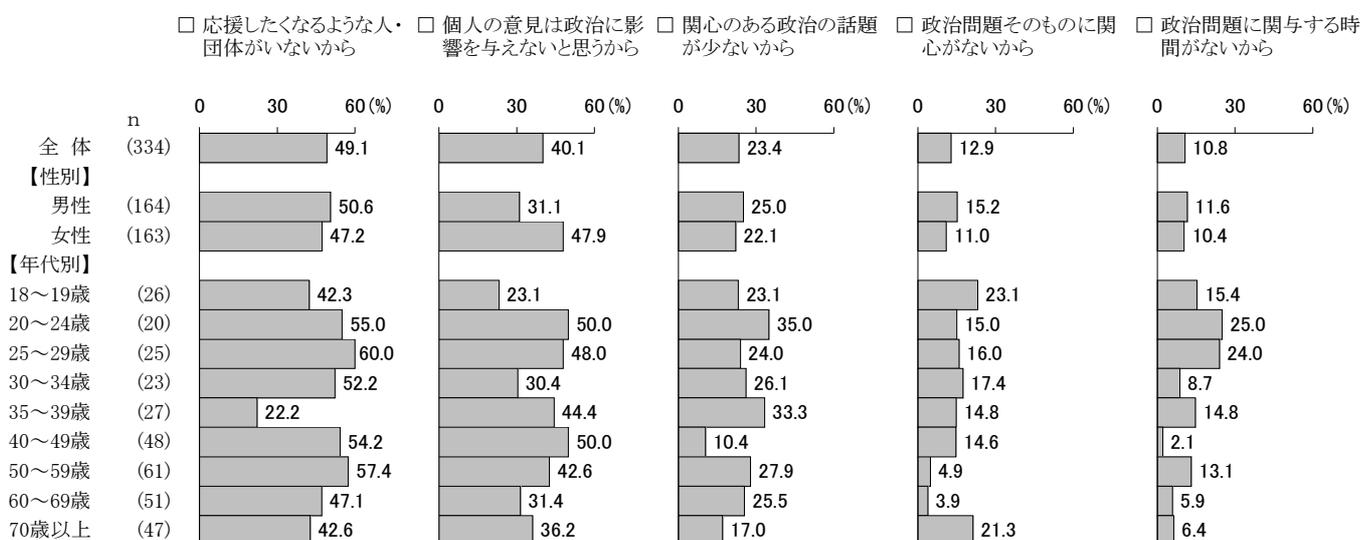


政治に関心がない理由は、「応援したくなるような人・団体がいないから」が49.1%で最も多く、「個人の意見は政治に影響を与えないと思うから」が40.1%と、この2項目が4割台で多くなっている。以下、「関心のある政治の話題が少ないから」(23.4%)、「政治問題そのものに関心がないから」(12.9%)、「政治問題に関与する時間がないから」(10.8%)が続いている。

性別にみると、「個人の意見は政治に影響を与えないと思うから」は女性（47.9%）が男性（31.1%）を16.8ポイント上回っている。

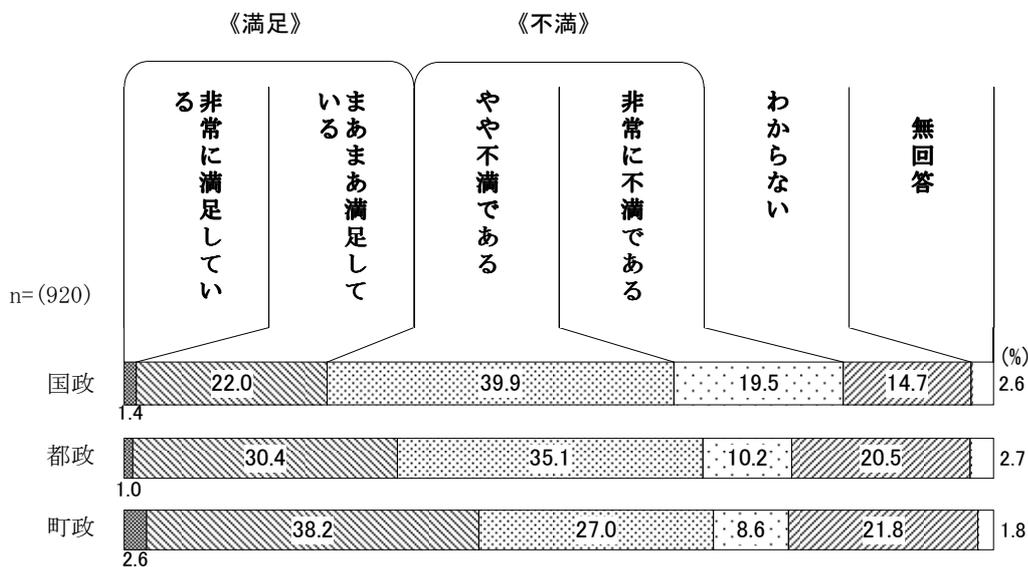
年代別にみると、「応援したくなるような人・団体がいないから」は20代後半が60.0%と多く、他の年代でも最も多くあげられているが、30代後半では22.2%と少なくなっている。「個人の意見は政治に影響を与えないと思うから」は20代で5割前後と多く、30代前半で30.4%に低下するものの、30代後半から50代にかけて再び上昇している。この他、「関心のある政治の話題が少ないから」は20代前半（35.0%）、30代後半（33.3%）で3割台、「政治問題に関する時間がないから」は20代前半（25.0%）と後半（24.0%）で2割台と比較的多くなっている。

性別、年代別（上位5項目）



(3) 今の政治への満足度

問7 あなたは、今の政治にどの程度満足していますか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。(〇はそれぞれ1つ)(全ての方)



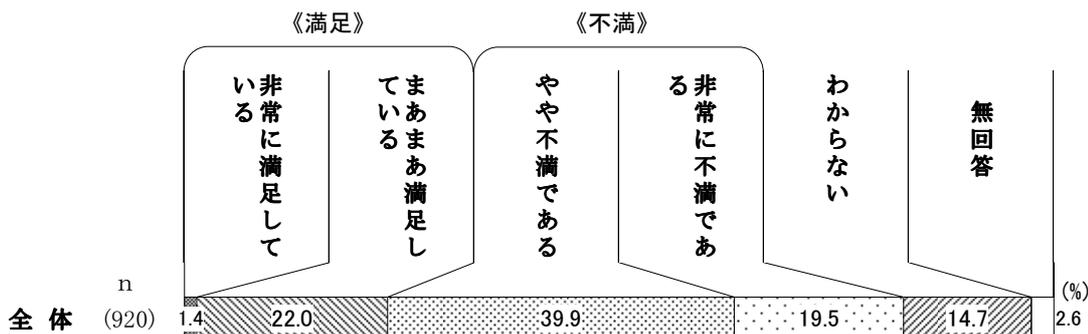
今の政治の満足度は、「非常に満足している」はいずれも1割未満にとどまるが、「まあまあ満足している」をあわせた《満足》で見ると、国政は23.4%、都政は31.4%、町政は40.8%となり、身近になるほど満足度は大きくなっている。一方、《不満》(「非常に不満である」と「やや不満である」の合計)は国政が59.4%と6割近くを占め、都政でも45.3%となっている。町政では《不満》が35.6%となっており、《満足》が《不満》を上回っている。

政治への関心度別にみると、政治のレベルに関わらず、《満足》は関心度が高くなるほど多くなっている。なお、“関心 低”では「わからない」という回答も多くなっている。

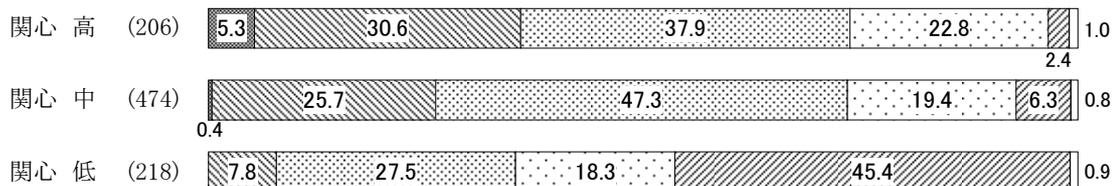
国政は関心度に関わらず《不満》が多く、“関心 高”で60.7%、“関心 中”で66.7%とともに6割台と多くなっている。都政においては“関心 高”では《満足》、“関心 中”では《不満》がより多く、町政では“関心 高”、“関心 中”ともに《満足》が《不満》を上回っている。

政治への関心度別

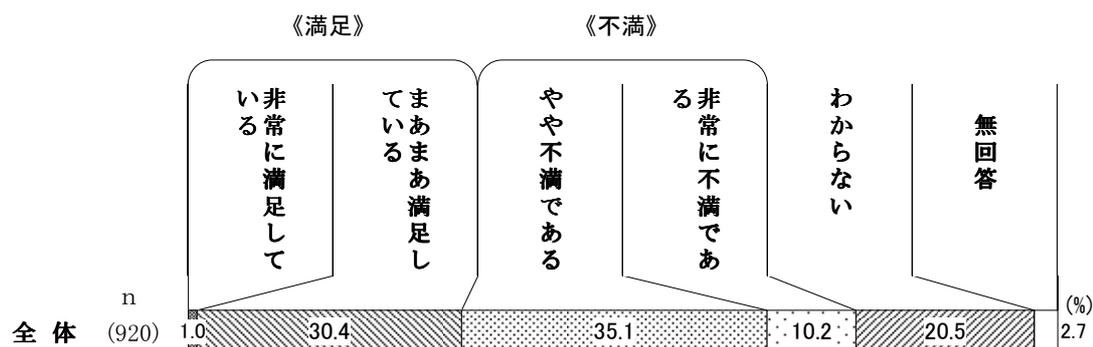
国政



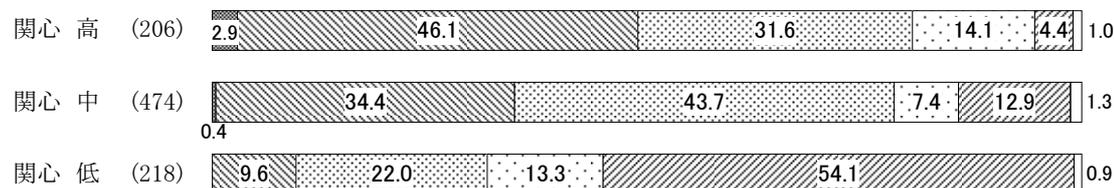
【政治への関心度別】



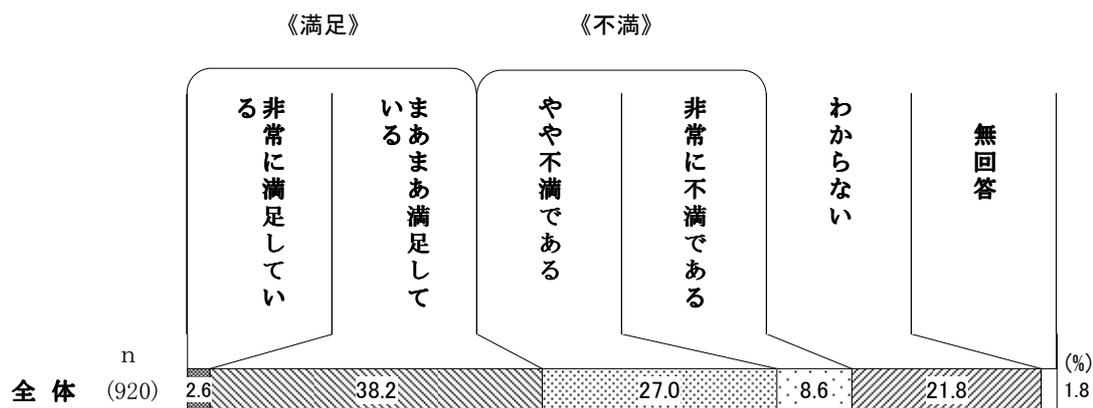
都政



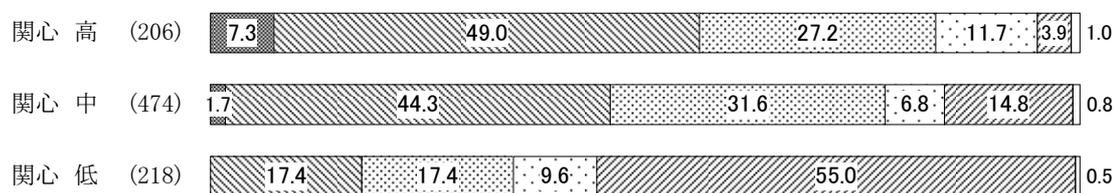
【政治への関心度別】



町政

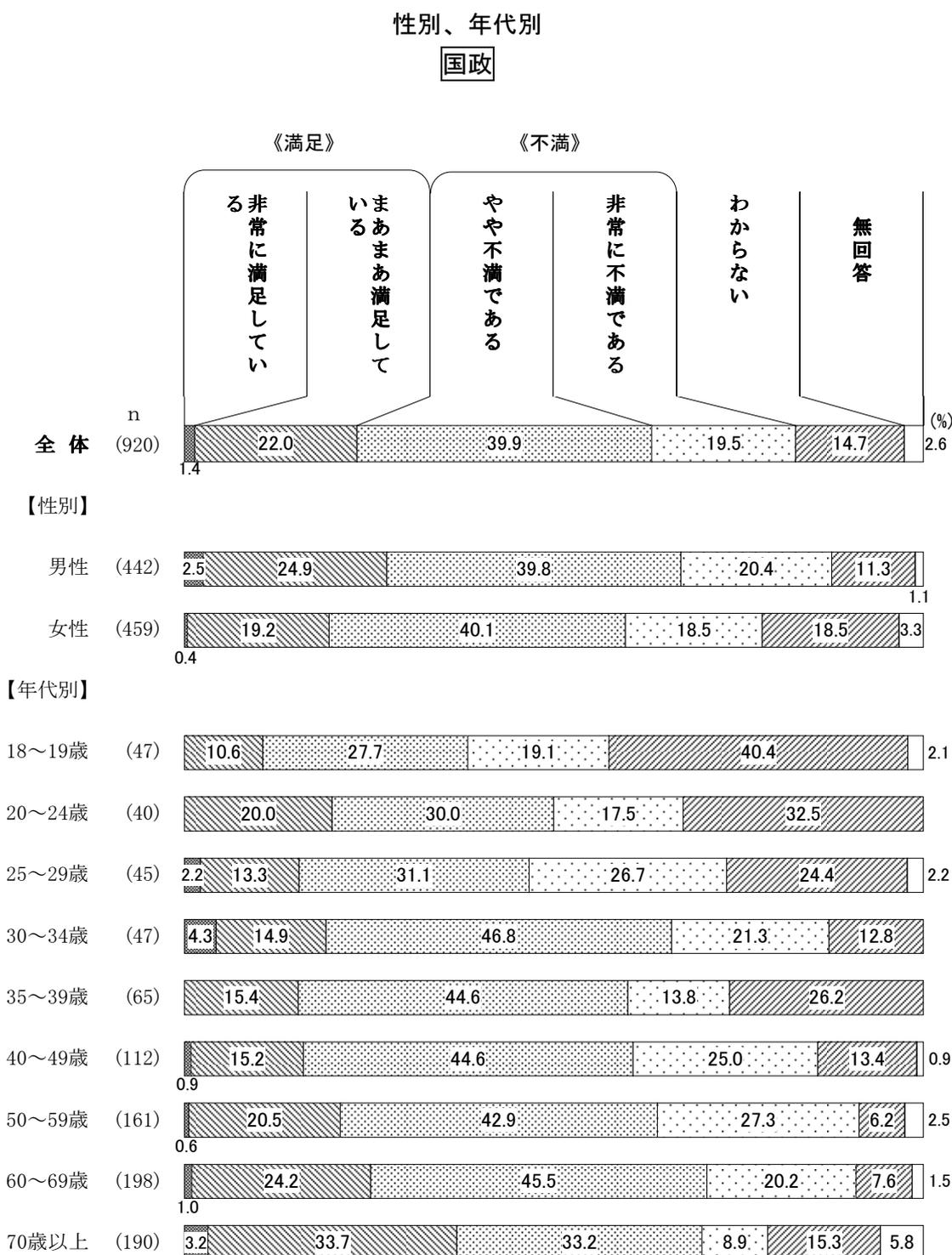


【政治への関心度別】



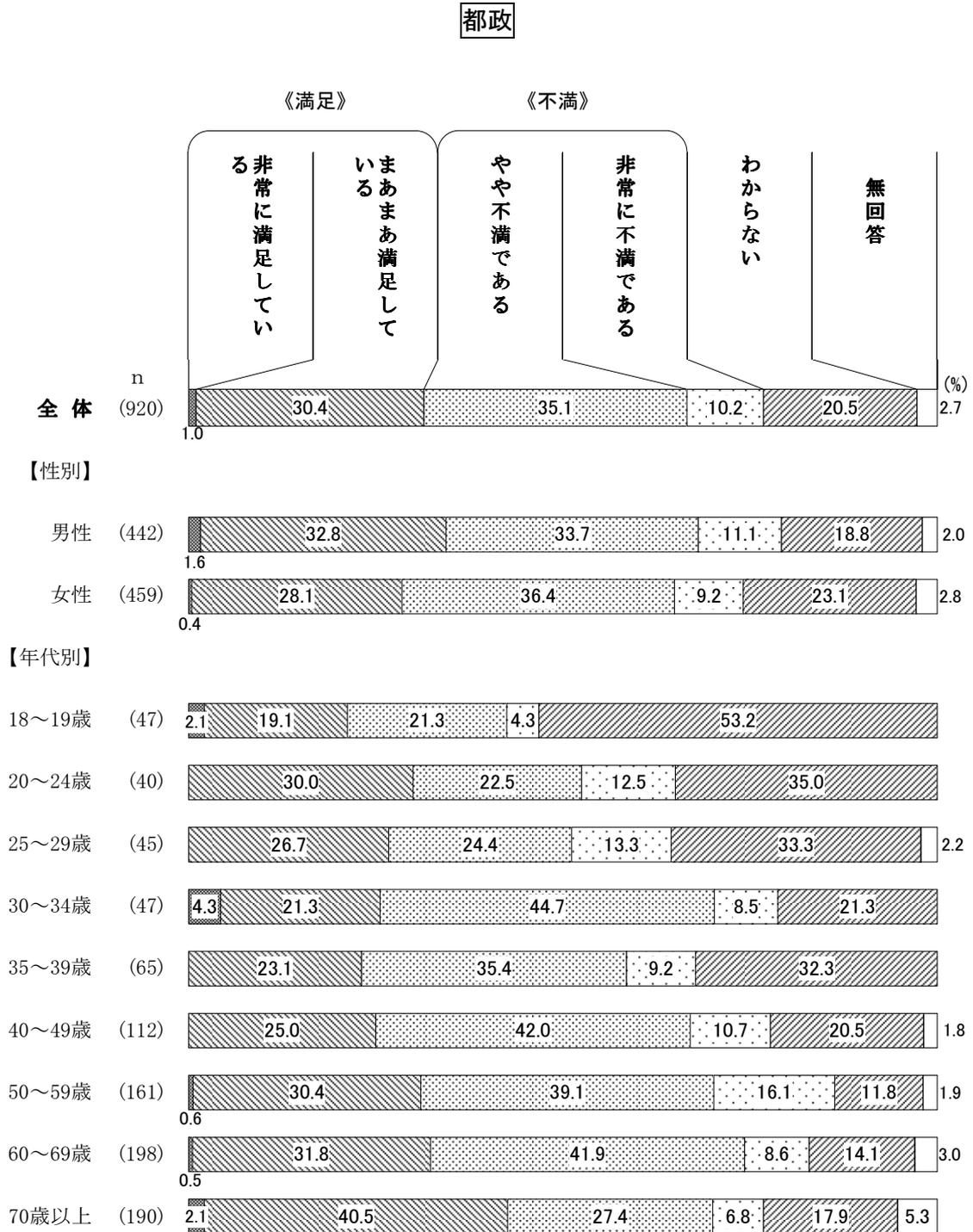
国政を性別にみると、いずれも《不満》が6割近くを占める。《満足》（男性：27.4%、女性：19.6%）は男性でより多くなっている。

国政を年代別にみると、《満足》は70歳以上で36.9%となっているが、それ以外の年代では1割から2割台となっている。《不満》は50代が70.2%、30代前半（68.1%）、40代（69.6%）と60代（65.7%）が6割台と多くなっており、すべての年代で《不満》が《満足》を上回っている。



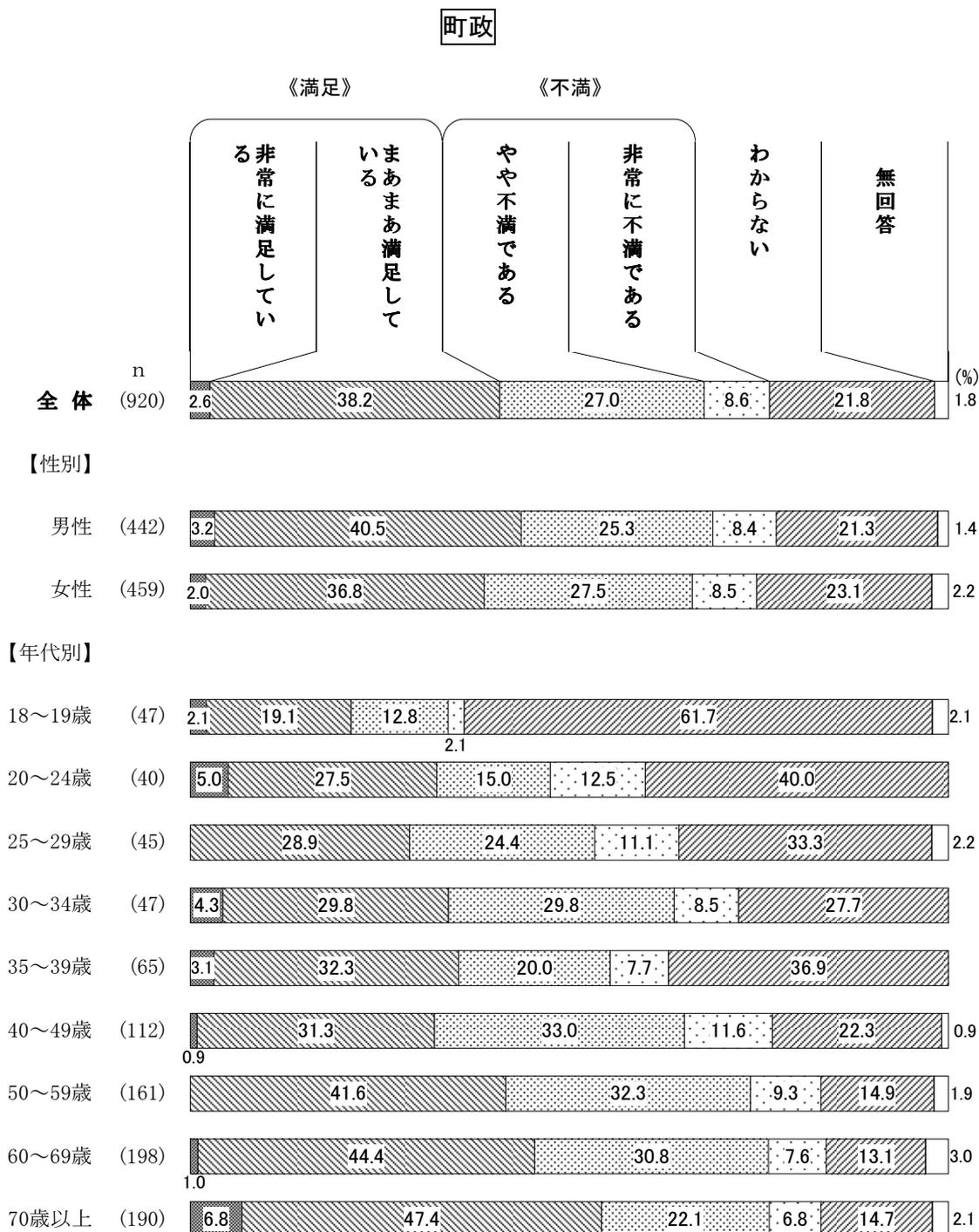
第2章 調査結果の詳細

都政を性別にみると、《満足》（男性：34.4%、女性：28.5%）は男性でやや多くなっている。
都政を年代別にみると、《満足》は70歳以上で42.6%となっており、年代を通じて唯一《不満》（34.2%）を上回っている。《不満》は30代前半（53.2%）、40代（52.7%）、50代（55.2%）、60代（50.5%）で5割台を占めている。



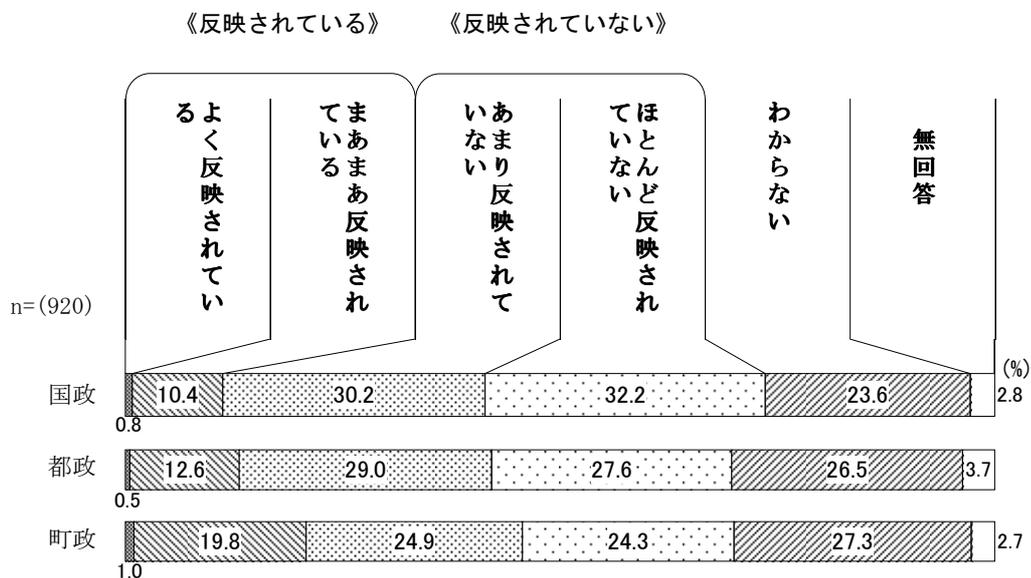
町政を性別にみると、《満足》（男性：43.7%、女性：38.8%）は男性でより多くなっている。

町政を年代別にみると、《満足》は50代以上で4割台と比較的多く、70歳以上では54.2%となっている。《不満》は40代（44.6%）と50代（41.6%）で4割台、30代前半でも38.3%と4割近くを占めている。20歳未満では、「わからない」（61.7%）をあげる人が他の年代より多い。



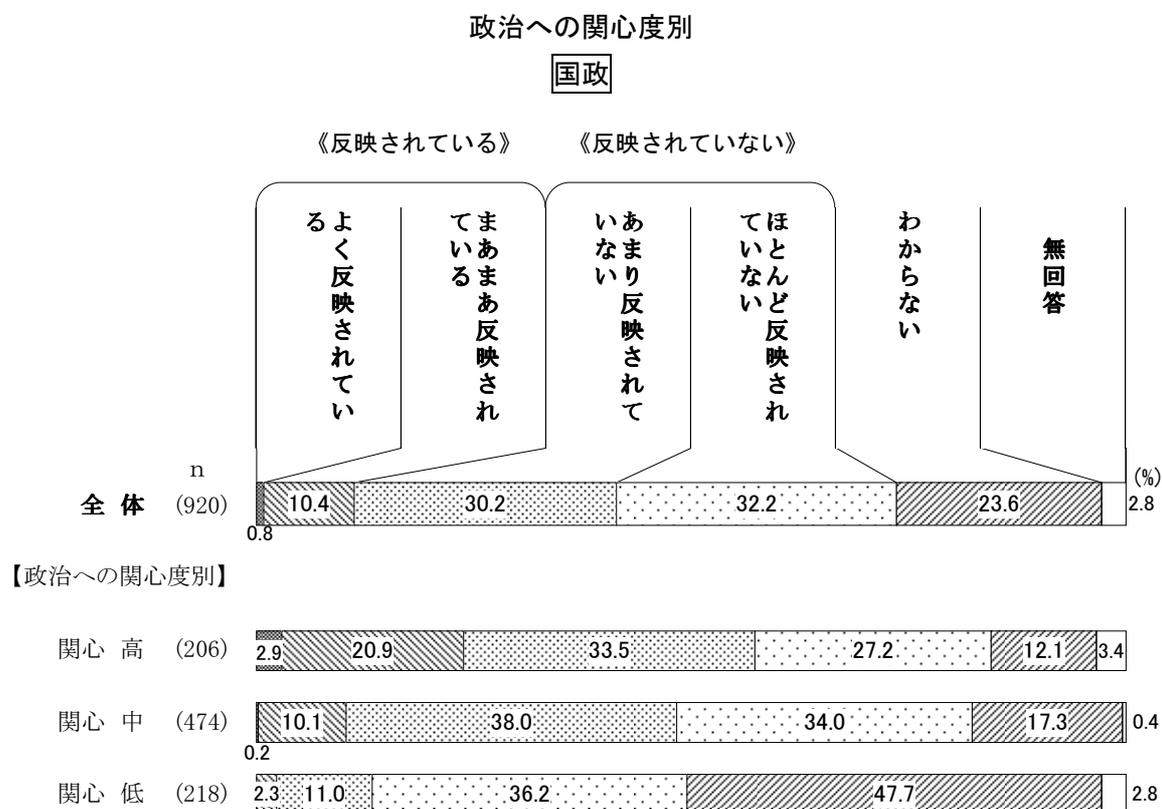
(4) 自身の考えや要望の政治への反映度

問8 あなたのお考えや要望は、政治にどの程度反映されていると感じていますか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。(〇はそれぞれ1つ)(全ての方)

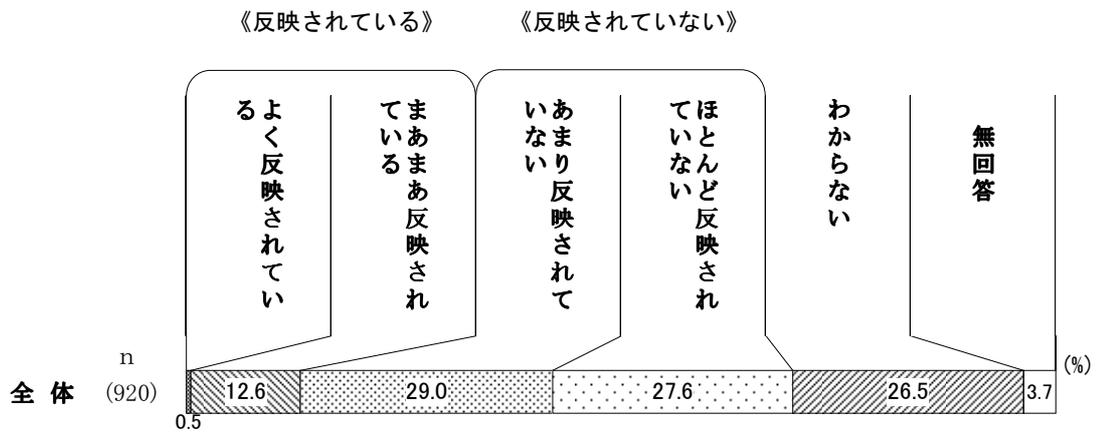


自分の考えや要望が政治にどの程度反映されていると感じるか聞いたところ、「よく反映されている」はいずれも1割未満にとどまるが、「まあまあ反映されている」をあわせた《反映されている》でみると、国政は11.2%、都政は13.1%、町政は20.8%となっている。一方、《反映されていない》(「ほとんど反映されていない」と「あまり反映されていない」の合計)は国政が62.4%、都政が56.6%、町政が49.2%となっている。

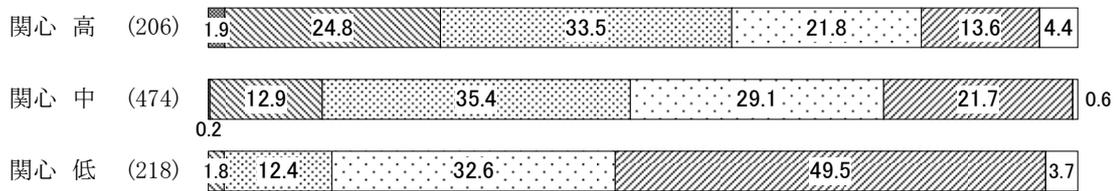
政治への関心度別にみると、政治のレベルに関わらず、《反映されている》は関心度が高くなるほど多くなっているが、すべての関心度で《反映されている》よりも《反映されていない》の方が多くなっている。なお、“関心 低”では「わからない」も47.7%と多くなっている。



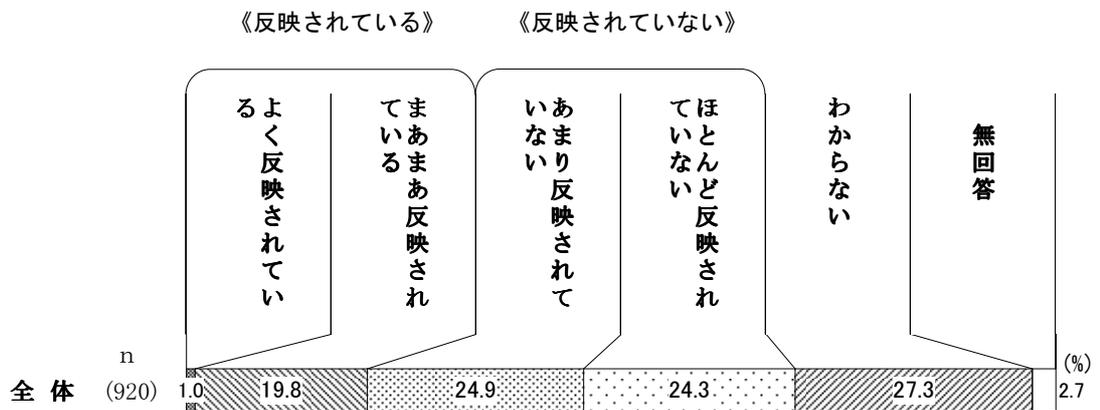
都政



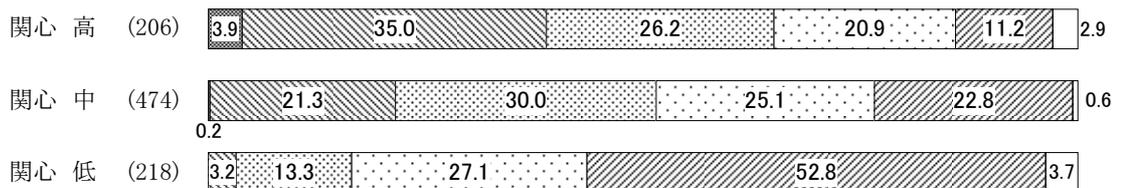
【政治への関心度別】



町政

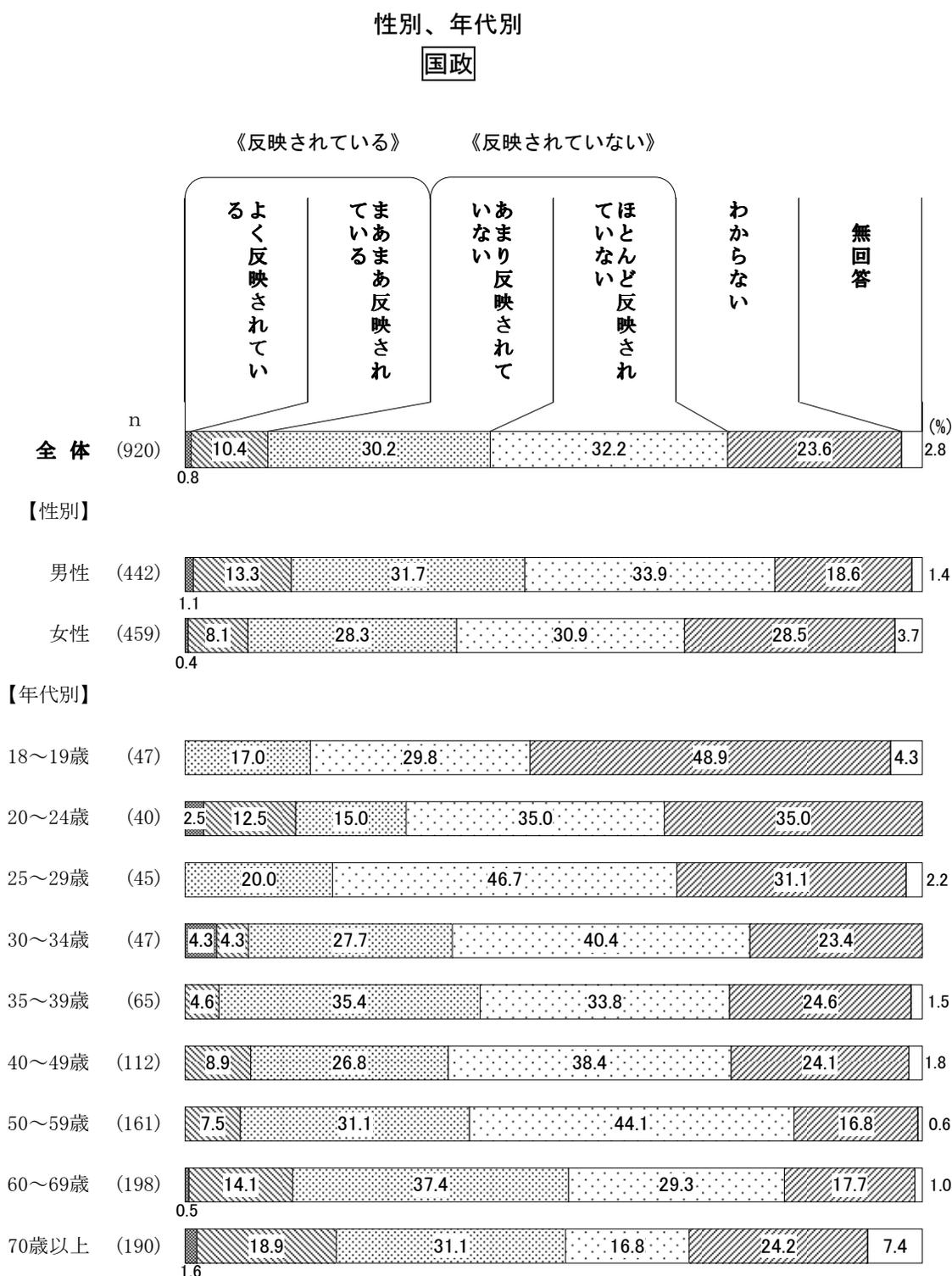


【政治への関心度別】



国政を性別にみると、いずれも《反映されていない》が多くを占める。特に男性では65.6%と、女性の59.2%より多くなっている。

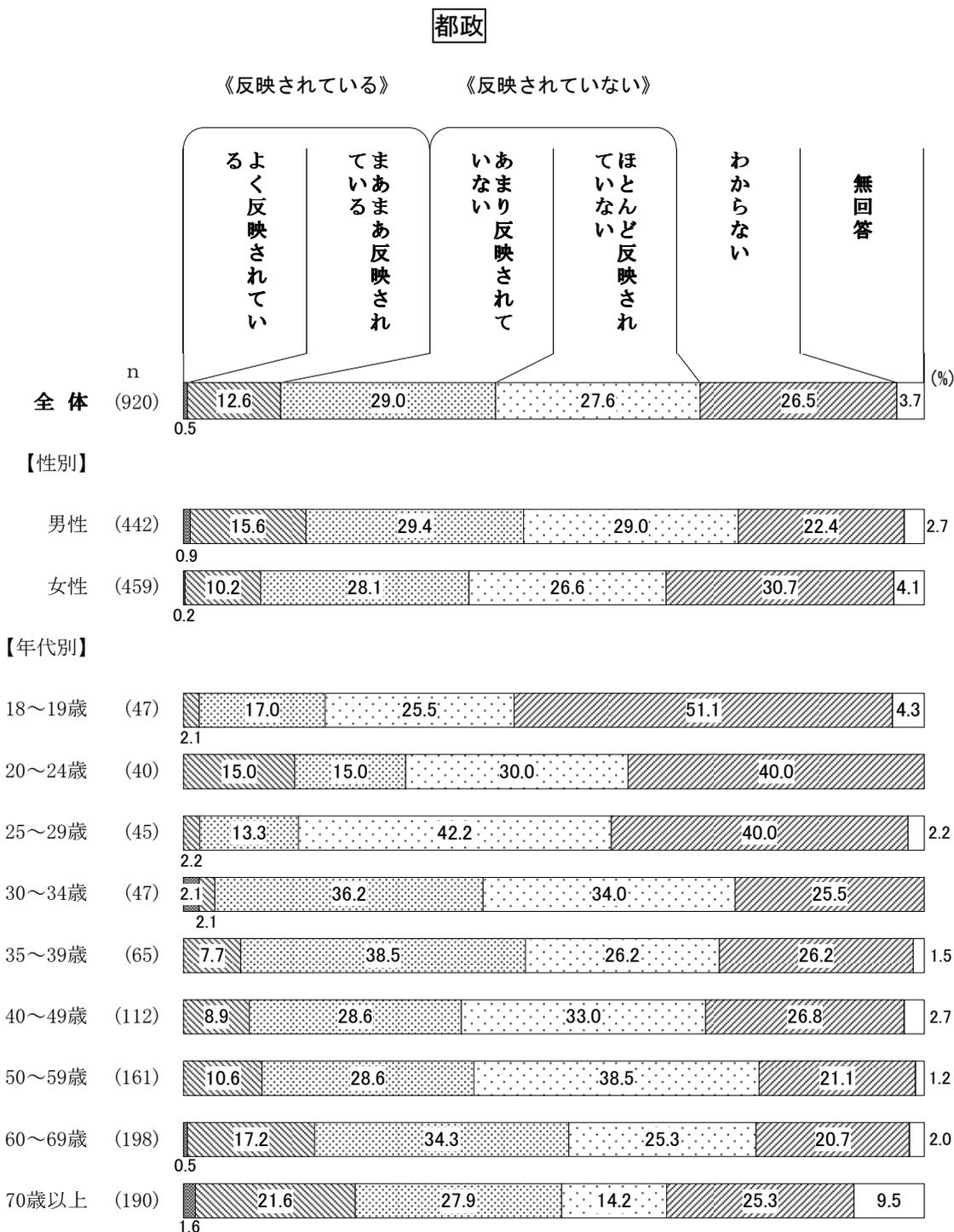
国政を年代別にみると、《反映されている》は70歳以上で20.5%、60代で14.6%となっているが、それ以外の年代では1割未満や回答がない。一方、《反映されていない》はすべての年代で《反映されている》を上回り、50代で75.2%、その他多くの年代でも6割台と多くなっている。



第2章 調査結果の詳細

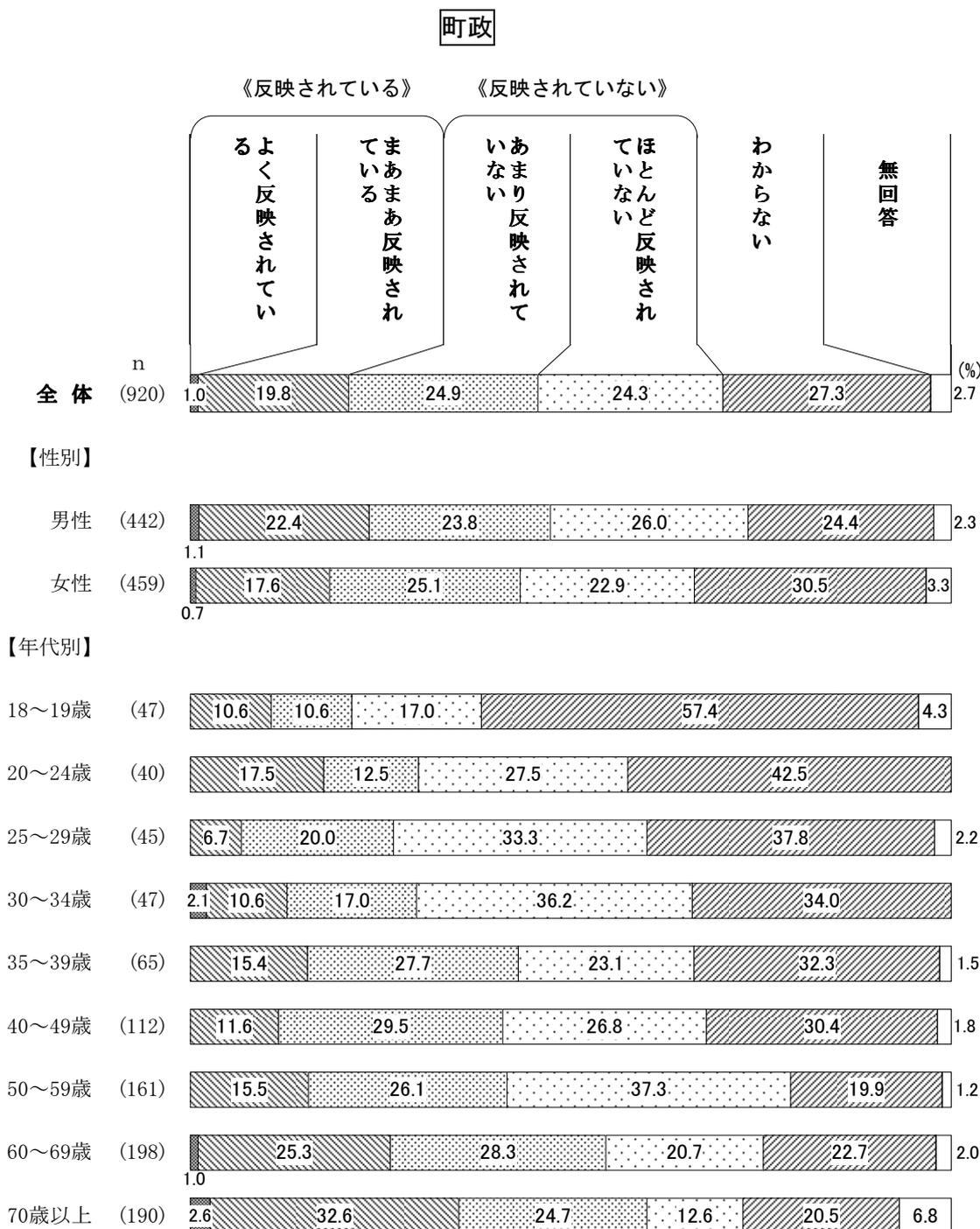
都政を性別にみると、いずれも《反映されていない》が5割以上を占める。《反映されている》(男性：16.5%、女性：10.4%)は男性でより多くなっている。

都政を年代別にみると、《反映されている》は70歳以上で23.2%となっている。一方、《反映されていない》はすべての年代で《反映されている》を上回り、30代前半で70.2%と多く、30代後半(64.7%)、40代(61.6%)、50代(67.1%)でも6割台と多くなっている。



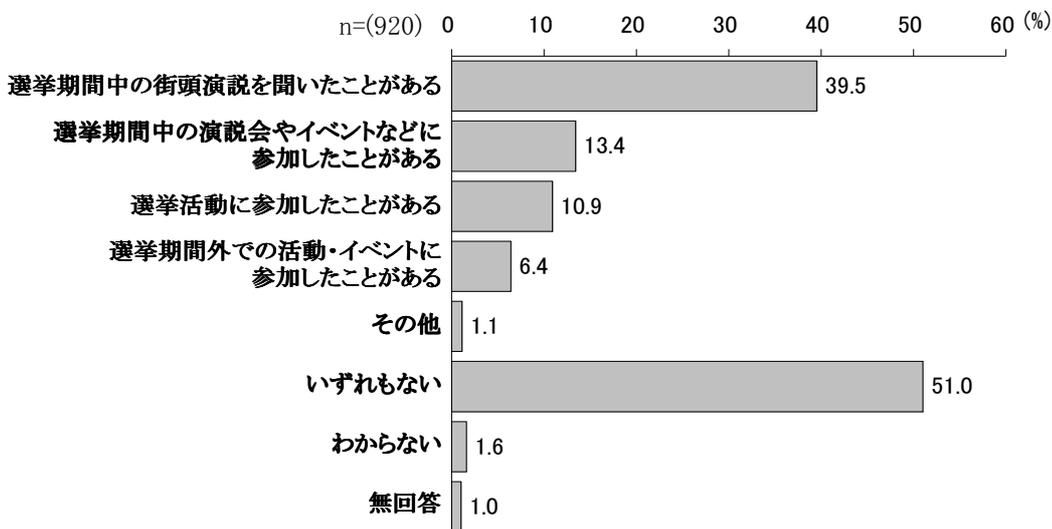
町政を性別にみると、いずれも《反映されていない》が多い。《反映されている》（男性：23.5%、女性：18.3%）は男性でより多くなっている。

町政を年代別にみると、《反映されている》は70歳以上で35.2%、60代で26.3%となっており、それ以外の年代では1割未満から1割台となっている。一方、町政でも国政や都政と同様にすべての年代で《反映されていない》が《反映されている》を上回っており、50代で63.4%、20代後半（53.3%）、30代前半（53.2%）、30代後半（50.8%）、40代（56.3%）でも5割台と多くなっている。また20歳未満では「わからない」が他の年代より多くなっている。



(5) 町議会議員が行う演説会等への参加状況

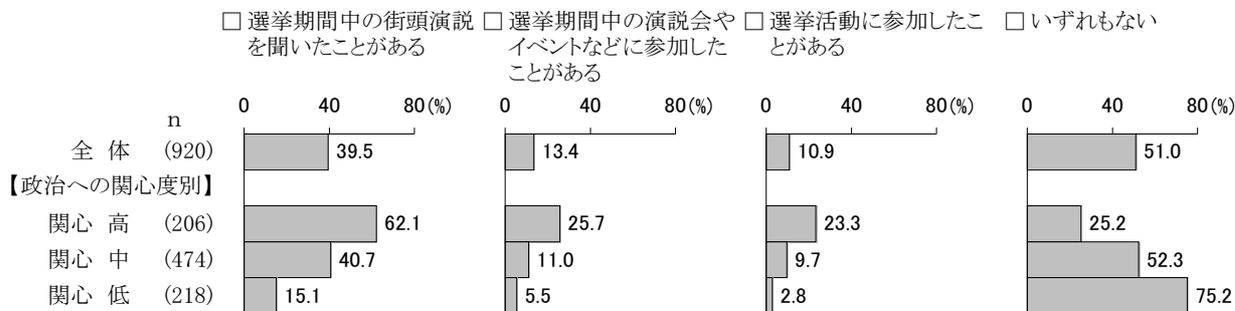
問9 あなたは、瑞穂町の町議会議員（候補を含む）が行っている演説会やイベント、街頭演説などに参加したことがありますか。（○はいくつでも）（全ての方）



町議会議員（候補を含む）が行っている演説会やイベント、街頭演説などへの参加状況は、「いずれもない」が51.0%で最も多い。参加経験のある中では、「選挙期間中の街頭演説を聞いたことがある」が39.5%で最も多く、以下「選挙期間中の演説会やイベントなどに参加したことがある」（13.4%）、「選挙活動に参加したことがある」（10.9%）、「選挙期間外での活動・イベントに参加したことがある」（6.4%）が続いている。

政治への関心度別にみると、上位3項目はいずれも関心度が高いほど多く、特に「選挙期間中の街頭演説を聞いたことがある」は“関心 高”で62.1%と多くなっている。「いずれもない」は関心度が低いほど割合が多く、“関心 低”で75.2%、“関心 中”でも52.3%となっている。

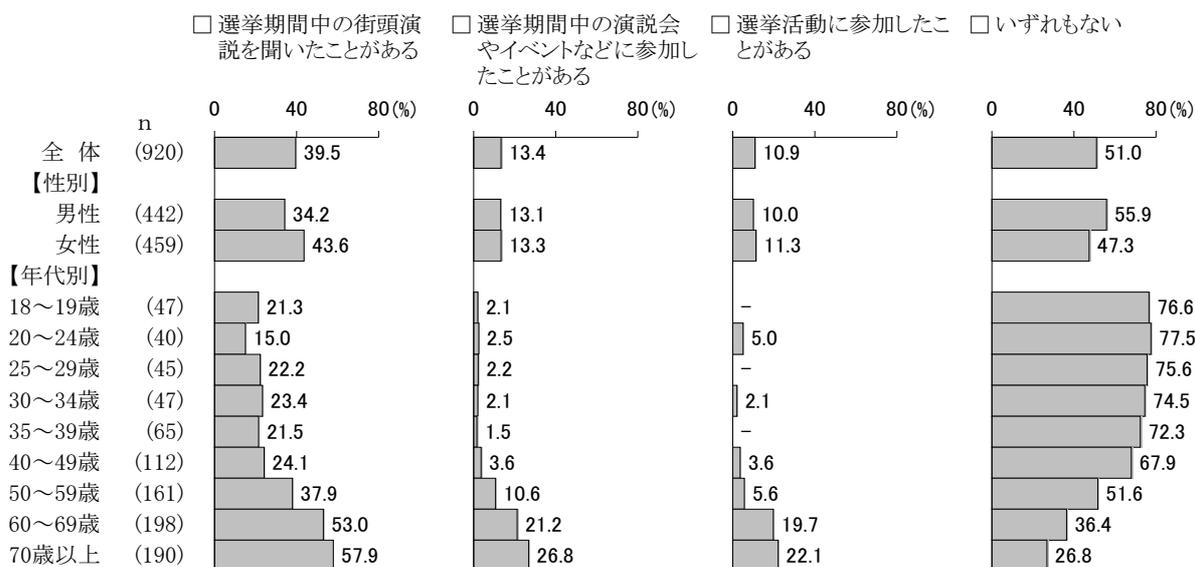
政治への関心度別（上位3項目＋「いずれもない」）



性別にみると、「選挙期間中の街頭演説を聞いたことがある」は男性が34.2%、女性が43.6%で女性が9.4ポイント多くなっている。「いずれもない」は男性が55.9%、女性が47.3%で男性が8.6ポイント多くなっている。

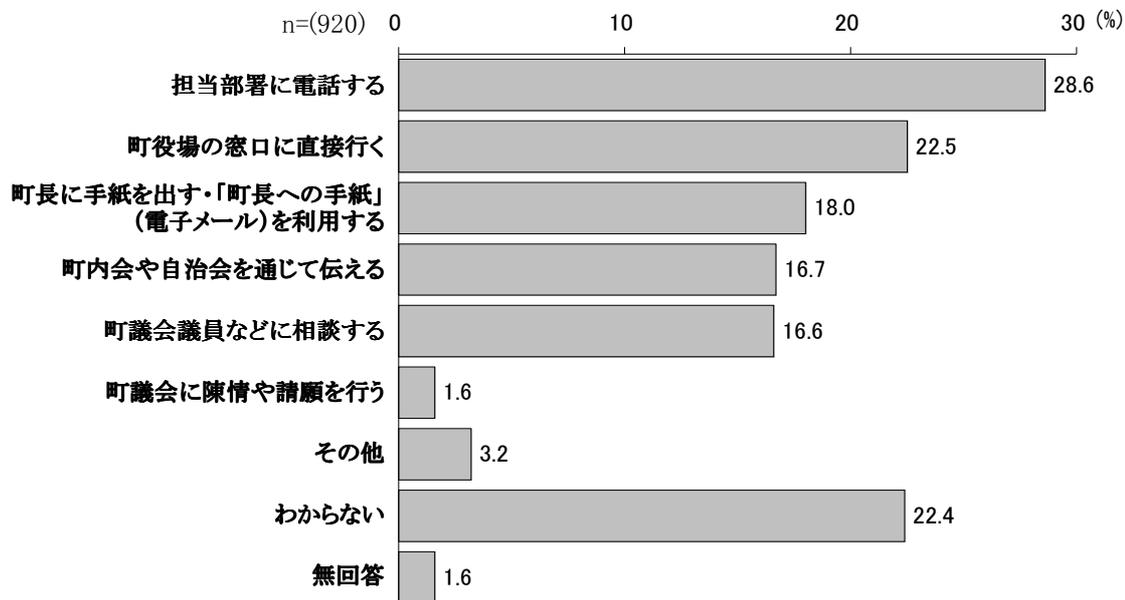
年代別にみると、上位3項目はいずれも60代以上で他の年代より多く、「選挙期間中の街頭演説を聞いたことがある」で5割台、「選挙期間中の演説会やイベントなどに参加したことがある」で2割台、「選挙活動に参加したことがある」で2割前後となっている。「いずれもない」は20歳未満から30代後半では7割台を占める。

性別、年代別（上位3項目＋「いずれもない」）



(6) 町政に意見や要望をする際の伝達手段

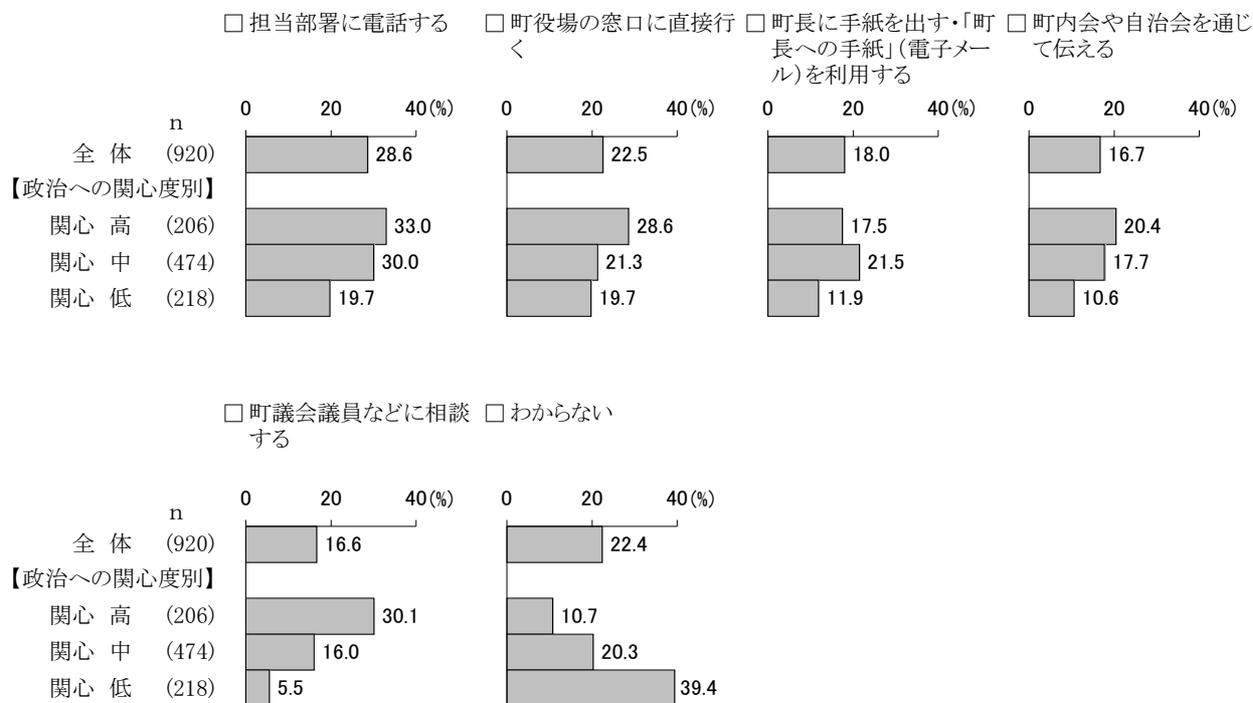
問10 もしあなたが、町政に意見や要望がある場合、どのような方法で伝えますか。(〇は2つまで) (全ての方)



町政に意見や要望がある場合の伝達手段としては、「担当部署に電話する」が28.6%で最も多く、以下、「町役場の窓口に行く」(22.5%)、「町長に手紙を出す・『町長への手紙』(電子メール)を利用する」(18.0%)、「町内会や自治会を通じて伝える」(16.7%)、「町議会議員などに相談する」(16.6%)が続いている。また、「わからない」も22.4%と多くなっている。

政治への関心度別にみると、関心度が高いほど多くの伝達手段があげられている。中でも「町議会議員などに相談する」は関心度による違いが顕著である。

政治への関心度別（上位5項目+「わからない」）

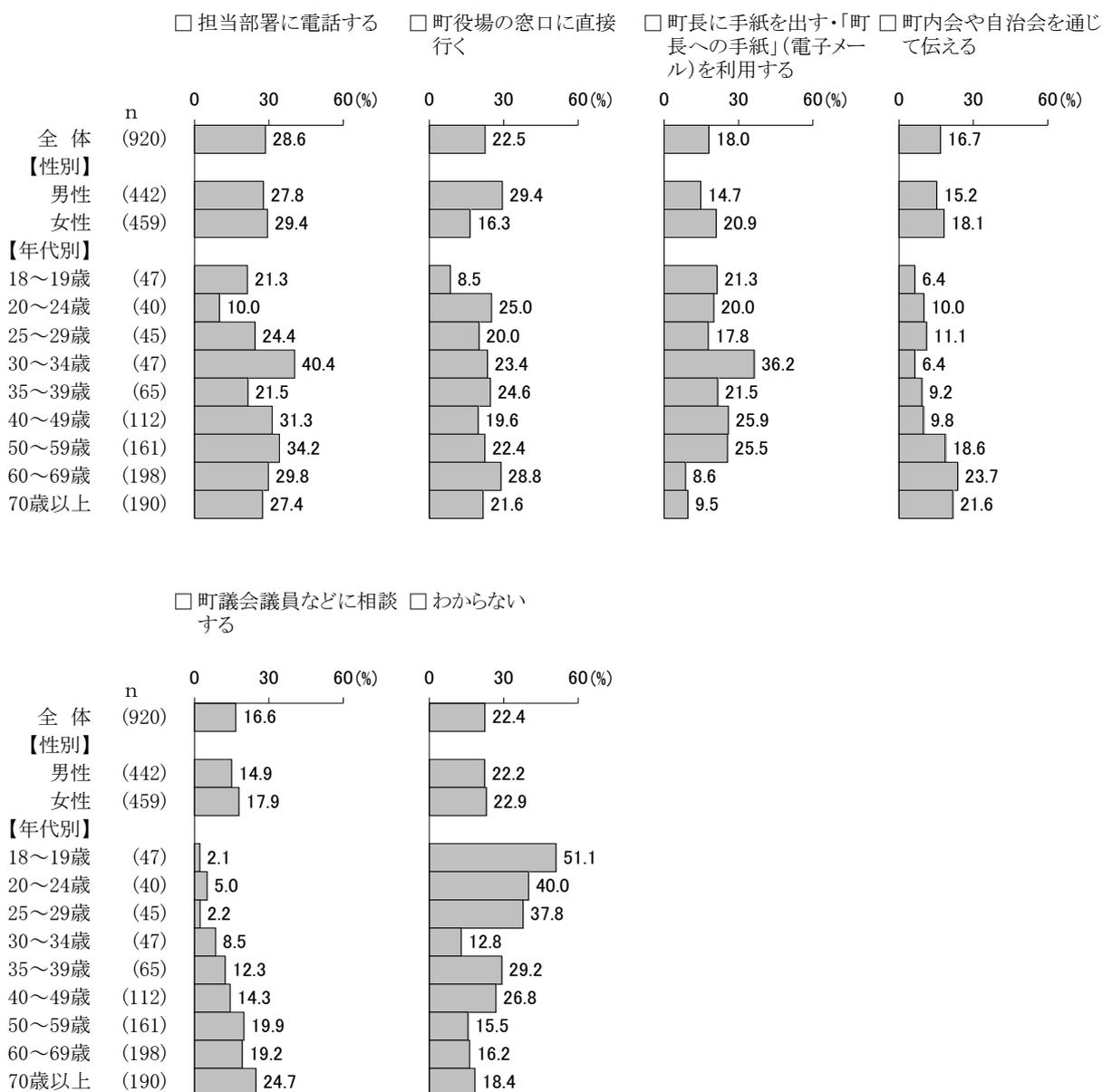


第2章 調査結果の詳細

性別にみると、「町役場の窓口へ直接行く」は男性が29.4%、女性が16.3%で男性が13.1ポイント多く、「町長に手紙を出す・『町長への手紙』（電子メール）を利用する」は男性が14.7%、女性が20.9%で女性が6.2ポイント多くなっている。

年代別にみると、「担当部署に電話する」や「町長に手紙を出す・『町長への手紙』（電子メール）を利用する」は30代前半で多くなっている。この他、「町内会や自治会を通じて伝える」は50代以上で2割前後と他の年代より多く、「町議会議員などに相談する」は20歳未満から30代前半にかけては1割未満だが、以降、年代が上がるほど割合が多くなる。また、「わからない」は20歳未満から20代後半の若年層で多くなっており、特に20歳未満では51.1%となっている。

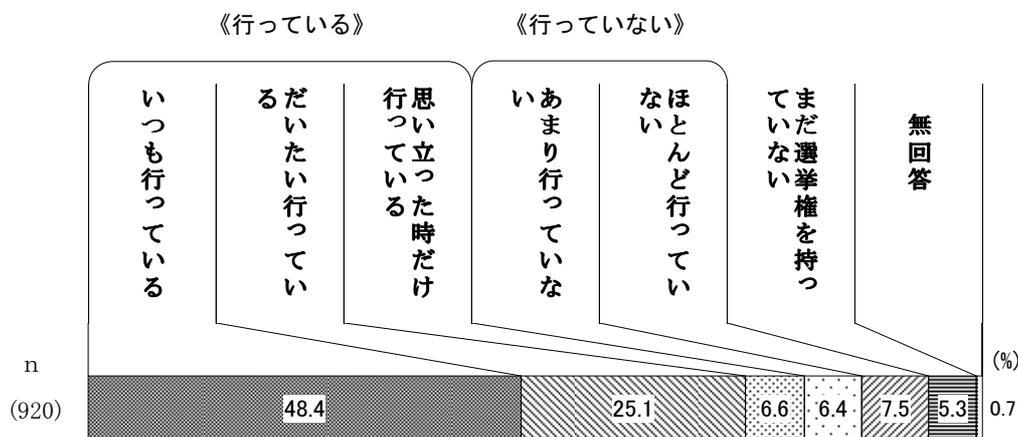
性別、年代別（上位5項目＋「わからない」）



4. 選挙に関する意識

(1) 選挙投票状況

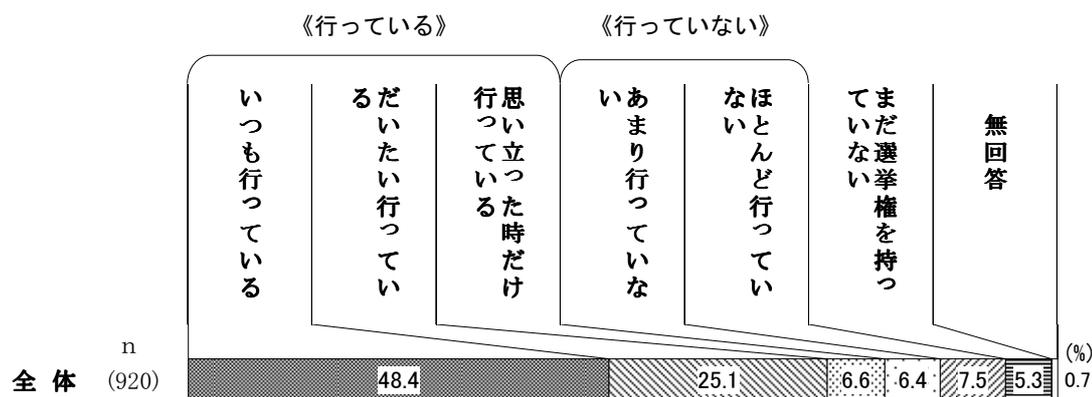
問11 普段、あなたは選挙があれば投票に行っていますか。(○は1つ)(全ての方)



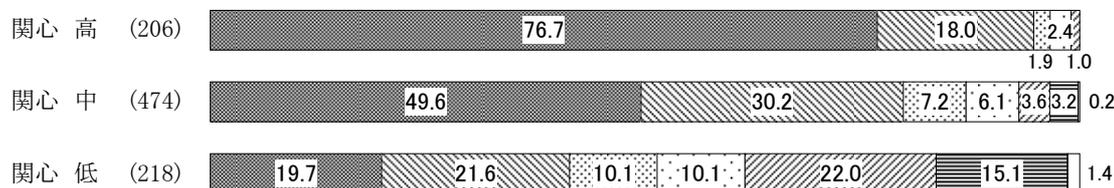
普段、選挙に「いつも行っている」は48.4%と半数近く、「行いたい行っている」(25.1%)と「思い立った時だけ行っている」(6.6%)をあわせた《行っている》は80.1%を占めている。一方、《行っていない》(「ほとんど行っていない」と「あまり行っていない」の合計)は13.9%となっている。

政治への関心度別にみると、《行っている》は関心度が高いほど多く、“関心 高”で96.6%、“関心中”で87.0%となっている。一方、《行っていない》は関心度が低いほど多く、“関心 低”で32.1%と他の関心度(1割未満)とかなりの差がみられる。

政治への関心度別



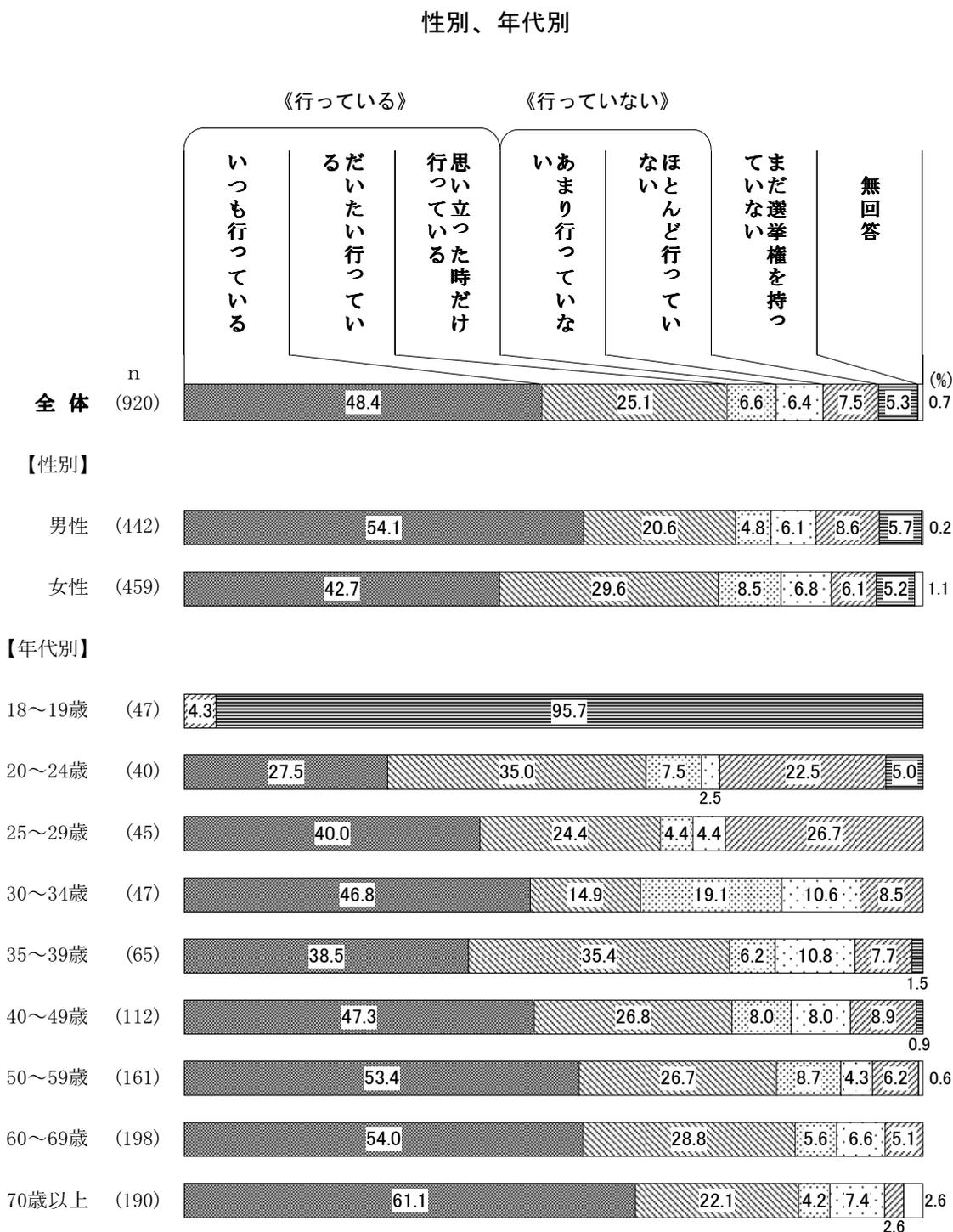
【政治への関心度別】



第2章 調査結果の詳細

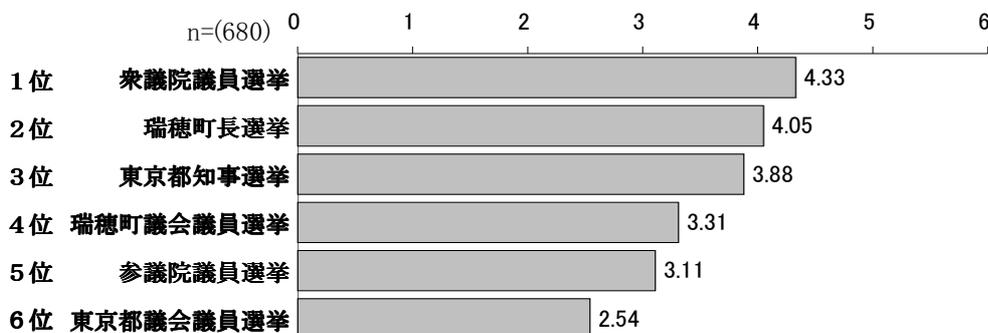
性別では、《行っている》に違いはみられないが、男性では「いつも行っている」が54.1%を占めている。

年代別にみると、《行っている》は20代では7割前後、30代から40代で8割台になり、50代以上では9割弱と多くなっている。また、「いつも行っている」が50代以上では5割を超える。「ほとんど行っていない」は20代前半（22.5%）と20代後半（26.7%）で2割台と他の年代より多くなっている。



(2) 各種選挙への関心順

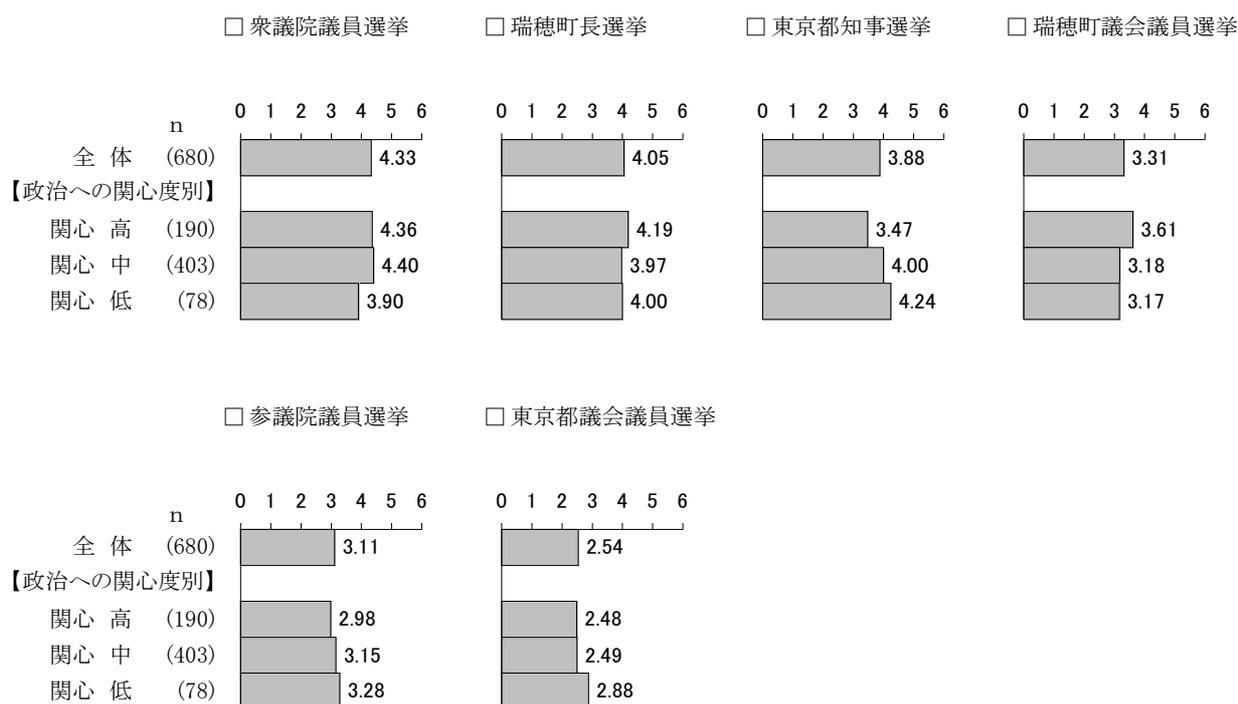
問12 次にあげる選挙について、あなたの関心が高い順に番号（1～6）を、下の口内に記入してください。また、いずれも関心がない場合は7に○をつけてください。（選ぶのは順に6つ）（全ての方）



関心の高い選挙に1位から6位まで順位をつけていただいた。結果の順位に対し、1位を6点、2位を5点、3位を4点、4位を3点、5位を2点、6位を1点と換算して平均ポイントを算出したところ、1位は「衆議院議員選挙」（4.33点）、2位は「瑞穂町長選挙」（4.05点）とこの2つの選挙が4点台となっている。点数が最も低かったのは「東京都議会議員選挙」（2.54点）となっている。

政治への関心度別にみると、“関心度 高”では「瑞穂町長選挙」や「瑞穂町議会議員選挙」への関心が他の層より高くなっている。

政治への関心度別

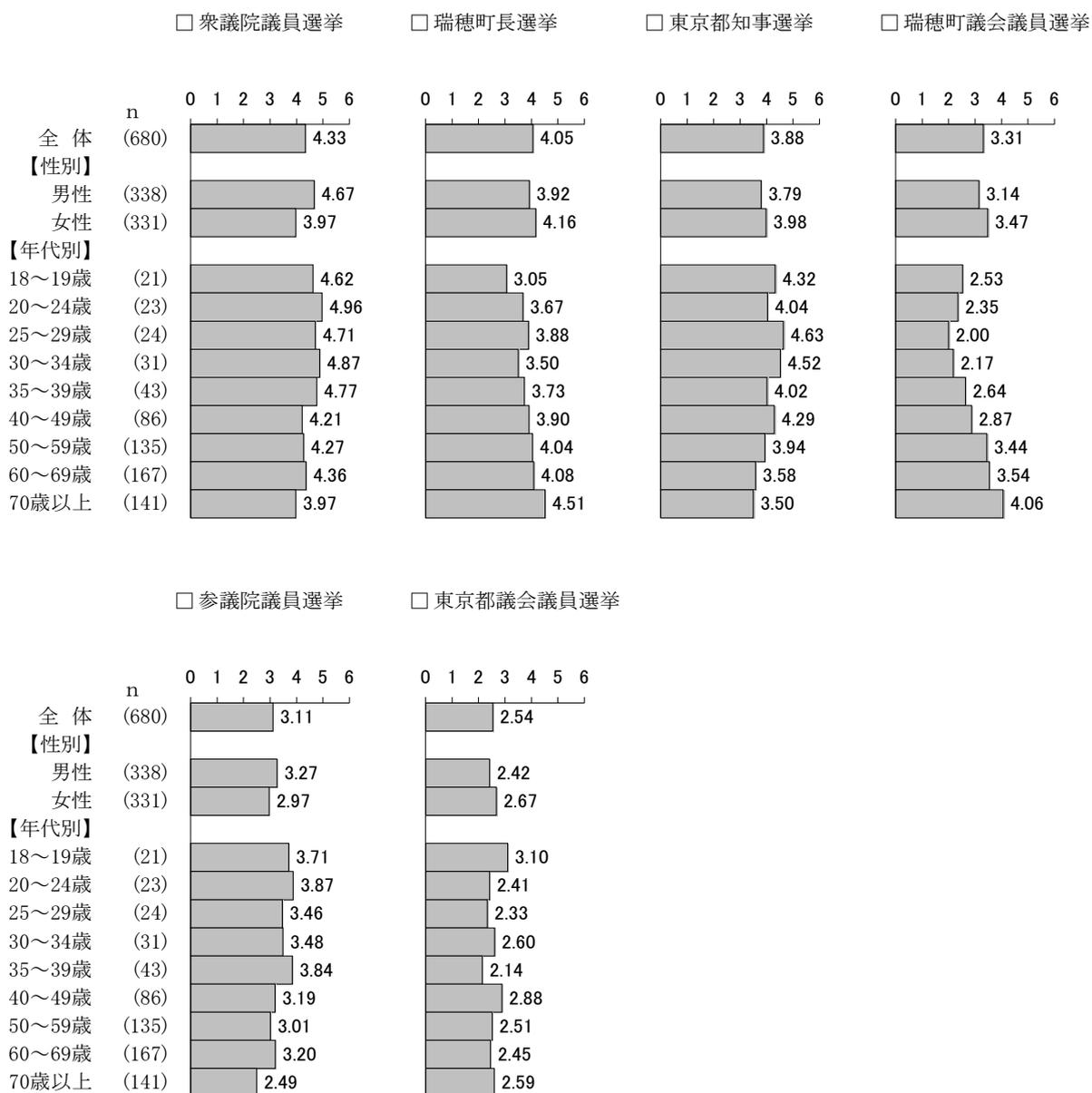


第2章 調査結果の詳細

性別では、特に大きな違いはみられない。

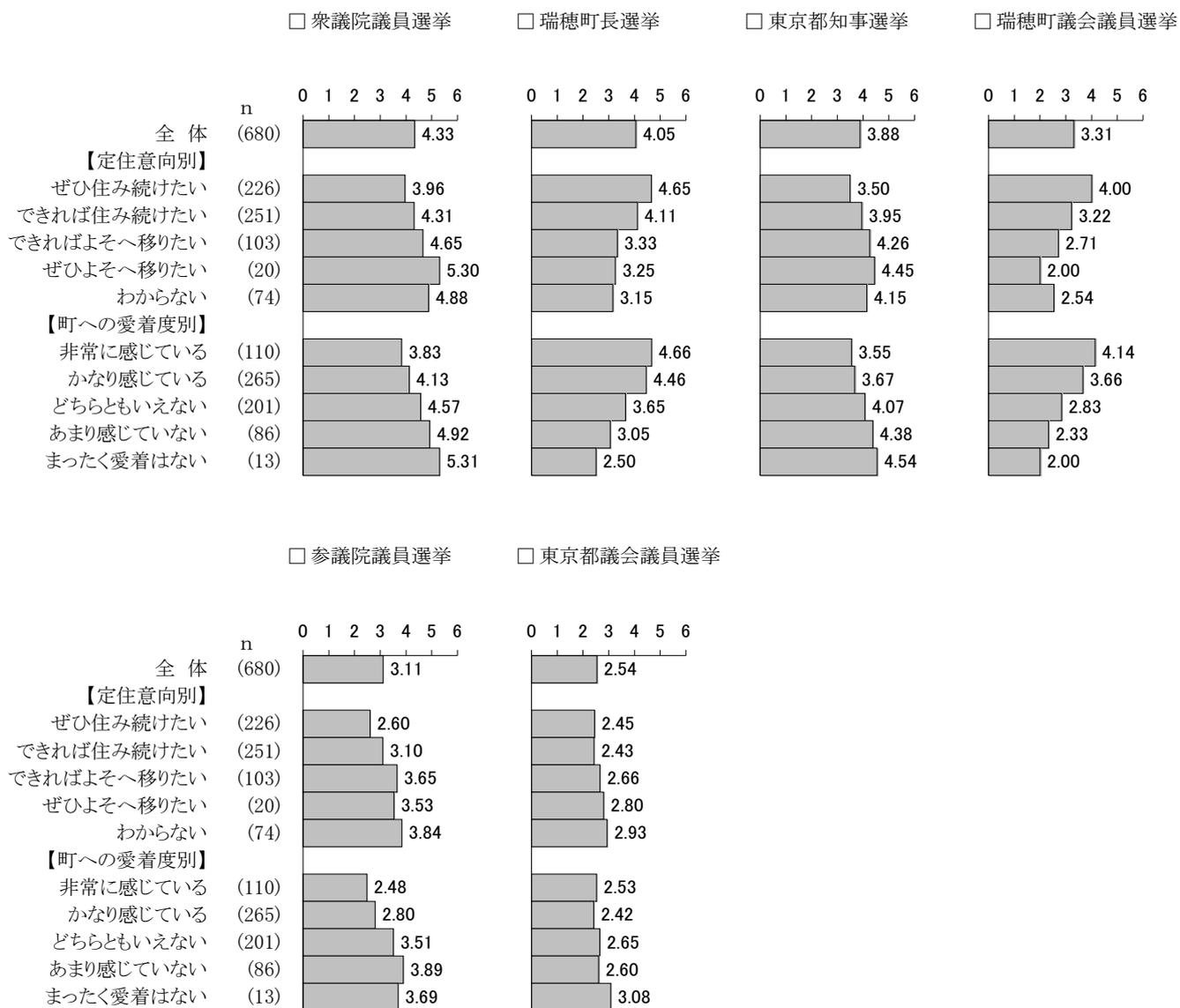
年代別にみると、町の選挙である「瑞穂町長選挙」は50代以上で、「瑞穂町議会議員選挙」は70歳以上で4点台となっており、年代の高い方が関心も高い傾向を示している。一方、年代の低い層では「衆議院議員選挙」や「東京都知事選挙」への関心が比較的高くなっている。

性別、年代別



定住意向や町への愛着度別にみると、定住意向や愛着度が強いほど「瑞穂町長選挙」や「瑞穂町議会議員選挙」への関心が高く、定住意向や愛着度が弱いほど町の選挙以外の選挙の関心が高くなっている。

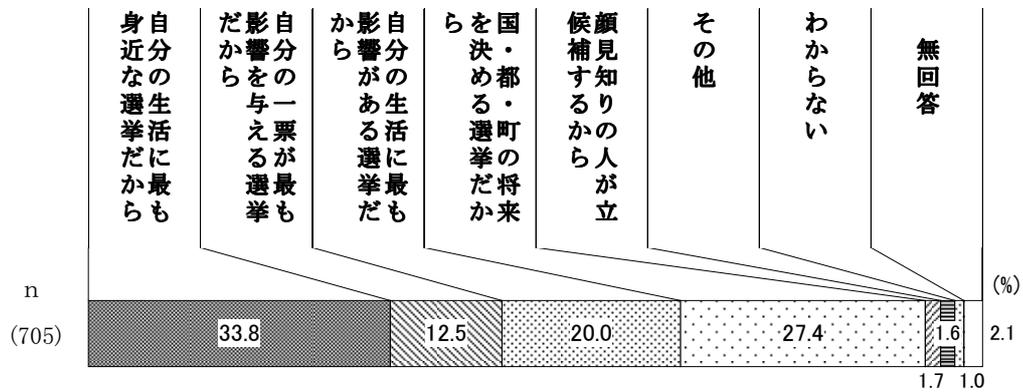
定住意向別、町への愛着度別



(3) その選挙に最も関心がある理由

【問12で1位に各種選挙のいずれかをお答えの方に】

問12-1 あなたがそれを第1位に選んだ理由は何ですか。(○は1つ)

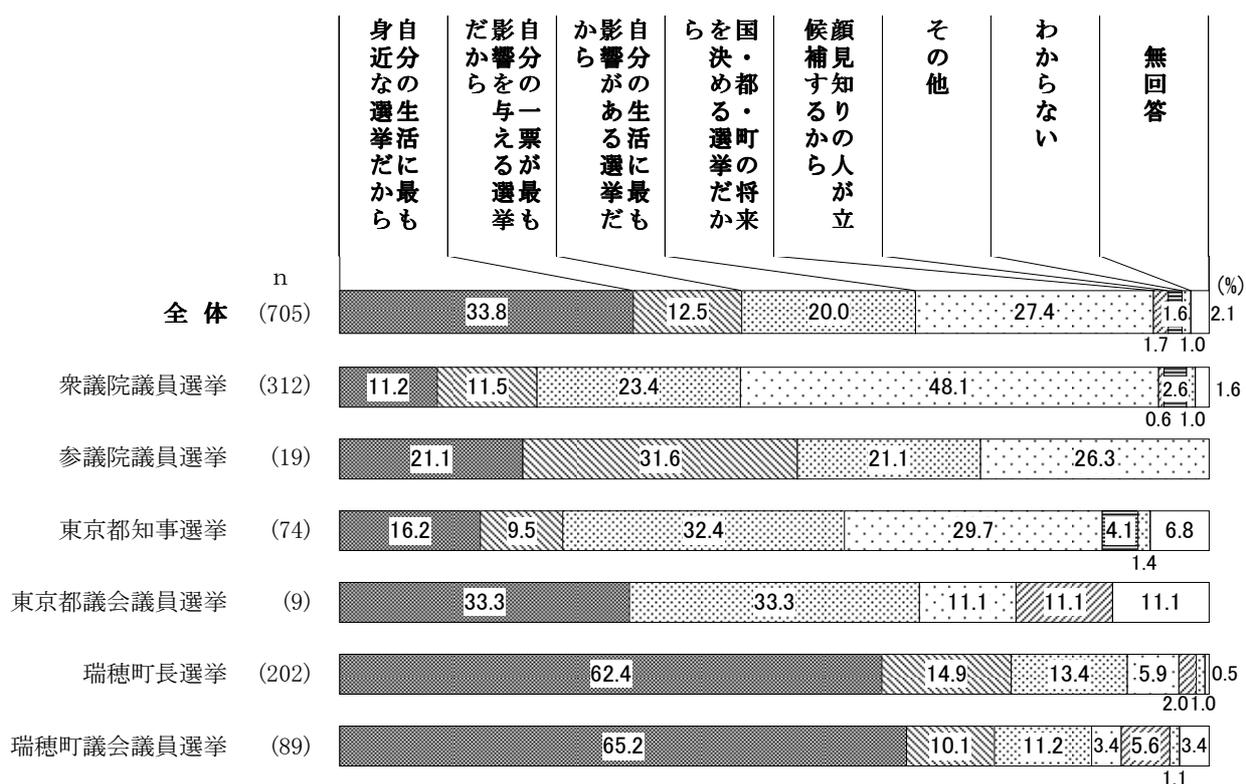


関心の高い選挙を1位に選んだ理由は、「自分の生活に最も身近な選挙だから」が33.8%で最も多く、以下、「国・都・町の将来を決める選挙だから」(27.4%)、「自分の生活に最も影響がある選挙だから」(20.0%)、「自分の一票が最も影響を与える選挙だから」(12.5%)が続いている。

参考に選挙別の理由をみると、「自分の生活に最も身近な選挙だから」は瑞穂町長選挙（62.4%）と瑞穂町議会議員選挙（65.2%）の町の選挙で6割台と多くなっている。

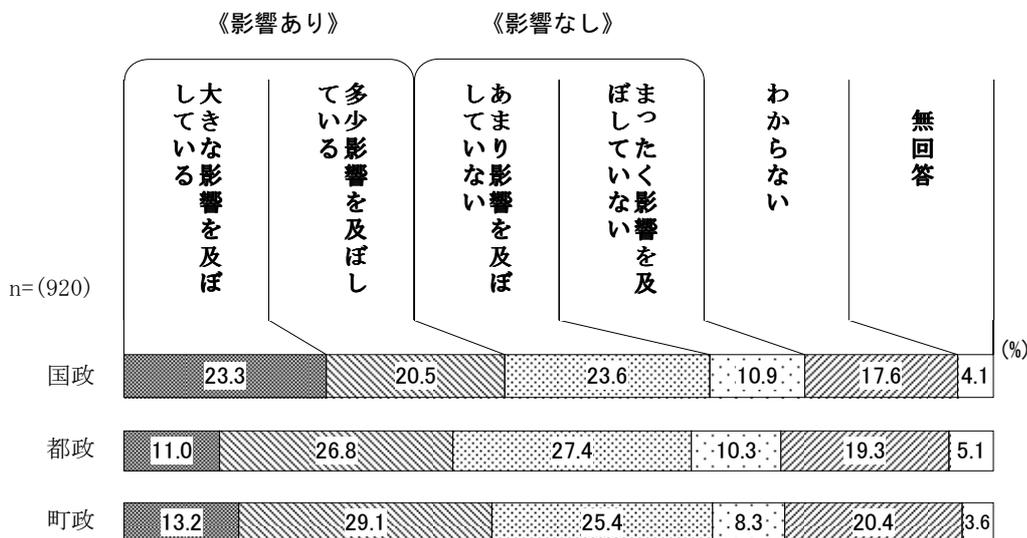
衆議院議員選挙は「国・都・町の将来を決める選挙だから」、参議院議員選挙は「自分の一票が最も影響を与える選挙だから」、東京都知事選挙は「自分の生活に最も影響がある選挙だから」と「国・都・町の将来を決める選挙だから」が多くあげられている。

参考 選挙ごとの1位に選んだ理由



(4) 各種選挙結果の政治への影響度

問13 あなたは、各種の選挙（の結果）はそれぞれのレベルの政治にどの程度影響を及ぼしていると感じていますか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。（○はそれぞれ1つ）（全ての方）

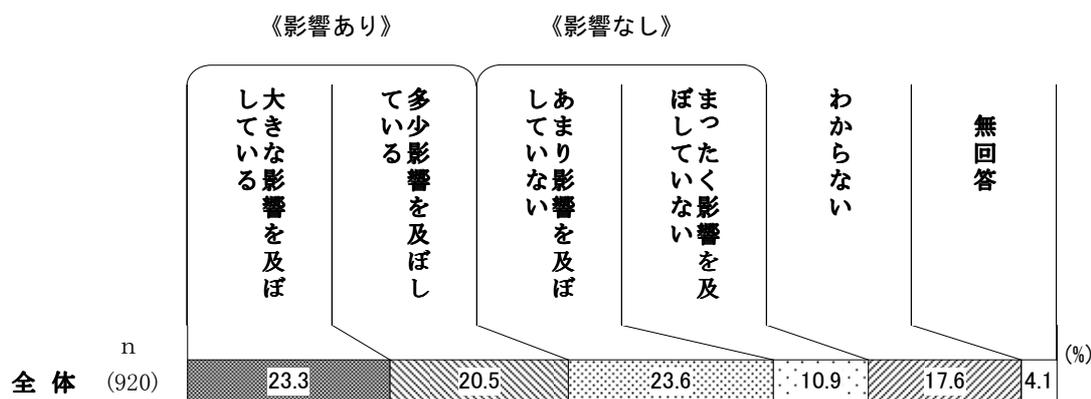


各種の選挙（の結果）はそれぞれのレベルの政治にどの程度影響を及ぼしていると感じるか聞いたところ、「大きな影響を及ぼしている」は国政で23.3%となっており、「多少影響を及ぼしている」（20.5%）をあわせた《影響あり》は43.8%となっている。町政でも《影響あり》は42.3%となっており、都政では37.8%となっている。一方、《影響なし》（「まったく影響を及ぼしていない」と「あまり影響を及ぼしていない」の合計）はいずれも3割台（国政：34.5%、都政：37.7%、町政：33.7%）となっている。

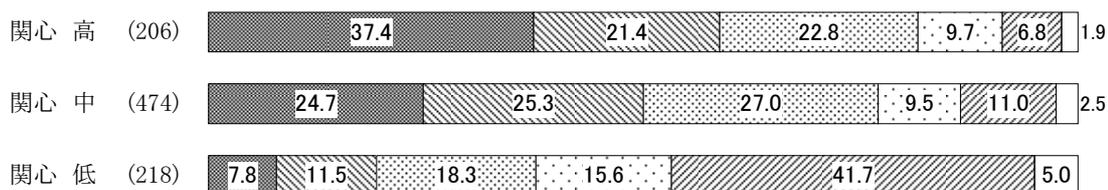
国政選挙の国政への影響力を政治への関心度別にみると、関心度が高いほど《影響あり》とする割合が多く、“関心 高”では58.8%、“関心 中”でも50.0%と5割台となっている。一方、《影響なし》はいずれの関心度でも3割台（国政：32.5%、都政：36.5%、町政：33.9%）となっている。

政治への関心度別

国政

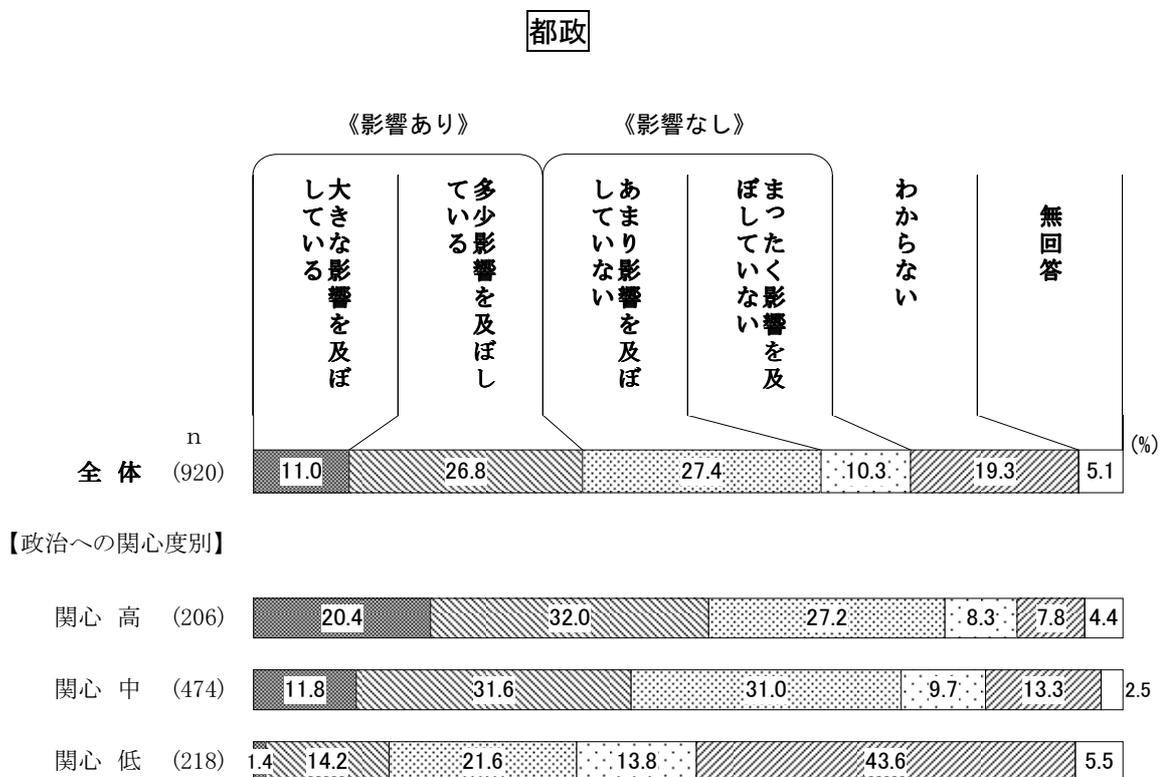


【政治への関心度別】



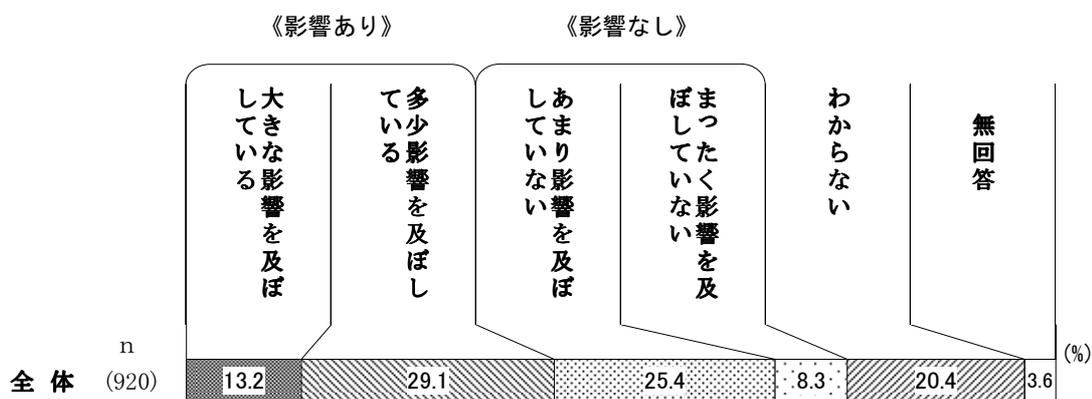
第2章 調査結果の詳細

都政選挙の都政への影響力を政治への関心度別にみると、《影響あり》は関心度が高いほど多く、“関心 高”では52.4%、“関心 中”でも43.4%となっている。一方、《影響なし》は“関心 中”で40.7%、“関心 高”（35.5%）、“関心 低”（35.4%）で3割台となっている。

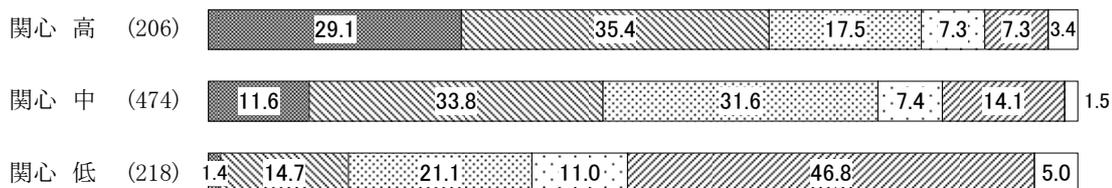


町政選挙の町政への影響力を政治への関心度別にみると、《影響あり》は関心度が高いほど多く、“関心 高”では64.5%、“関心 中”でも45.4%となっている。一方、《影響なし》は“関心 中” (39.0%)と“関心 低” (32.1%)で3割台となっている。

町政



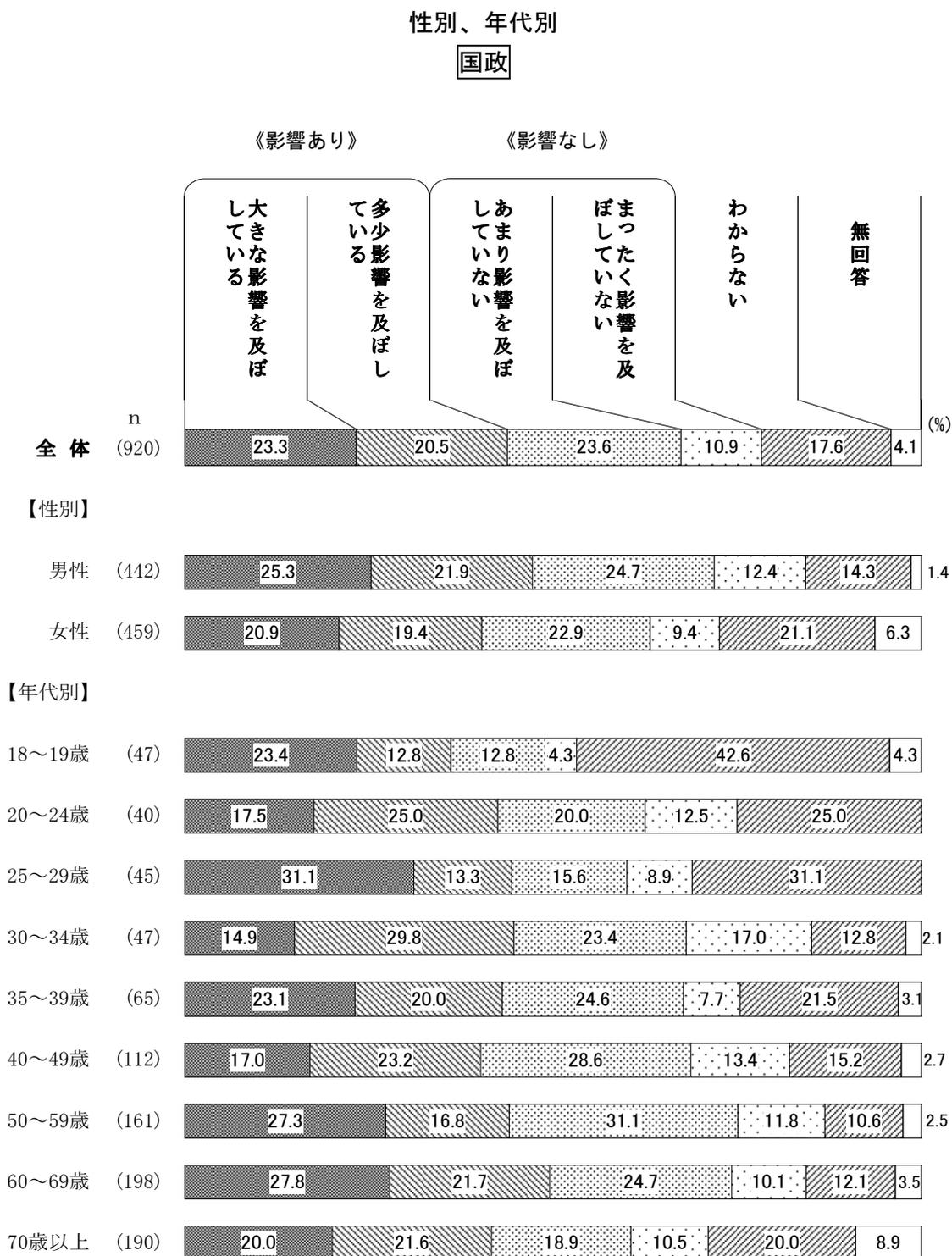
【政治への関心度別】



第2章 調査結果の詳細

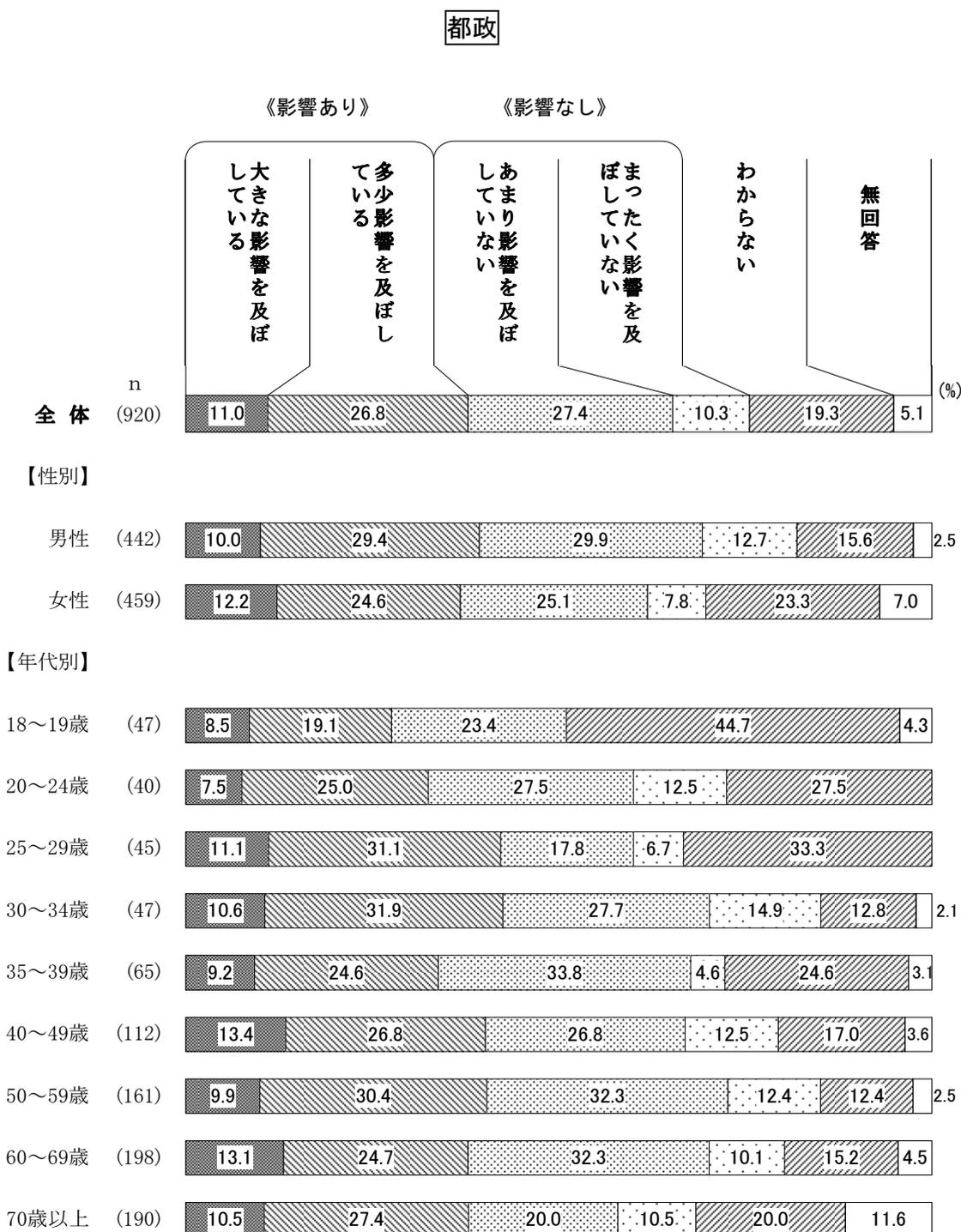
国政選挙の国政への影響力を性別にみると、《影響あり》は男性が47.2%、女性が40.3%で男性が多くなっている。

年代別にみると、《影響あり》は20歳未満（36.2%）以外の年代では4割台となっている。《影響なし》は30代前半（40.4%）、40代（42.0%）と50代（42.9%）で4割台となっている。



都政選挙の都政への影響力を性別にみると、《影響なし》は男性が42.6%、女性が32.9%で男性が9.7ポイント多くなっている。

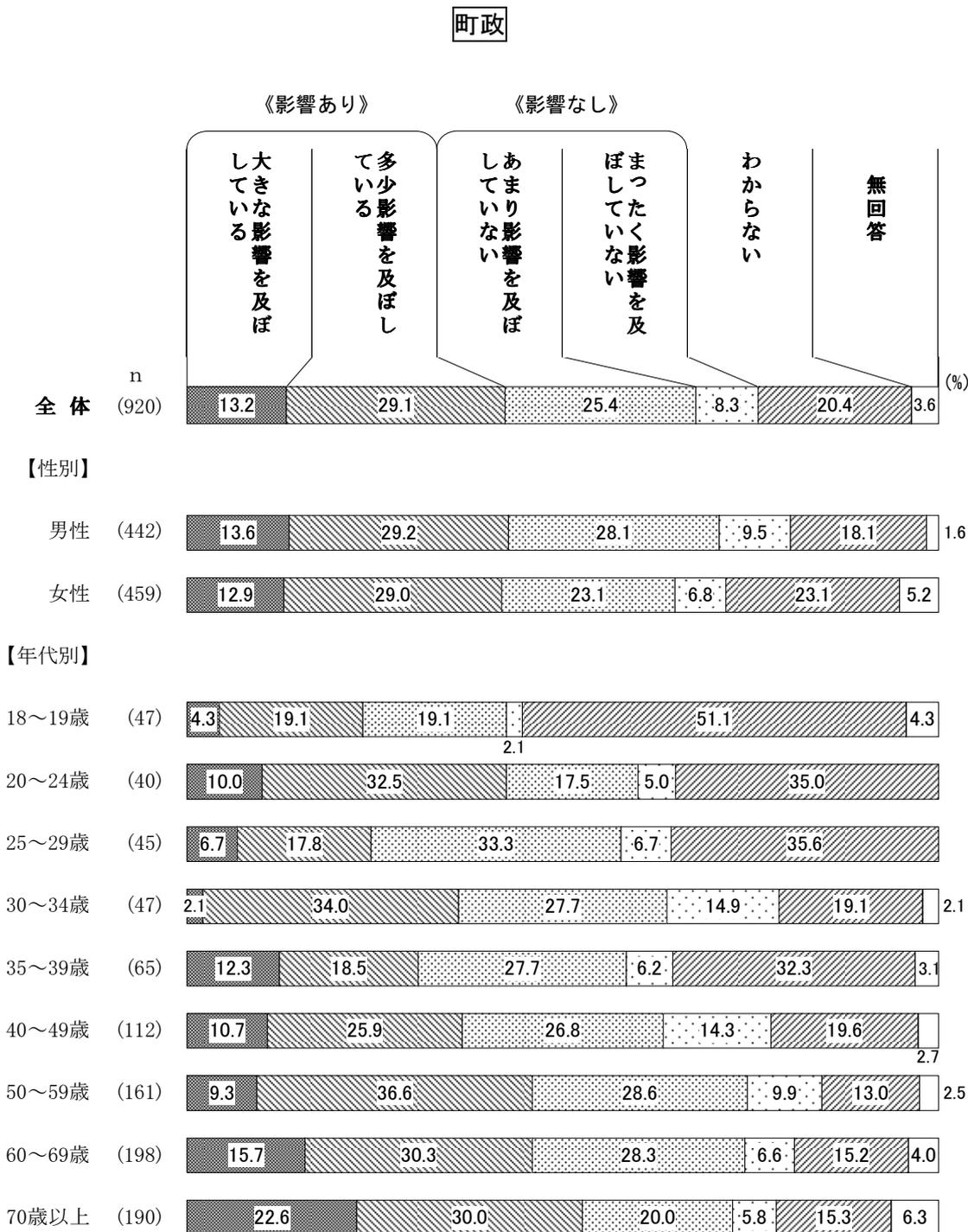
年代別にみると、《影響あり》は20代後半（42.2%）、30代前半（42.5%）、40代（40.2%）、50代（40.3%）が4割台となっている。《影響なし》は20代前半（40.0%）、30代前半（42.6%）、50代（44.7%）と60代（42.4%）で4割台となっている。



第2章 調査結果の詳細

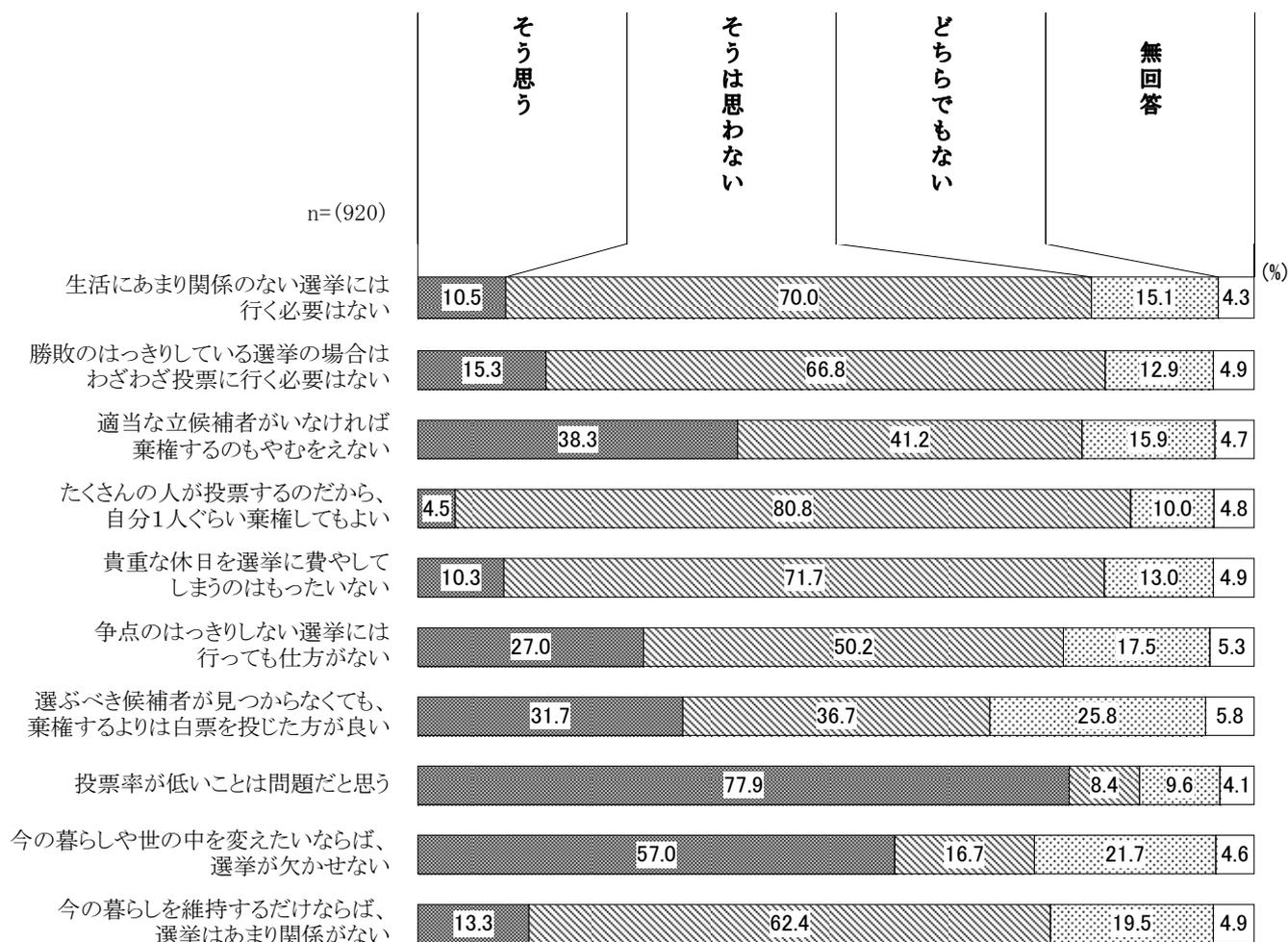
町政選挙の町政への影響力を性別にみると、《影響なし》は男性が37.6%、女性が29.9%で男性が7.7ポイント多くなっている。

年代別にみると、《影響あり》は70歳以上で52.6%唯一半数を超えている。また、20代前半(42.5%)、50代(45.9%)、60代(46.0%)でも《影響あり》は4割台となっているが、20代後半では24.5%と少ない。《影響なし》は20代後半(40.0%)、30代前半(42.6%)や40代(41.1%)で4割台となっている。



(5) 選挙についての考え

問14 選挙についてはいろいろな意見がありますが、あなたは、次の意見についてはどのように考えますか。(○はそれぞれ1つ)(全ての方)



選挙についての意見で「そう思う」が多いのは、「投票率が低いことは問題だと思う」が77.9%と特に多く、「今の暮らしや世の中を変えたいならば、選挙が欠かせない」も57.0%と多くなっている。

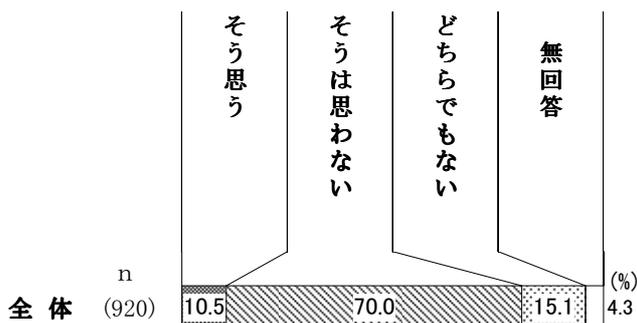
「そうは思わない」は「たくさんの人が投票するのだから、自分1人ぐらい棄権してもよい」が80.8%を占め、「生活にあまり関係のない選挙には行く必要はない」(70.0%)と「貴重な休日を選挙に費やしてしまうのはもったいない」(71.7%)が7割台、「勝敗のはっきりしている選挙の場合はわざわざ投票に行く必要はない」(66.8%)、「今の暮らしを維持するだけならば、選挙はあまり関係がない」(62.4%)が6割台となっている。総じて、選挙の必要性、重要性に対しては肯定的な意見が多数を占めている。

政治への関心度別にみると、「投票率が低いことは問題だと思う」、「今の暮らしや世の中を変えたいならば、選挙が欠かせない」といった選挙に対する積極的な意味合いを持つ項目では関心度が高いほど「そう思う」が多くなっている。一方、消極的な項目では、関心度が低いほど「そう思う」が多く、特に「適当な立候補者がいなければ棄権するのやむをえない」では「関心中」と「関心低」で4割台、「争点のはっきりしない選挙には行っても仕方がない」では「関心低」で4割近くとなってい

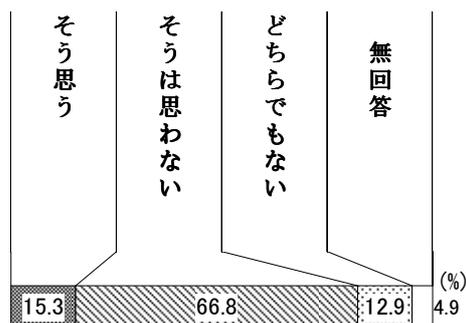
る。なお、“投票率が低いことは問題だと思う”は“関心 高”（89.8%）および“関心中”（83.8%）で8割台、“関心 低”では55.5%となっている。“関心 低”では他の項目より多くなっているものの、政治への関心度により投票率の低さへの懸念の度合いも異なっている。

政治への関心度別

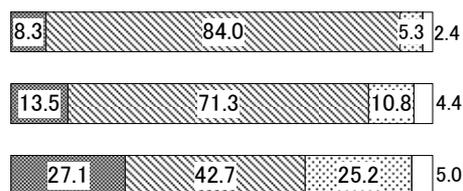
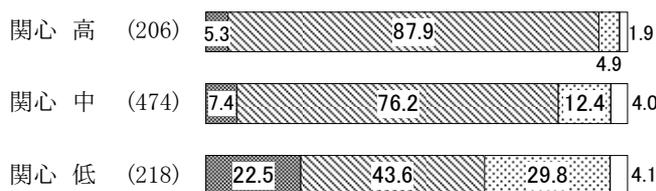
◆生活にあまり関係のない選挙には行く必要はない



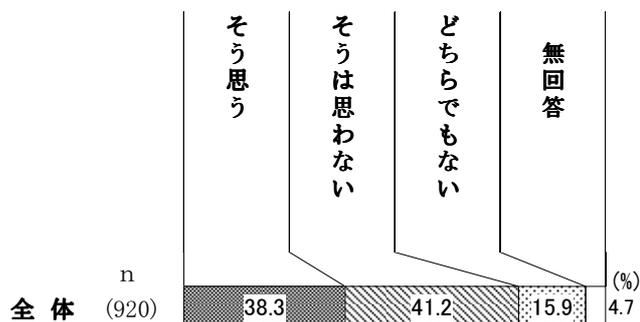
◆勝敗のはっきりしている選挙の場合はわざわざ投票へ行く必要はない



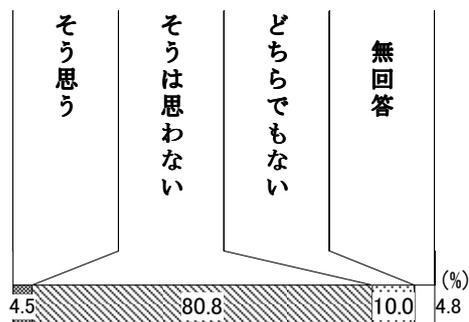
【政治への関心度別】



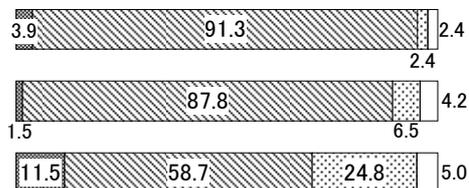
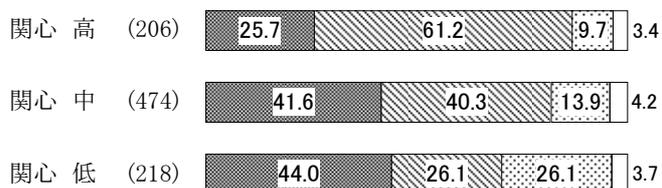
◆適当な立候補者がいなければ棄権するのもやむをえない



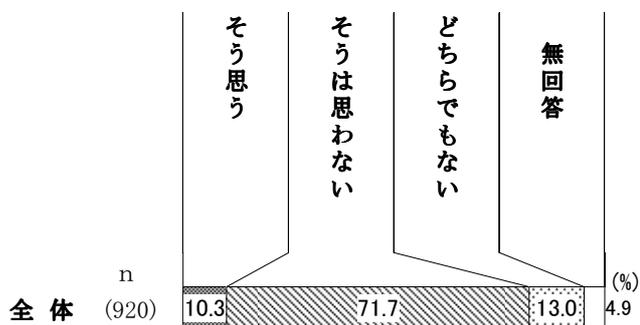
◆たくさんの人が投票するのだから、自分1人ぐらい棄権してもよい



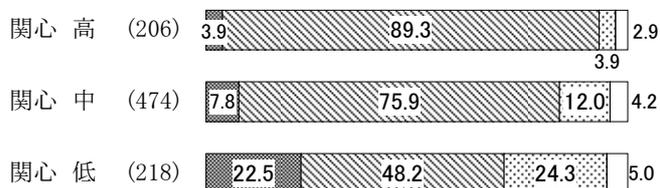
【政治への関心度別】



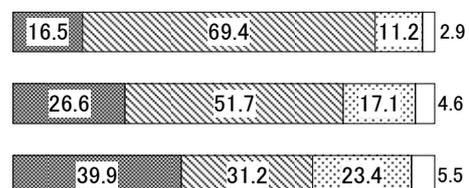
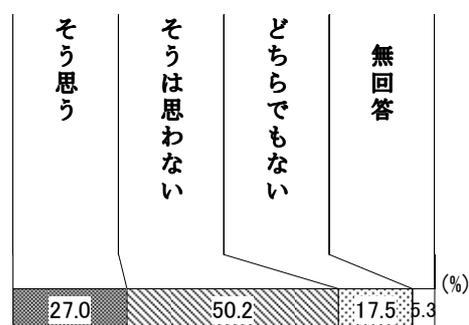
◆貴重な休日を選挙に費やしてしまうのはもったいない



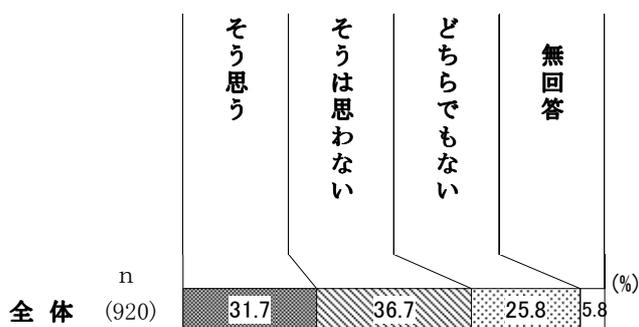
【政治への関心度別】



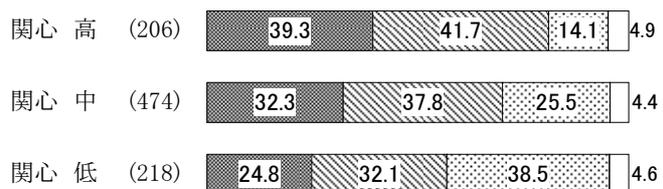
◆争点のはっきりしない選挙には行っても仕方がない



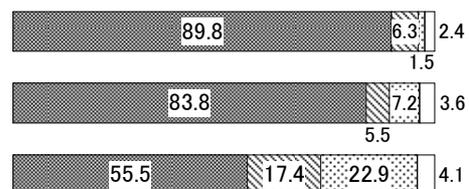
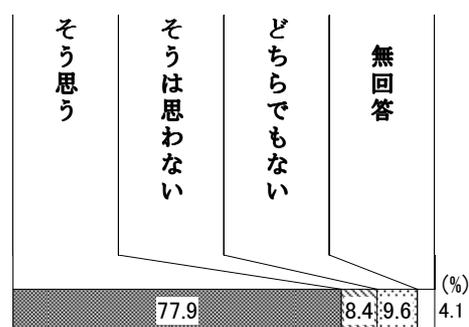
◆選ぶべき候補者が見つからなくても、棄権するよりは白票を投じた方が良い



【政治への関心度別】

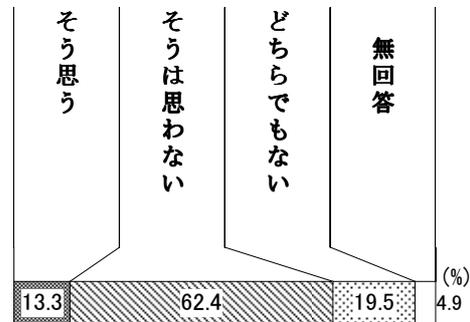
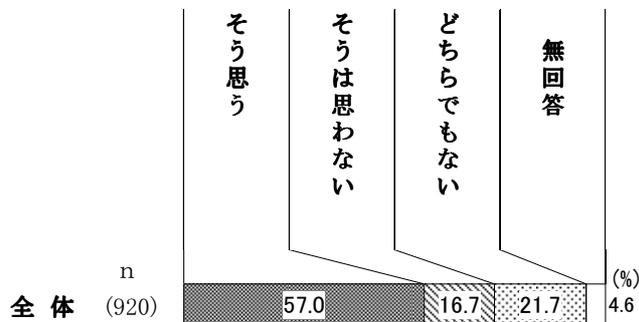


◆投票率が低いことは問題だと思う

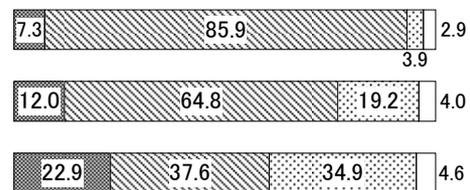
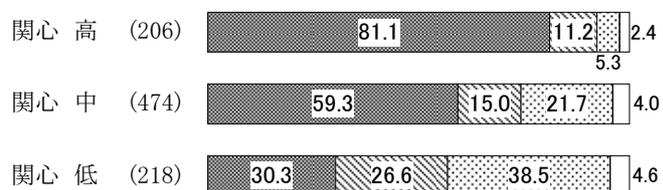


◆今の暮らしや世の中を変えたいならば、選挙が欠かせない

◆今の暮らしを維持するだけならば、選挙はあまり関係がない



【政治への関心度別】



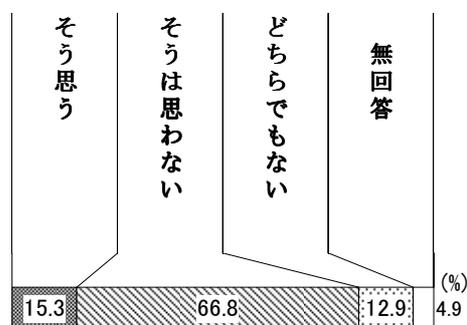
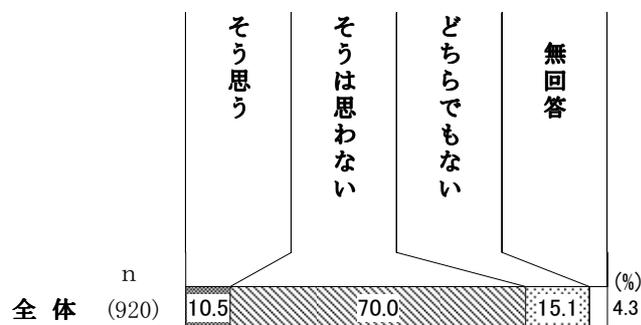
性別にみても顕著な違いはみられないが、「そう思う」は「今の暮らしや世の中を変えたいならば、選挙が欠かせない」で男性が女性より8.2ポイント多い。

年代別にみると、20代までは“生活にあまり関係のない選挙には行く必要はない”、“勝敗のはっきりしている選挙の場合はわざわざ投票へ行く必要はない”、“たくさんの人が投票するのだから、自分1人ぐらい棄権してもよい”、“貴重な休日を選挙に費やしてしまうのはもったいない”、“争点のはっきりしない選挙には行っても仕方がない”、“今の暮らしを維持するだけならば、選挙はあまり関係がない”などで「そう思う」が比較的多くあげられている。30代を境に40代以上は選挙に対する積極的な意見が多くなっているが、“適当な立候補者がいなければ棄権するのもやむをえない”においては50代でも4割台となっている。

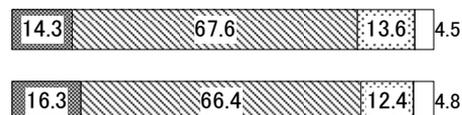
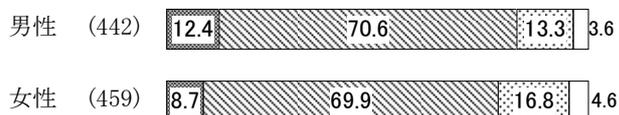
性別、年代別

◆生活にあまり関係のない選挙には行く必要はない

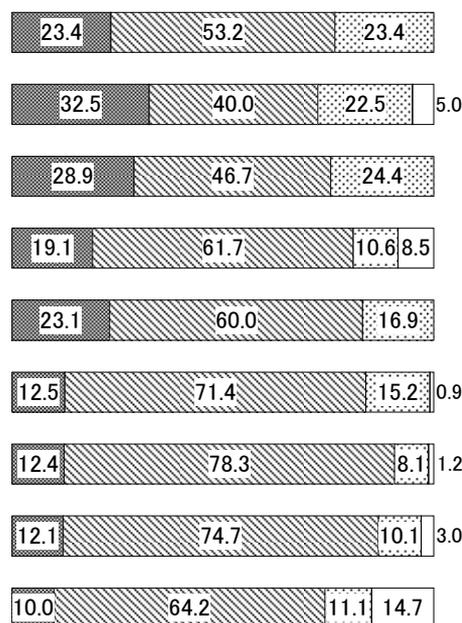
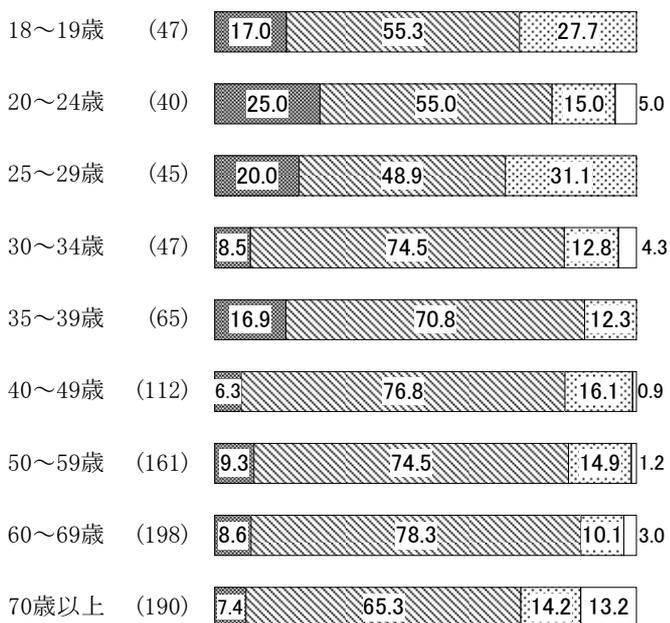
◆勝敗のはっきりしている選挙の場合はわざわざ投票へ行く必要はない



【性別】



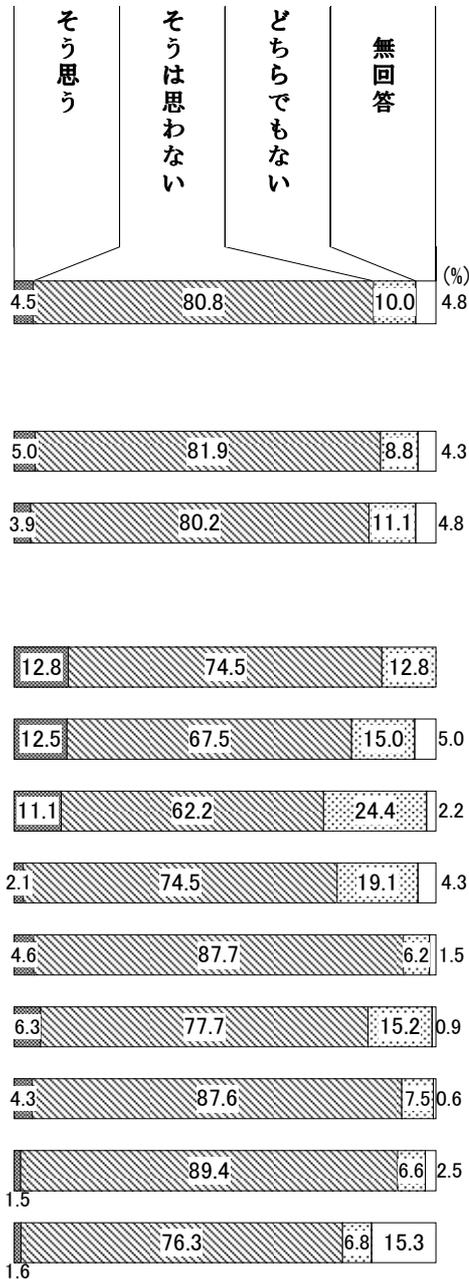
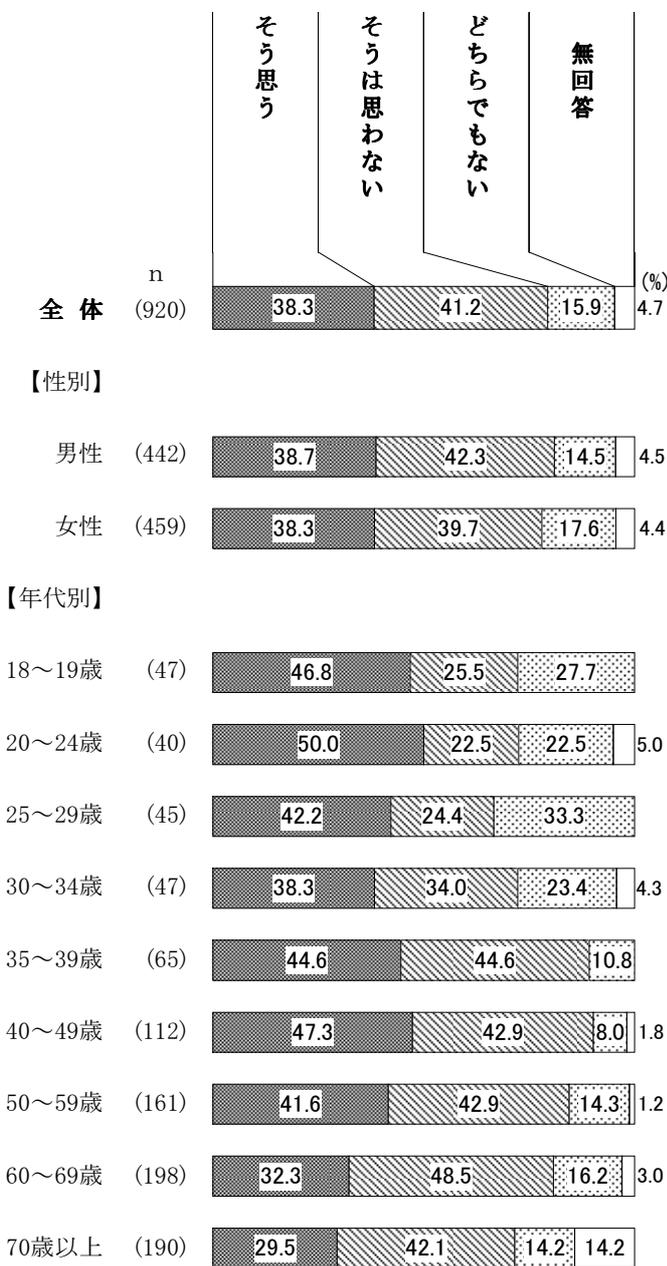
【年代別】



性別、年代別

◆ 適当な立候補者がいなければ
棄権するのもやむをえない

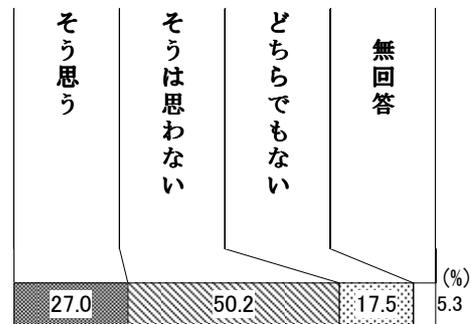
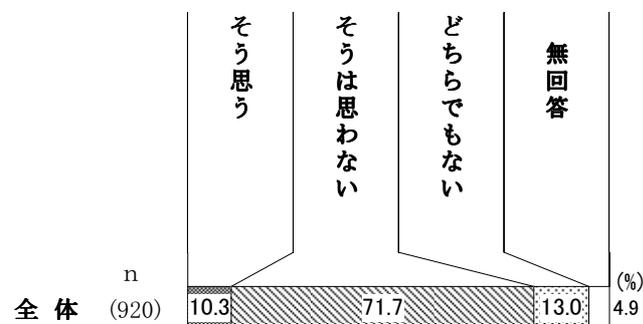
◆ たくさんの方が投票するのだから、
自分1人ぐらい棄権してもよい



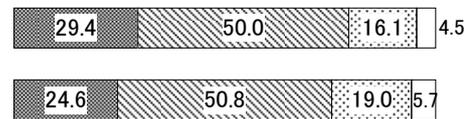
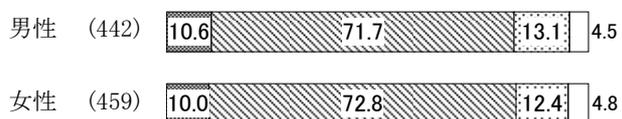
性別、年代別

◆貴重な休日を選挙に費やしてしまうのはもったいない

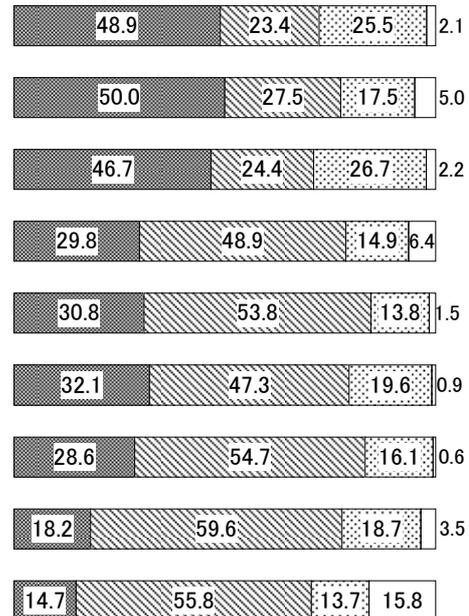
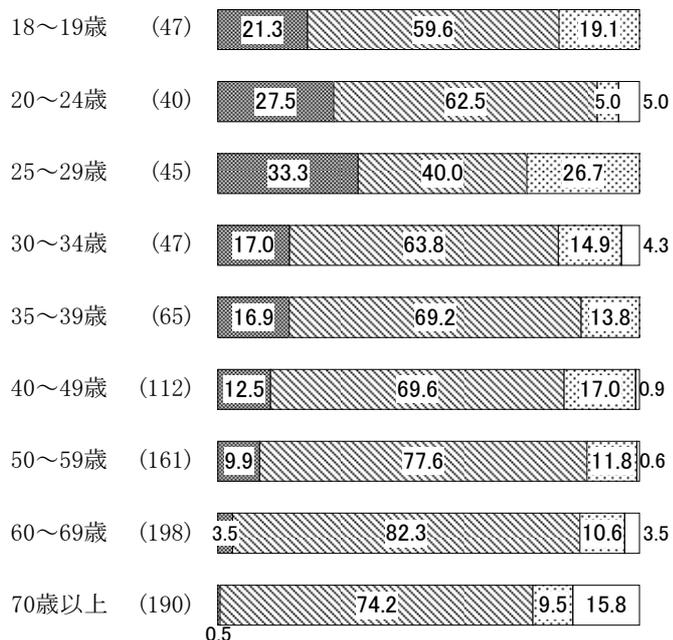
◆争点のはっきりしない選挙には行っても仕方がない



【性別】



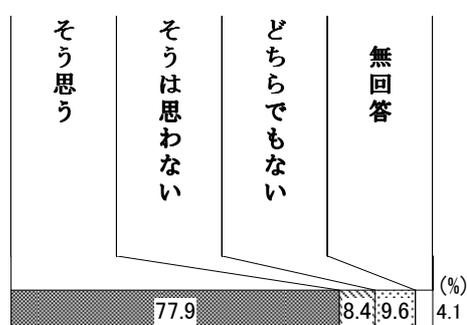
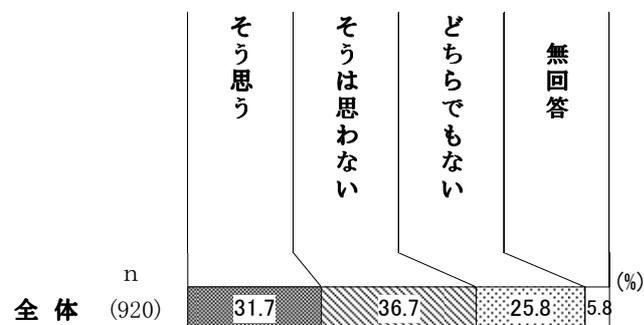
【年代別】



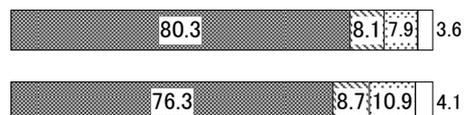
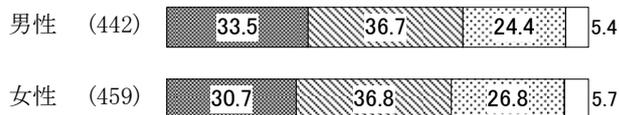
性別、年代別

◆選ぶべき候補者が見つからなくても、棄権するよりは白票を投じた方が良い

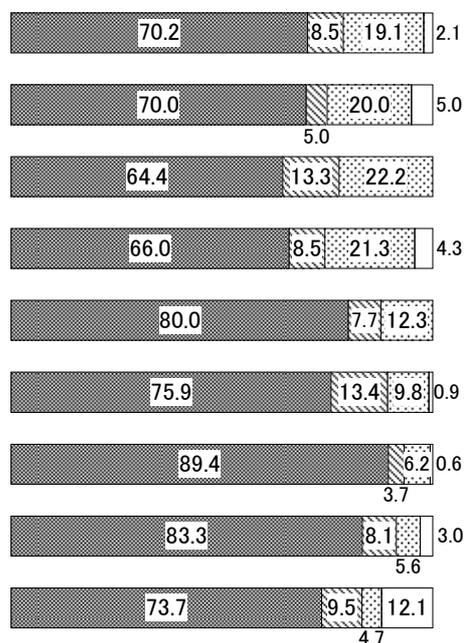
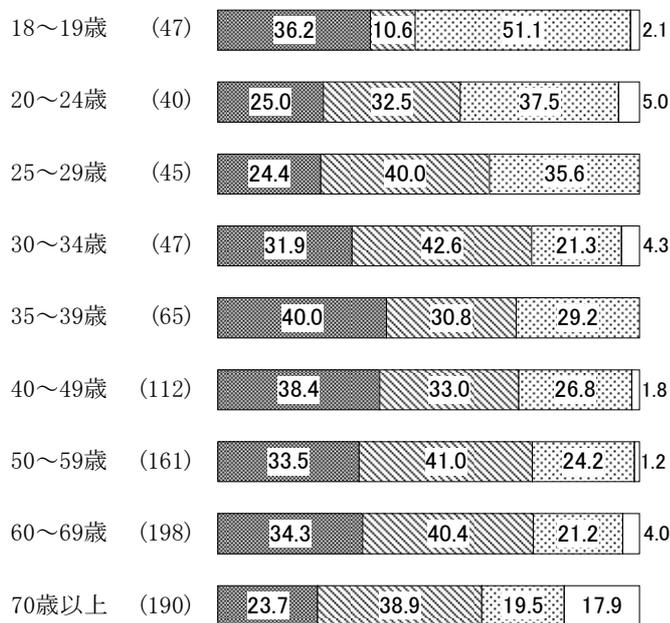
◆投票率が低いことは問題だと思う



【性別】



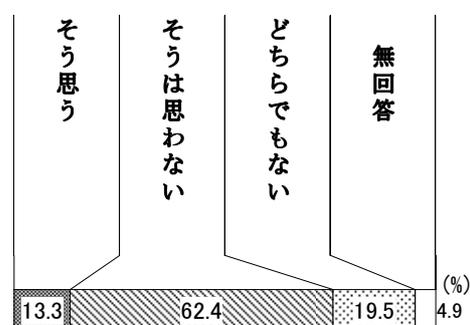
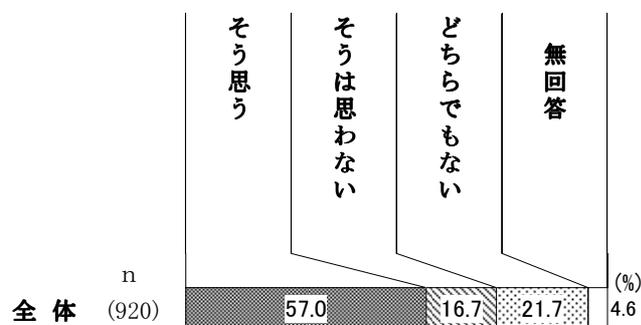
【年代別】



性別、年代別

◆今の暮らしや世の中を
変えたいならば、選挙が
欠かせない

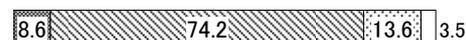
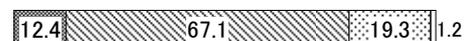
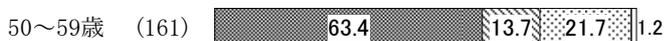
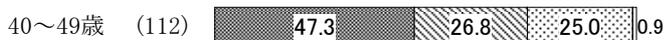
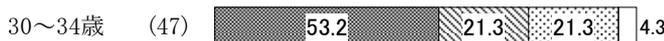
◆今の暮らしを維持する
だけならば、選挙は
あまり関係がない



【性別】

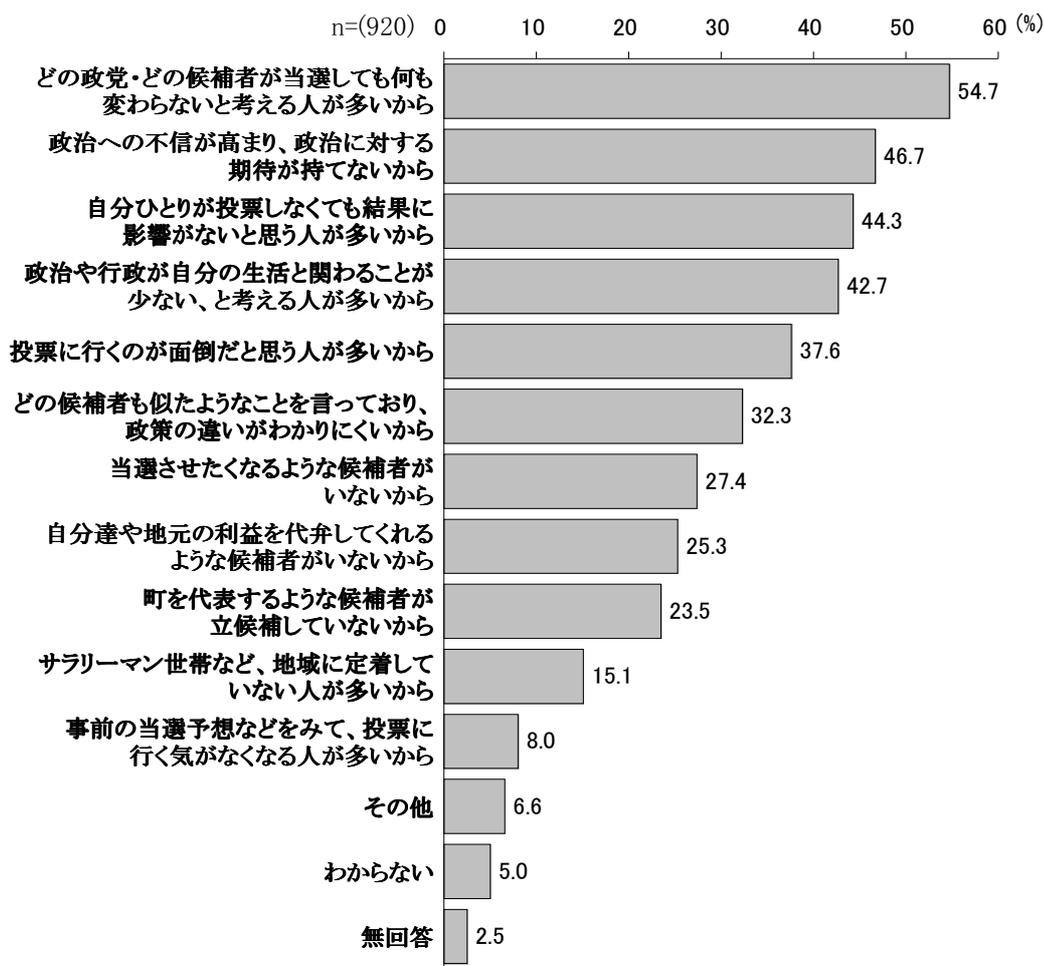


【年代別】



(6) 町の投票率が低い原因

問15 今年7月の参議院議員選挙での東京都全体の投票率は53.51%で、瑞穂町は46.07%でした。また、瑞穂町の投票率はこれまで国政選挙や都の選挙でも、東京都の区市町村の中で最下位です。あなたは、瑞穂町の投票率が低い原因はどのようなことだと思いますか。
(○はいくつでも) (全ての方)



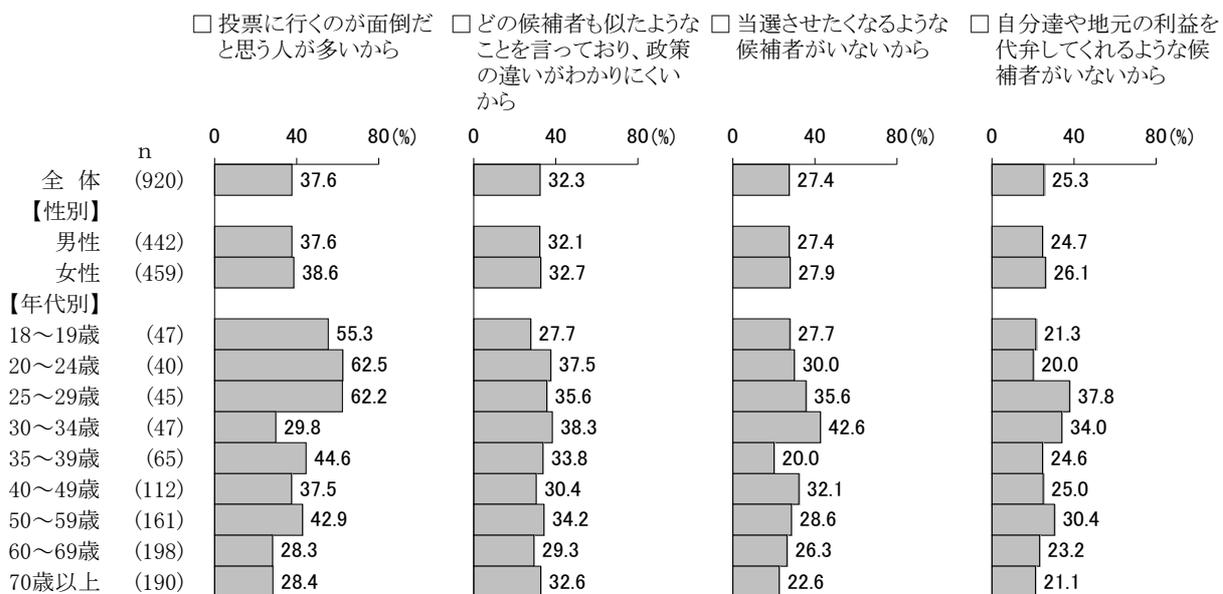
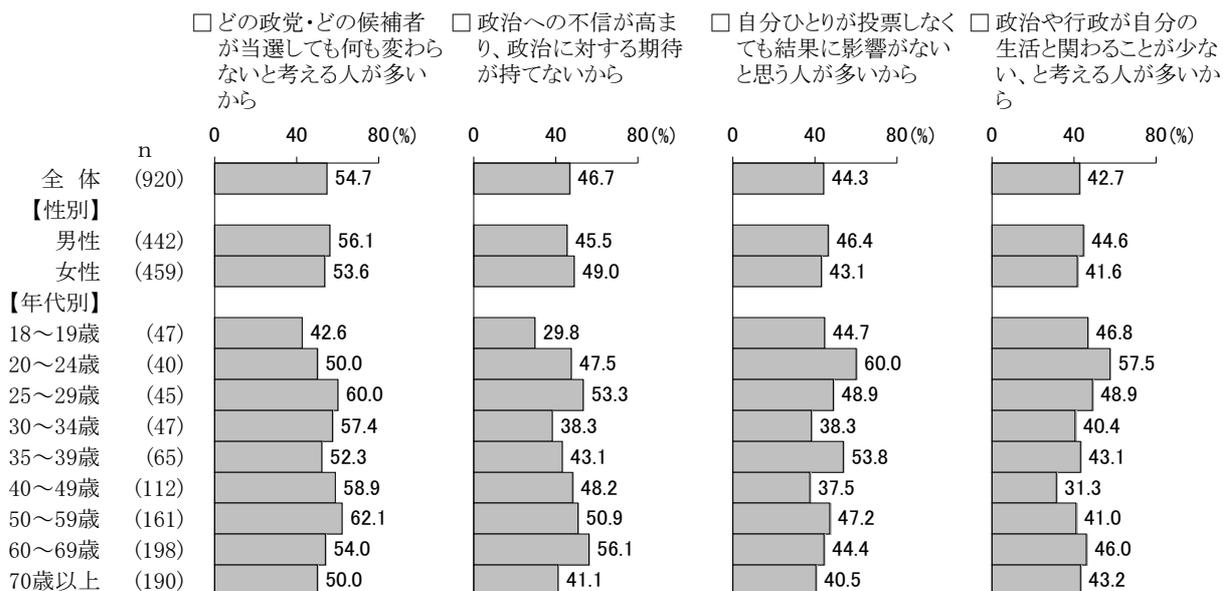
瑞穂町の選挙における投票率は都の区市町村の中で最下位である原因を聞いたところ、「どの政党・どの候補者が当選しても何も変わらないと考える人が多いから」が54.7%で最も多く、以下、「政治への不信が高まり、政治に対する期待が持てないから」(46.7%)、「自分ひとりが投票しなくても結果に影響がないと思う人が多いから」(44.3%)、「政治や行政が自分の生活と関わるのが少ない、と考える人が多いから」(42.7%)が4割台で続いている。

性別にみると、特に大きな違いはみられない。

年代別にみると、「どの政党・どの候補者が当選しても何も変わらないと考える人が多いから」は20歳以上のすべての年代で5割から6割台となり、最も多い理由となっている。「政治への不信が高まり、政治に対する期待が持てないから」、「自分ひとりが投票しなくても結果に影響がないと思う人が多い

から」、「政治や行政が自分の生活と関わることが少ない、と考える人が多いから」は20代を中心に他の年代より多くあげられている。また、「政治への不信が高まり、政治に対する期待が持てないから」は40代から60代でも多くなっている。「投票に行くのが面倒だと思ふ人が多いから」は20代まででは5割から6割台と多いが、他の年代ではそれほど多くない。この他、「当選させたくないような候補者がいないから」や「自分達や地元の利益を代弁してくれるような候補者がいないから」は20代後半と30代前半で他の年代より多くなっている。

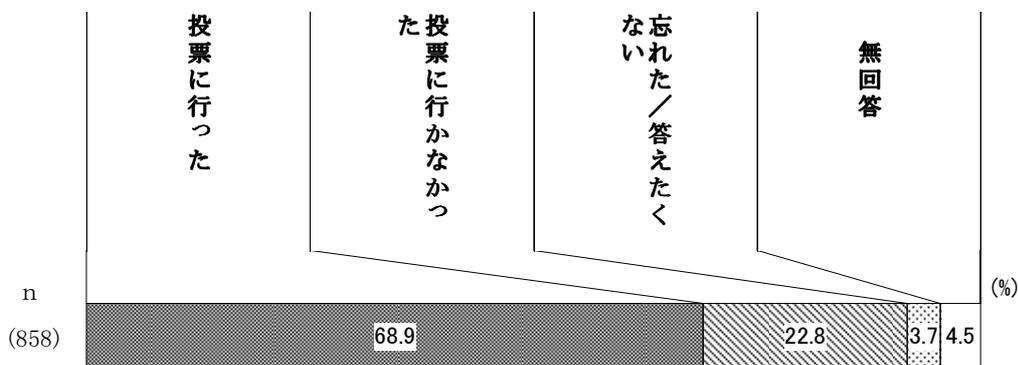
性別、年代別（上位8項目）



5. 最近の選挙（20歳以上の方のみ）

（1）今年7月の参議院議員選挙の投票

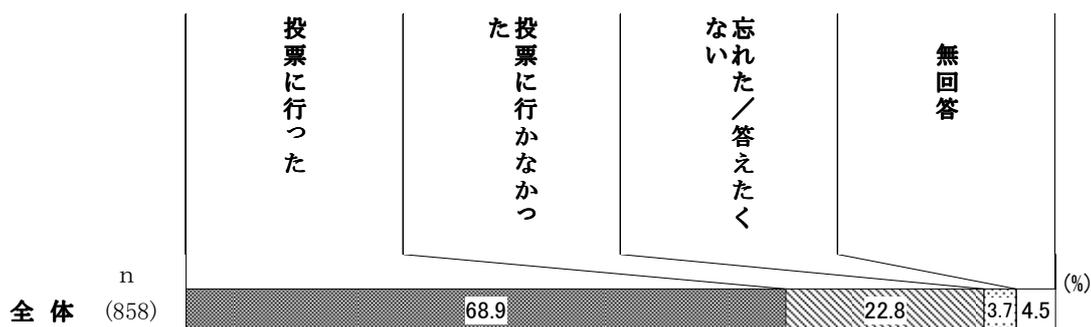
問16 あなたは、今年7月の参議院議員選挙で、投票に行きましたか。（○は1つ）（20歳以上の方のみお答えください）



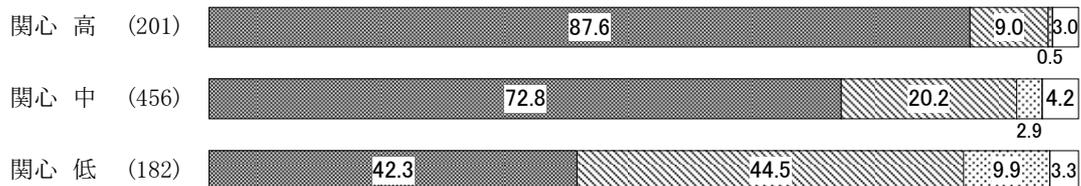
第23回参議院議員選挙（2013年7月21日投票）の「投票に行った」は68.9%、「投票に行かなかった」は22.8%となっている。

政治への関心度別にみると、「投票に行った」は“関心 高”で87.6%、“関心中”で72.8%と多くなっているが、“関心 低”では42.3%となっており、「投票に行かなかった」（44.5%）を下回っている。

政治への関心度別



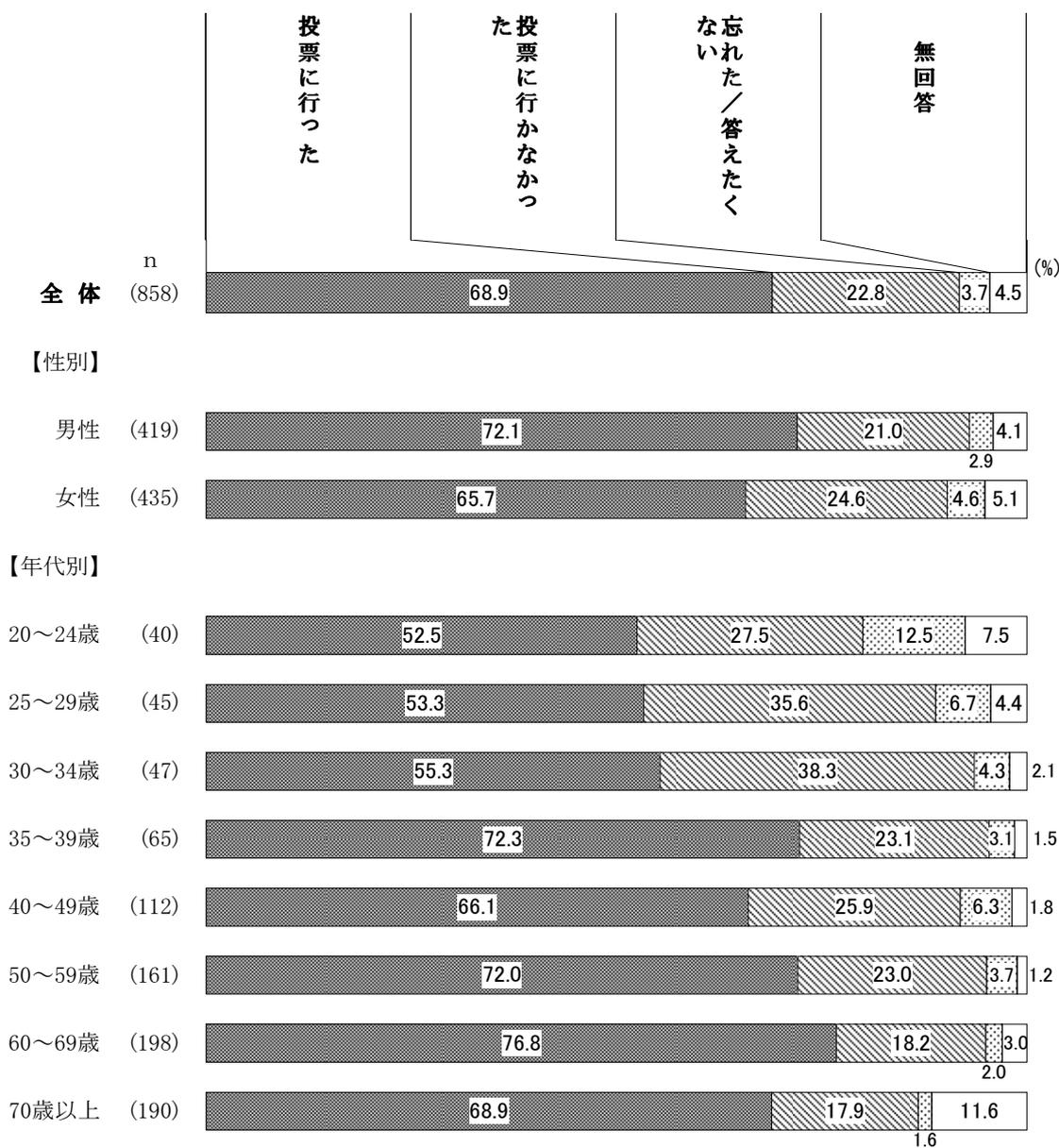
【政治への関心度別】



性別にみると、「投票に行った」（男性：72.1%、女性：65.7%）は男性でより多くなっている。

年代別にみると、30代後半以上の年代では「投票に行った」が6割から7割台を占めているが、30代前半以下の年代では5割台となっている。

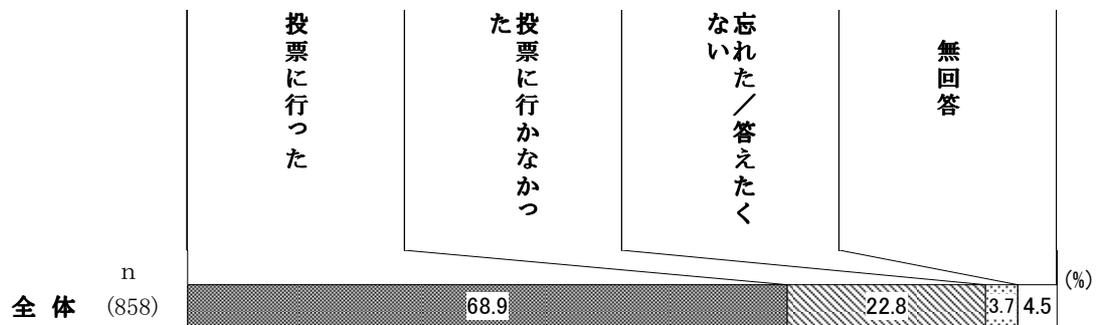
性別、年代別



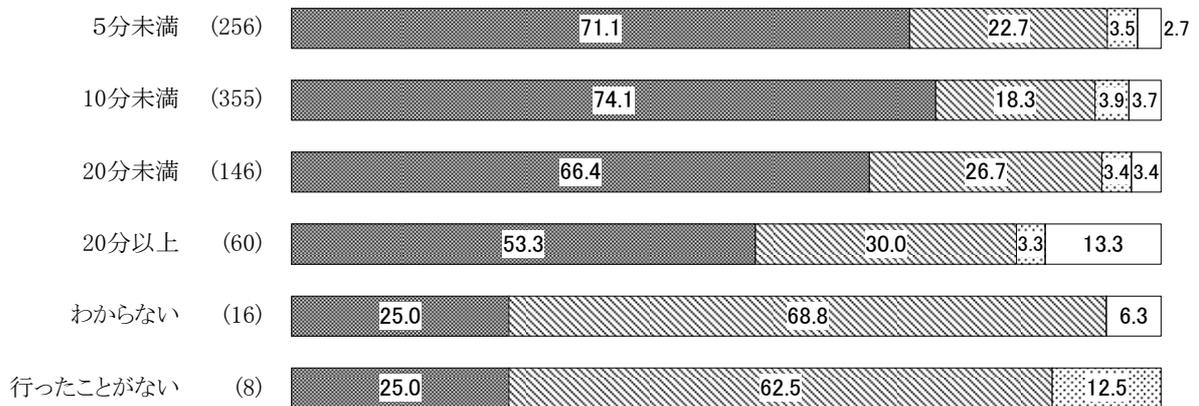
第2章 調査結果の詳細

投票所までの徒歩時間別にみると、5分未満（71.1%）や10分未満（74.1%）では7割台、20分未満では66.4%、20分以上では53.3%と徒歩時間がかかるほど投票に行った人は少なくなる。

投票所までの徒歩時間別



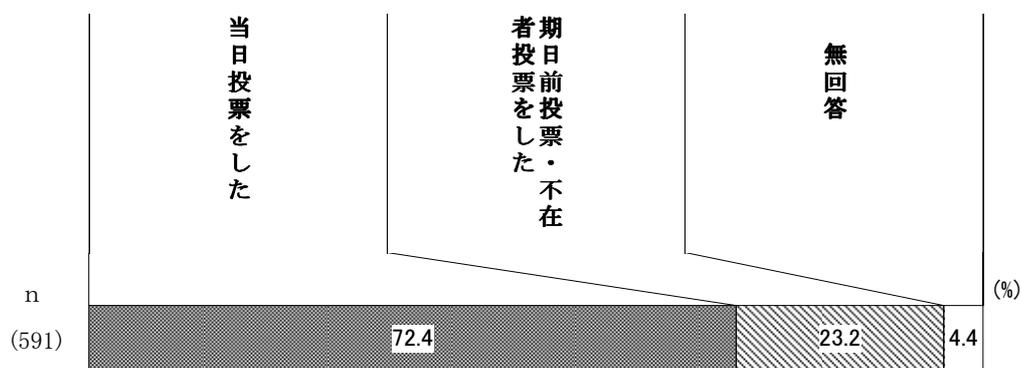
【投票所までの徒歩時間別】



(2) 投票状況

【問16で「投票に行った」とお答えの方に】

問16-1 当日投票しましたか、それとも期日前投票または不在者投票をしましたか。(○は1つ) (20歳以上の方のみ)



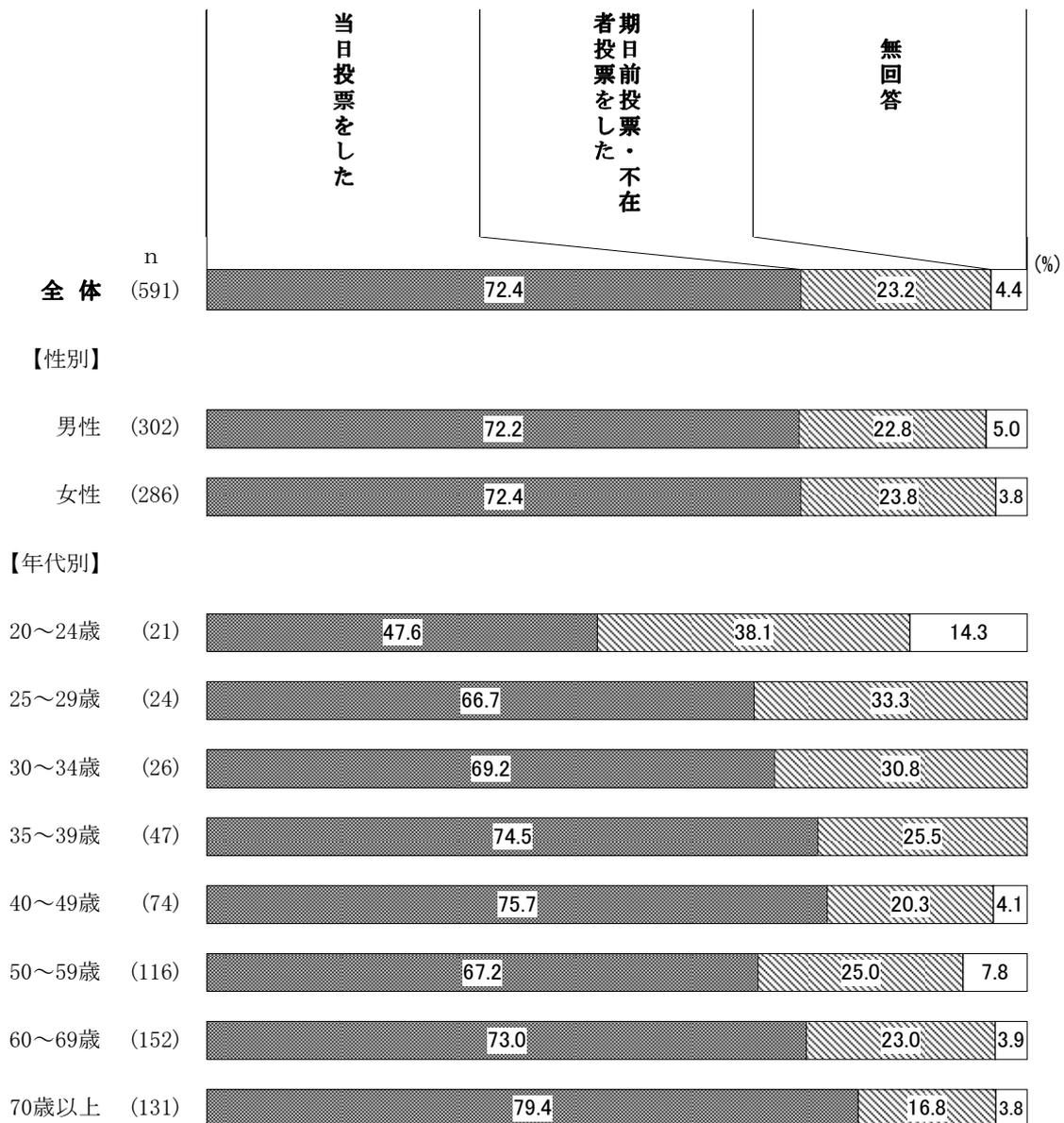
投票に行った人は、「当日投票をした」が72.4%を占め、「期日前投票・不在者投票をした」は23.2%となっている。

第2章 調査結果の詳細

性別では、特に大きな違いはみられない。

年代別にみると、「当日投票をした」は20代後半以上の年代で6割から7割台を占めるが、20代前半では「期日前投票・不在者投票をした」が38.1%と他の年代より多くなっている。

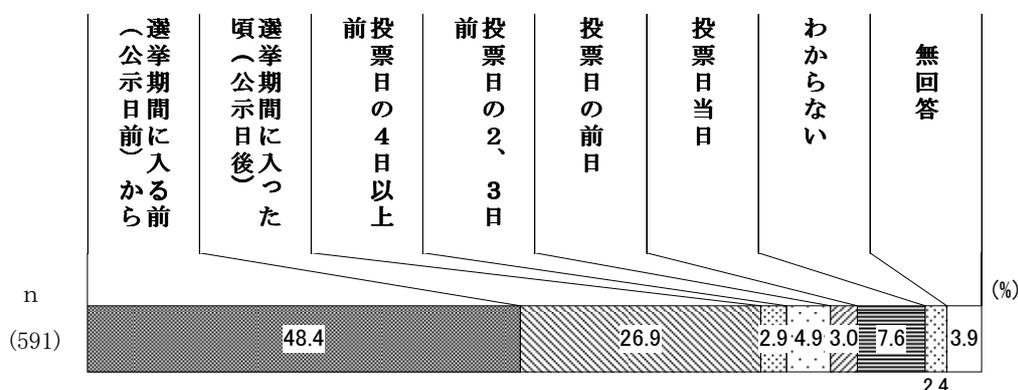
性別、年代別



(3) 投票に行くことを決めた時期

【問16で「投票に行った」とお答えの方に】

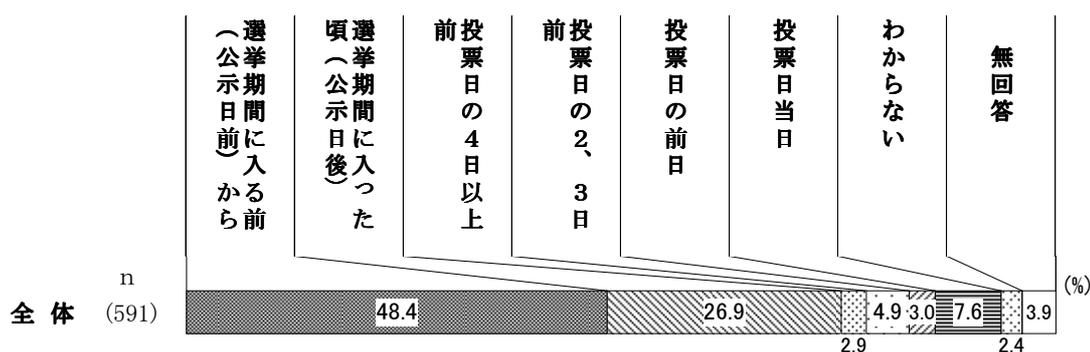
問16-2 投票に行こうと決めたのはいつ頃でしたか。(〇は1つ) (20歳以上の方のみ)



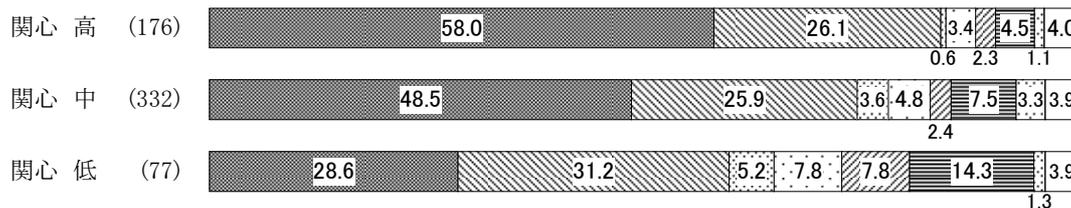
投票に行こうと決めたのは、「選挙期間に入る前（公示日前）から」が48.4%、「選挙期間に入った頃（公示日後）」が26.9%となっており、投票に行った人の75.3%は公示日前後にはすでに投票に行くことを決めていたことがわかる。

政治への関心度別にみると、“関心 高”では「選挙期間に入る前（公示日前）から」が58.0%と多い。“関心 低”では「選挙期間に入った頃（公示日後）」が31.2%、「投票日当日」も14.3%と比較的多く、投票日の直前に決めた人も少なくないことがわかる。

政治への関心度別



【政治への関心度別】

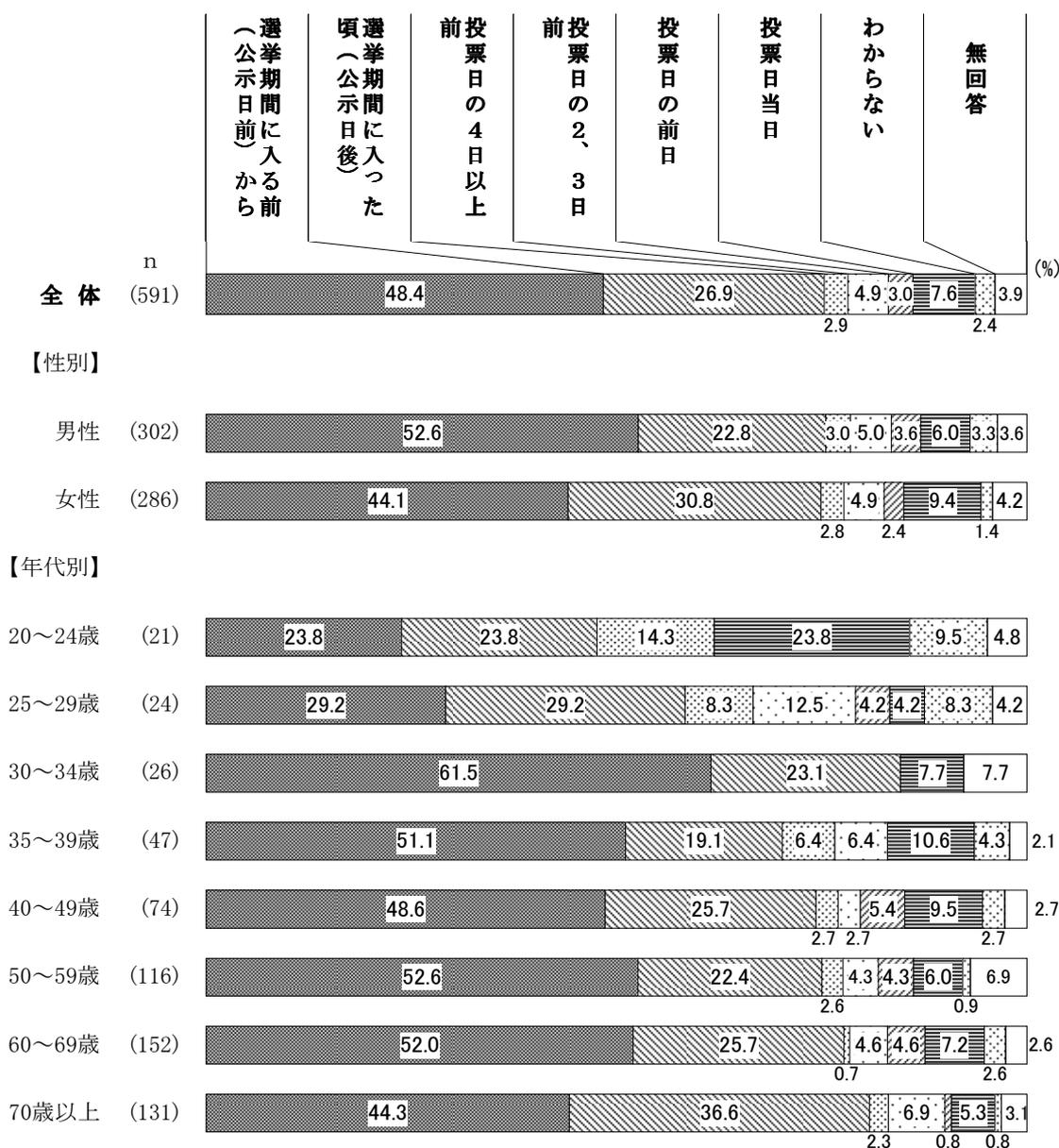


第2章 調査結果の詳細

性別にみると、「選挙期間に入る前（公示日前）から」（男性：52.6%、女性：44.1%）は男性でより多く、「選挙期間に入った頃（公示日後）」（男性：22.8%、女性：30.8%）は女性でより多い。

年代別にみると、「選挙期間に入る前（公示日前）から」は30代前半で61.5%と多く、30代後半から60代まで5割前後となっているが、20代前半および後半では2割台と少ない。20代前半では「投票日当日」が23.8%と他の年代より多くなっている。

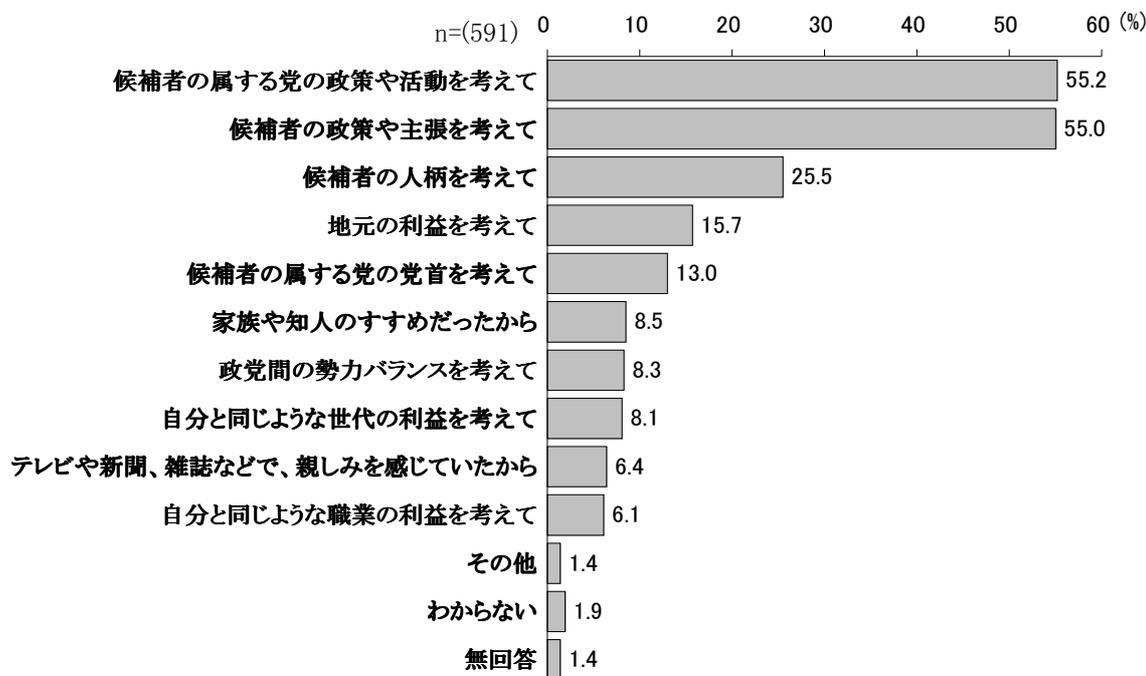
性別、年代別



(4) 候補者への投票理由

【問16で「投票に行った」とお答えの方に】

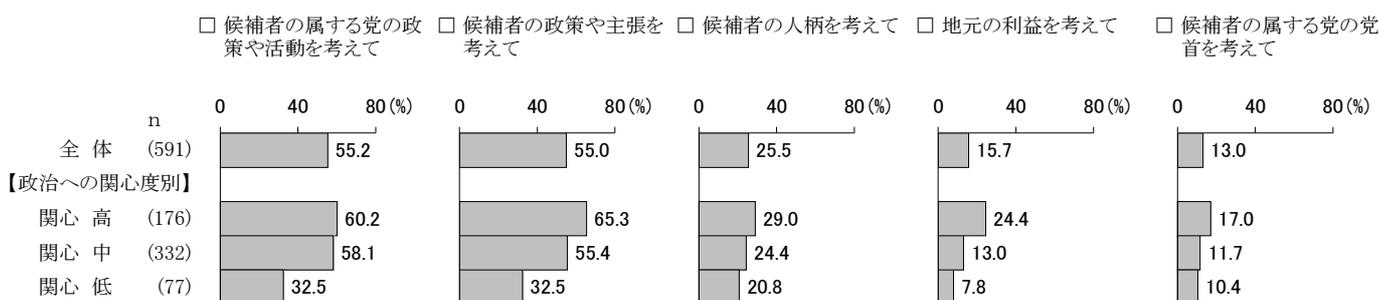
問16-3 あなたは、候補者を選ぶ時、どういう点を考えて投票する人を決めましたか。(〇はいくつでも) (20歳以上の方のみ)



候補者への投票理由としては、「候補者の属する党の政策や活動を考慮」(55.2%)と「候補者の政策や主張を考慮」(55.0%)の2項目が5割台で特に多くなっている。以下、「候補者の人柄を考慮」(25.5%)、「地元の利益を考慮」(15.7%)、「候補者の属する党の党首を考慮」(13.0%)が続いている。

政治への関心度別にみると、上位5項目はいずれも関心度が高いほど多く、「候補者の属する党の政策や活動を考慮」(60.2%)や「候補者の政策や主張を考慮」(65.3%)では6割台と多い。

政治への関心度別 (上位5項目)

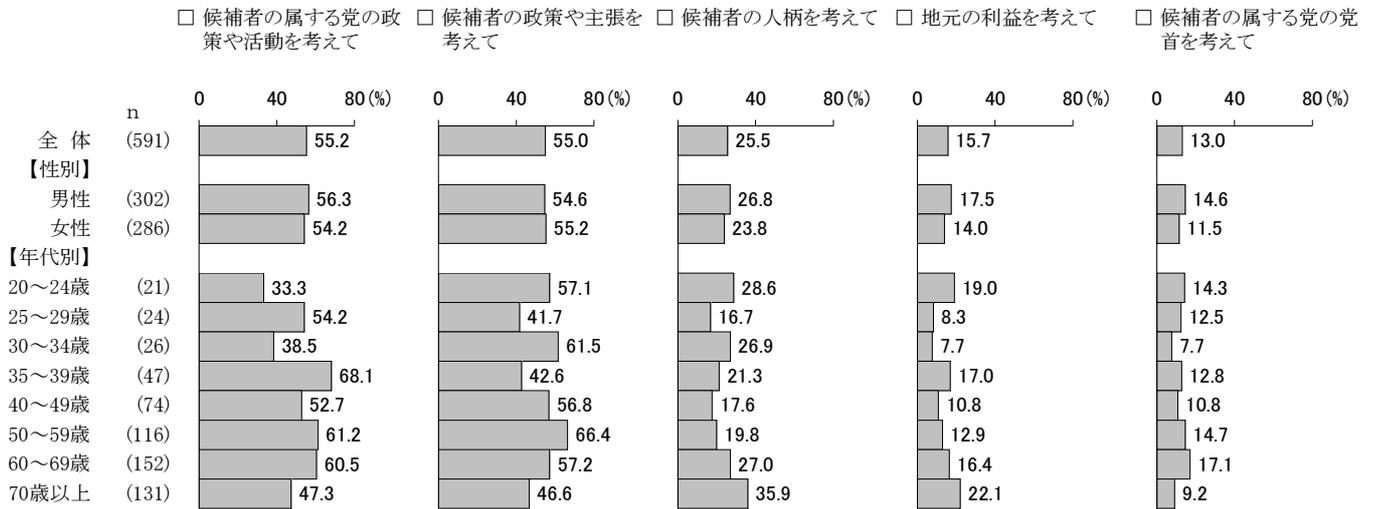


第2章 調査結果の詳細

性別にみても、大きな違いはみられない。

年代別にみても、どの年代でも「候補者の属する党の政策や活動を考えて」と「候補者の政策や主張をを考えて」の2項目が特に多くなっている。

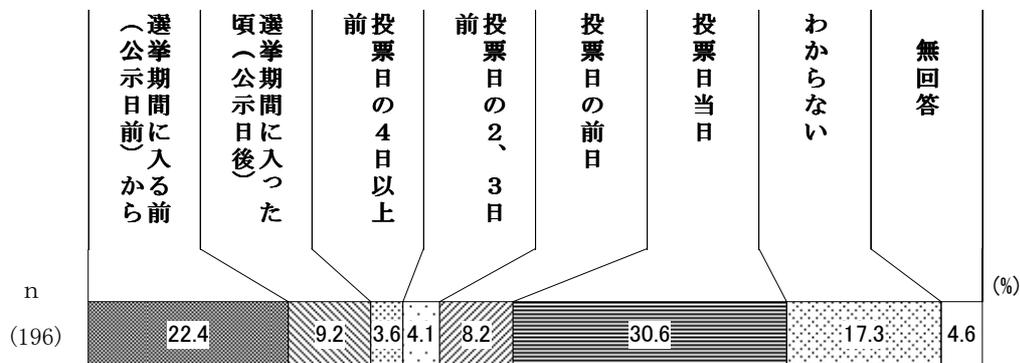
性別、年代別（上位5項目）



(5) 投票に行かないと決めた時期

【問16で「投票に行かなかった」とお答えの方に】

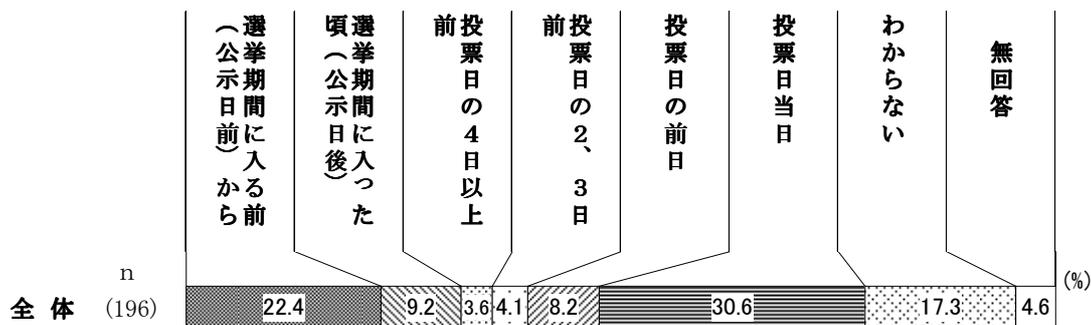
問16-4 投票に行かないと決めたのはいつ頃でしたか。(○は1つ) (20歳以上の方のみ)



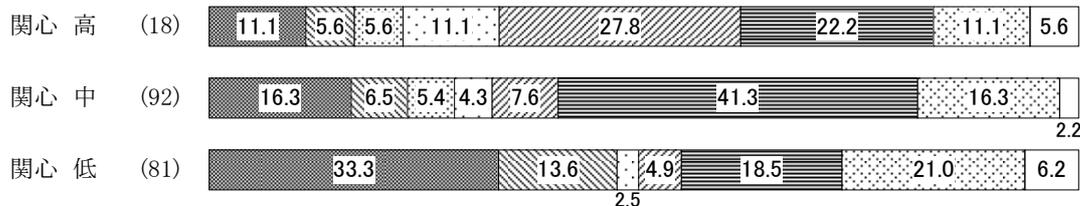
投票に行かないと決めた時期は、「投票日当日」が30.6%で最も多い。また、「選挙期間に入る前(公示日前)から」行かないと決めていた人も22.4%となっている。

政治への関心度別にみると、“関心中”では「投票日当日」が41.3%、“関心低”では「選挙期間に入る前(公示日前)から」が33.3%とそれぞれ特に多くなっている。

政治への関心度別



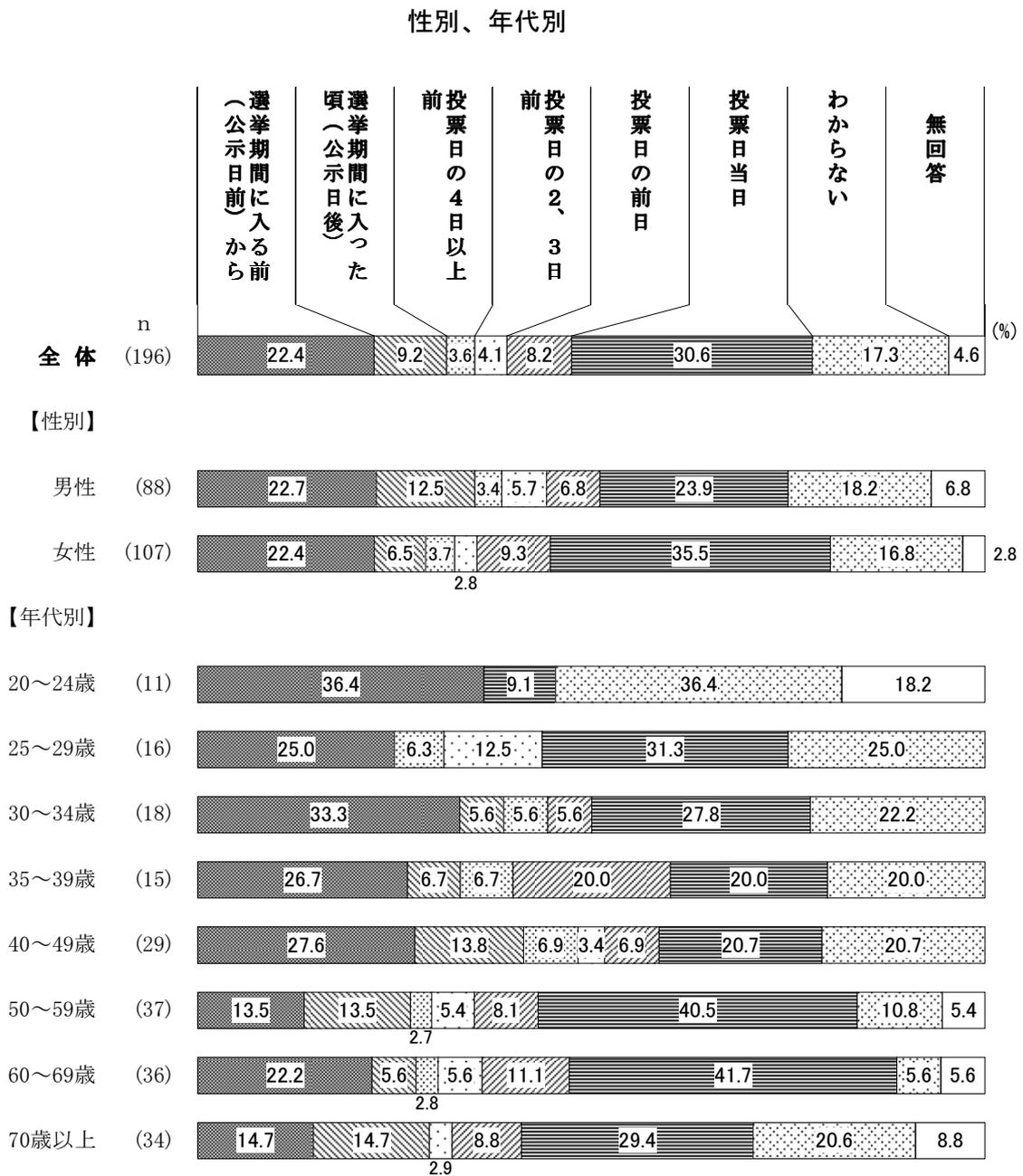
【政治への関心度別】



第2章 調査結果の詳細

性別にみると、「投票日当日」は男女とも最も多く、女性では35.5%となっている。また、「選挙期間に入った頃（公示日後）」は男性（12.5%）でより多くなっている。

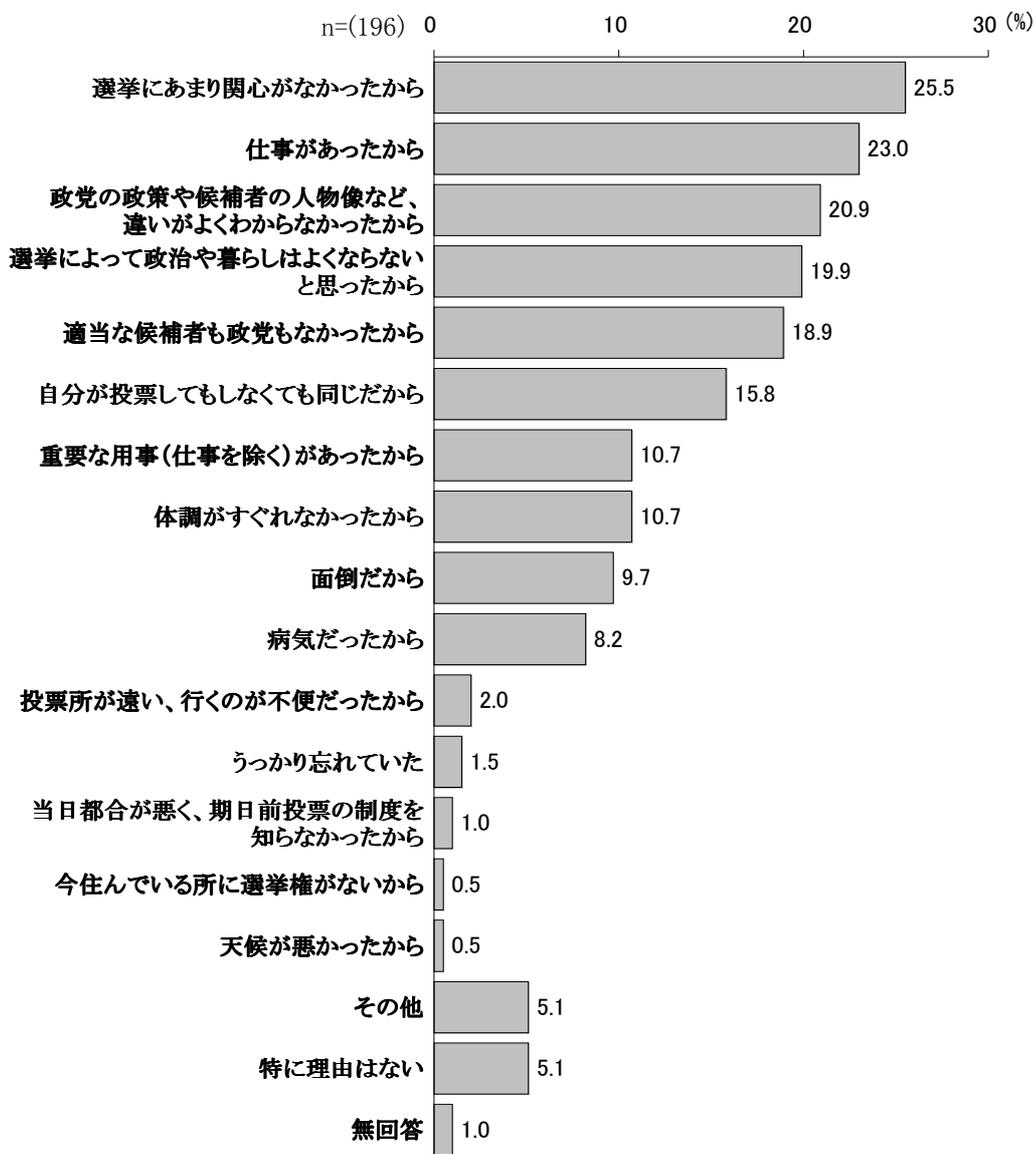
年代別にみると、40代以下では「選挙期間に入る前（公示日前）から」が多く、50代以上では「投票日当日」が多くなっている。



(6) 投票に行かなかった理由

【問16で「投票に行かなかった」とお答えの方に】

問16-5 投票に行かなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも) (20歳以上の方のみ)

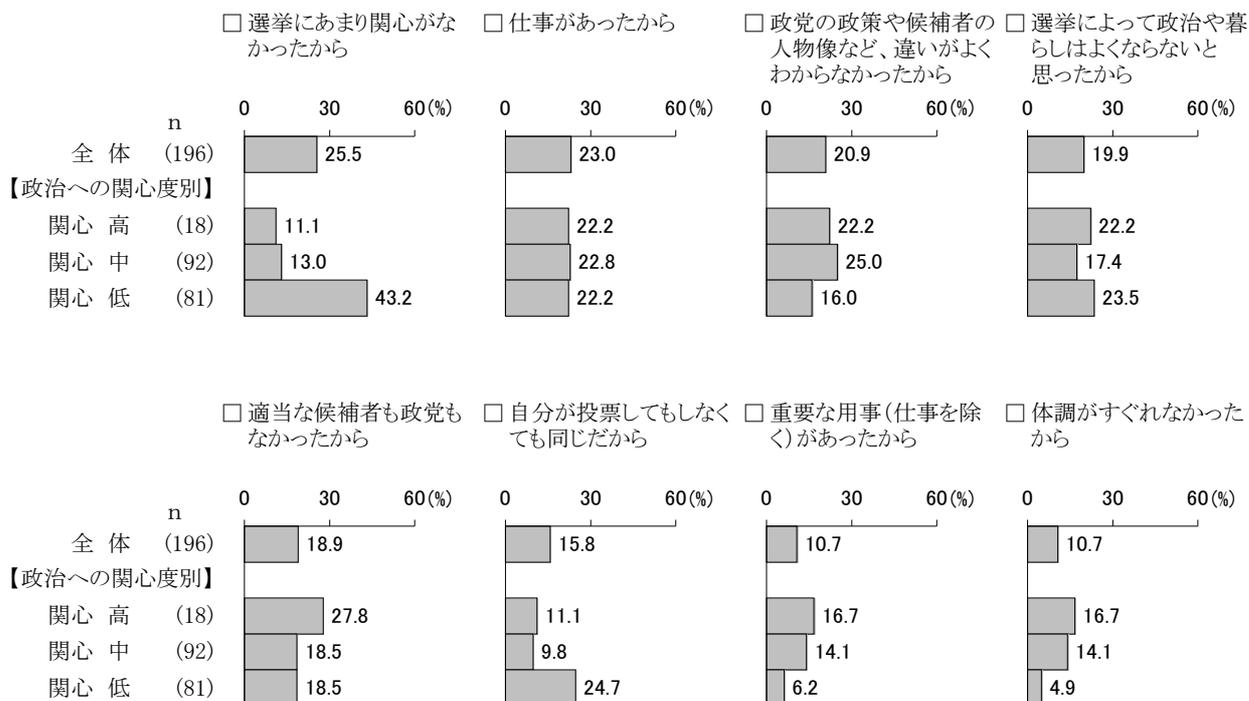


投票に行かなかった理由は、「選挙にあまり関心がなかったから」が25.5%で最も多く、以下、「仕事があったから」(23.0%)、「政党の政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから」(20.9%)が2割台、「選挙によって政治や暮らしはよくなるかと思わなかったから」(19.9%)、「適当な候補者も政党もなかったから」(18.9%)、「自分が投票してもしなくても同じだから」(15.8%)、「重要な用事(仕事を除く)があったから」、「体調がすぐれなかったから」(ともに10.7%)が1割台で続いている。

第2章 調査結果の詳細

政治への関心度別にみると、「関心 低」では「選挙にあまり関心がなかったから」(43.2%)や「自分が投票してもしなくても同じだから」(24.7%)が他の関心度と比較して特に多い。また、「重要な用事(仕事を除く)があったから」や「体調がすぐれなかったから」は関心度が高いほど多くなっている。

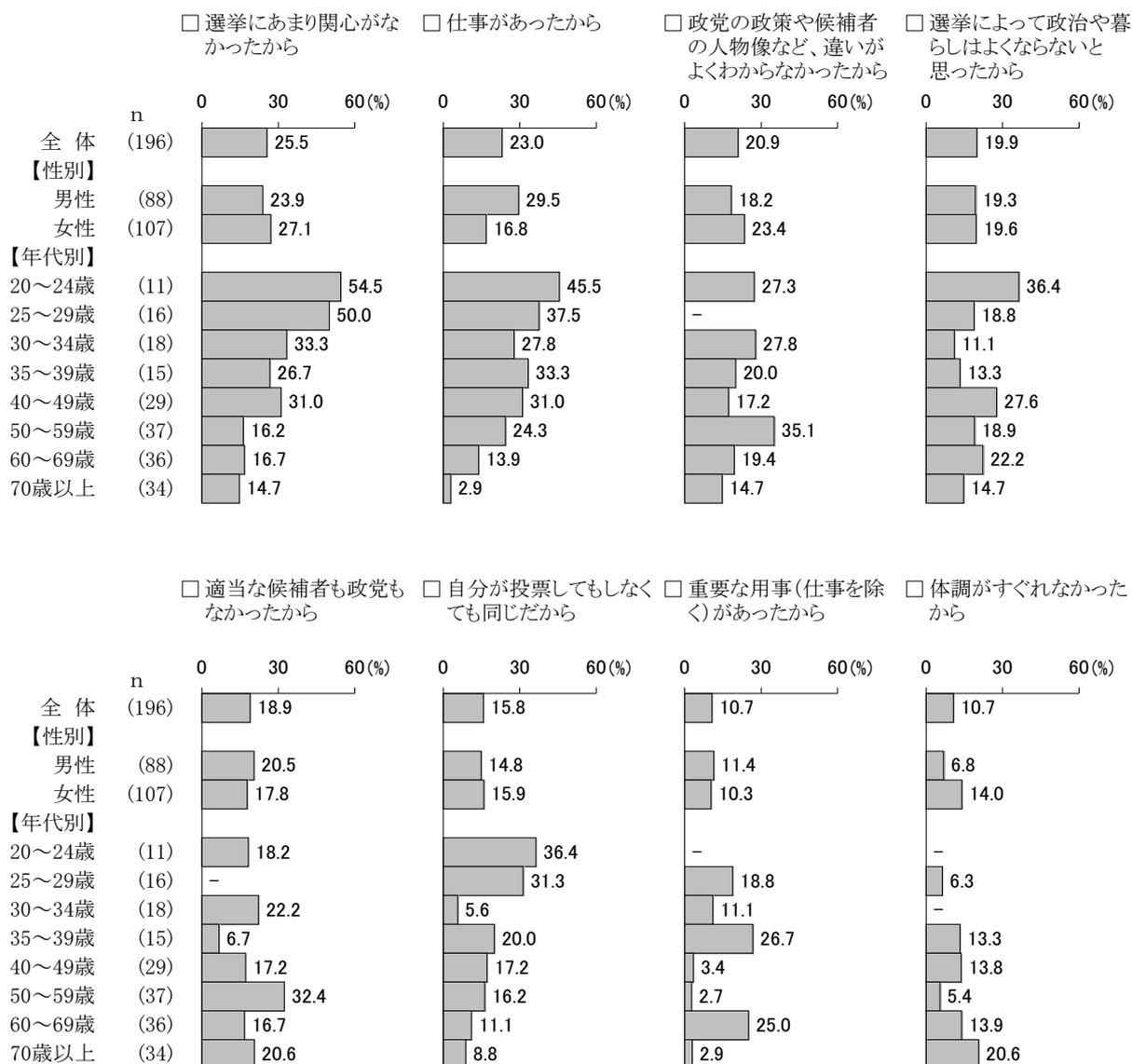
政治への関心度別（上位8項目）



性別にみると、「仕事があったから」は男性（29.5%）が女性（16.8%）を12.7ポイント上回っている。「政党の政策や候補者の人物像など、違いがよくわからなかったから」（男性：18.2%、女性：23.4%）や「体調がすぐれなかったから」（男性：6.8%、女性：14.0%）などは、女性で多い。

年代別では40代以下の世代の回答者数が30人以下と少ないため、厳密な比較とならないが、「選挙にあまり関心がなかったから」や「仕事があったから」、「自分が投票してもしなくても同じだから」などは若年層ほど多い傾向がみられる。

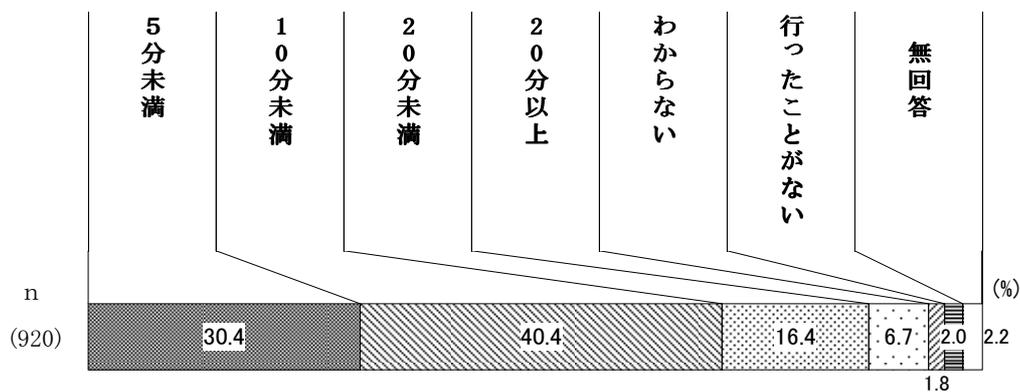
性別、年代別（上位8項目）



6. 投票所

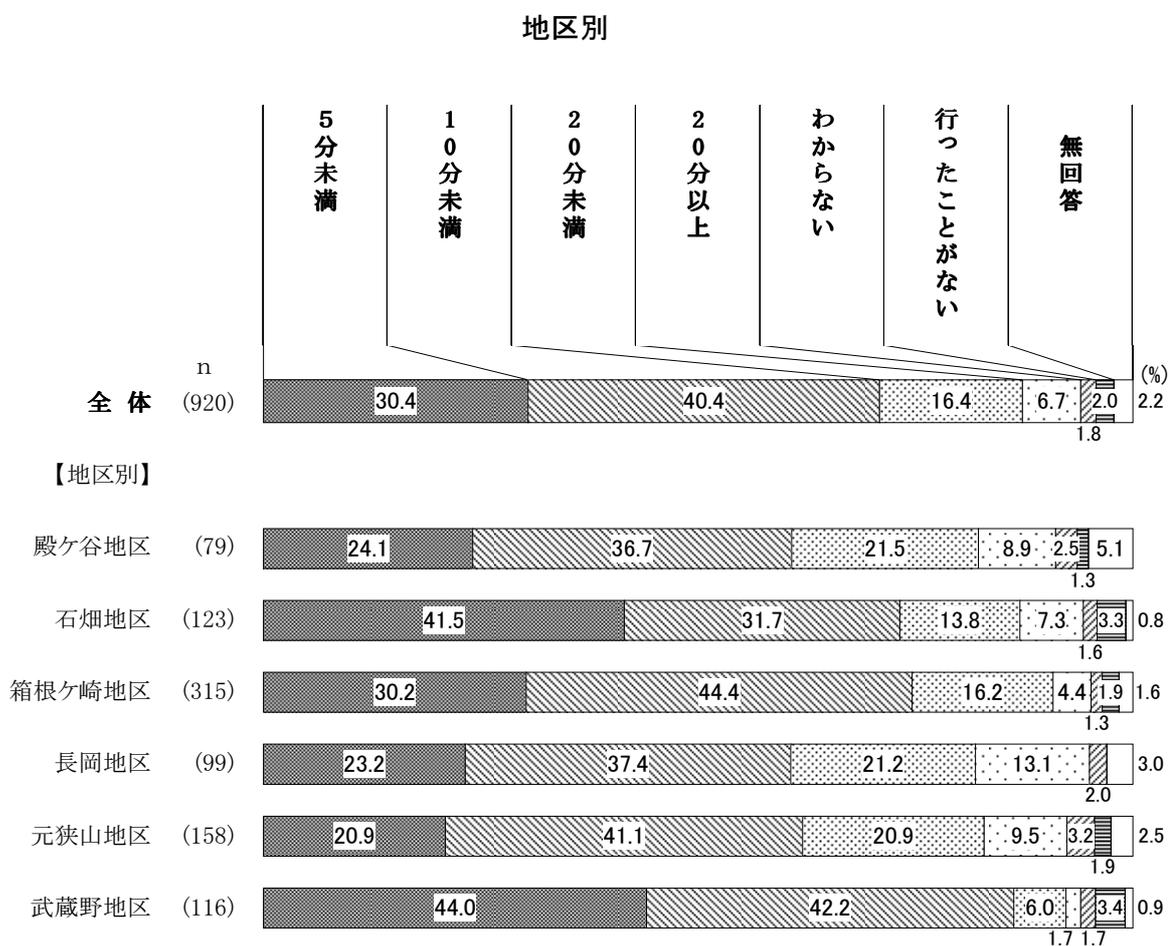
(1) 最寄りの投票所までの徒歩時間

問17 あなたのご自宅から最寄りの投票所へ行くには、徒歩で何分ぐらいかかりますか。(○は1つ) (全ての方がお答えください)



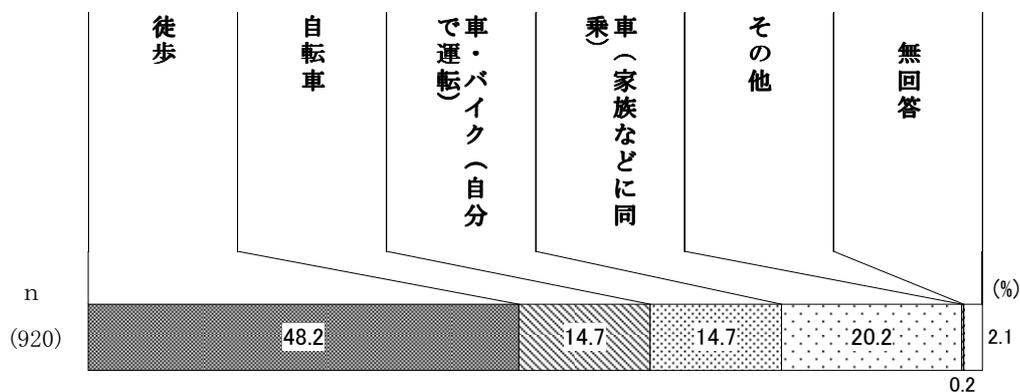
最寄りの投票所まで徒歩でかかる時間は、「5分未満」が30.4%、「10分未満」が40.4%となっている。また、「20分未満」も16.4%となっている。

地区別にみると、「5分未満」は石畑地区と武蔵野地区で4割台、他の地区では「10分未満」が多い。なお、殿ヶ谷地区、長岡地区、元狭山地区では「20分未満」が2割台、長岡地区では「20分以上」も13.1%と比較的多くなっている。



(2) 投票所への交通手段

問18 あなたが投票所に行く場合、主にどのような手段で行きますか。(〇は1つ)
(全ての方)



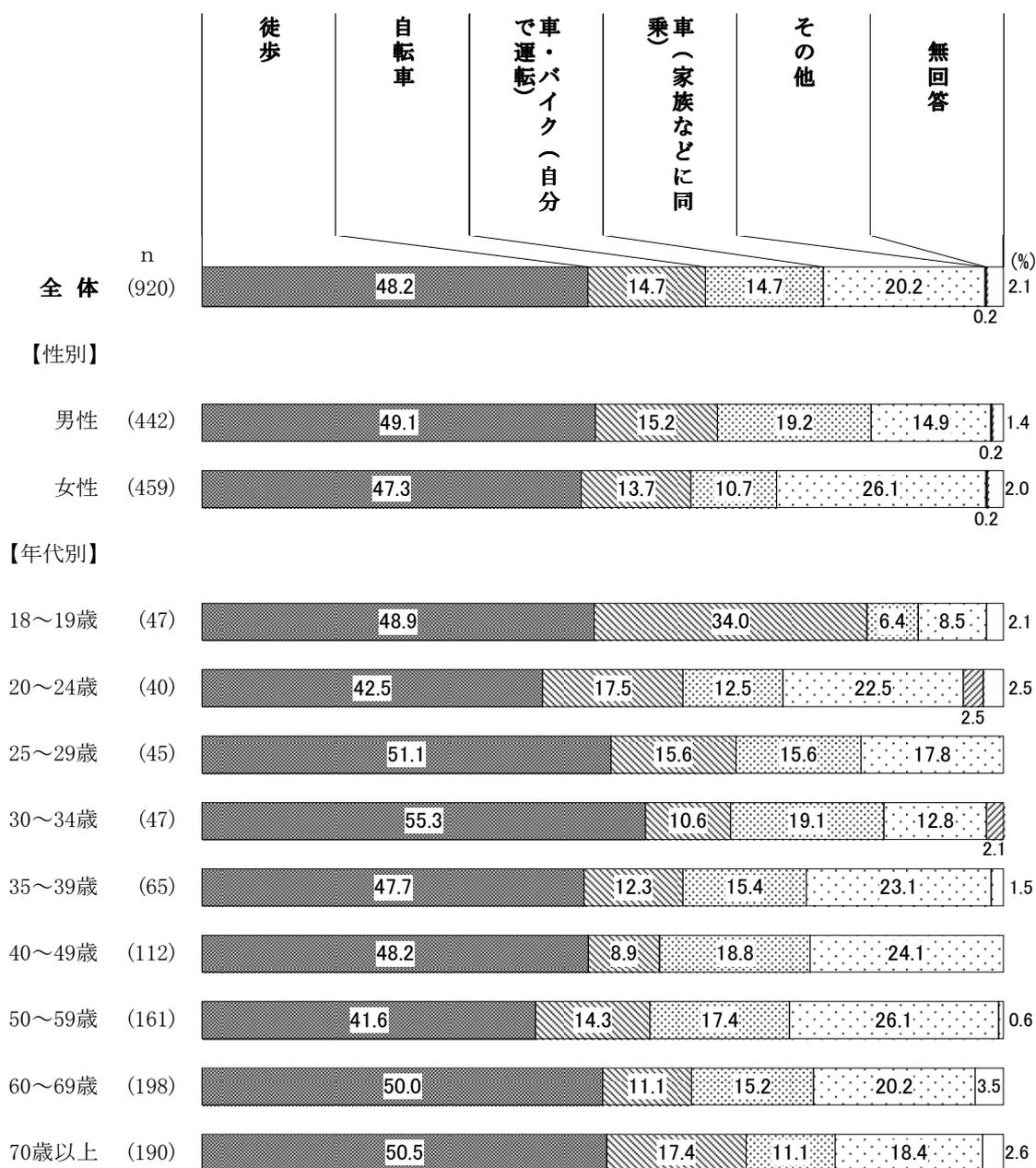
※「バス・公共交通機関」は回答者がいないため、選択肢を表示していない

投票所へ行く場合の交通手段は、「徒歩」が48.2%で最も多く、以下、「車（家族などに同乗）」(20.2%)、「自転車」と「車・バイク（自分で運転）」(ともに14.7%)が続いている。

性別にみると、「車（家族などに同乗）」は女性（26.1%）の方が多く、男性（14.9%）を11.2ポイント上回っている。

年代別にみると、「徒歩」はいずれの年代でも4割から5割台を占め最も多くなっている。「車（家族などに同乗）」は20代前半と30代後半から60代にかけて2割台となっている。また、20歳未満では「自転車」（34.0%）が他の年代より多くなっている。

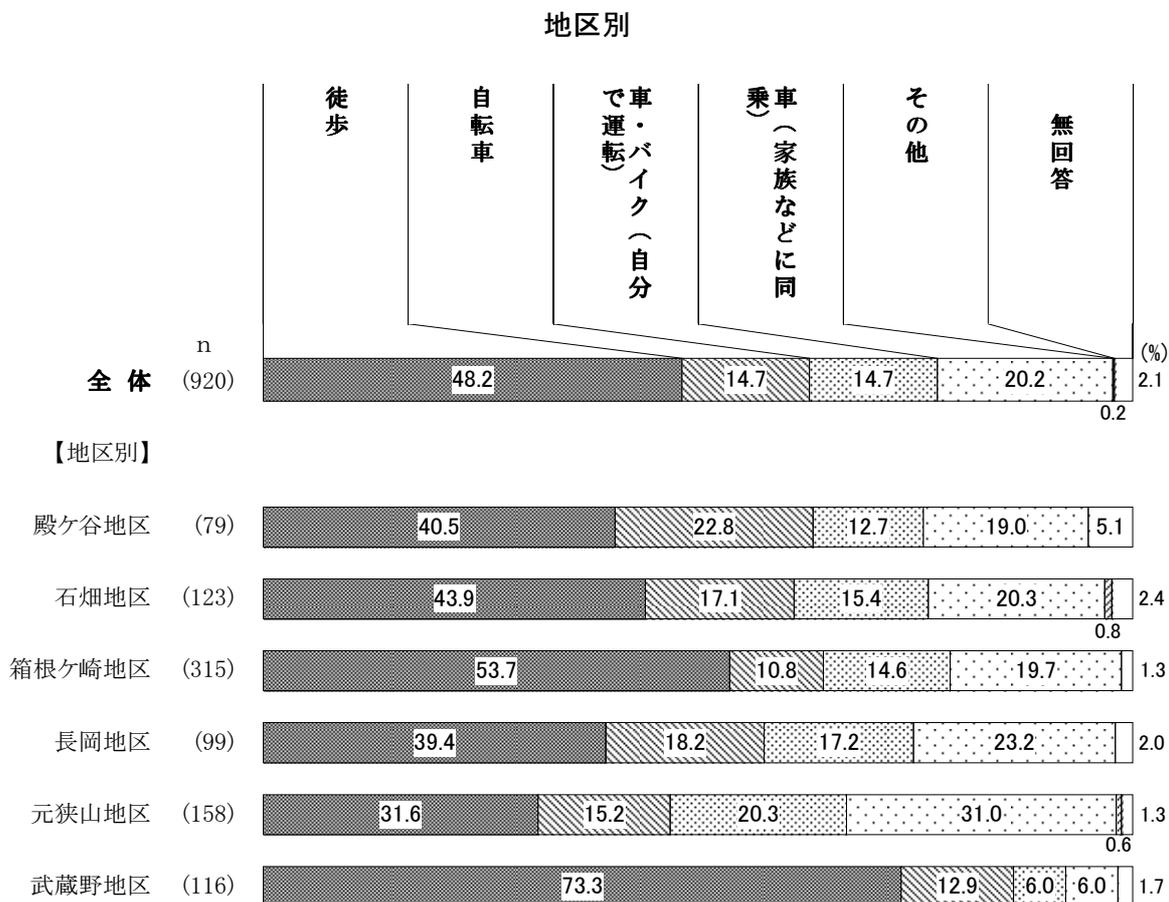
性別、年代別



※「バス・公共交通機関」は回答者がいないため、選択肢を表示していない

第2章 調査結果の詳細

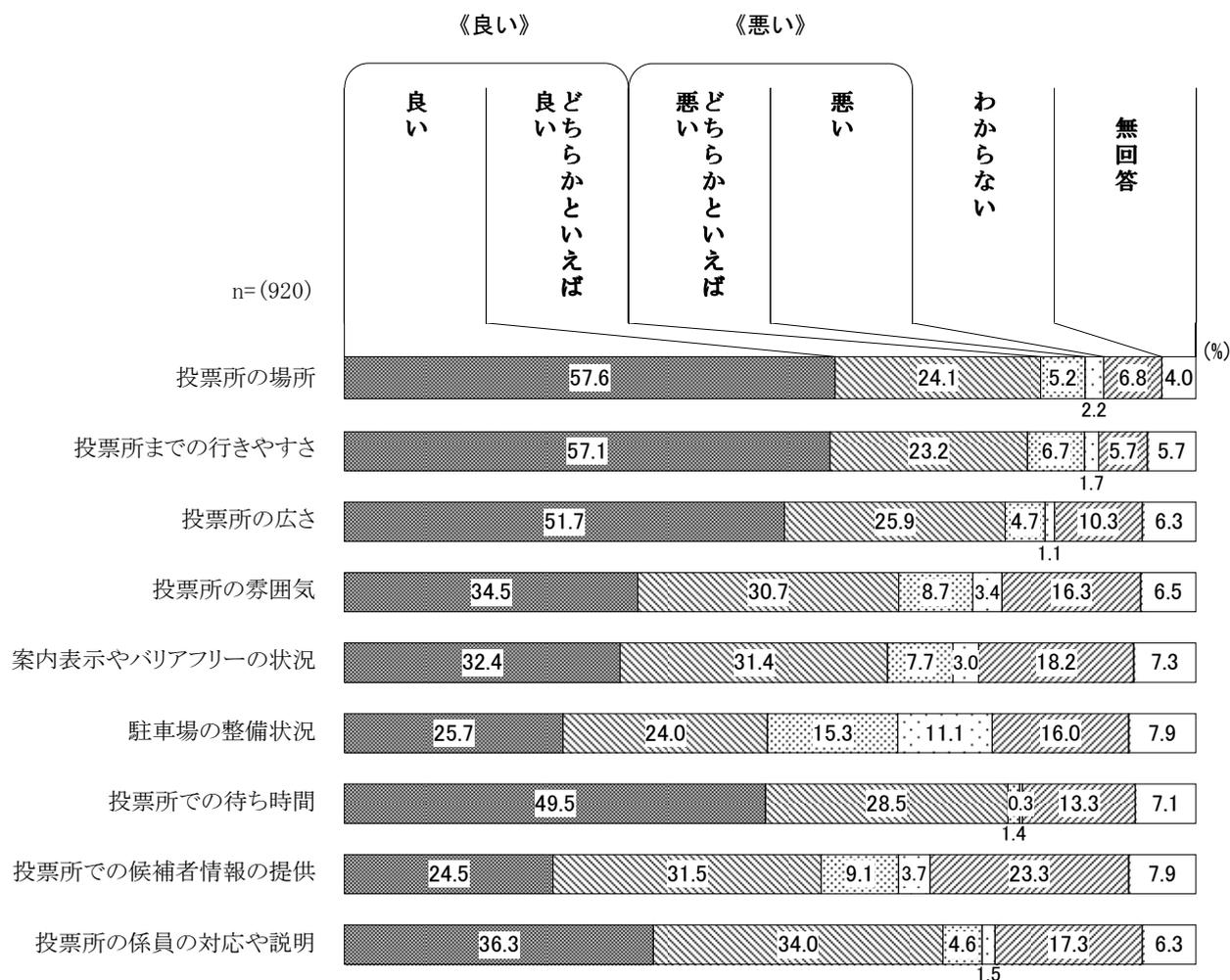
地区別にみると、いずれの地区も「徒歩」が最も多くなっており、前問で8割以上が“投票所まで徒歩で10分未満”となった武蔵野地区では73.3%と特に多い。各地区で3割以上が車利用となっているが、長岡地区では4割、元狭山地区では5割と多くなっている。



※「バス・公共交通機関」は回答者がいないため、選択肢を表示していない

(3) 最寄りの投票所について

問19 最寄りの投票所についてどのようにお感じになっていますか。以下の項目それぞれについてお答えください。(〇はそれぞれ1つ)(全ての方)

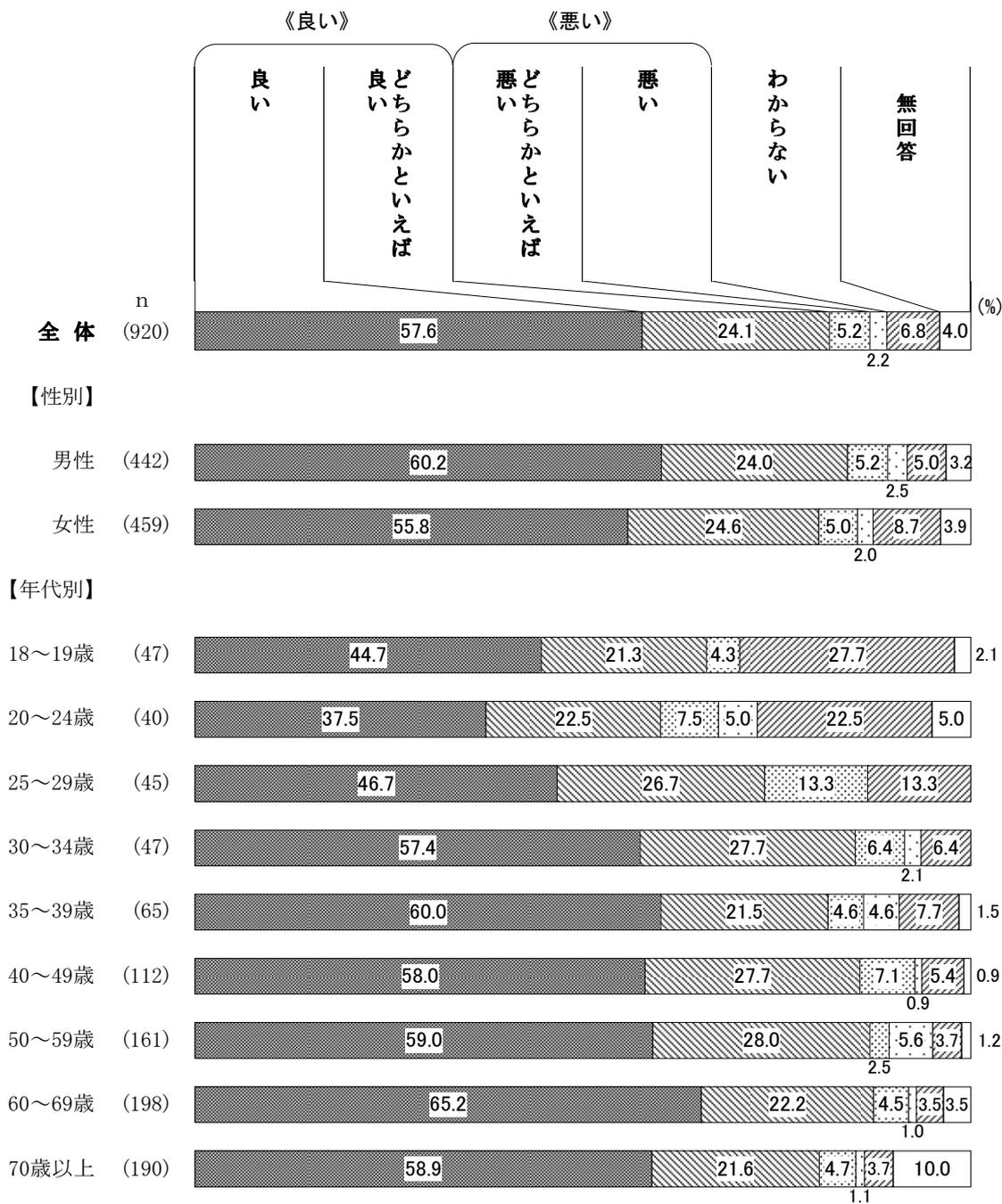


最寄りの投票所について感じていることを聞いたところ、「良い」は「投票所の場所」、「投票所までの行きやすさ」、「投票所の広さ」などが5割台と多くなっている。これに「どちらかといえば良い」をあわせた《良い》で見ると、「投票所の場所」(81.7%)、「投票所までの行きやすさ」(80.3%)が8割台と多く、「投票所の広さ」(77.6%)、「投票所での待ち時間」(78.0%)、「投票所の係員の対応や説明」(70.3%)でも7割台となっている。「駐車場の整備状況」(49.7%)は唯一半数を割り込み、《悪い》(「悪い」と「どちらかといえば悪い」の合計)でも26.4%と他の項目より多くなっている。

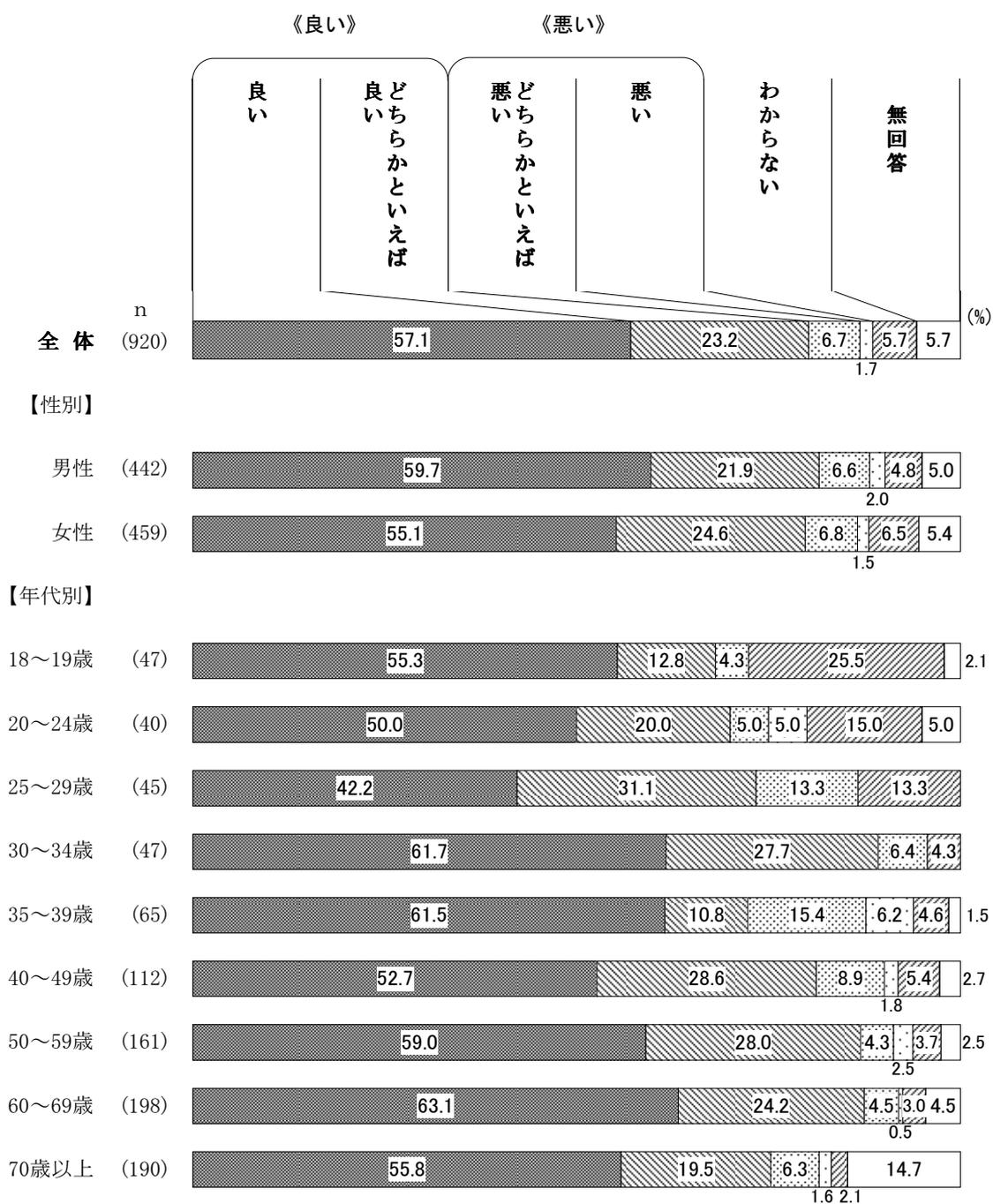
最寄りの投票所について感じていることを性別にみても、大きな違いはみられない。

年代別にみると、20代までの層からは「投票所の雰囲気」や「案内表示やバリアフリーの状況」や「投票所での待ち時間」などで《良い》という評価が少ない。

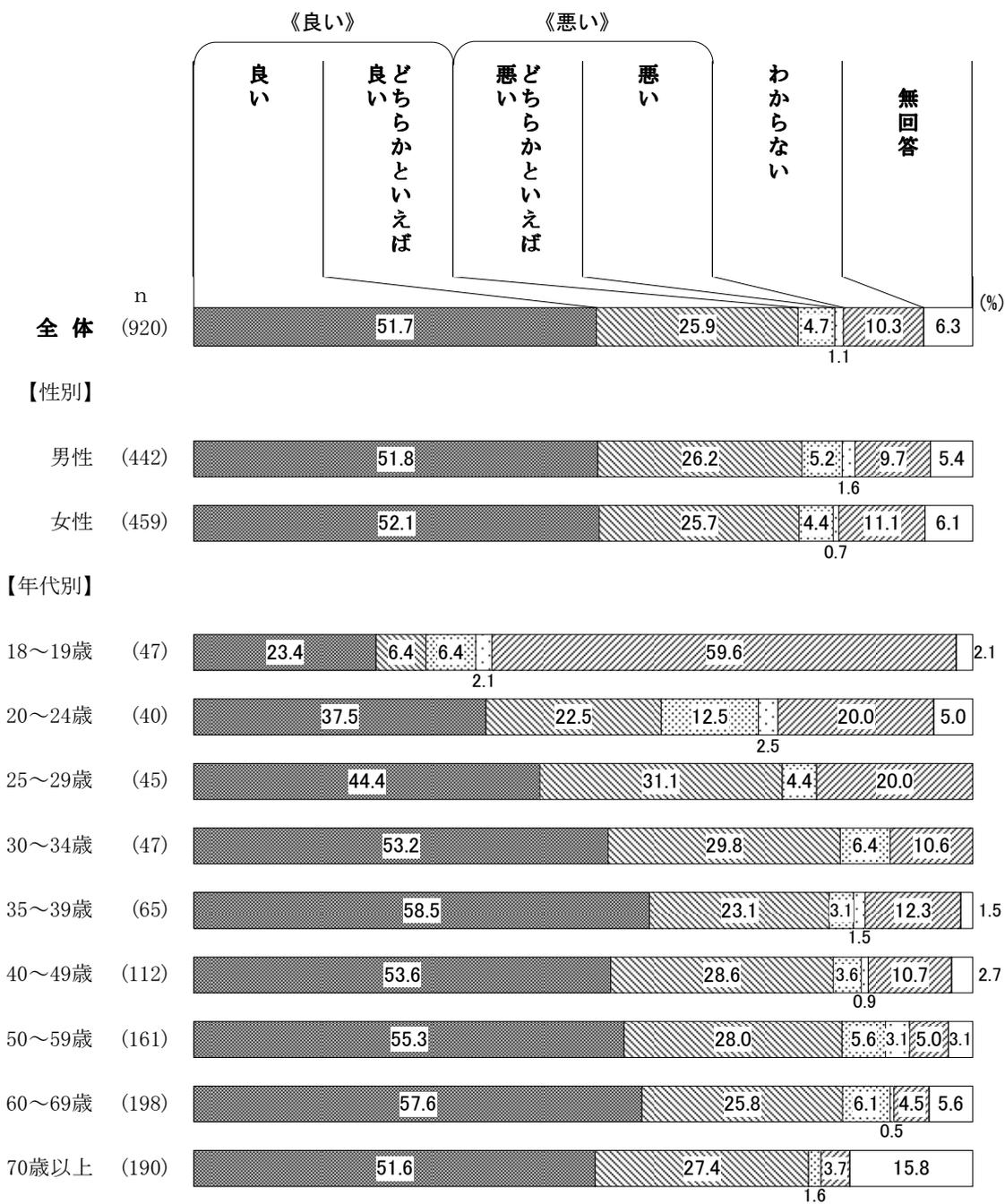
性別、年代別
投票所の場所



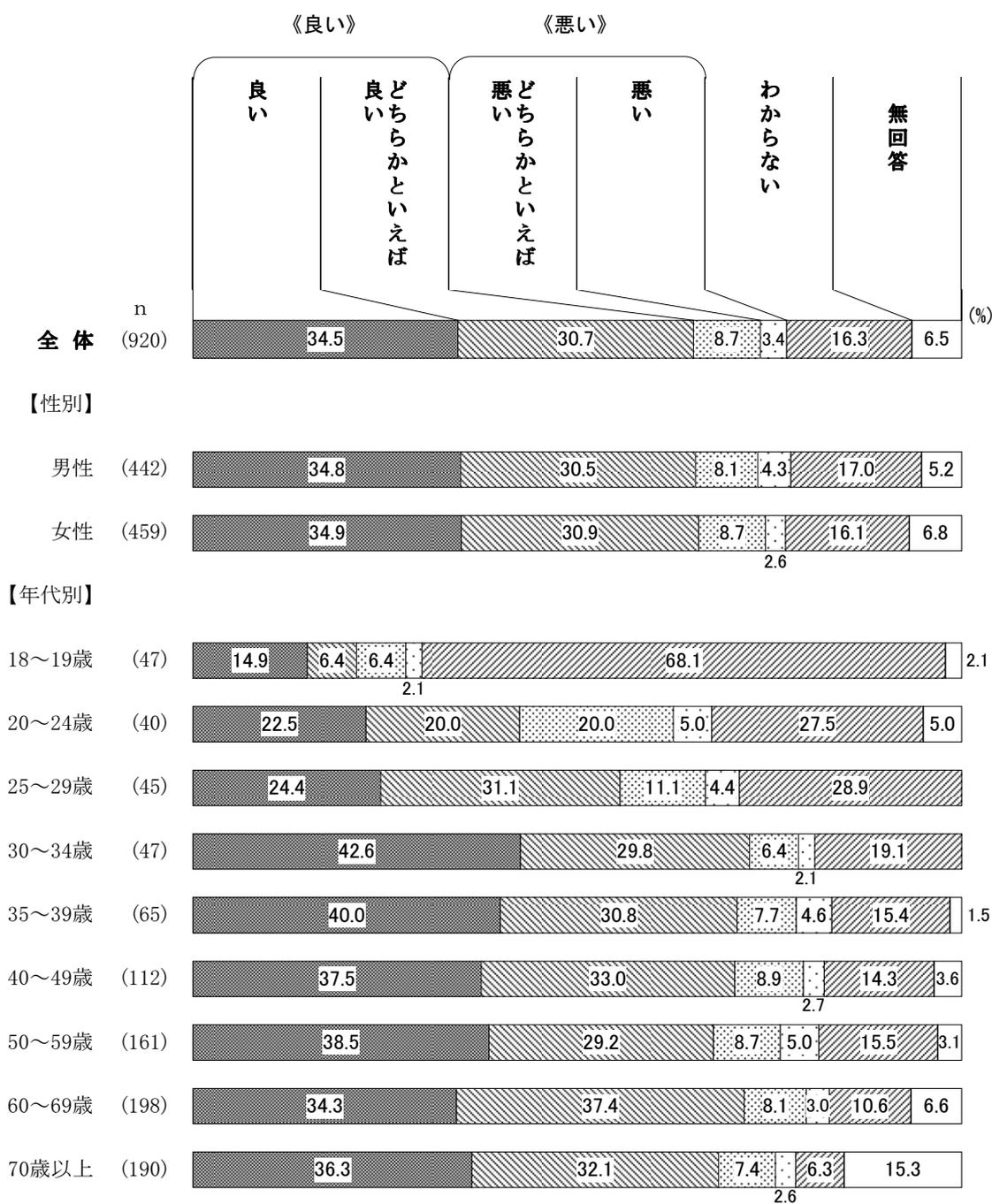
投票所までの行きやすさ



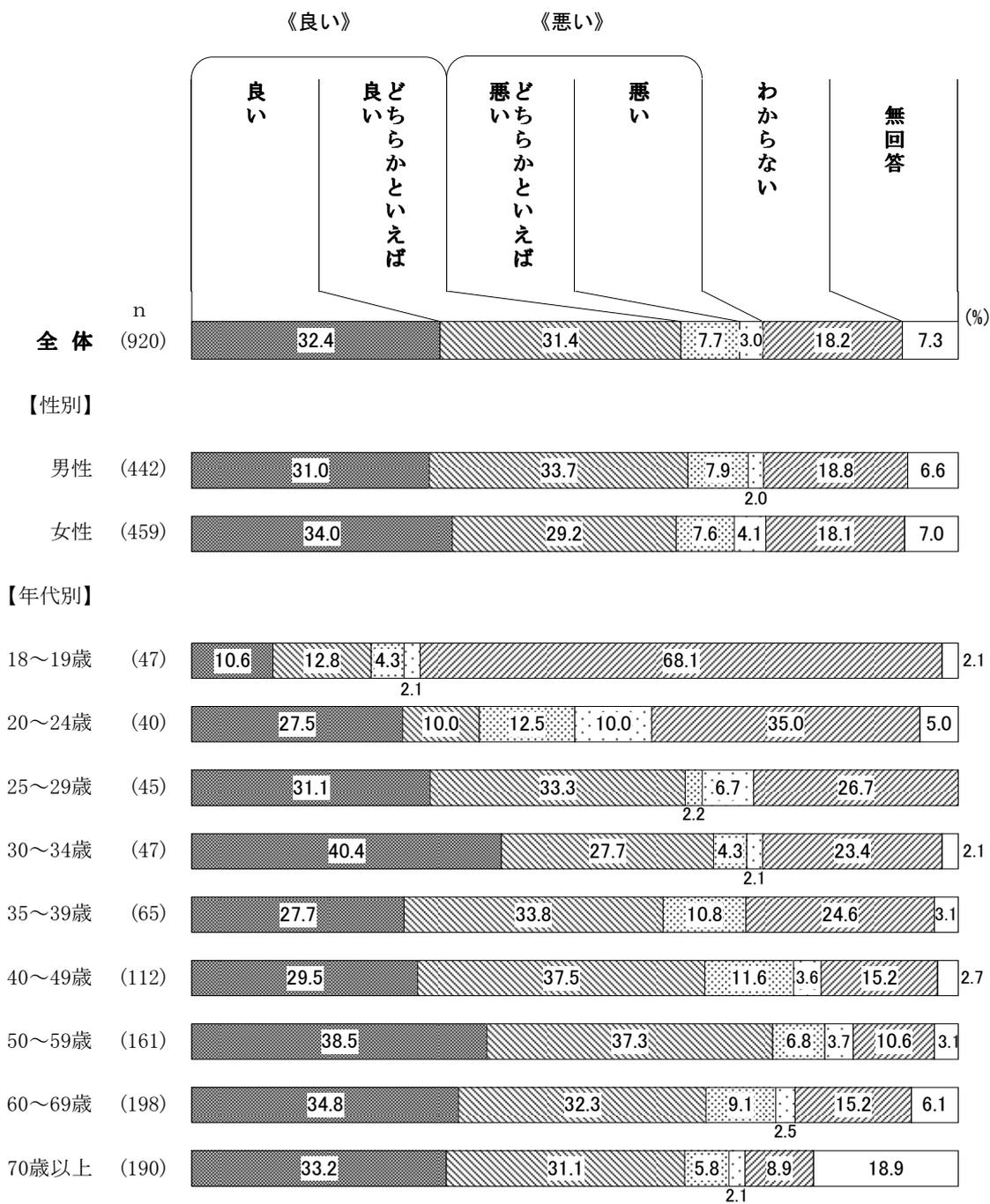
投票所の広さ



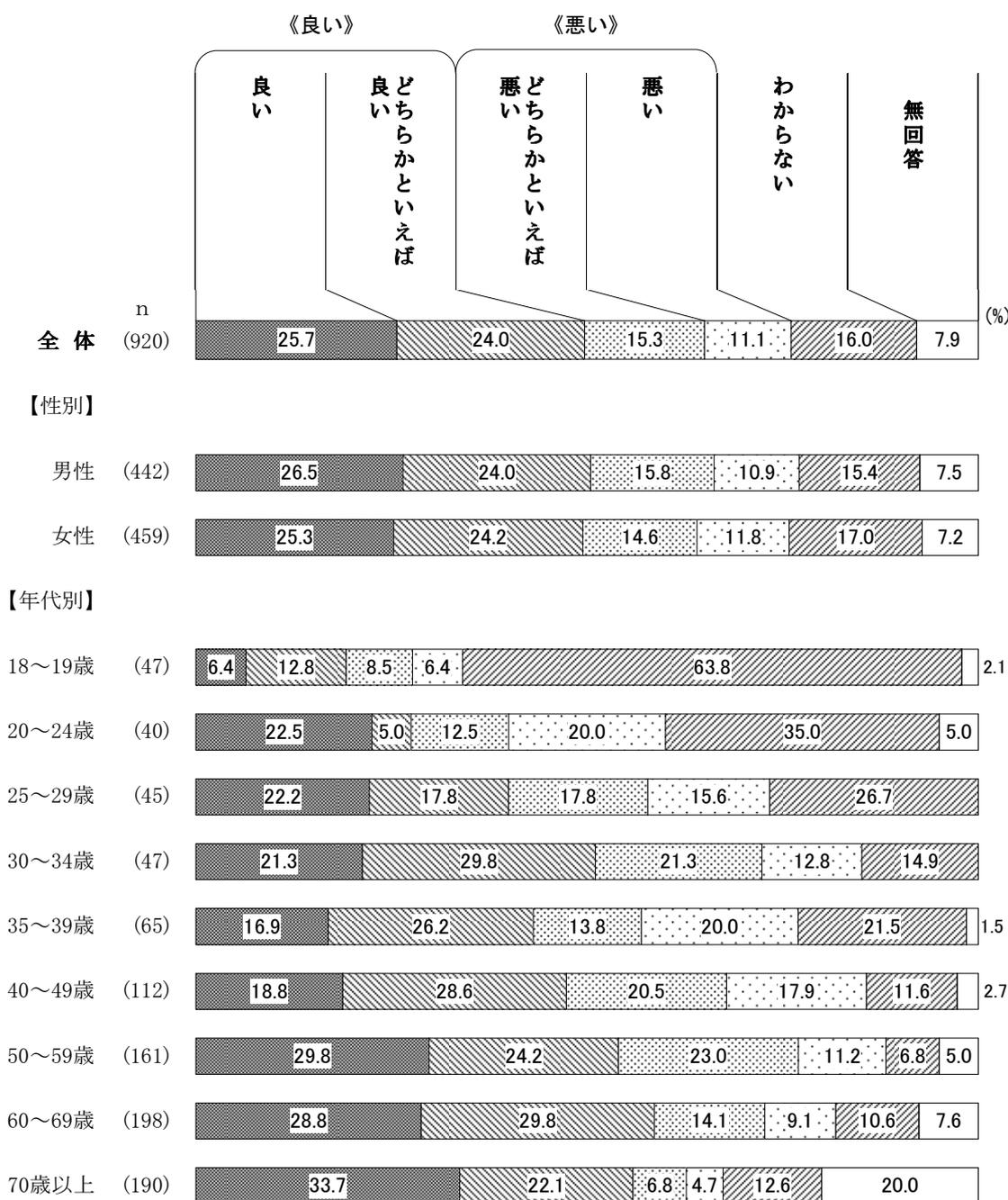
投票所の雰囲気



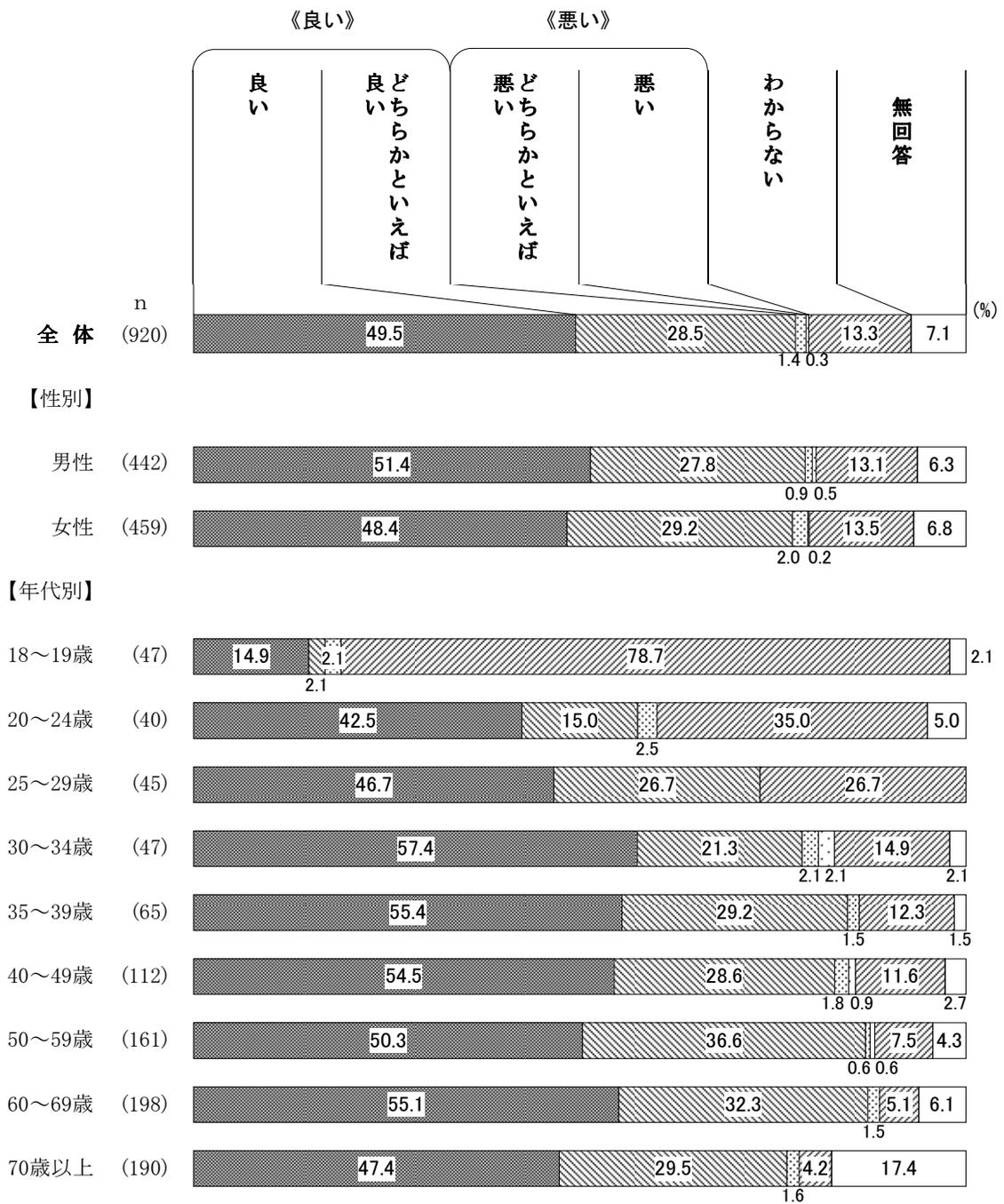
案内表示やバリアフリーの状況



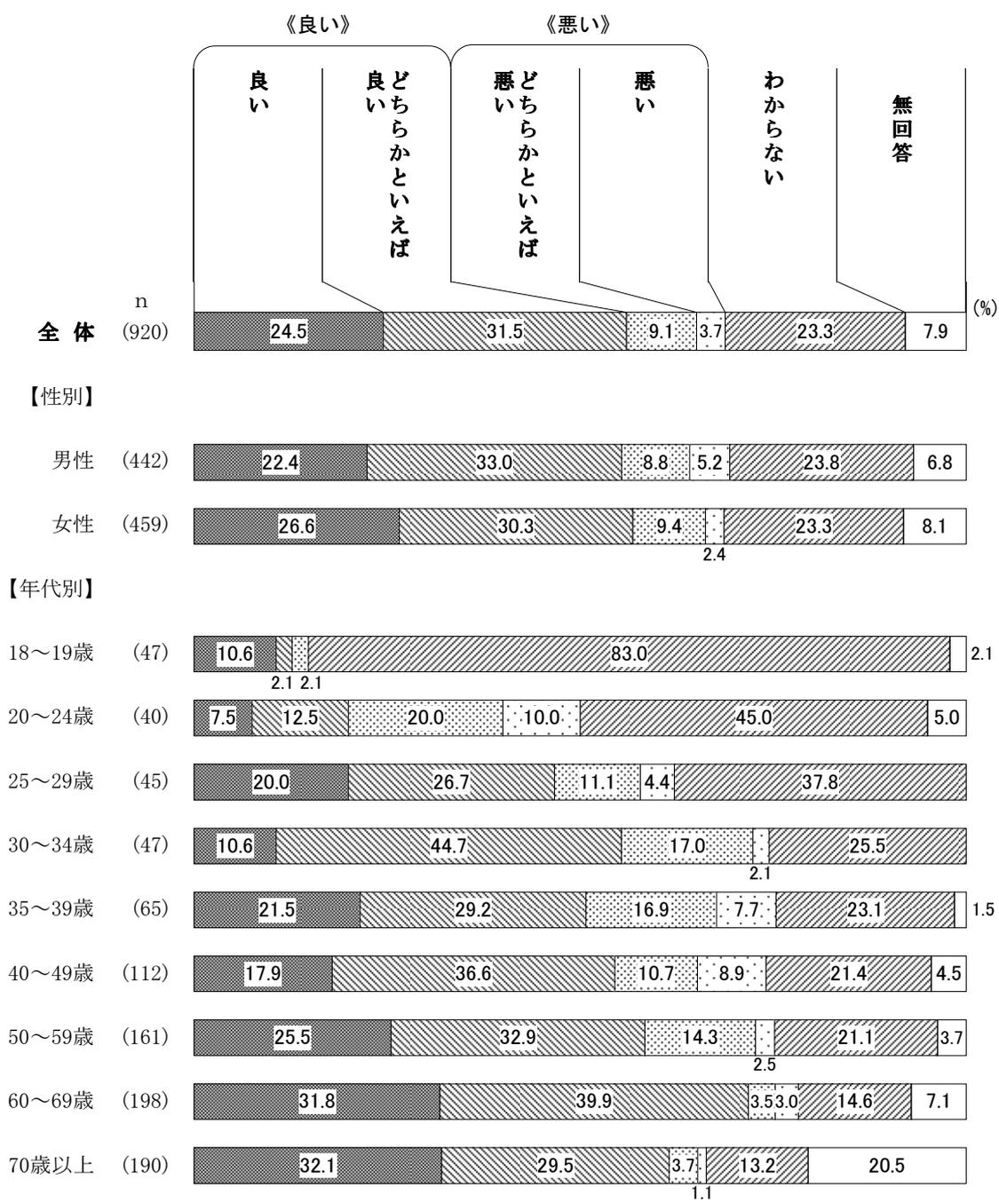
駐車場の整備状況



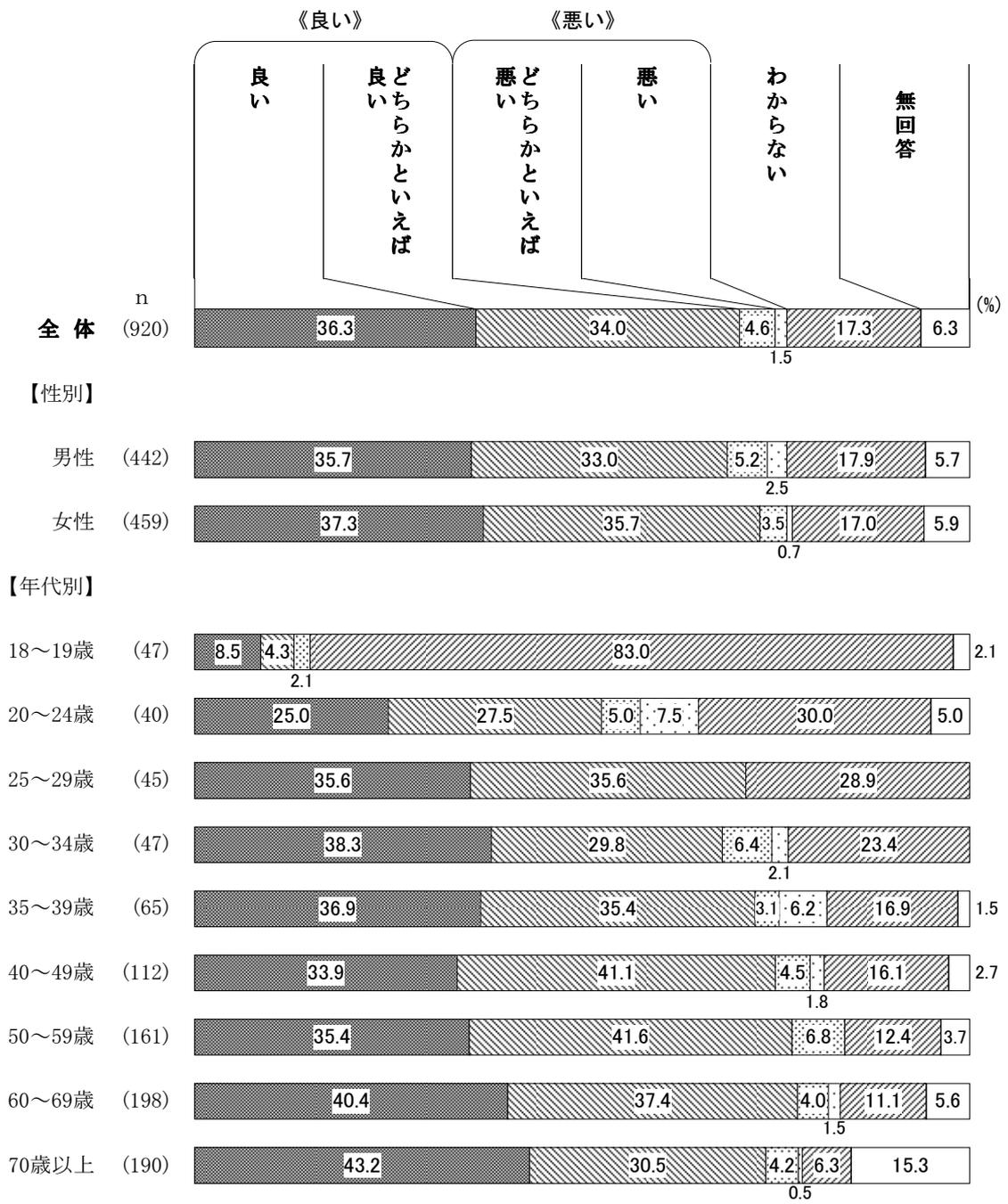
投票所での待ち時間



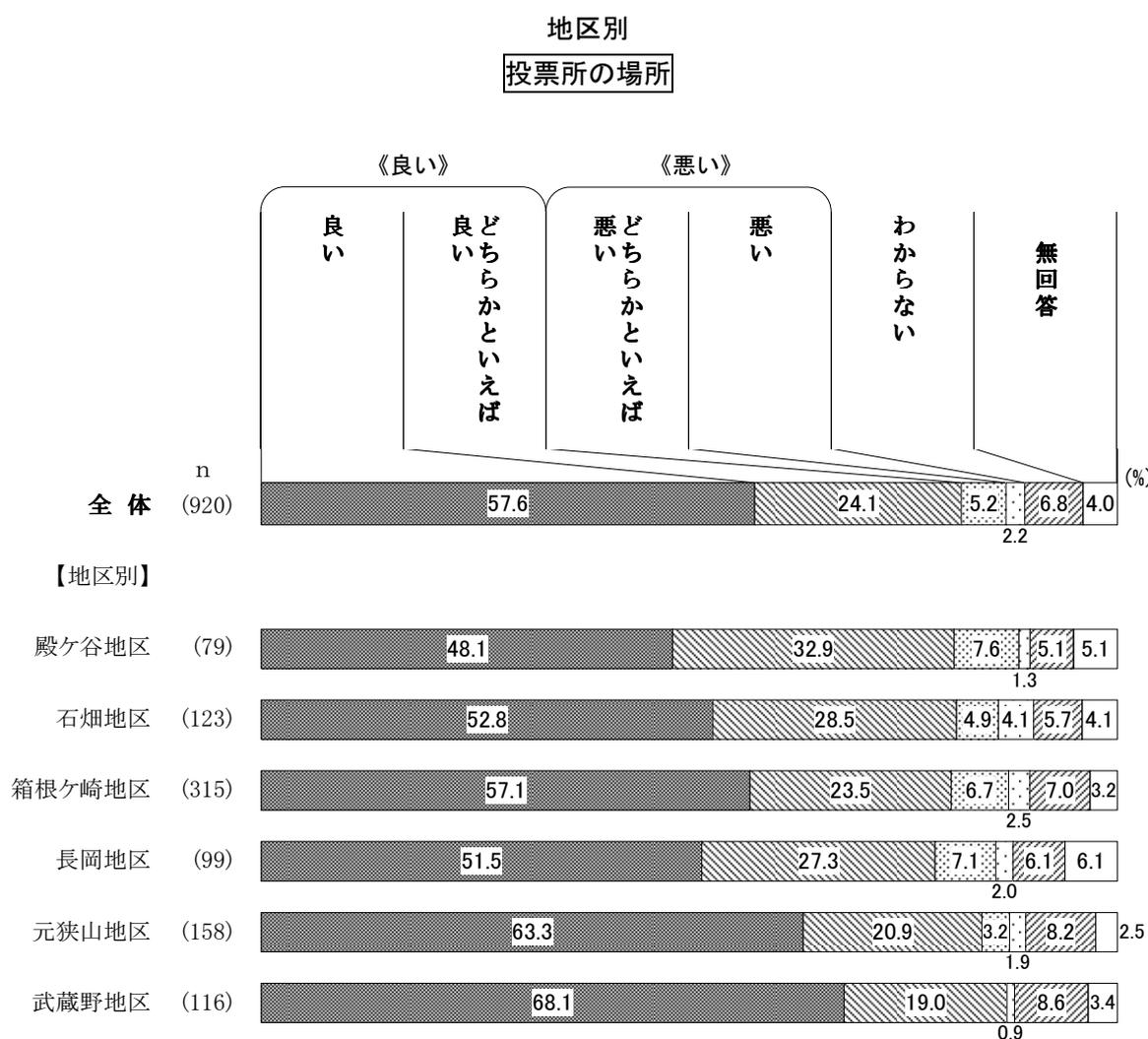
投票所での候補者情報の提供



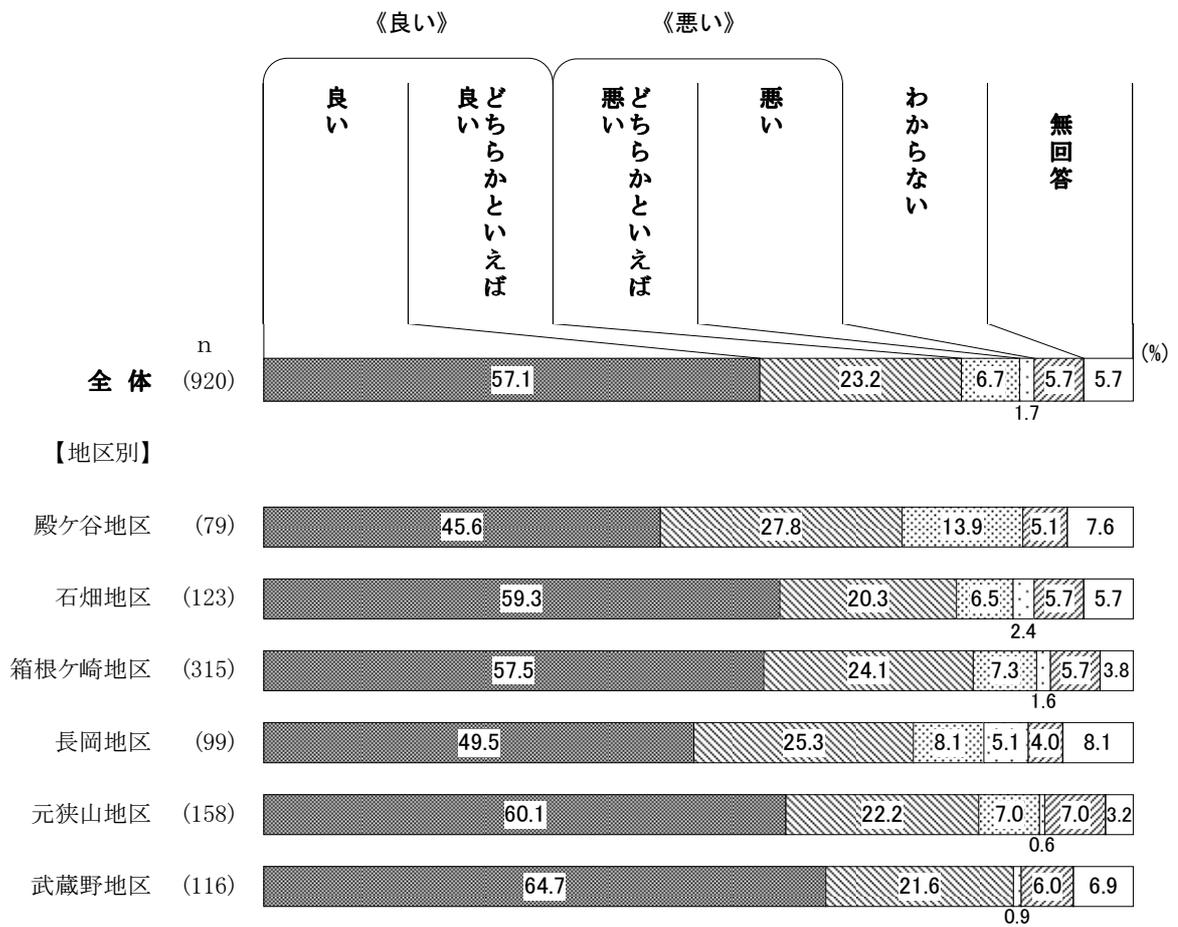
投票所の係員の対応や説明



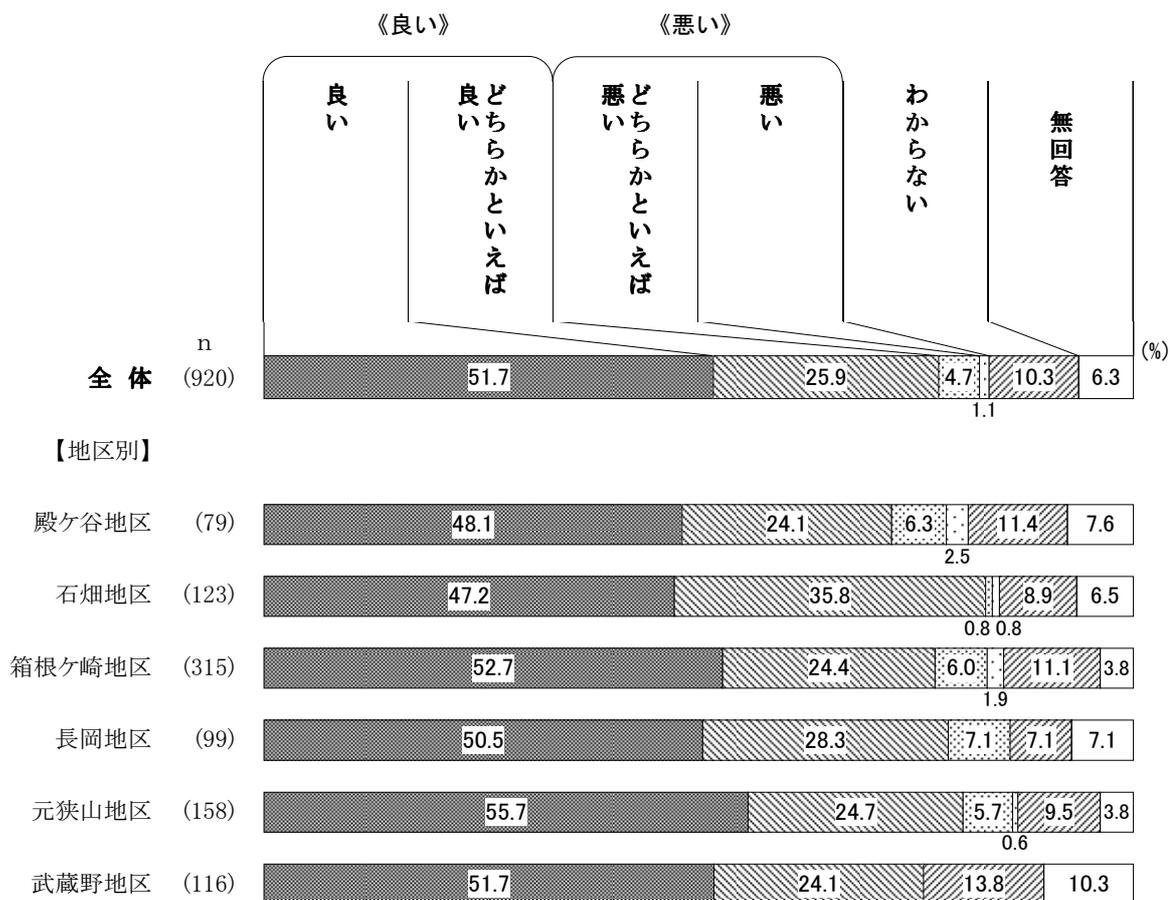
地区別にみると、ほとんどの項目で《良い》が多数を占め、特に“投票所の場所”、“投票所までの行きやすさ”、“投票所の広さ”はいずれの地区でも7割から8割台を占める。一方、“駐車場の整備状況”は長岡地区では29.3%と少なく、《悪い》が53.5%と半数以上を占めている。また、箱根ヶ崎地区と武蔵野地区でも“駐車場の整備状況”の《良い》は4割台となっている。武蔵野地区では“投票所での待ち時間”の《良い》が64.7%、“投票所の係員の対応や説明”は62.9%となり、他の地区に比べるとやや評価が下がっている。



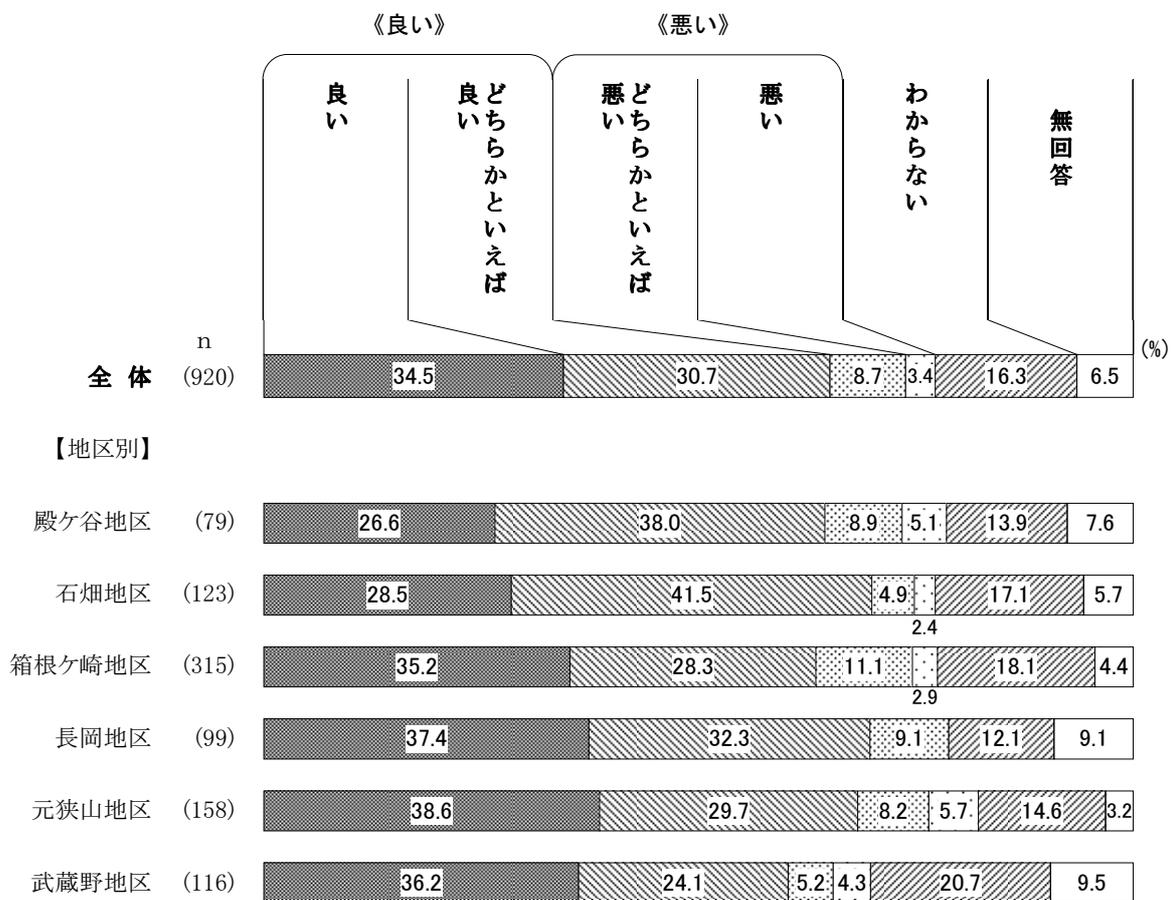
投票所までの行きやすさ



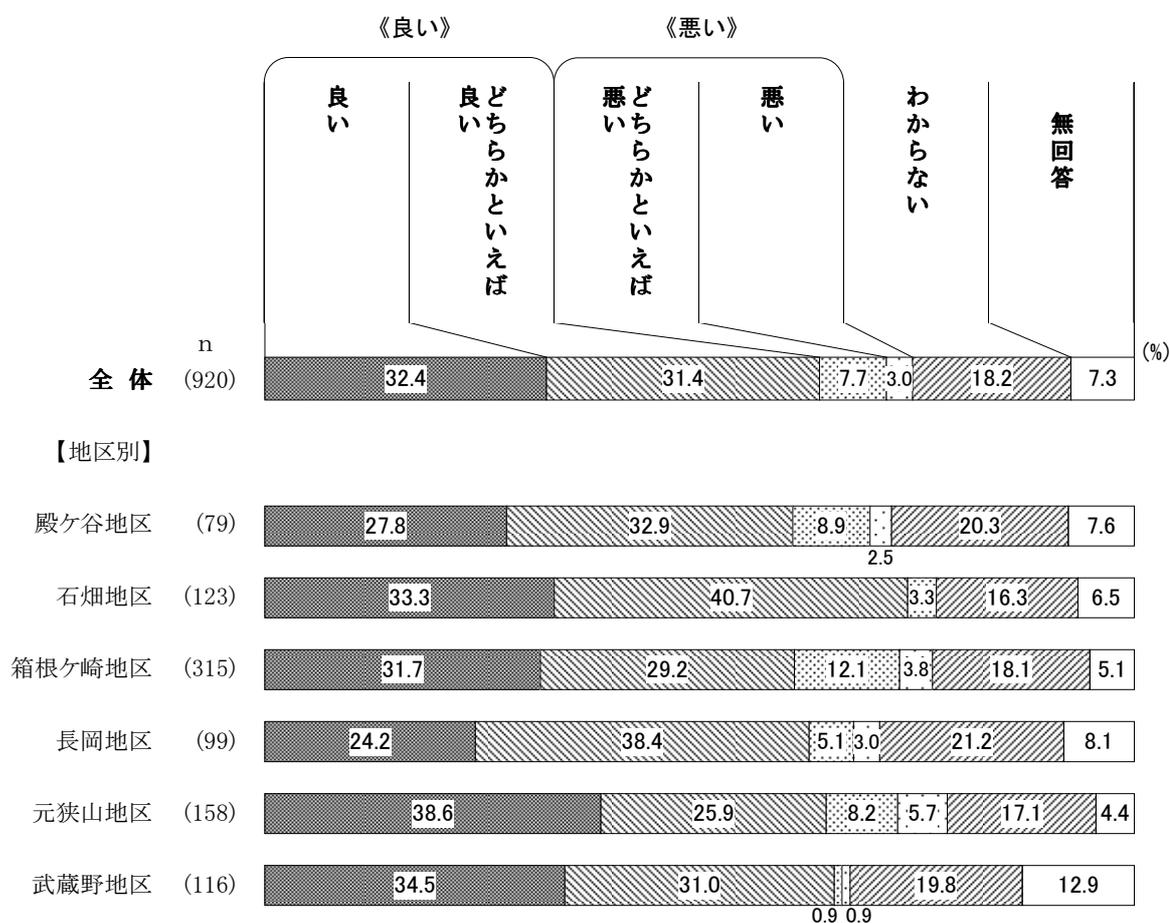
投票所の広さ



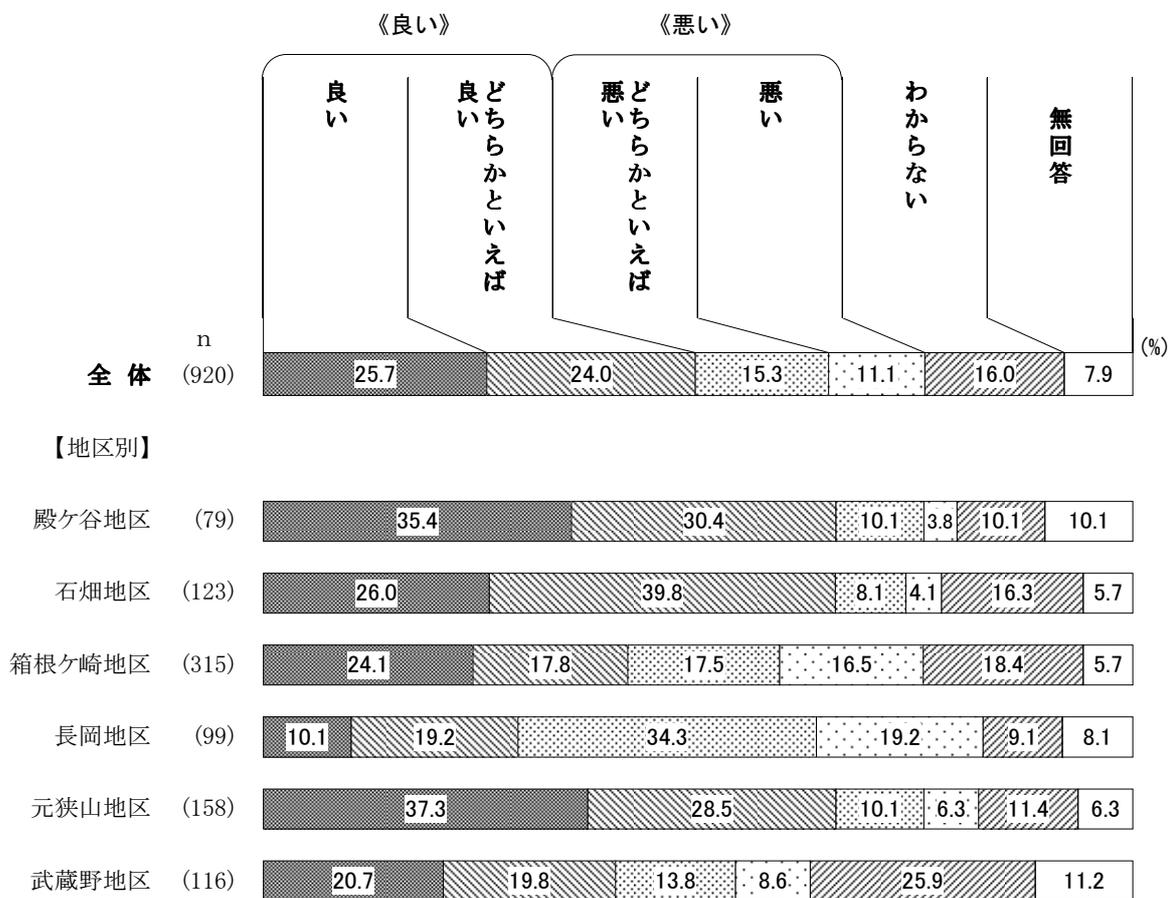
投票所の雰囲気



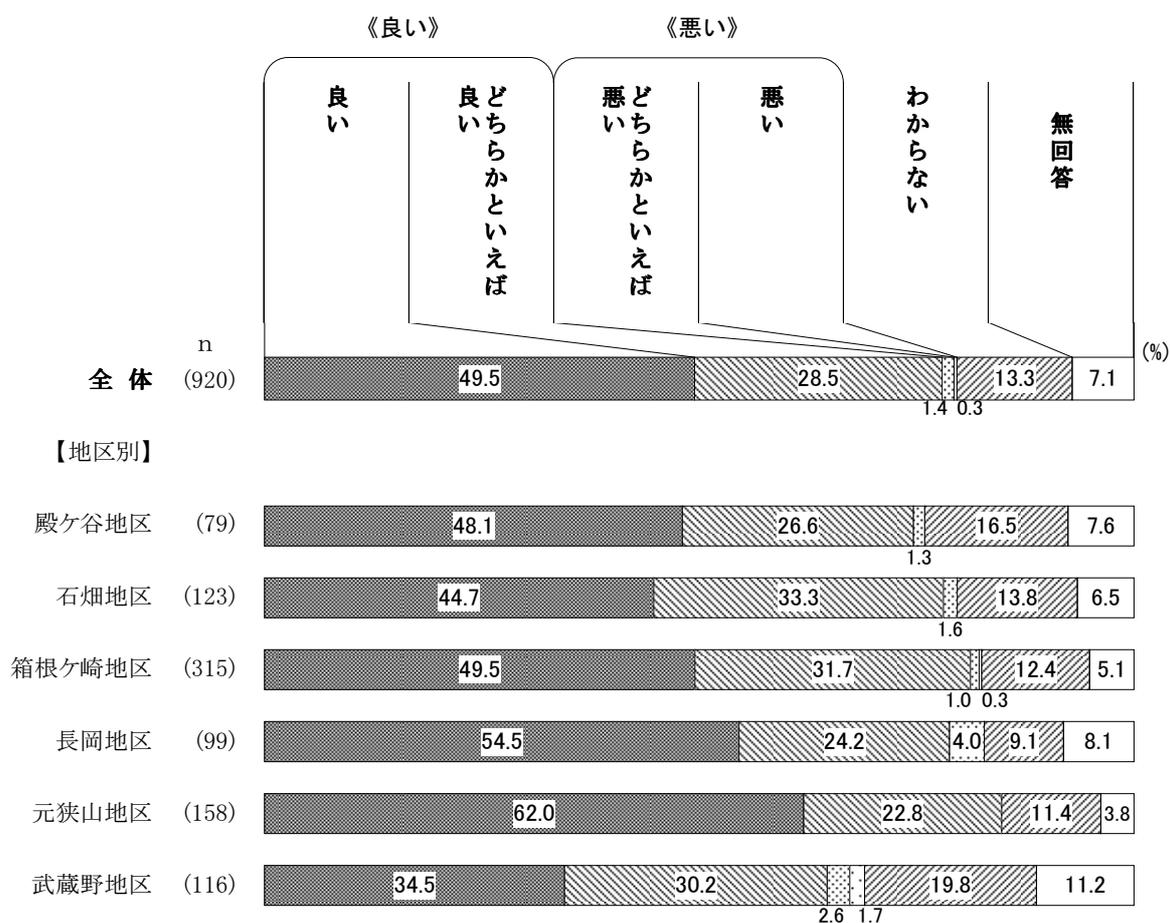
案内表示やバリアフリーの状況



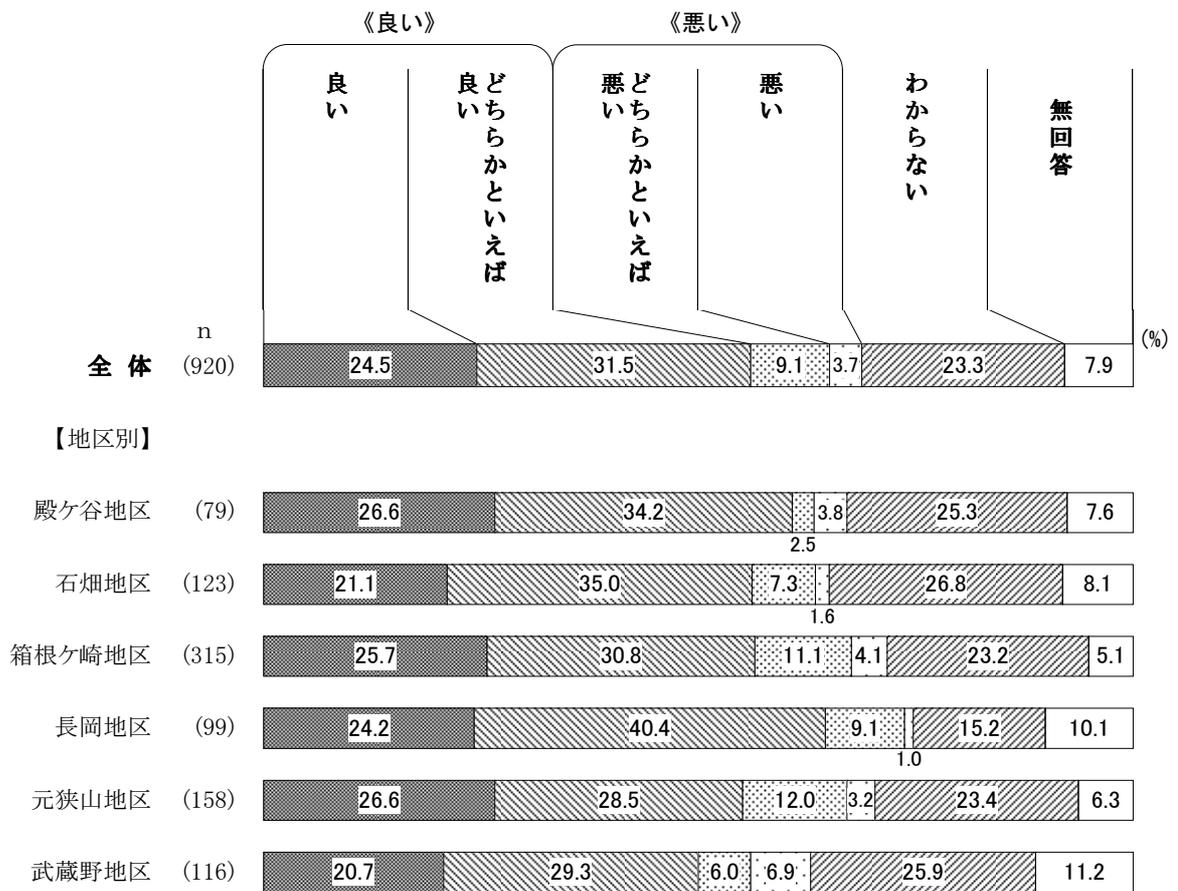
駐車場の整備状況



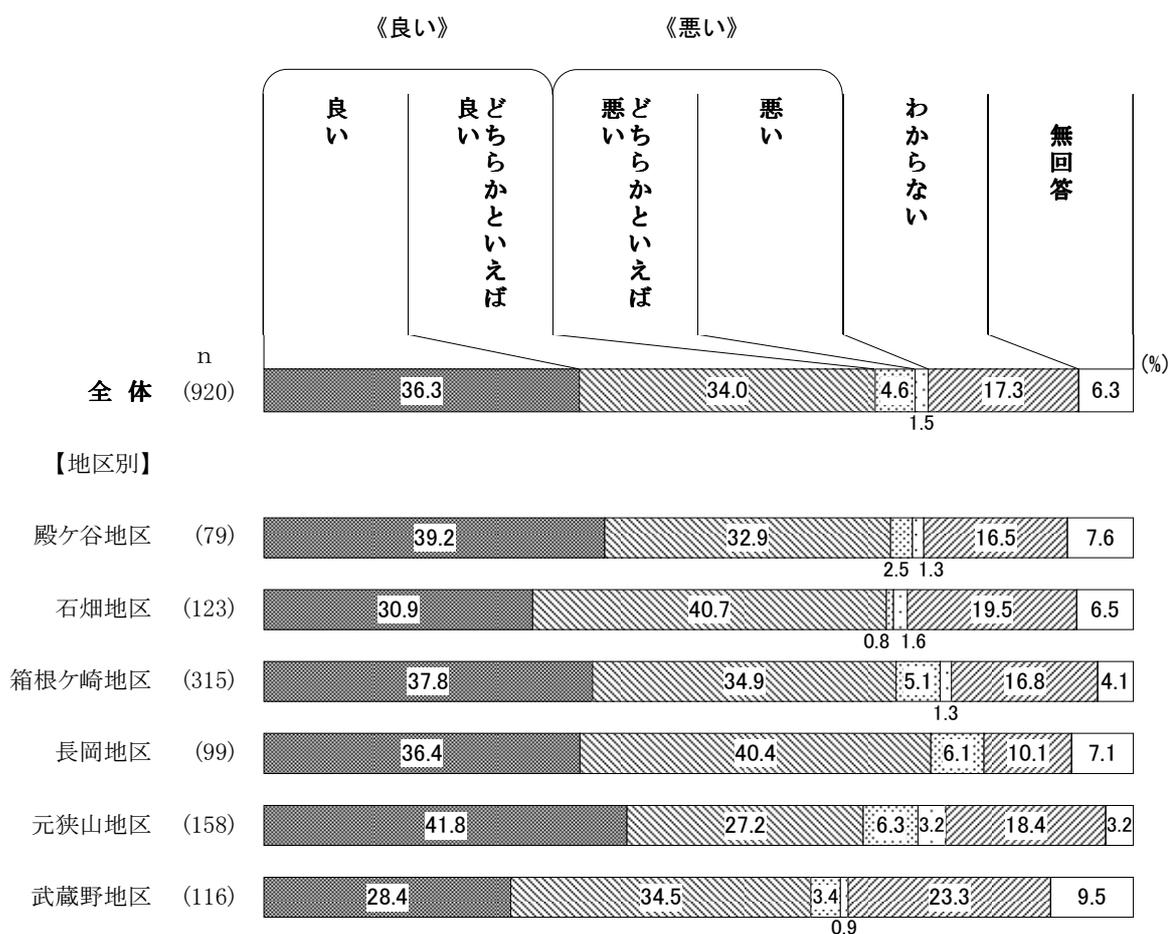
投票所での待ち時間



投票所での候補者情報の提供



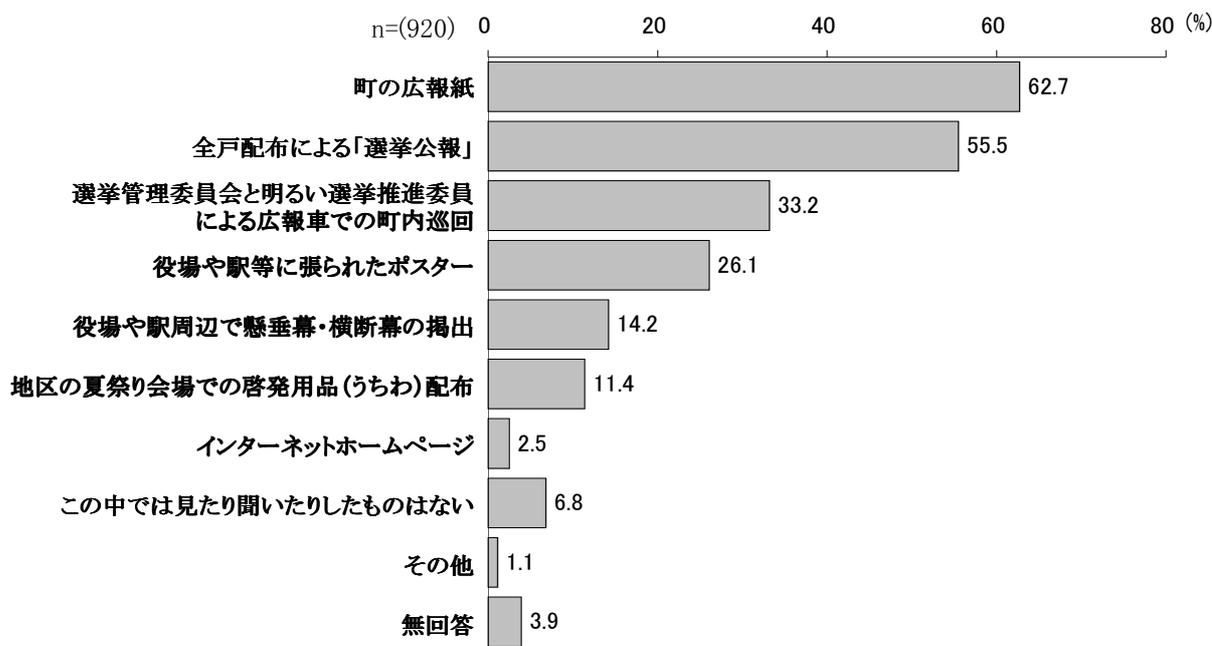
投票所の係員の対応や説明



7. 選挙の啓発

(1) 7月の参議院議員選挙での町の啓発活動で見たり聞いたりしたもの

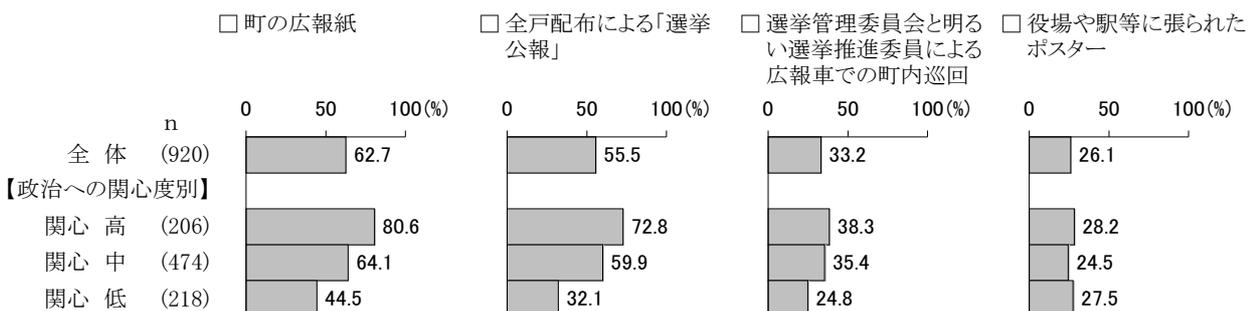
問20 7月の参議院議員選挙では、町の選挙管理委員会、明るい選挙推進委員がいろいろな方法で投票参加を呼びかけました。この中で、あなたが見たり、聞いたりしているものを、いくつでも選んでください。(〇はいくつでも) (全ての方)



第23回参議院議員選挙（2013年7月21日投票）では、町ではいろいろな方法で投票参加を呼びかけた。その中で見聞きしたものは、「町の広報紙」が62.7%で最も多く、以下、「全戸配布による『選挙公報』」（55.5%）、「選挙管理委員会と明るい選挙推進委員による広報車での町内巡回」（33.2%）、「役場や駅等に張られたポスター」（26.1%）が続いている。

政治への関心度別にみると、「町の広報紙」や「全戸配布による『選挙公報』」は“関心 高”で特に多く、関心度が下がるほど顕著に少なくなる。「選挙管理委員会と明るい選挙推進委員による広報車での町内巡回」や「役場や駅等に張られたポスター」はいずれの関心度でも2割から3割台となっている。

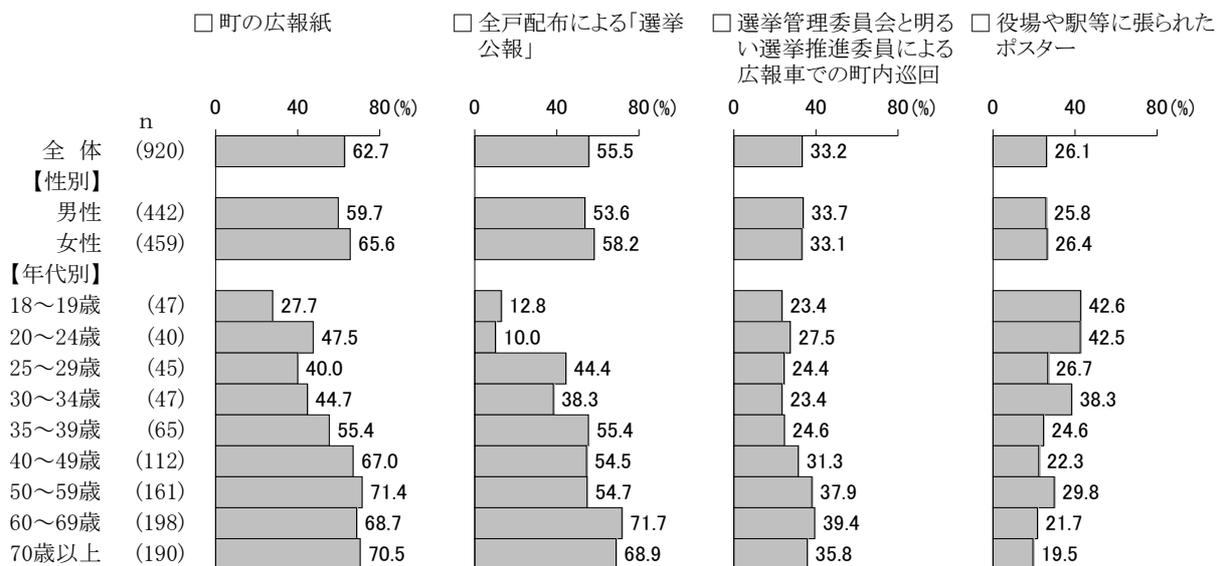
政治への関心度別（上位4項目）



性別にみると、「町の広報紙」と「全戸配布による『選挙公報』」は女性で多い。

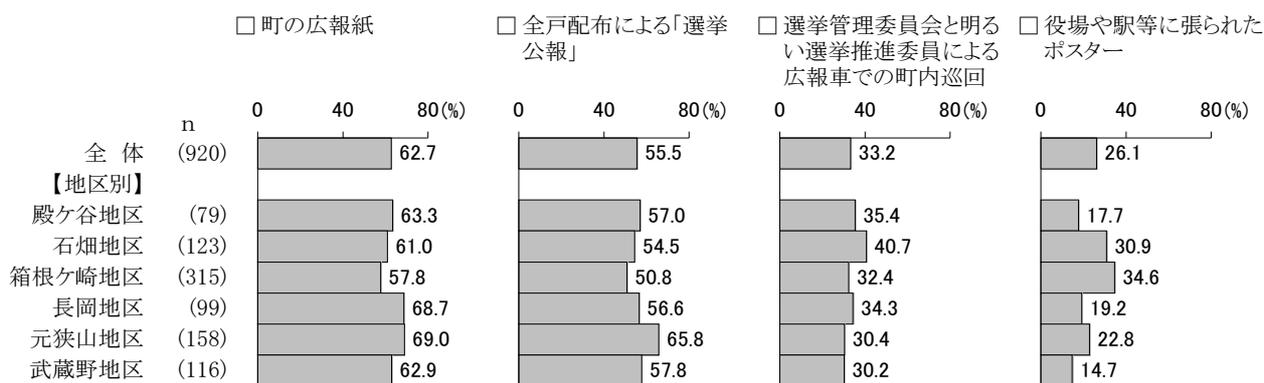
年代別にみると、「町の広報紙」と「全戸配布による『選挙公報』」は30代以上で5割を超え、年代が上がるほど多くなる傾向がみられる。「役場や駅等に張られたポスター」は20歳未満や20代前半で4割台と多くなっている。

性別、年代別（上位4項目）



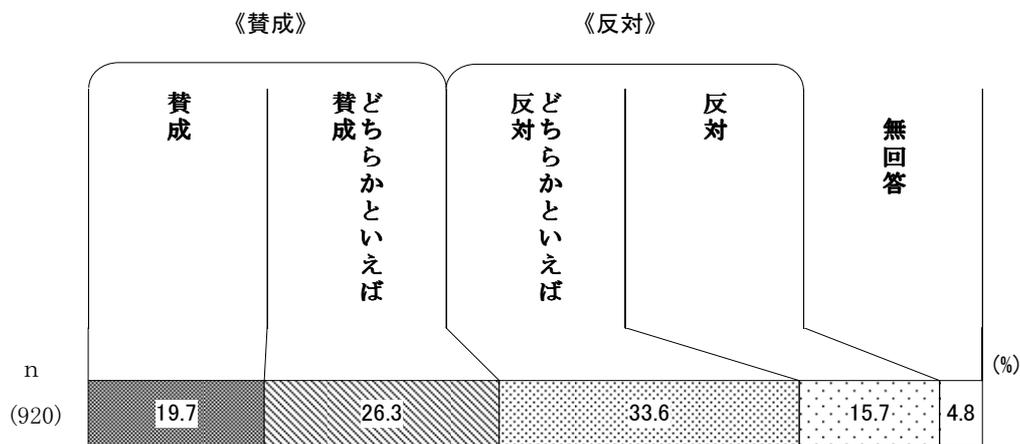
地区別では大きな違いはみられないが、「役場や駅等に張られたポスター」は石畑地区（30.9%）と箱根ヶ崎地区（34.6%）で3割台と他の地区より多くなっている。

地区別（上位4項目）



(2) 選挙権年齢引き下げの賛否

問21 あなたは、「選挙権を18歳まで引き下げる」ということに賛成ですか。(○は1つ)(全ての方)

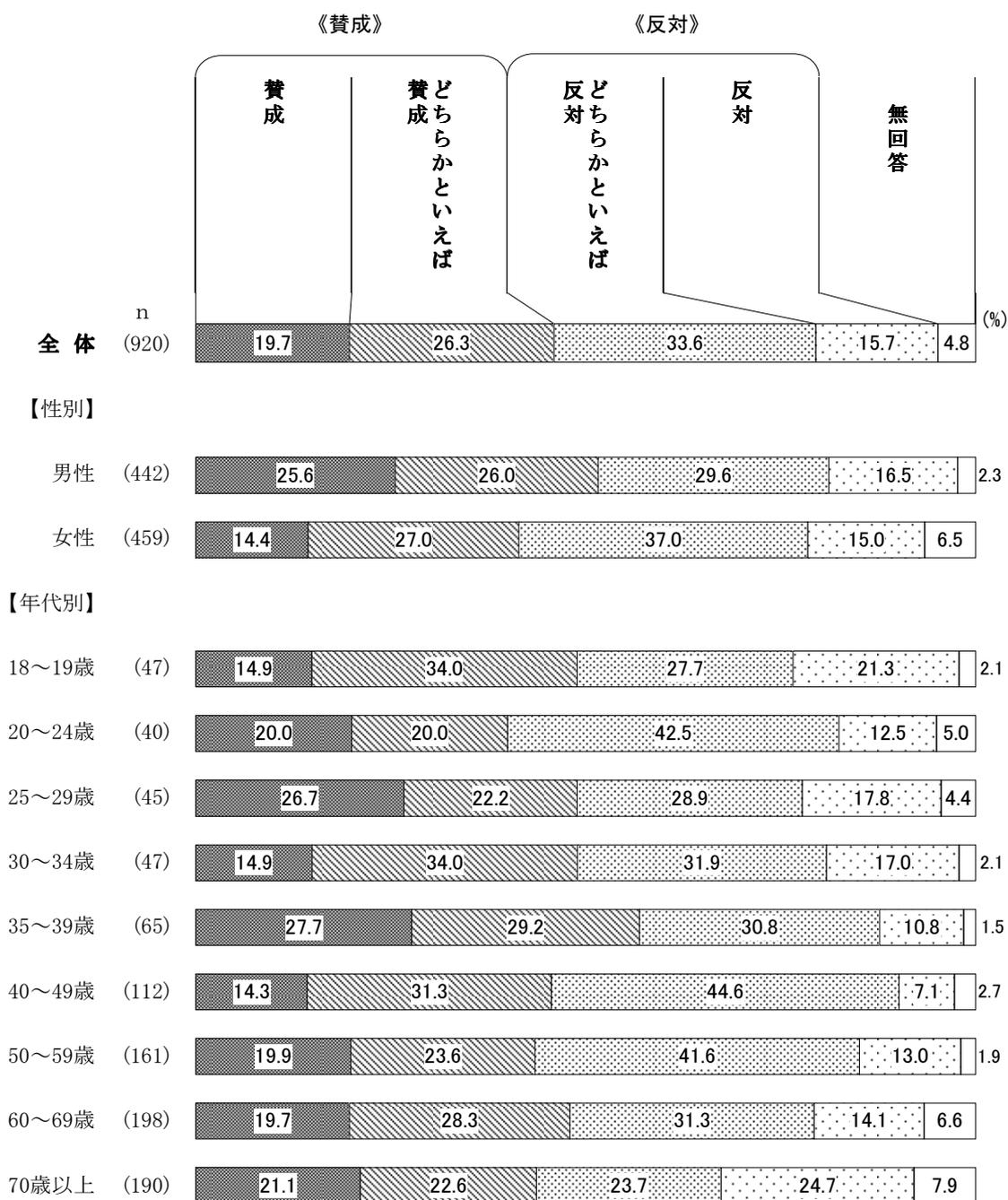


選挙権の年齢を18歳まで引き下げることに「賛成」は19.7%、「どちらかといえば賛成」は26.3%で、両者をあわせた《賛成》は46.0%、一方、《反対》（「反対」と「どちらかといえば反対」の合計）は49.3%となっており、意見が分かれている。

性別にみると、男性は《賛成》が51.6%と半数を超える。一方、女性は《反対》が52.0%と半数を超えている。

年代別にみると、《賛成》は年代を通じて30代後半（56.9%）が唯一半数以上となっており、《反対》（41.6%）を15.3ポイント上回っている。当事者である20歳未満では《賛成》と《反対》が完全に二分し、20代前半では《反対》が55.0%と多くなっている。この他、《反対》は40代（51.7%）と50代（54.6%）で半数以上となっている。

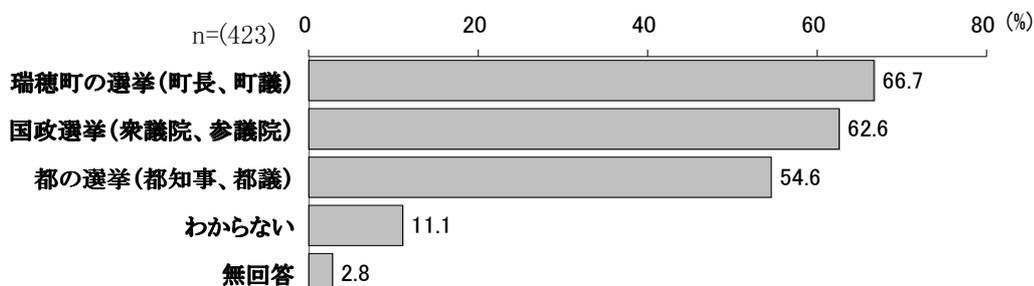
性別、年代別



(3) 年齢引き下げが必要だと思う選挙

【問21で「賛成」、「どちらかといえば賛成」とお答えの方に】

問21-1 次にあげる選挙について、どの選挙で引き下げるべきですか。(〇はいくつでも)

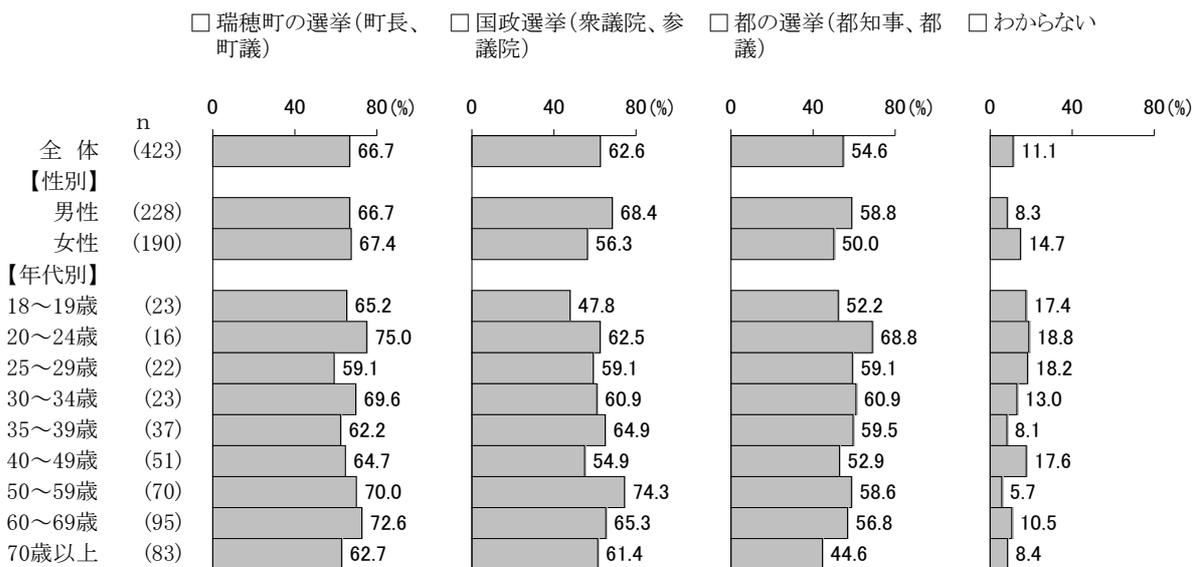


年齢引き下げに賛成とする選挙は、「瑞穂町の選挙（町長、町議）」が66.7%で最も多く、「国政選挙（衆議院、参議院）」（62.6%）も同じ6割台が続いている。これに「都の選挙（都知事、都議）」が54.6%で次いでいる。

性別にみると、「瑞穂町の選挙（町長、町議）」は変わらないが、「国政選挙（衆議院、参議院）」（男性：68.4%、女性：56.3%）と「都の選挙（都知事、都議）」（男性：58.8%、女性：50.0%）は男性でより多くなっている。

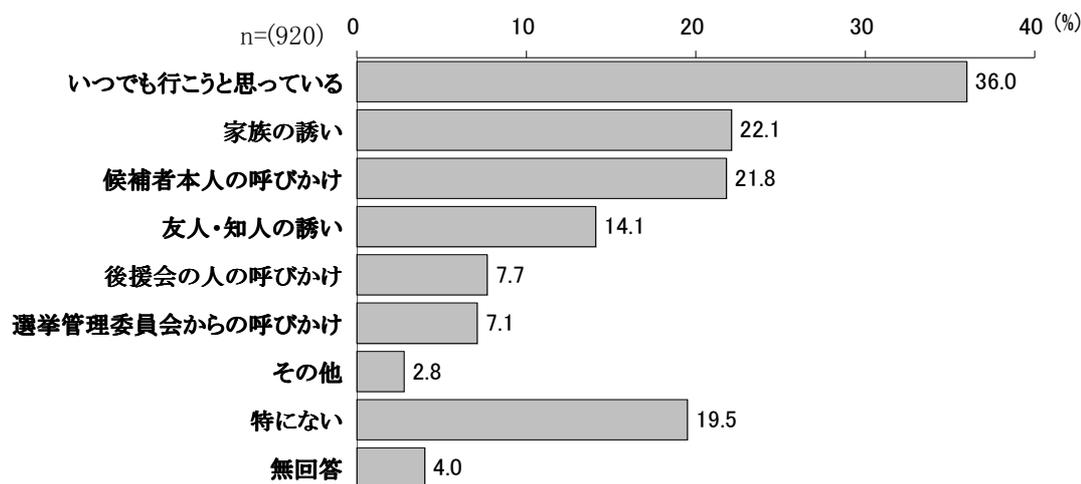
年代別では特筆すべき傾向はみられないが、20代前半では「瑞穂町の選挙（町長、町議）」（75.0%）とともに「国政選挙（衆議院、参議院）」（62.5%）、「都の選挙（都知事、都議）」（68.8%）においても積極的だが、20歳未満では「国政選挙（衆議院、参議院）」は47.8%と半数を下回っている。

性別、年代別



(4) 関心の持てない選挙の投票所に向かわせるためのきっかけ

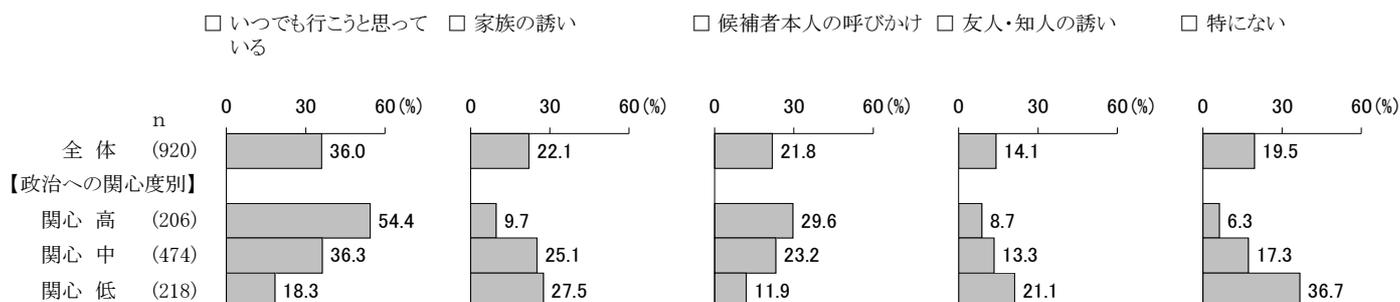
問22 あなたにとって、あまり関心の持てない選挙があったとします。あなたは、どのような後押しがあれば投票所に足を運ぼうという気になりそうですか。(〇はいくつでも)(全ての方)



関心の持てない選挙であっても、投票所に足を運ぼうという気にさせるための後押しは何か聞いたところ、関心の有無にかかわらず、「いつでも行こうと思っている」という人は36.0%と最も多くなっている。以下、「家族の誘い」(22.1%)、「候補者本人の呼びかけ」(21.8%)、「友人・知人の誘い」(14.1%)が続いている。また、「特にない」も19.5%と比較的多くなっている。

政治への関心度別にみると、「候補者本人の呼びかけ」は関心度が高い層から多くあげられているが、「関心 低」では11.9%にとどまる。「関心 低」で多いのは、「家族の誘い」(27.5%)や「友人・知人の誘い」(21.1%)といった身近な人からの誘いである。なお、「関心 低」では「特にない」も36.7%と多い。

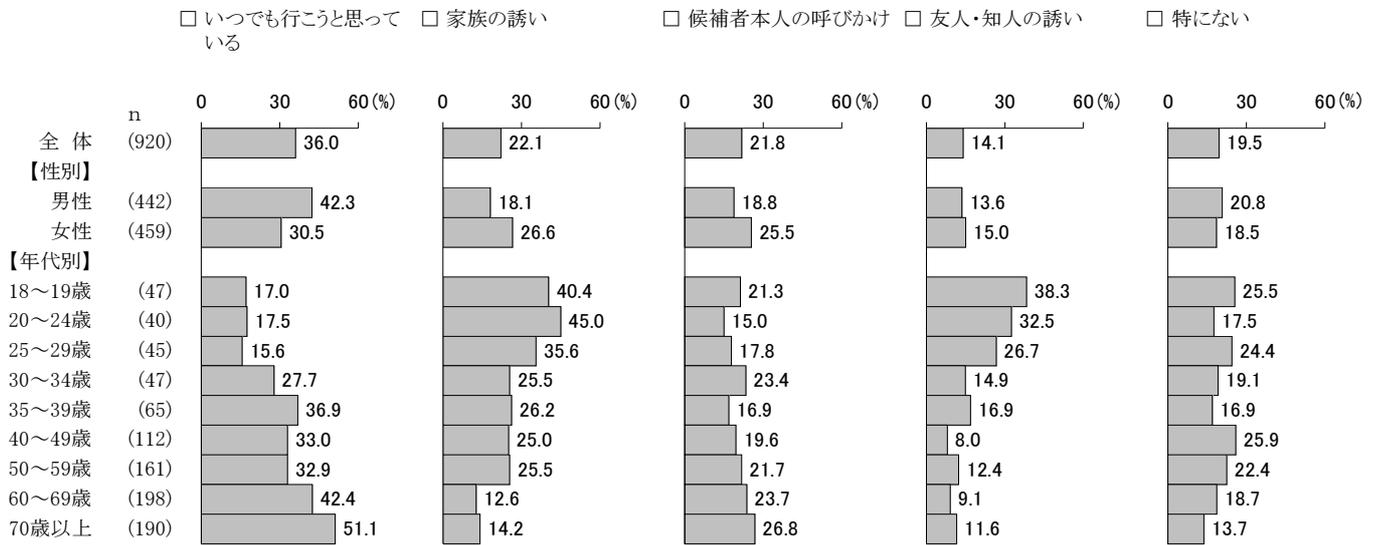
政治への関心度別 (上位4項目+「特にない」)



第2章 調査結果の詳細

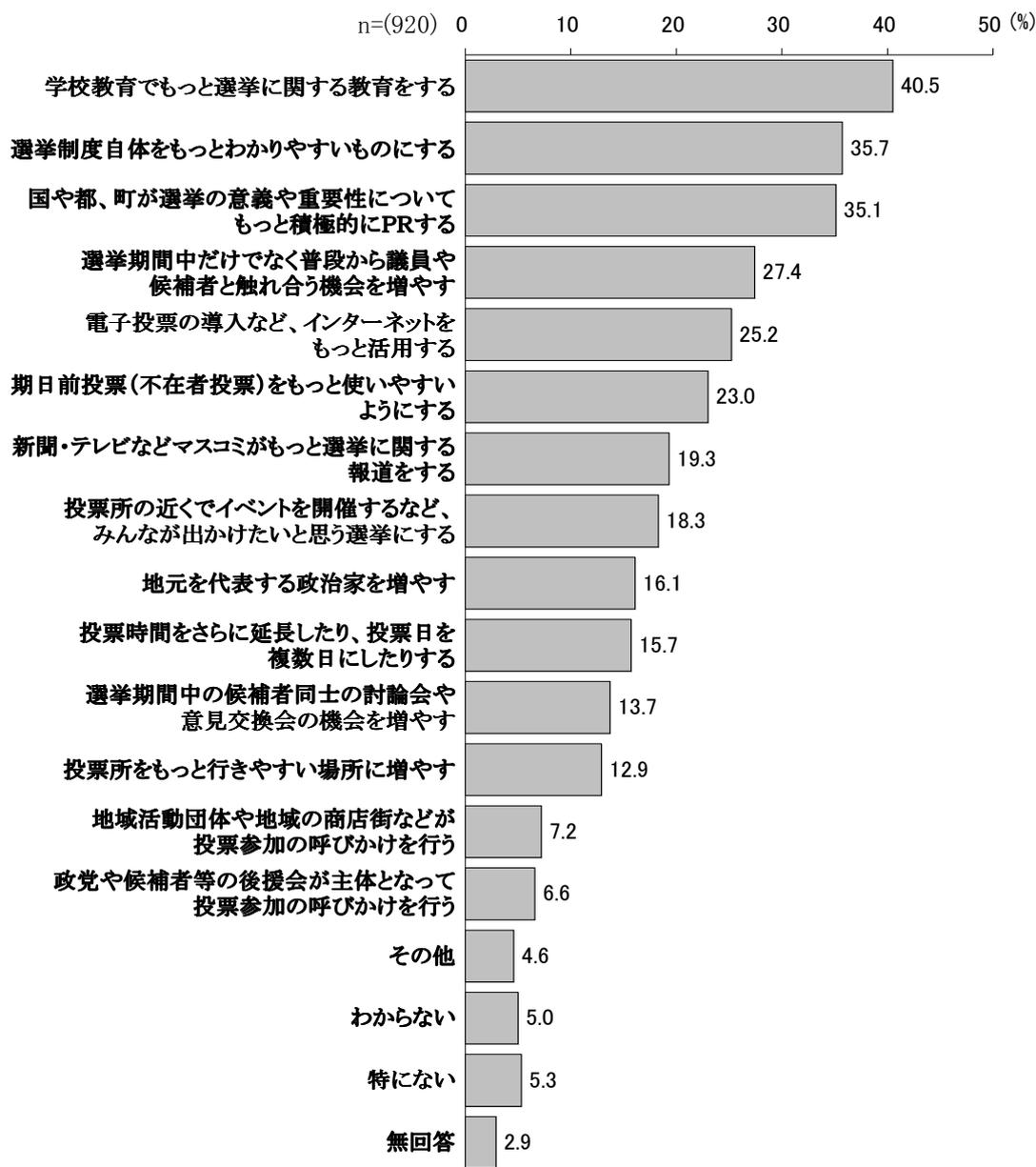
性別にみると、「候補者本人の呼びかけ」、「家族の誘い」は女性でより多くあげられている。
 年代別にみると、20歳未満、20代では「家族の誘い」や「友人・知人の誘い」が多い。

性別、年代別（上位4項目＋「特にない」）



(5) 選挙への関心や投票率を向上させるために必要なこと

問23 選挙への関心を高めたり、投票率を向上させるために、今よりももっと行うべきだと思うものは何ですか。(〇はいくつでも) (全ての方)



選挙への関心を高めたり、投票率を向上させるために、今よりももっと行うべきだと思うものは、「学校教育でもっと選挙に関する教育をする」が40.5%で最も多く、以下、「選挙制度自体をもっとわかりやすいものにする」(35.7%)、「国や都、町が選挙の意義や重要性についてもっと積極的にPRする」(35.1%)が3割台、「選挙期間中だけでなく普段から議員や候補者と触れ合う機会を増やす」(27.4%)、「電子投票の導入など、インターネットをもっと活用する」(25.2%)、「期日前投票(不在者投票)をもっと使いやすいようにする」(23.0%)が2割台で続いている。

第2章 調査結果の詳細

政治への関心度別に上位5位をみると、「学校教育でもっと選挙に関する教育をする」、「国や都、町が選挙の意義や重要性についてもっと積極的にPRする」、「選挙制度自体をもっとわかりやすいものにする」、「選挙期間中だけでなく普段から議員や候補者と触れ合う機会を増やす」はいずれの関心度でも上位にあげられており、共通している。この他、“関心中”と“関心低”からは「電子投票の導入など、インターネットをもっと活用する」が、“関心低”では「投票所の近くでイベントを開催するなど、みんなが出かけたいと思う選挙にする」がそれぞれ第5位以内にあげられている。

政治への関心度別（上位5位表）

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=920	選挙に関する教育 40.5	選挙制度をわかりやすく 35.7	選挙の意義や重要性をPR 35.1	議員や候補者と触れ合う機会 27.4	電子投票の導入 25.2
関心 高 n=206	選挙に関する教育 50.5	選挙の意義や重要性をPR 46.6	選挙制度をわかりやすく 39.3	議員や候補者と触れ合う機会 35.0	期日前投票を使いやすく 25.7
関心 中 n=474	選挙に関する教育 42.6	選挙制度をわかりやすく 36.5	選挙の意義や重要性をPR 35.7	議員や候補者と触れ合う機会 28.7	電子投票の導入 28.1
関心 低 n=218	選挙制度をわかりやすく 31.7	選挙に関する教育 28.4	選挙の意義や重要性をPR 24.8	電子投票の導入 22.0	議員や候補者と触れ合う機会／出かけたいと思う選挙 17.9

※選択肢は図表の都合上短縮・編集して表示している。

性別に上位5位をみると、「学校教育でもっと選挙に関する教育をする」、「国や都、町が選挙の意義や重要性についてもっと積極的にPRする」、「選挙制度自体をもっとわかりやすいものにする」、「選挙期間中だけでなく普段から議員や候補者と触れ合う機会を増やす」は男女とも共通であげられている。また、男性では「電子投票の導入など、インターネットをもっと活用する」、女性では「期日前投票（不在者投票）をもっと使いやすいようにする」がそれぞれあげられている。

年代別に上位5位をみると、「学校教育でもっと選挙に関する教育をする」、「国や都、町が選挙の意義や重要性についてもっと積極的にPRする」、「選挙制度自体をもっとわかりやすいものにする」の3項目はすべての年代であげられている。「電子投票の導入など、インターネットをもっと活用する」は20歳未満から50代にかけて上位となり、特に20代前半では5割近くとなっている。また、20歳未満から20代の若年層では「投票時間をさらに延長したり、投票日を複数日にしたりする」や「期日前投票（不在者投票）をもっと使いやすいようにする」が上位にあげられている。この他では、「投票所の近くでイベントを開催するなど、みんなが出かけたいと思う選挙にする」は30代後半で唯一あげられ、「選挙期間中だけでなく普段から議員や候補者と触れ合う機会を増やす」は30代以上で上位にあげられるなど年代による違いもみられる。

性別、年代別（上位5位表）

（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体 n=920	選挙に関する教育 40.5	選挙制度をわかりやすく 35.7	選挙の意義や重要性をPR 35.1	議員や候補者と触れ合う機会 27.4	電子投票の導入 25.2
男性 n=442	選挙に関する教育 42.8	選挙の意義や重要性をPR 36.7	選挙制度をわかりやすく 34.4	電子投票の導入 28.5	議員や候補者と触れ合う機会 26.2
女性 n=459	選挙に関する教育 39.2	選挙制度をわかりやすく 37.9	選挙の意義や重要性をPR 34.9	議員や候補者と触れ合う機会 29.2	期日前投票を使いやすく 22.7
18～19歳 n=47	選挙に関する教育／選挙の意義や重要性をPR／ 電子投票の導入		選挙制度をわかりやすく 38.3	選挙制度をわかりやすく 36.2	投票時間の延長や投票日を複数日に 29.8
20～24歳 n=40	選挙制度をわかりやすく 60.0	選挙に関する教育 50.0	電子投票の導入 40.0	選挙の意義や重要性をPR／ 投票時間の延長や投票日を複数日に 32.5	
25～29歳 n=45	選挙に関する教育／電子投票の導入 48.9		期日前投票を使いやすく 35.6	選挙制度をわかりやすく 33.3	選挙の意義や重要性をPR／ 投票時間の延長や投票日を複数日に 31.1
30～34歳 n=47	選挙に関する教育 40.4	選挙の意義や重要性をPR／選挙制度をわかりやすく／ 議員や候補者と触れ合う機会		29.8	マスコミの選挙報道／ 期日前投票を使いやすく／ 電子投票の導入 27.7
35～39歳 n=65	選挙に関する教育 47.7	電子投票の導入 36.9	選挙制度をわかりやすく／ 出かけたと思う選挙	33.8	選挙の意義や重要性をPR／ 議員や候補者と触れ合う機会 26.2
40～49歳 n=112	選挙制度をわかりやすく 43.8	選挙に関する教育 35.7	選挙の意義や重要性をPR 32.1	電子投票の導入 26.8	議員や候補者と触れ合う機会 24.1
50～59歳 n=161	選挙に関する教育 46.6	選挙制度をわかりやすく 37.3	電子投票の導入 34.2	選挙の意義や重要性をPR 31.7	議員や候補者と触れ合う機会 26.7
60～69歳 n=198	選挙の意義や重要性をPR 44.9	選挙に関する教育 38.9	議員や候補者と触れ合う機会 30.8	選挙制度をわかりやすく 30.3	期日前投票を使いやすく 23.2
70歳以上 n=190	選挙の意義や重要性をPR 37.4	選挙に関する教育 36.3	選挙制度をわかりやすく 34.2	議員や候補者と触れ合う機会 31.6	マスコミの選挙報道 21.1

※選択肢は図表の都合上短縮・編集して表示している。

8. 自由記述

問24 選挙や啓発運動について、全体的なご意見がございましたら、どんなことでも、ご自由にお書きください。(全ての方)

選挙や啓発運動について自由に意見を記述してもらったところ、243件の貴重な意見をいただいた。一人で複数の内容にわたって記述している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

【選挙啓発関連（78件）】

◆選挙への関心を高めるためには・・・

- ・成人式での啓発もとても大切だと思いますが、あのワサワサザワザワしている場所よりも、一寸若い中学生、高校生にも啓発とは違うかも知れませんが、大切な一票、選挙権について知ってほしいです。選挙の時だけの啓発でなく、町の色々なイベントの時も利用して啓発してほしいです。選管の方や職員さんも大変ですが、何か変えてみたい気持ちです。(女性/70歳以上/石畑地区)
- ・学校教育で小学生から選挙の疑似体験をしたりして、学習体験が大切だと思う。(女性/50代/箱根ヶ崎地区)
- ・選挙だけでなく、PTA、町内会、町の行事等に無関心な人が多いので、選挙だけ行かせようとするのは無理な気がします。「自分の一票がなくても選挙は成立するだろうし、誰に入れても何も変わらない。それならわざわざ出向いてまで選挙に行きたくない」というのが、本音だと思います。権利と義務とか人とのつながりの大切さとか、そういう基本的なところから教えていかないと変わらないのではないのでしょうか。(女性/50代/武蔵野地区)
- ・親子、家族で普段から政治の話ができたらと思います。選挙は国民の義務と権利、棄権はいけないこととか、TV情報だけで鵜呑みしないで、皆の為に働く人かを見極めよう等投票して良かった実感を味わうことも大事だと思います。(女性/60代/箱根ヶ崎地区)
- ・選挙は義務であり責任である。選挙のできることの幸せ。選挙の歴史教育の徹底。棄権は権利の放棄、棄権の危険を訴える。万物は支え合って生きている。選挙はその支え合いの根幹。人間が考え出したシステムの最高峰に位置づけられるものと考えます。棄権して政治への不平、不満、批評、批判すらも許されない。(男性/70歳以上/石畑地区)
- ・被選挙人の立会討論会を開く。町が話題(関心のあるテーマ)についてアンケートを行い、その話題についての講演会を行う。(男性/50代/元狭山地区)
- ・PRなどは無駄な費用がかかるので止めた方が良い。(男性/50代/箱根ヶ崎地区)
- ・啓発運動自体に税金をかけるのはどうかと思う(新たに予算を組む等)。現状で良いのではないか。(女性/40代/元狭山地区)

◆投票率をあげるためには・・・

- ・後援会組織を持たない町議会議員が多いことが問題。地元町議会議員が強力な後援会組織を持つことで、一声かければ多くの人投票に行き、投票率は上がる。政治的無関心が投票率の低下の原因と考える。町議会議員が地域住民への働きかけをすれば、政治への関心が高まる。(男性/50代/長岡地区)

- ・選挙に投票に行った人、期日前投票、不在者投票をした人の中から抽選で粗品を贈るようにする。発表は景品の発送をもってかえさせる。(男性/50代/箱根ヶ崎地区)
- ・投票所などで配られるティッシュなどの粗品にかえて、町内で使える割引券などの物にすれば、投票に行く人が増えると思う。(男性/30代前半/元狭山地区)
- ・電子投票の導入に期待します。PCやスマートフォンより投票。(男性/50代/元狭山地区)
- ・投票日を複数にしたら良いと思います。(男性/30代後半/殿ヶ谷地区)
- ・現在の町の選挙では結果が予想されてしまうので、多数の立候補があれば投票する気になるのではと思う。(女性/70歳以上/元狭山地区)
- ・郵送で投票ができればいいのに。(女性/50代/武蔵野地区)
- ・前記した様に町内レベルの投票率を求めて、低い所は町内会に協力を求めてはどうだろうか、単に協力を依頼しても駄目だ。何%上げてくれと具体的数値を示して。役場でやった結果がこれなのだから全てのチャンネルを使ってALL瑞穂で改善するしかない。役場から言われるより身近な町内会役員からの方が効果はあると思う。瑞穂町の中で最も低い投票率町内会と言われれば多少恥ずかしいと感じると思う。いつやるか? 今でしょう。(男性/60代/石畑地区)

◆選挙運動（ポスター、演説、宣伝カー等）については・・・

- ・町内での啓発ポスター等の掲示は、主に役場と駅に集約されていると考えます。普段から車を利用する人の方が多いた町内で、車を利用する方に対しての啓発が不足していると感じます。元々興味があれば広報に目を通しますが、それ以外の方は見ません。休日に人が集まる場所（モールみずほやジョイフル本田）で特設ブースなどを出し、車を中心に利用する方に対してアピールすることも必要ではと感じます。(男性/30代後半/殿ヶ谷地区)
- ・立候補者や政党が選挙カーで町内を巡る活動はやめてもらいたい。うるさいから。車で巡回していても何の情報も得られない。迷惑なだけ。(男性/40代/長岡地区)
- ・選挙活動の規制が多すぎる。「法定宣伝ビラ」はその最たるもの。候補者の顔写真はダメ、氏名の掲載もダメ。これでは「政策に共感できても誰に投票すれば良いのかわからない」と言うことになる。宣伝カーや拡声器を使った宣伝にも制限がある。「この人を当選させたい」と思っても政策や人柄を伝えることも出来ない。「音がうるさい」という指摘もあるが、「音がうるさい」と思われる政党や候補者は淘汰される。政府与党などマスコミに取り上げられる人や政党は有利になる。マスコミは考えるべき。マスコミの「争点がない」「政治や政治家はみんなダメ」「議員を減らせば良い」など政治不信をあおるやり方は改めるべき。印刷物の原則自由配布、拡声器の原則自由使用、インターネット選挙の徹底した自由化、小選挙区制をやめ比例代表制へ移行する、18歳選挙権実施等、を行えば徐々に投票率は上がると思う。(男性/60代/箱根ヶ崎地区)
- ・難しいことを朝から大きな声で、難しい言葉で言っても全くわかりません。また、通学時などは長い間聞いていることはできないのに、長時間話していても結局わからないままで、説明している方の自己満足で終わっている所があります。投票率を上げたいと思うなら、より簡潔にまとめたものを繰り返すなどした方がいいのでは。わからないことや難しいことなどがあるから、面倒になって“行かなくてもいいか”ということになるのだと思います。(女性/20歳未満/箱根ヶ崎地区)

- ・町内でももっと選挙などをPRした方が良いと思う。例えば、宣伝カーなどを使い町内を巡回するようにしたらどうでしょうか。(男性/50代/未記入)
- ・国政選挙や都の選挙では、瑞穂には候補者がほとんどと言っていいくらい来ない。選挙カーも走っているのかわからない。とても静かで今選挙中なのかと疑うほどである。これでは興味がなくなり、自分には関係ないと思ってしまう。でも投票には行く。国民の義務だから。(女性/50代/殿ヶ谷地区)

【投票関連 (26件)】

◆投票所については・・・

- ・投票所を大型店（ジョイフル本田、モールみずほ、オリンピック）などの店の入口のわかりやすい所で、投票ができると良いと思います。(女性/60代/未記入)
- ・妻が瑞穂町に住んでいるので投票所が分かっていますが、妻がいなければ分かりませんでした。自分の住んでいる町（の投票所）はどこに行けばいいか情報が少なすぎると思います。(男性/30代前半/石畑地区)
- ・私の周りには選挙（の投票）会場の雰囲気が悪いので、行きたくないと言っている人が多い。私も同感です。机を並べて座っていて、ひとりひとり上から下まで見ているような感じです。でも私は1回でも棄権した事はありません。強い人間だから。立会人が多すぎるのではないか。(女性/70歳以上/武蔵野地区)
- ・会場にもっと政策の違いがわかる情報を置くべき（候補者の政権放送を会場で視聴できるコーナーを設けるなど）。(男性/30代後半/箱根ヶ崎地区)
- ・投票所のスタッフが年配や老人ばかり。若いスタッフを取り入れた方がもっと雰囲気も変わるでしょうし、人が人を呼ぶのではないかと思います。年配の人がじっと座っているイメージが残念ですが強いです。(女性/30代後半/元狭山地区)
- ・具体的問題として居住区域と投票所の位置だ。町民会館の近くの石畑住民は診療所のはるか先まで足を運ばねば成らない。この問題でしたくてもしない人がいることは事実としてある。若い者でもこの距離はしんどい。確かに役場近辺から距離を測っても許容値内と見える。しかし、石畑住民から見れば位置的には石畑中央会館の方が適切な場所ではなかろうか。私も常々最寄りの投票所で出来ないものかと考えているが今後団塊老人が足腰動かなくなったときは更なる低下を招くだろう。これは団塊が示すとおり数値的には大きい。まずは何処でも投票できる様に役場サイドを改善すること。期日前投票なら町民会館や駅で出来るのだから何処でも出来るようにするには技術的問題は無いだろう。期日前投票率がある程度高いのはこの辺に理由があるのかも知れない。投票所は選管の判断で増やせるとある(公職選挙法)。投票所までの距離3km(南あわじ市は2km)、1投票所有権者数3000人と言う枠がある様だが、柔軟に対応し増やすことも検討課題に入れては。高齢化社会の到来は万人が認めているのだから。老人に片道1kmは酷だ。(投票)したくても出来ない人のために。今後は自宅介護が増えるだろう。これらの方々にも意思表示する機会を確保する必要があるだろう。投票所に来ることが出来ない人が居たら取りに行くだけのこと。世の中移動何とかと呼ばれるものが多くある。移動投票所は出来ないものか? 投票を取りに行くのだ。当然前例はない。日本で始めての事をやったっていいじゃないか。投票用紙を封筒に入れて頂き回収又は小型投票箱に入れ

るだけなのだから。それくらい選管は汗をかいても良くないか。これをやったら投票率は少なくとも倍間違いなし。これ位の気持ちがないと改善しない。要介護や要支援データは持っているだろう。総務省のHPによれば要介護5の人は郵便による不在者投票が可能となっている。この辺のPRは？（男性／60代／石畑地区）

◆期日前投票、不在者投票については・・・

- ・今まで選挙当日に投票に行ったことがありません。期日前をもっと有効に使えるといいと思います。（女性／30代前半／箱根ヶ崎地区）
- ・期日前投票所に入りづらいのでやったことがない。日曜日は仕事のことが多いので、できれば期日前投票をしたいと思っているのだが。（男性／50代／箱根ヶ崎地区）
- ・不在者投票についてもう少し簡単をお願いします。（女性／70歳以上／長岡地区）

【町長、町議会、町の選挙（18件）】

◆町長、町議会、町の選挙については・・・

- ・私にとって町議会選挙が一番身近な選挙であり、自分の声を町政→都政更には国政へと反映してもらえる議員を選ぶことなので、より一層の周知活動や日常的な議会報告等を行うべきである。（男性／40代／殿ヶ谷地区）
- ・町長等トップのポストの方は長くても3期で終わり、後進に席をゆずるべきと思います。そうでないと若い人が育たなくなり、マンネリ化してしまいます。（男性／60代／石畑地区）
- ・町議会、議員の方で議会議中居眠りをしたり、意見を言わないでだまっている人がいるなどを耳にして、何か行事や選挙時、何かと自分は議員でえらいみたいな態度を見ると、町議会に期待が持てない。中には意見や希望に対して、すぐに動いてくれる人もいるけれど、立候補者がマンネリしていて、選挙に行っても町は変わらないと、投票に行かない人がいるんじゃないかと感じている。（女性／50代／箱根ヶ崎地区）
- ・近隣の市町村と比較するとこの町は一向に進展がない。期待できない選挙には行く必要がないのではないか。問題はこの町を左右する者（町長及び議員）、この者達の意識欠如がまねいた結果と考える。意識調査は上記の者たちの脳みそを調査すべきである。（男性／60代／石畑地区）
- ・瑞穂町が大好きになる選挙をしてほしい。（女性／60代／長岡地区）

◆若い世代の政治参加については・・・

- ・私は町の選挙には期待が持てないので、行った事はありません。いつも同じような人が立候補し、いつも同じような人が当選するからです。もっと若い人が候補者でいれば、見る目が変わると思います。（男性／30代後半／元狭山地区）
- ・高齢者にとっていい町なのかも知れないが、未来を担う子どもたちをもっと応援するような町になってほしい。町長にも定年制度を。もっと若い力、思考、違った角度から瑞穂の良い部分を伸ばせるようにしたい。そんなリーダーシップのある若い人が出ないものか。考え方が古すぎる。活気がない。ここは“町”ではなく、“村”です。（女性／50代／箱根ヶ崎地区）

【選挙に期待ができない理由（19件）】

- ・政治や行政に対して失望している人が多い。主婦同士で話していても結局何も変わらないと言う人が多い。(女性/60代/未記入)
- ・まず国の政治家に信頼がなく、そこから県も信頼がなく、町は「国も県もこうなら町もそうだろう」と期待していません。一般人の意見は反映されないだろうし、政治家はいいお金をもらっていい暮らしをして、何もしていないというイメージで、誰がなっても何も変わらないと個人的に思っているので、政治家さん達が自らの行動、言動をあらためて、イメージを正していく事が重要だと思っています。(女性/30代前半/武蔵野地区)
- ・町の議員もギリギリの人数しかでないし、いつも決まっているからみんなやる気がしないし、議員の必死さも感じない。(男性/30代後半/元狭山地区)
- ・公約は破るものか、公約は守ってほしい。うそつき議員は嫌いだ。(男性/60代/石畑地区)
- ・選挙の時だけの都合の良いPRで、当選すればもう終わり。何を活動し、具体的に市政、町政をどう変えたか見えてこない。これまでの活動内容とこれから目指す政策（立候補する地区に見合った）を明確にしてほしい。(男性/50代/武蔵野地区)
- ・人は困った時とか要望がある場合、一生懸命耳を傾け問題解決に動いてくれた事で信頼感が生まれます。議員は任期中何をしたかが問われます。選挙期間中だけ一生懸命で何もしない方もいます。(女性/60代/箱根ヶ崎地区)

【若い世代の意識啓発（15件）】

- ・若い人にもっと選挙が分かりやすく、理解してもらえるようにすれば良いと思う。政治についてよく分かっている人はごくわずかではないかと感じる。町の広報紙などで特集のように取り上げてもらえると、凄く助かる。また、広報紙を忙しくて読めない人もいると思うので、個々に手紙で伝えるなどすると目を通しやすい。投票するのに、どのような人があまり分からないので選べない。どのような人が調べるのにも手間がかかる。何か忙しい中でも分かるものがあるととても助かる。まずは選挙がどのようなものであるのか、若い人たちに知ってもらいたいと思う。(女性/20代前半/箱根ヶ崎地区)
- ・選挙への関心を高めたり、投票率を向上させるために電子投票の導入など、インターネットをもっと活用する事に関して言えば、面倒くさがりな若者でも気軽に投票できると思うし、是非導入していただきたい。(男性/20歳未満/殿ヶ谷地区)
- ・投票に行く度に感じるのですが、40代以下の若い人の姿が少なく感じます。若い人の選挙行動を促す方策が大事だと思います。このことは瑞穂町だけの問題ではないかもしれませんが、若い人（40代、30代、20代）を刺激する方法を考えて下さい。(女性/60代/元狭山地区)
- ・学校や職場でもっと選挙についての重要性や義務について、教育すべきと考えます。特に若い世代の人達に参加させることの意義や意味を知らしめた活動が必要と考えます。(男性/50代/元狭山地区)
- ・わかりやすい図を用いて、若い人にもわかりやすくしたら良いのにと思いました。告知媒体

はインターネット、町のサイト、会報に載せて広く発信するべきかと思います（サイト動画でも）。又、どのような人が何を伝えたいのかも、まとめて載せてみるのも良いです（どうやってするのかの手順や選挙の種類等簡単で良いので載せる、又はサイトなら詳細がわかるリンクを貼る）。若い人がなぜ行かないか（行きたがらないか）は、わかりづらい（全体的に）事から端を発しているの、ここをクリアにすると良いのかもかもしれません。（女性／30代前半／箱根ヶ崎地区）

【選挙全般（15件）】

- ・選挙制度が複雑でわからない。（女性／50代／箱根ヶ崎地区）
- ・政治や行政が直接的には自分の生活と関わりが少ないと考えがちだが、選挙には積極的に参加していくべきだと思います。自分の一票を大切にしたいです。（女性／30代前半／箱根ヶ崎地区）
- ・選挙制度の問題ではない。むしろ選挙制度は良くなっている。（男性／30代後半／元狭山地区）
- ・5W1Hを知っていますか。それは選挙前の事ですが、それを行う事でどう変わるか。Aさんに入れれば（投票すれば）どう変わる。Bさんに入れれば（投票すれば）どう変わるという事があまり良く理解されないし、どうせ大して変わらないのだから知るまでも無い。盆おどりまわりしか出来ない政治家は不要です。瑞穂には誇るべき何かがあるのだろうか。未だに「町」である事くらいか。（男性／40代／武蔵野地区）
- ・18才等への引き下げは反対 国により違うとは思う。日本人はあらゆることへの危機感が不足しており、成人20才から大人の一步を始めるという意識がある。18才ではまだ大人の一步ができていないため、大人の一步を始めても投票結果には問題があると思う。ヨチヨチ歩きだと思う。20才からヨチヨチ歩きなので、18才からの選挙には反対。（女性／50代／箱根ヶ崎地区）

【投票率最下位と知って（13件）】

- ・投票率をあげるために最下位である事を町民に知らせるべきではないか。選挙に行かない人は選挙公報も観なければ、新聞の投票結果も見ないはず。投票に行かない人をターゲットに最下位であることを伝える方法を考える必要があるのではないか。（女性／40代／長岡地区）
- ・投票率が低いのはなぜなのでしょう。分らないです。投票率を上げたいという熱意も伝わってきませんが。投票率低くてもいいじゃないですか。瑞穂町がどの町にも負けない魅力的なところであれば。その方が重要ではないでしょうか。投票率上がれば満足なのか。（男性／40代／箱根ヶ崎地区）
- ・瑞穂町の投票率が低いのは国政、都政選挙では候補者にとってそれ程重要な地区でなく、連呼して通過して終わり。町政選挙は地縁、血縁と宗教団体が幅を利かせて、結果は始まる前からわかっているからでしょう。外から移って来た人々に関心が薄らぐのは当然。こんな選挙制度に投票を呼びかける啓発に金を使うのは無駄。（男性／70歳以上／箱根ヶ崎地区）

第2章 調査結果の詳細

- ・投票率が最下位の原因を分析する必要があると思います。そしてその原因に対応する方策を考えないと、投票率は上がらないと思います。特に武蔵野地区は分析が必要だと思います。(男性/50代/箱根ヶ崎地区)
- ・毎日フィリピンの20~27歳の先生と一緒に、英会話をインターネットで学んでいるのですが、彼らは必ず選挙に行きます。その為に学校は休校になります。本当にびっくりしました。選挙の翌日、彼らは私に黒くなった爪を見せました。意味が全くわからなかったのですが、調べたら投票した証拠として黒く印を付けていることがわかりました。1ヶ月は消えないそうです。選挙当日には長い行列を作って投票を待つそうです。みんな「この国の政治を良くしたい」と語ります。汚職がひどいらしく、それを変えるためには選挙しかないと思っています。
- ・日本人が選挙に無関心でいられるのは、ある意味幸せなことかもしれません。瑞穂町が最下位だとしたら、政治がいいとも言えるし、また政治に期待していないとも言えると思います。子供の頃から基地を見て来ました。畑が基地の土地になっていました。古い資料を子供の頃にみつけて驚きました。防音工事を2部屋してもらいましたが、うるさい事に特に変化はなかったと思います。本当にありがたいことであり、基地に親しみを感じますが、政治は基地に対して力が無いと感じます。この町には無力感とあきらめを感じます。基地の面積は広いのに、全く知名度もないし。防音も過去の話です。最下位が無言の主張のような印象を受けました。(女性/30代後半/石畑地区)

【選挙管理委員会 (12件)】

- ・選挙違反について現都知事のような不明確な説明をいつまでも許していないで、失格の判定を出せる力のある選挙管理委員会にするべきである。(男性/60代/箱根ヶ崎地区)
- ・選管はもっと日常的に啓発活動を展開したら如何でしょう。(男性/70歳以上/石畑地区)
- ・選挙管理委員会は選挙の時だけでなく、もっと普段何をしたら大勢の人が行ってくれるか等の考えを町内会等でも話題にしてもらいたい。これからは高齢者が増えるのでわかりやすい説明などや、行きやすく、投票自体も何か方法を考えた方が良いと思う(例えば番号を書くとか)。(女性/70歳以上/未記入)

【情報提供 (11件)】

- ・年寄でもわかる各個人の情報が欲しい。殆んど何もわからない現状です。(女性/70歳以上/殿ヶ谷地区)
- ・啓発運動よりも前回選挙で私たちが選んだ方が、どんな活動をしたか、結果報告も必要に思う。(女性/50代/未記入)
- ・この候補者に投票したら何がどのように変わるのかなどを、図や表を利用して視覚的にわかりやすくする。その情報をスマホなどデバイスで閲覧でき、投票もできるようにする。(男性/30代後半/箱根ヶ崎地区)

【有権者の自覚（7件）】

- ・投票に行こうと思うのは本人の意識の問題なので、どんなPRをしても効果はあまり期待出来ないと思う。(女性/70歳以上/元狭山地区)
- ・普段どの政党がどのようなことを行っているか、自分達の生活にどのような影響を及ぼしているか知らない人が多すぎる。それで年齢を満たし選挙権を持っても若者が行くわけではないし、TVしかみない人も考えが偏ってしまうと思う。もっと公正、公平に政治をわかりやすく、知らせるものが必要だと感じている。最近の秘密保護法、国会中継を観てましたが、あんな決め方が通ってしまうなら国会の必要性は全くないし、民主主義を今一度考え直さないといけないと思いました。いつの時代も負担が大きいのは庶民です。未来の世代のためにも今私達が声を上げないと思います。(女性/20代後半/箱根ヶ崎地区)

【行政施策（選挙以外）、職員（17件）】

- ・瑞穂を住みやすい町にするため、頑張ってくださいたいです。選挙や政治だけでなく、教育や医療も。(女性/40代/箱根ヶ崎地区)
- ・福祉定期バスの運営について、町内を走っているバスに何人も乗っていないので、少人数の車で良いと思います。ガソリンも高いので。(男性/70歳以上/長岡地区)
- ・瑞穂町は一体になっていない。町が二分されている感がある。二分とは役場周辺地域と転入地域での温度差がかなりある。町民に対してもっと瑞穂町の歴史認識と将来の方向性を町民に伝え、理解賛同を得る方法等を真剣に考えるべき。(女性/60代/箱根ヶ崎地区)
- ・横田基地の軍民共用には賛成です。人が来るようになり、町の活性化につながります。役場近くの商店街もシャッター街と化しています。そこは雇用の場となるのではないのでしょうか。(女性/30代前半/長岡地区)
- ・国のことも大切な事ですが、まず身近な所で町の（役場内）事ですが、人が多すぎる為に仕事に関係のない会話が多すぎて考えられない程仕事に向かう姿勢が悪すぎる。あれでは仕事の効率が悪いし、給料がもったいない。町の人は皆そう思っています。大いに改善して下さい。ガッカリです。身近な町が悪すぎるので、選挙と言ってもその時だけの…と思って足が運べないのだと思います。(女性/60代/未記入)
- ・町役場の庁内も改革してほしい。何となくやる気がない職員、時々見受けます。(女性/60代/殿ヶ谷地区)

【その他（12件）】

- ・今回のアンケート設問は適切か?と感じた。住民の深層意識を探る質問の方が良かったのは。アンケートの質問として“最近町が(良い方向に)変化していると感じますか”に類する様な問いが有っても良かったと思う。アンケートも投票者と投票依頼者の両方の問題を炙り出す形式の方が良かったと思う。(男性/60代/石畑地区)
- ・候補者より党で選んでみたり、余りよく知らないで投票していました。このような調査がくると困ってしまいます。(女性/70歳以上/武蔵野地区)

第2章 調査結果の詳細

- ・モノレールは埼玉の入間市三井アウトレット、町内のみずほモールにもいけるようにしてほしい。(男性/40代/元狭山地区)
- ・この(アンケートの)質問内容に×。もっと能力がある対応をして頂きたい。選挙推進活動もした経験もあるが、あのような首相の為、迷惑を被っている者もいる。芸能人や有名人が政治に対応するのは変。プロとして対応してもらいたい。銭の為の議員が多く、能無しは必要ない。とにかく学力主義で投票するのも控えてほしいと思う。なかには大学へ入る為に脳を使い果たしている者が多く、何も出来ない者が多すぎる。このようなアンケートを作るならむだ金使い、この費用があればもっと有意義な事が可能。(男性/60代/箱根ヶ崎地区)

第 3 章 調査票

選挙に関する町民意識調査

平成25年12月
瑞穂町選挙管理委員会

瑞穂町選挙管理委員会では、明るい選挙の実現と投票率向上のため努力を重ねておりますが、残念ながら本町の投票率は都の自治体の中でも最下位です。今後の選挙の執行管理の参考資料とするために、町民の皆様のご意見・ご意向をお聞きすることになりました。

調査の実施に当り、町内在住の18歳以上の方々を対象に、統計的な方法で無作為に選ばせていただきましたところ、あなた様にご意見をお伺いすることになりました。この調査では、日頃よく投票に行く方だけでなく、あまり投票に行かない方、これから有権者となる20歳未満の方からも、幅広くご意見をお聞かせいただきたいと考えています。

調査の結果は、すべて統計的に処理いたしますので、皆様のご意見やお名前などを本調査以外で使用することや、その内容が外部に流出することは決してありませんので、率直なご意見をお寄せください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力の程お願い申し上げます。

ご記入に際してのお願い

- 1 調査のご回答は必ず宛名にあるご本人がお書きください。
- 2 ご回答は、次の要領で行ってください。
 - 各項目について、お気軽に感じたままをお答えください。
 - 回答項目のうち、あてはまると思われるものの番号に○をつけてください。
 - の数は、(○は1つ) (○は3つまで) (○はいくつでも) といった () 内の案内に合わせてつけてください。
 - 「その他」の () 内にはご意見を具体的にお書きください。
- 3 質問内容など不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

調査主体 瑞穂町選挙管理委員会
(企画部総務課総務係)
瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地
電話 042-557-0614 (直通)

ご記入いただきました、この調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、

12月16日(月)までに郵便ポストに投函してください。住所・氏名はお書きにならないで結構です。

瑞穂町での生活について

問1 あなたは、瑞穂町に何年ぐらいお住いですか。(○は1つ)(全ての方がお答えください)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 3年未満 | 4. 20年以上・生まれてからずっと |
| 2. 3年～10年未満 | 5. わからない |
| 3. 10年～20年未満 | |

問2 あなたは、現在お住まいの地域に、今後もずっと住みたいと思いますか。それとも引っ越したいと思いますか。(○は1つ)(全ての方)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. ぜひ住みたい | 4. ぜひよそへ移りたい |
| 2. できれば住みたい | 5. わからない |
| 3. できればよそへ移りたい | |

問3 あなたは、この瑞穂町にどの程度“愛着”を感じていますか。(○は1つ)(全ての方)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常に感じている | 4. あまり感じていない |
| 2. かなり感じている | 5. まったく愛着はない |
| 3. どちらともいえない | |

問4 あなたは、町が主催する行事や町内会の行事など地域の活動に積極的に参加する方ですか、それとしない方ですか。(○は1つ)(全ての方)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 積極的に参加している | 4. あまり参加しない |
| 2. できるだけ参加するようにしている | 5. 参加したくない・全く参加しない |
| 3. 参加したいが余裕がない | |

問5 あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。(○は1つ)(全ての方)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 大いに満足している | 4. やや不満足である |
| 2. だいたい満足している | 5. 大いに不満足である |
| 3. どちらともいえない | |

政治や町政への参加について

問6 あなたは、日頃から政治に関心をお持ちですか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。(○はそれぞれ1つ)(全ての方)

	非常に 関心がある	まあまあ 関心がある	あまり 関心がない	ほとんど 関心がない	わからない
国 政	1	2	3	4	5
都 政	1	2	3	4	5
町 政	1	2	3	4	5

→ (問6で「3. あまり関心がない」または「4. ほとんど関心がない」とお答えの方に)

問6-1 政治に関心がないのはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 自分の生活に政治は関係ないから
2. 個人の意見は政治に影響を与えないと思うから
3. 関心のある政治の話題が少ないから
4. 応援したくなるような人・団体がいないから
5. 政治問題そのものに関心がないから
6. 政治問題に関与する時間がないから
7. その他 ()
8. わからない

問7 あなたは、今の政治にどの程度満足していますか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。(○はそれぞれ1つ)(全ての方)

	非常に満足 している	まあまあ満足 している	やや不満 である	非常に不満 である	わからない
国 政	1	2	3	4	5
都 政	1	2	3	4	5
町 政	1	2	3	4	5

第3章 調査票

問8 あなたのお考えや要望は、政治にどの程度反映されていると感じていますか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。(○はそれぞれ1つ)(全ての方)

	よく反映 されている	まあまあ反映 されている	あまり反映 されていない	ほとんど反映 されていない	わからない
国 政	1	2	3	4	5
都 政	1	2	3	4	5
町 政	1	2	3	4	5

問9 あなたは、瑞穂町の町議会議員(候補を含む)が行っている演説会やイベント、街頭演説などに参加したことがありますか。(○はいくつでも)(全ての方)

1. 選挙活動に参加したことがある
2. 選挙期間中の演説会やイベントなどに参加したことがある
3. 選挙期間中の街頭演説を聞いたことがある
4. 選挙期間外での活動・イベントに参加したことがある
5. その他 ()
6. いずれもない
7. わからない

問10 もしあなたが、町政に意見や要望がある場合、どのような方法で伝えますか。

(○は2つまで)(全ての方)

1. 町役場の窓口に行く
2. 担当部署に電話する
3. 町内会や自治会を通じて伝える
4. 町長に手紙を出す・「町長への手紙」(電子メール)を利用する
5. 町議会議員などに相談する
6. 町議会に陳情や請願を行う
7. その他 ()
8. わからない

選挙に関する意識について

問11 普段、あなたは選挙があれば投票に行っていますか。(○は1つ)(全ての方)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. いつも行っている | 4. あまり行っていない |
| 2. だいたい行っている | 5. ほとんど行っていない |
| 3. 思い立った時だけ行っている | 6. まだ選挙権を持っていない |

問12 次にあげる選挙について、あなたの関心が高い順に番号(1~6)を、下の□内に記入してください。また、いずれも関心がない場合は7に○をつけてください。

(選ぶのは順に6つ)(全ての方)

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. 衆議院議員選挙 | 4. 東京都議会議員選挙 | 7. 選挙に関心がない |
| 2. 参議院議員選挙 | 5. 瑞穂町長選挙 | 8. わからない |
| 3. 東京都知事選挙 | 6. 瑞穂町議会議員選挙 | |

1位	2位	3位	4位	5位	6位

→(問12で1位に「1」~「6」のいずれかをお答えの方に)

問12-1 あなたがそれを第1位に選んだ理由は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 自分の生活に最も身近な選挙だから | 5. 顔見知りの人が立候補するから |
| 2. 自分の一票が最も影響を与える選挙だから | 6. その他() |
| 3. 自分の生活に最も影響がある選挙だから | 7. わからない |
| 4. 国・都・町の将来を決める選挙だから | |

問13 あなたは、各種の選挙(の結果)はそれぞれのレベルの政治にどの程度影響を及ぼしていると感じていますか。国政、都政、町政のそれぞれについて、お答えください。

(○はそれぞれ1つ)(全ての方)

	大きな影響を及ぼしている	多少影響を及ぼしている	あまり影響を及ぼしていない	まったく影響を及ぼしていない	わからない
国政	1	2	3	4	5
都政	1	2	3	4	5
町政	1	2	3	4	5

第3章 調査票

問14 選挙についてはいろいろな意見がありますが、あなたは、次の（ア）～（コ）の意見についてはどのように考えますか。（○はそれぞれ1つ）（全ての方）

	そう 思う	そうは 思わない	どちら でもない
（ア）生活にあまり関係のない選挙には行く必要はない	1	2	3
（イ）勝敗のはっきりしている選挙の場合はわざわざ投票に行く必要はない	1	2	3
（ウ）適当な立候補者がいなければ棄権するのもやむをえない	1	2	3
（エ）たくさんの方が投票するのだから、自分1人ぐらい棄権してもよい	1	2	3
（オ）貴重な休日を選挙に費やしてしまうのはもったいない	1	2	3
（カ）争点のはっきりしない選挙には行っても仕方がない	1	2	3
（キ）選ぶべき候補者が見つからなくても、棄権するよりは白票を投じた方がよい	1	2	3
（ク）投票率が低いことは問題だと思う	1	2	3
（ケ）今の暮らしや世の中を変えたいならば、選挙が欠かせない	1	2	3
（コ）今の暮らしを維持するだけならば、選挙はあまり関係がない	1	2	3

問15 今年7月の参議院議員選挙での東京都全体の投票率は53.51%で、瑞穂町は46.07%でした。また、瑞穂町の投票率はこれまで国政選挙や都の選挙でも、東京都の区市町村の中で最下位です。あなたは、瑞穂町の投票率が低い原因はどのようなことだと思いますか。

（○はいくつでも）（全ての方）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 政治や行政が自分の生活と関わる事が少ない、と考える人が多いから 2. 政治への不信が高まり、政治に対する期待が持てないから 3. どの候補者も似たようなことを言っており、政策の違いがわかりにくいから 4. どの政党・どの候補者が当選しても何も変わらないと考える人が多いから 5. 町を代表するような候補者が立候補していないから 6. 事前の当選予想などをみて、投票に行く気がなくなる人が多いから 7. 自分ひとりが投票しなくても結果に影響がないと思う人が多いから 8. 当選させたいような候補者がいないから 9. 自分達や地元の利益を代弁してくれるような候補者がいないから 10. サラリーマン世帯など、地域に定着していない人が多いから 11. 投票に行くのが面倒だと思う人が多いから 12. その他（） 13. わからない
--

直近の選挙について

20歳以上の方におうかがいします。(20歳未満の方は問17へ)

問16 あなたは、今年7月の参議院議員選挙で、投票に行きましたか。

(○は1つ) (20歳以上の方のみお答えください)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 投票に行った | 3. 忘れた／答えたくない → 問17へ |
| 2. 投票に行かなかった → 問16-4、問16-5へ | |

▶ (問16で「1. 投票に行った」とお答えの方に)

問16-1 当日投票しましたか、それとも期日前投票または不在者投票をしましたか。

(○は1つ) (20歳以上の方のみ)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 当日投票をした | 2. 期日前投票・不在者投票をした |
|------------|-------------------|

▶ (問16で「1. 投票に行った」とお答えの方に)

問16-2 投票に行こうと決めたのはいつ頃でしたか。(○は1つ) (20歳以上の方のみ)

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 選挙期間に入る前 (公示日前) から | 5. 投票日の前日 |
| 2. 選挙期間に入った頃 (公示日後) | 6. 投票日当日 |
| 3. 投票日の4日以上前 | 7. わからない |
| 4. 投票日の2、3日前 | |

▶ (問16で「1. 投票に行った」とお答えの方に)

問16-3 あなたは、候補者を選ぶ時、どういう点を考えて投票する人を決めましたか。

(○はいくつでも) (20歳以上の方のみ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 地元の利益を考えて | 8. テレビや新聞、雑誌などで、親しみを |
| 2. 自分と同じような職業の利益を考えて | 感じていたから |
| 3. 自分と同じような世代の利益を考えて | 9. 政党間の勢力バランスを考えて |
| 4. 候補者の政策や主張を考えて | 10. 家族や知人のすすめだったから |
| 5. 候補者の人柄を考えて | 11. その他 () |
| 6. 候補者の属する党の政策や活動を考えて | 12. わからない |
| 7. 候補者の属する党の党首を考えて | |

(問16で「2. 投票に行かなかった」とお答えの方に)

問16-4 投票に行かないと決めたのはいつ頃でしたか。(○は1つ) (20歳以上の方のみ)

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 選挙期間に入る前(公示日前)から | 5. 投票日の前日 |
| 2. 選挙期間に入った頃(公示日後) | 6. 投票日当日 |
| 3. 投票日の4日以上前 | 7. わからない |
| 4. 投票日の2、3日前 | |

(問16で「2. 投票に行かなかった」とお答えの方に)

問16-5 投票に行かなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも) (20歳以上の方のみ)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 仕事があったから | 10. 自分が投票してもしなくても同じだから |
| 2. 重要な用事(仕事を除く)があったから | 11. 選挙によって政治や暮らしはよくなるな
いと思ったから |
| 3. 病気だったから | 12. 今住んでいる所に選挙権がないから |
| 4. 体調がすぐれなかったから | 13. 当日都合が悪く、期日前投票の制度を
知らなかったから |
| 5. 投票所が遠い、行くのが不便だったから | 14. 天候が悪かったから |
| 6. 面倒だから | 15. うっかり忘れていた |
| 7. 選挙にあまり関心がなかったから | 16. その他() |
| 8. 政党の政策や候補者の人物像など、
違いがよくわからなかったから | 17. 特に理由はない |
| 9. 適当な候補者も政党もなかったから | |

投票所について

問17 あなたのご自宅から最寄りの投票所へ行くには、徒歩で何分ぐらいかかりますか。

(○は1つ) (全ての方がお答えください)

- | | | |
|----------|----------|-------------|
| 1. 5分未満 | 3. 20分未満 | 5. わからない |
| 2. 10分未満 | 4. 20分以上 | 6. 行ったことがない |

問18 あなたが投票所に行く場合、主にどのような手段で行きますか。(○は1つ) (全ての方)

- | | | |
|--------|-----------------|---------------|
| 1. 徒歩 | 3. バス・公共交通機関 | 5. 車(家族などに同乗) |
| 2. 自転車 | 4. 車・バイク(自分で運転) | 6. その他() |

問19 最寄りの投票所についてどのようにお感じになっていますか。以下の（ア）～（ケ）のそれぞれについてお答えください。（○はそれぞれ1つ）（全ての方）

	良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	わから ない
（ア）投票所の場所	1	2	3	4	5
（イ）投票所までの行きやすさ	1	2	3	4	5
（ウ）投票所の広さ	1	2	3	4	5
（エ）投票所の雰囲気	1	2	3	4	5
（オ）案内表示やバリアフリーの状況	1	2	3	4	5
（カ）駐車場の整備状況	1	2	3	4	5
（キ）投票所での待ち時間	1	2	3	4	5
（ク）投票所での候補者情報の提供	1	2	3	4	5
（ケ）投票所の係員の対応や説明	1	2	3	4	5

選挙の啓発について

問20 7月の参議院議員選挙では、町の選挙管理委員会、明るい選挙推進委員がいろいろな方法で投票参加を呼びかけました。この中で、あなたが見たり、聞いたりしているものを、いくつでも選んでください。（○はいくつでも）（全ての方）

1. 町の広報紙 2. 選挙管理委員会と明るい選挙推進委員による広報車での町内巡回 3. 地区の夏祭り会場での啓発用品（うちわ）配布 4. 役場や駅周辺で懸垂幕・横断幕の掲出 5. 役場や駅等に張られたポスター 6. 全戸配布による「選挙公報」 7. インターネットホームページ 8. この中では見たり聞いたりしたものはない 9. その他（ ）
--

問21 あなたは、「選挙権を18歳まで引き下げる」ということに賛成ですか。（○は1つ）（全ての方）

1. 賛成	3. どちらかといえば反対
2. どちらかといえば賛成	4. 反対

第3章 調査票

→ (問21で「1」「2」のいずれかをお答えの方に)

問21-1 次にあげる選挙について、どの選挙で引き下げるべきですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 国政選挙 (衆議院、参議院) | 3. 瑞穂町の選挙 (町長、町議) |
| 2. 都の選挙 (都知事、都議) | 4. わからない |

問22 あなたにとって、あまり関心の持てない選挙があったとします。あなたは、どのような後押しがあれば投票所に足を運ぼうという気になりそうですか。(○はいくつでも) (全ての方)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 候補者本人の呼びかけ | 5. 選挙管理委員会からの呼びかけ |
| 2. 後援会の人の呼びかけ | 6. いつでも行こうと思っている |
| 3. 家族の誘い | 7. その他 () |
| 4. 友人・知人の誘い | 8. 特にない |

問23 選挙への関心を高めたり、投票率を向上させるために、今よりももっと行うべきだと思うものは何ですか。(○はいくつでも) (全ての方)

- | |
|--|
| 1. 学校教育でもっと選挙に関する教育をする |
| 2. 国や都、町が選挙の意義や重要性についてもっと積極的にPRする |
| 3. 政党や候補者等の後援会が主体となって投票参加の呼びかけを行う |
| 4. 地域活動団体や地域の商店街などが投票参加の呼びかけを行う |
| 5. 新聞・テレビ・ラジオなど、マスコミがもっと選挙に関する報道をする |
| 6. 選挙制度自体をもっとわかりやすいものにする |
| 7. 地元を代表する政治家を増やす |
| 8. 選挙期間中だけでなく、普段から議員や候補者と触れ合う機会を増やす |
| 9. 選挙期間中の候補者同士の討論会や意見交換会の機会を増やす |
| 10. 投票所をもっと行きやすい場所に増やす |
| 11. 投票時間をさらに延長したり、投票日を複数日にしたりする |
| 12. 投票所の近くでイベントを開催するなど、みんなが出かけたいと思う選挙にする |
| 13. 期日前投票 (不在者投票) をもっと使いやすいようにする |
| 14. 電子投票の導入など、インターネットをもっと活用する |
| 15. その他 () |
| 16. わからない |
| 17. 特にない |

問24 選挙や啓発運動について、全体的なご意見がございましたら、どんなことでも、ご自由にお書きください。(全ての方)

(自由記入)

あなた自身のことについて

※ご意見をお伺いするのはこれで終わりですが、この結果を統計的に分析するために、あなたご自身のことについて少しおたずねします。(全ての方)

F 1 性別 (○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F 2 年齢はおいくつですか。(○は1つ)

1. 18～19歳	4. 30～34歳	7. 50～59歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 60～69歳
3. 25～29歳	6. 40～49歳	9. 70歳以上

F 3 普段、町内にお出かけの際は、どのような交通手段を用いていますか。(○は1つ)

1. 徒歩	3. バス・公共交通機関	5. 車 (家族などに同乗)
2. 自転車	4. 車・バイク (自分で運転)	6. その他 ()

第3章 調査票

F 4 あなたのご職業は何ですか。(○は1つ)

(主婦であっても、家の職業を手伝っている場合は家族従業の方に入れてください。)

自営業 (家族従業者を含む)		勤め人				その他		
1	2	3	4	5	6	7	8	9
農 林 漁 業	商自 工サ 由 業	管 理 職	専事 ・ 務 技 術 職	販サ 売ー ・ 保 安 者 ・	運生 輸産 ・ 工 程 従 事 者 ・ 通 信 ・	学 生	主 婦	無 職

F 5 通勤・通学先はどちらですか。(○は1つ)

1. 瑞穂町内	5. 自宅
2. 東京23区	6. その他 ()
3. 多摩地区 (瑞穂町を除く)	7. 通っていない
4. 都外	

F 6 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

地区	(投票所)	(町内会)
1. 殿ヶ谷地区	殿ヶ谷会館	安住町、表町、仲町、中芝町
2. 石畑地区	石畑会館	東砂町、西砂町、丸町、神明町、表東町、表上町、上仲町、旭町
3. 箱根ヶ崎地区	箱根ヶ崎南会館・瑞穂武道館・瑞穂第四小学校体育館	東一丁目～九丁目、松原町、南平町
4. 長岡地区	長岡南会館	長岡町、東長岡町、春日町、愛宕町、水保町
5. 元狭山地区	元狭山コミュニティセンター・高根町会館	二本木町、駒形町、高根町、富士山町、栗原町、松山町
6. 武蔵野地区	武蔵野コミュニティセンター	旭が丘、さかえ町、富士見町

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れ、12月16日(月)までに郵便ポストに投函してください。

瑞穂町選挙に関する町民意識調査報告書

平成26年3月

- 【調査実施】 瑞穂町選挙管理委員会
〒190-1292 瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地
☎ 042 (557) 0614
- 【集計・分析】 (株)サーベイリサーチセンター
〒116-8581 荒川区西日暮里2丁目40番10号
☎ 03 (3802) 6711 (代表)